SONY

4-655-992-**01** (1)

準備する

操作する（PCスタイル）

操作する（カメラシューティングスタイル）

インターネットを始める

拡張する

セットアップ

困ったときは

付属ソフトウェア一覧

その他

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ノートブックコンピューター

PCG-GT3 Series

Microsoft® Windows® 2000 Professional 搭載モデル

i™ S400

MEMORY STICK™

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

9～15ページの注意事項をよくお読みください。
製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたり、キャビネットを破損したとき**



→

❶ **電源を切る**

❷ **電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリを取りはずす**

❸ **VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理を依頼する**

データはバックアップをとる

ハードディスク内の記録内容は、バックアップをとって保存してください。ハードディスクにトラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意　火災　感電

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止

水ぬれ禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示　プラグをコンセントから抜く

技術基準適合認定について

このノートブックコンピュータは、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：PCG-171N

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、それぞれ社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
（社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）
*充電されたバッテリ使用時には、無停電電源装置等は不要です。

目次

準備する

操作する（PCスタイル）

基本的な使いかた（PCスタイル）

VAIOを使いこなす（PCスタイル）

操作する（カメラシューティングスタイル）

基本的な使いかた（カメラシューティングスタイル）

VAIOを使いこなす（カメラシューティングスタイル）

インターネットを始める

次のページにつづく

拡張する

他の機器とデータをやりとりする

周辺機器を接続する

本体を拡張する

セットアップ

本機の使用環境を設定する

バッテリの消費電力を節約する

画面表示の設定を変更する

ポインティング・デバイスの設定を変更する

困ったときは

付属ソフトウェア一覧

クリエーション

オーディオ&ビジュアル

エンターテインメント

コミュニケーション

リファレンスツール

ユーティリティ

その他

次のページにつづく

その他

⚠警告

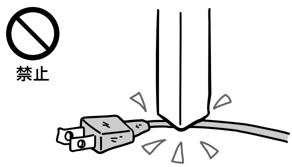
火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



万一、電源コードが傷んだら、VAIOカスタマーリンク修理窓口に交換をご依頼ください。

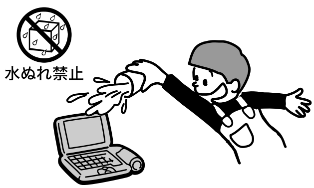
油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となります。



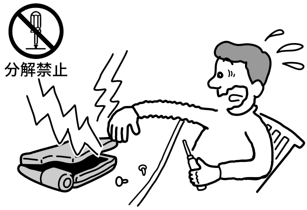
内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、VAIOカスタマーリンク修理窓口に点検・修理をご依頼ください。



内部をむやみに開けない

本体および付属の機器（ケーブル含む）は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。内部の点検、修理はVAIOカスタマーリンク修理窓口にご依頼ください。



次のページにつづく

⚠警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

火災　感電

指定のACアダプタ以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

禁止

ひざの上で長時間使用しない

長時間使用すると本体の底面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

禁止

本機は日本国内専用です

本機に内蔵されているモデムは国内専用です。
海外などでモデムを使用すると、故障・火災・感電の原因となります。

指示

モデムは一般電話回線以外に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機（PBX）へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となります。
特に、ホームテレホン・ビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

禁止

運転者は走行中に操作しない

本機を車両走行中には使用しないでください。
わき見運転により事故の原因となります。
また、歩きながらお使いになるときは、周囲の状況に気を配り、安全にお使いください。

禁止

⚠警告　下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間つづけて見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

禁止

キーボードを使いすぎない

キーボードやポインティング・デバイス、ジョグダイヤルなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやポインティング・デバイス、ジョグダイヤルを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

禁止

⚠注意　下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、
感電の原因となることがあります。



接続するときは電源を切る

ACアダプタや接続ケーブルを接続するときは、
本機や接続する機器の電源を切り、電源コードを
コンセントから抜いてください。感電や故障の
原因となることがあります。



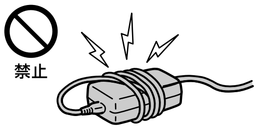
指定された電源コードや接続ケーブルを使う

この説明書に記されている電源コードや接続
ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となる
ことがあります。



電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

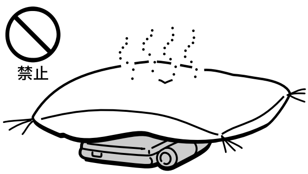
断線や故障の原因となることがあります。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や
故障の原因となることがあります。風通しを
よくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）の
  上に放置しない。
- 布などでくるまない。



通電中の本体やACアダプタに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、
低温やけどの原因となることがあります。



本体やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

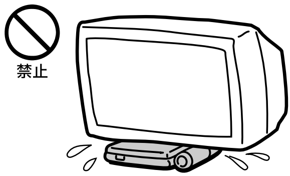
安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



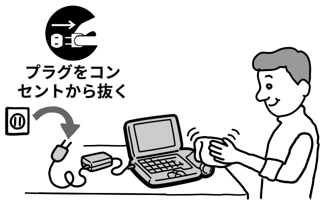
本機の上に重いものを載せない

壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



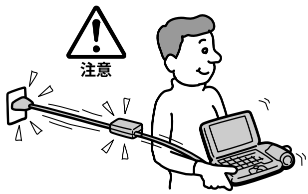
お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。



落雷のおそれがあるときは、電源プラグなどを抜く

落雷のおそれがあるときは、テレホンコードや電源プラグを抜いてください。落雷により本機が破壊され、故障の原因となることがあります。



次のページにつづく

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

コネクタはきちんと接続する



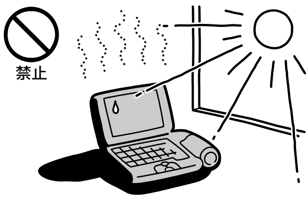
- コネクタの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く



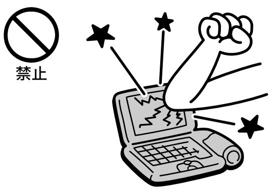
長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない



内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない



レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイパネルの裏側を強く押さない



液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本体に強い衝撃を与えない



故障の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 本体に付属または指定された別売りのバッテリ以外は使用しないでください。

⚠警告

バッテリを廃棄する場合は、以下のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、ソニーサービスステーションにお持ちください。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本体の底面やACアダプタが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、
故障ではありません。使用している拡張機器や
ソフトウェアによって発熱量は異なります。

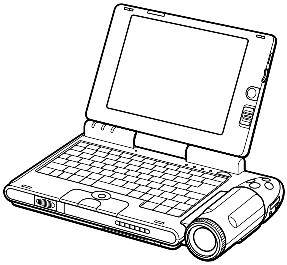
本体やACアダプタが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、
バッテリを取りはずしてください。次に、VAIO
カスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

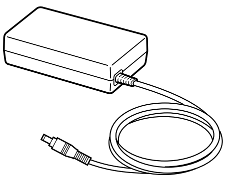
付属品を確かめる

本機を初めて使うにあたって、以下のものがすべてそろっているかご確認ください。
❑ マークにチェックしながら確認すると便利です。
付属品が足りないときや破損しているときは、VAIO（バイオ）カスタマーリンクにご連絡ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

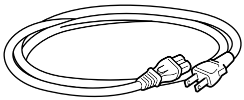
❑ **パソコン本体（レンズキャップ付き）**（1）



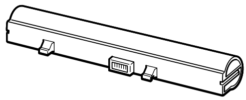
❑ AC**アダプタ**（1）



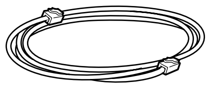
❑ **電源コード**（1）



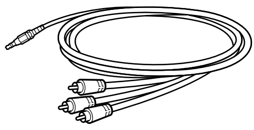
❑ **バッテリ**（1）



❑ **テレホンコード**（1）



❑ AV**接続ケーブル**（1）



❑ **予備用キャップ（スティック用、**2）



説明書およびCD-ROM

- ❑ 取扱説明書（本書、1）
- ❑ インターネットで楽しむ バイオGT & URecSight（1）
- ❑「Microsoft® Windows® 2000 Professional*」クイックスタートガイド（1）

ご注意

クイックスタートガイドには、Certification of Authenticityラベルが同封されていますので、大切に保管してください。

*以降、Windows 2000と略します。

- ❑ リカバリ CD-ROM パッケージ（1）

ご注意

リカバリ CD-ROMを使うには、下記のいずれかの専用ドライブが必要です。
ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

– CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series
– CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Series
– DVD-ROMドライブ PCGA-DVD51 Series

その他

- ❑ CyberCodeシール（1）
- ❑ VAIOカスタマー登録、保証書お申込書（1）
- ❑ VAIOサービス・サポートのご案内（1）
- ❑ VAIOカルテ（1）
- ❑ ソフトウェア使用許諾契約書（1）
- ❑ その他パンフレット類

本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェア一覧」（287ページ）をご覧ください。

本書内のイラストや画面について

本書で使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。
特に指示のない限り、本文中のイラストにはPCG-GT3/Kを使用しています。

このマニュアルの使いかた

本取扱説明書は、以下の章で構成されています。

本機には、本書の内容を画面上でも見られる電子マニュアル（PDF*）があらかじめインストールされています。電子マニュアルの見かたについては、「電子マニュアルを見るには」（20ページ）をご覧ください。

❑ **準備する**

本機を初めてお使いになるときに必要な準備について説明しています。

❑ **操作する（PCスタイル）**

本機を初めてお使いになるときは、「基本的な使いかた（PCスタイル）」（50ページ）からお読みください。特にコンピュータを初めてお使いになる方は、「ポインティング・デバイスを使う」（56ページ）や「キーボードを使う」（59ページ）、「文字を入力する」（76ページ）を読んで、コンピュータの基本的な使いかたをマスターすることをおすすめします。

一歩進んだ使いかたは「VAIOを使いこなす（PCスタイル）」（97ページ）をご覧ください。

❑ **操作する（カメラシューティングスタイル）**

本機の内蔵カメラ（MOTION EYE）での撮影のしかた（「基本的な使いかた（カメラシューティングスタイル）」（136ページ））や、静止画や動画の取り込みかた（「VAIOを使いこなす（カメラシューティングスタイル）」（143ページ））などについて説明しています。

❑ **インターネットを始める**

インターネットに接続するために必要な準備などについて説明しています。

❑ **拡張する**

プリンタなどの周辺機器のつなぎかたや、PCカードの使いかたなどについて説明しています。

❑ **セットアップ**

本機をお使いになる状況や好みに合わせて、本機の設定を変更できます。ここでは、付属のソフトウェアを使った設定のしかたを説明しています。

❑ **困ったときは**

本機がうまく動作しないときのトラブルの解決方法について説明しています。

❑ **付属ソフトウェア一覧**

本機に付属しているソフトウェアについて説明しています。

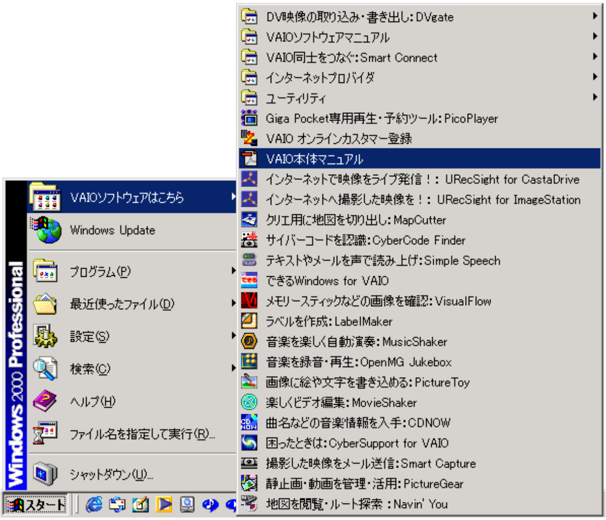
❑ **その他**

本機をご使用になる際のご注意やお手入れのしかたなどについて説明しています。

電子マニュアルを見るには

電子マニュアルを見るには、本機の電源が入っている状態で、次のように操作します。

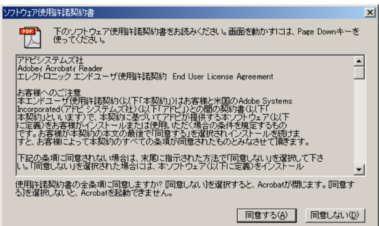
[スタート] ボタンをクリックして [VAIOソフトウェアはこちら] にポインタを合わせ、[VAIO本体マニュアル] をクリックする。



本機に付属の「Adobe Acrobat Reader」ソフトウェアが起動し、電子マニュアルが表示されます。

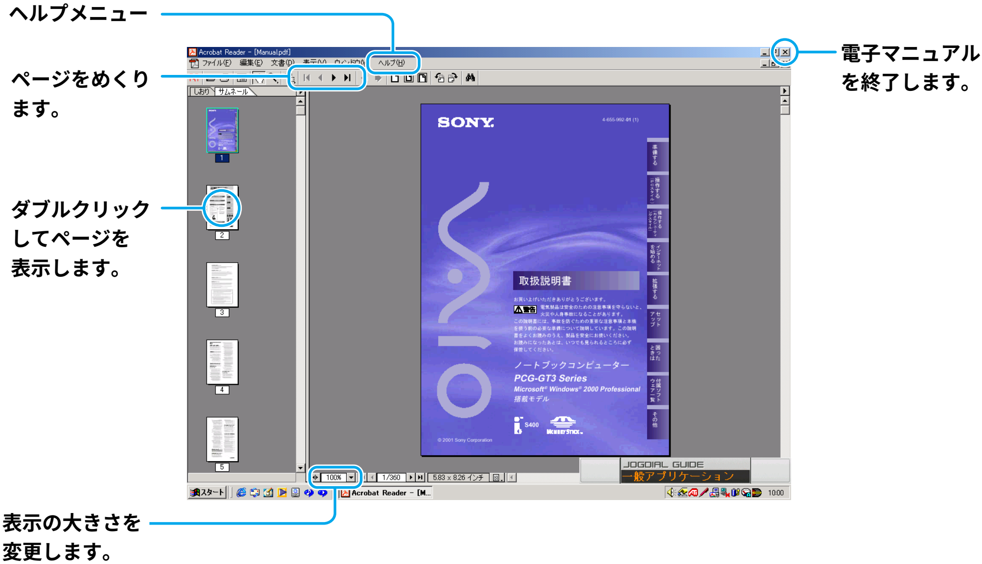
「Adobe Acrobat Reader」を初めて起動したときは

「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されますので、契約書の内容を読み、[同意する] をクリックしてください。



電子マニュアルの見かた

サムネール（縮小表示）やしおりを見たいときは、 をクリックし、それぞれのタブをクリックします。詳しくは、「Adobe Acrobat Reader」のヘルプメニューをクリックしてヘルプをご覧ください。



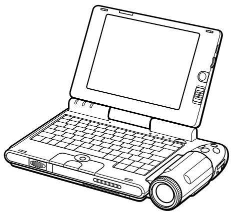
こんなことができます

本機のスタイルについて

本機には使用する目的に応じた2種類の「スタイル」があります。

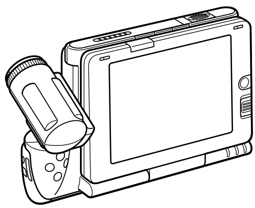
PCスタイル

本機をノートブックコンピュータとして使用するときのスタイル。



カメラシューティングスタイル

付属の「URecSight（ユーレックサイト）」ソフトウェアを使って静止画・動画を撮影したりインターネット配信するときのスタイル。



本機の主な特長

本機は約1.1kg（バッテリ含む）の軽量ボディーに、本格的ズーム付きカメラやモバイル環境での便利な機能を満載したソニーならではのノートブックコンピュータです。また、別売りの大容量バッテリ（PCGA-BP54）を装着すると、外出先での使用時間も、最大で約17時間*確保できます。出張や旅行など、お気軽にどこでも持ち運べます。ここでは、本機でできることの例をご紹介いたします。

*「スーパースタミナ」プロファイル使用時、および内蔵カメラ（MOTION EYE）を使うソフトウェア未使用時。

使用状況に応じて動作速度が自動的に切り替わる

実行しているソフトウェアが必要としている処理能力にあわせて、CPUの動作速度を自在に変化させることができます。常に効率のよい速度でCPUを動作させることにより、バッテリの駆動時間を長持ちさせます。

内蔵カメラ（MOTION EYE）を使う

内蔵カメラ（MOTION EYE）を使って静止画や動画を撮影することができます。本機をカメラシューティングスタイルにすると、付属の「URecSight」ソフトウェアを使って静止画や動画を撮影したり、好みの画像をインターネット上のサービス「ImageStation」にアップロードして保管したり、CastaDrive対応の「PercasTV」サービスを利用して、撮影している動画をネット上で配信することができます。
また、本機をPCスタイルにすると、付属の「PictureGear」ソフトウェアで取り込んだ画像を管理したり、付属の「MovieShaker」ソフトウェアで動画を簡単に編集することができます。
さらにPCスタイル時に付属の「CyberCode Finder」ソフトウェアを使うと、内蔵カメラ（MOTION EYE）にCyberCodeをかざすだけで、あらかじめ登録したソフトウェアを、キーボードでの操作をせずに起動することができます。

CyberCodeとは？

CyberCodeは、ソニー独自の2次元バーコードで、約1,677万通り（24 ビット）存在します。このうち、約100万通り（20 ビット）のCyberCodeをそれぞれ、任意のプログラム起動用として登録することができます。残りのCyberCodeは、将来のサービス拡張用です。CyberCodeはそれが貼られたものから、対応するコンピュータ上の情報を引き出すためのインデックスの役割をします。
「CyberCode Finder」のファインダ画面を通して、プログラムが起動されることにより、あたかもCyberCodeが貼られたものから、対応する情報がコンピュータ上に飛び出してくるような新しいユーザーインターフェイスを提供します。

次のページにつづく

画像を取り込む

“メモリースティック”対応のソニー製デジタルスチルカメラやデジタルビデオカメラレコーダーで“メモリースティック”に画像を取り込んで、その“メモリースティック”を本機のメモリースティックスロットに挿入するだけで、画像データファイルを取り込むことができます。
また、本機のi.LINKコネクタにつないだi.LINK（IEEE1394）インターフェイスを持つデジタルビデオカメラレコーダーなどから、デジタル信号のままで美しい画像を取り込むこともできます。

ジョグダイヤルを便利に使う

ジョグダイヤルを回したり押したりするだけで、画面のスクロールや、画面の中の項目の選択などさまざまな操作が簡単にできます。
また、付属の「VAIO（バイオ） Action（アクション） Setup（セットアップ）」ソフトウェアを使って、ジョグダイヤルを押すだけで好みのソフトウェアを起動させたり、タイマー機能を使って指定した時間に自動的に電子メールを取り込むこともできます。

VAIO間でファイルを共有する

「Smart Connect」に対応したVAIOと本機を別売りのi.LINKケーブルで接続し、お互いのファイルをコピーしたり、削除、編集などを行うことができます。また、接続先のVAIOにつないだプリンタを使って印刷することもできます。

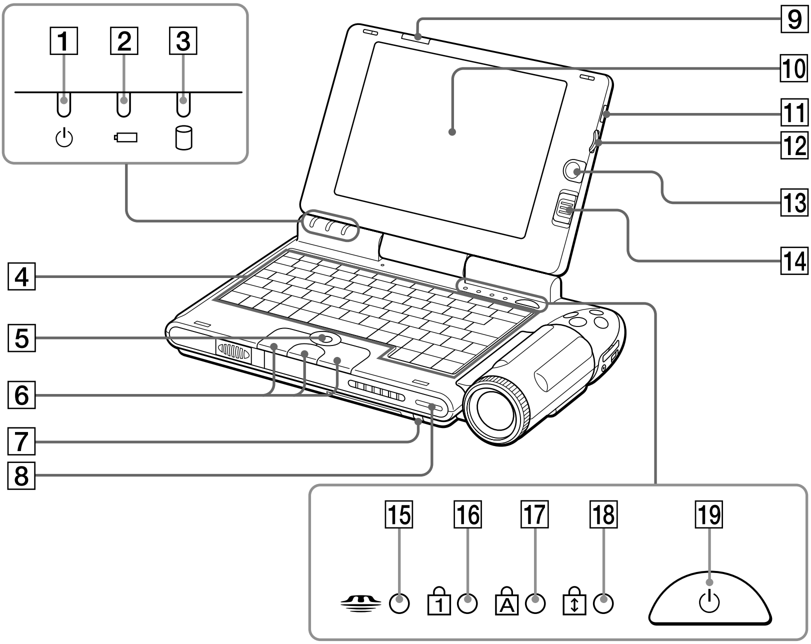
バッテリを上手に使う

付属の「Power（パワー）Panel（パネル）」ソフトウェアを使って、処理速度やバッテリでの使用時間を優先する動作環境に設定したり、バッテリの残量などを簡単に把握することができます。

これらの機能をお使いいただくには、最初に、この説明書に沿ってひと通りに準備を完了しておく必要があります。「準備する」（31ページから）の説明に従って、本機の準備を行ってください。
また、それぞれの操作について詳しくは、各ソフトウェアのヘルプもあわせてご覧ください。

各部のなまえ

詳しい説明は、（　）内のページをご覧ください。



1 ⏻（パワー）ランプ（33ページ）

2 ▭（バッテリ）ランプ
（51、54ページ）

3 ⌸（ハードディスク）ランプ

4 キーボード（59、271ページ）

5 スティック（56、246、269ページ）

6 左／センター／右ボタン
（56ページ）

7 録画ランプ（140、149ページ）

8 IDラベル（254、346ページ）
型名が記載されています。

9 内蔵ステレオマイク
（129、282ページ）

10 液晶ディスプレイ（64、68、
137、241、268、339ページ）

11 BACKボタン（66、140ページ）

12 ジョグダイヤル
（66、97、140、323ページ）

13 CAPTUREボタン
（140、143、147ページ）

14 ZOOMレバー
（140、144、149ページ）

15 （メモリースティック）ランプ
（92ページ）

16 （Num Lock）ランプ
（61、62ページ）

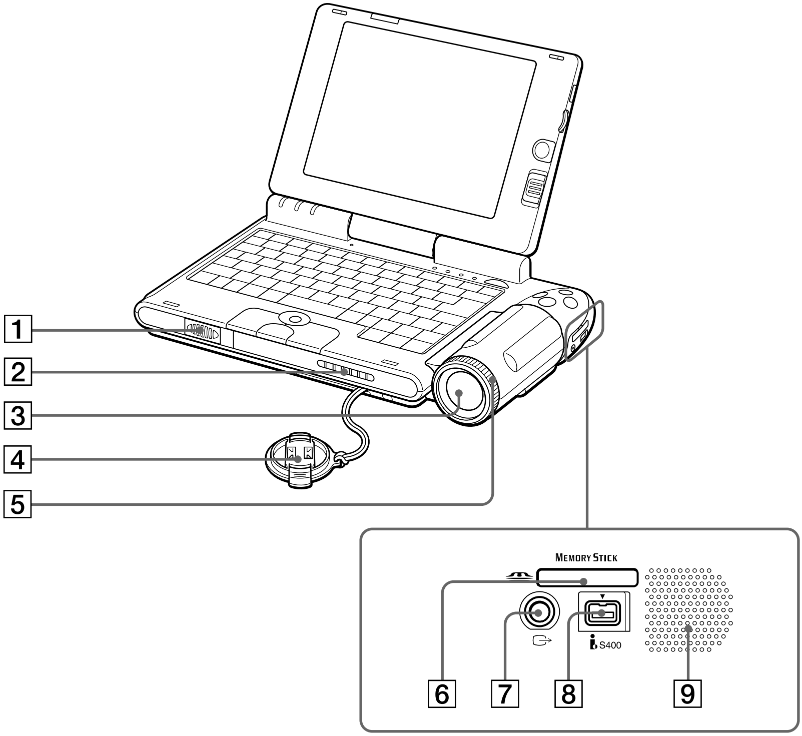
17 （Caps Lock）ランプ
（61ページ）

18 （Scroll Lock）ランプ

19 ⏻（パワー）ボタン
（33、333ページ）

次のページにつづく

本機右側面



1 **ディスプレイロックレバー**
（33、41、137ページ）

2 **通風孔**

3 **内蔵カメラ**（MOTION EYE）
（23、116、119、136、143、147、273、343ページ）

4 **レンズキャップ**（138ページ）

ご注意

撮影以外のときは、レンズキャップは取りはずさないでください。

5 **フォーカスリング**
（140、152ページ）

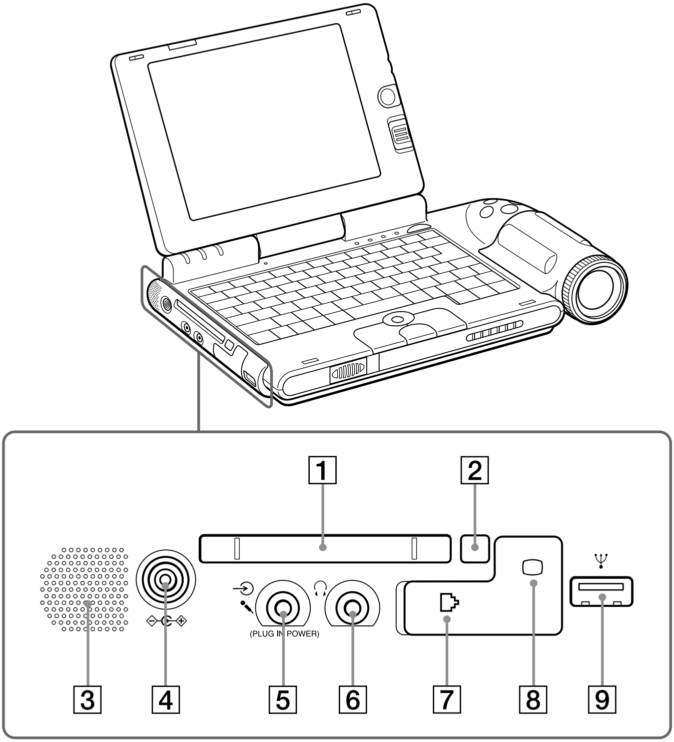
6 （メモリースティック）**スロット**（91、211ページ）

7 （AV OUT）**コネクタ**
（216ページ）

8 S400（i.LINK）**コネクタ**
（24、205、208ページ）

9 **内蔵スピーカー**
（64、69、281ページ）

本機左側面



1 PCカードスロット
（96、210、221ページ）

2 PCカードイジェクトボタン
（222ページ）

3 内蔵スピーカー
（64、69、281ページ）

4 (DC IN) コネクタ
（33、333ページ）

5 （マイク）／（ライン）入力コネクタ（129、219ページ）

6 （ヘッドホン）コネクタ
（217、218ページ）

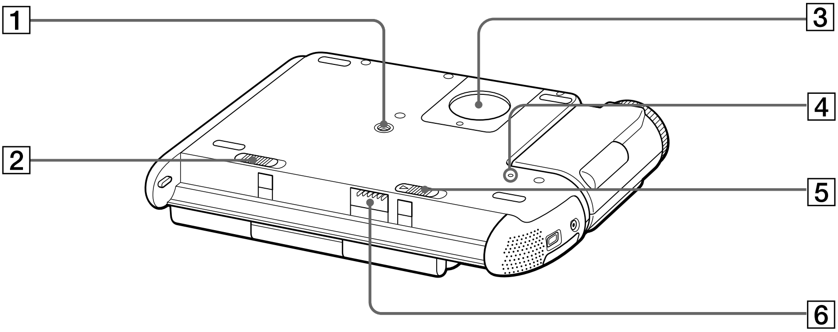
7 モジュラジャック
（165ページ）

8 （外部ディスプレイ）コネクタ
（214、217ページ）

9 (USB) コネクタ
（212、213ページ）

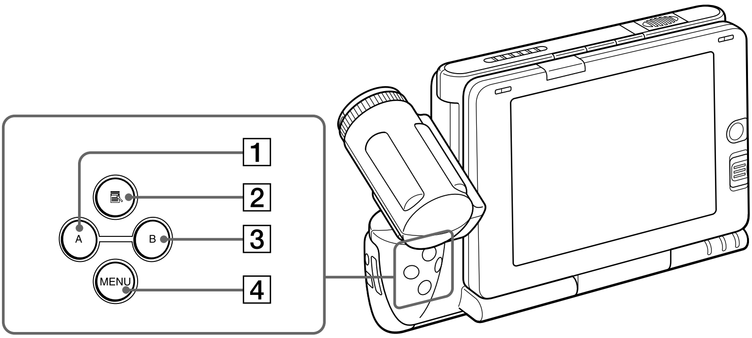
次のページにつづく

本機底面



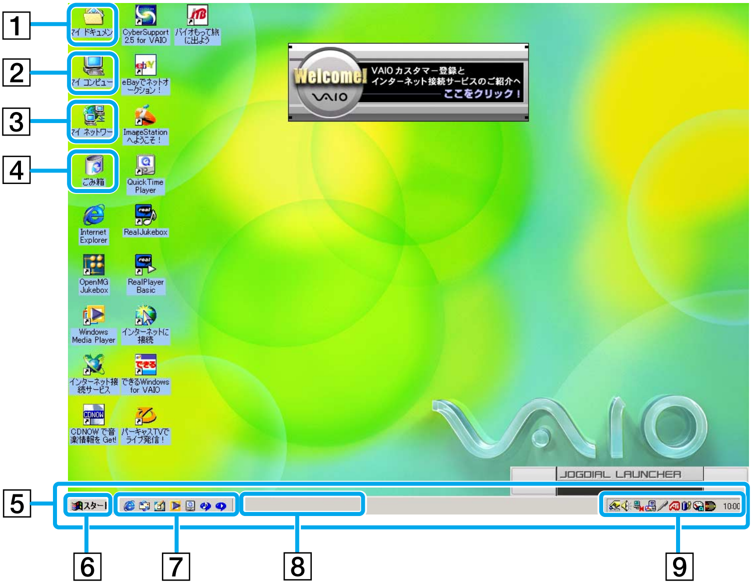
1 三脚用ネジ穴（139ページ）
2 取りはずしレバー（53ページ）
3 レンズキャップホルダー（138ページ）
4 リセットスイッチ（256、258ページ）
5 ロックレバー（32、52ページ）
6 バッテリコネクタ

カメラシューティングスタイル時



1 Aボタン（140、141ページ）
2 （アプリケーション）ボタン（140、141ページ）
3 Bボタン（140、141ページ）
4 MENUボタン（140、141、151ページ）

デスクトップ画面



1 マイ ドキュメント

本機に付属のさまざまなソフトウェアで作成した文書や画像などを保存しておく場所です。マイ ドキュメントは、マイ コンピュータの中にあるC:ドライブの中にあります。

2 マイ コンピュータ

本機に接続されている各種の記憶装置やシステムの設定のための機能が入っている場所です。ここからソフトウェアを起動したり、作成した文書や画像をコピーしたりできます。

3 マイ ネットワーク

コンピュータどうしをつなぐネットワークを利用している場合、他のコンピュータと通信するときに使います。

4 ごみ箱

いらなくなった文書や画像などを捨てる場所です。ごみ箱に捨てた文書や画像などは、ごみ箱を空にするまでごみ箱の中に残っています。

次のページにつづく

5 **タスクバー**

本機に付属のソフトウェアやコンピュータの設定をすばやく確認し、操作できるための機能をまとめた場所です。大きく4領域があり、それぞれ［スタート］ボタン、クイック起動バー、使用中のソフトウェアや文書などを表示しておく機能をもつ領域、Windows 2000に関連する機能を表示しておくタスクトレイに分かれます。

6 

［スタート］ボタン

ここをクリックすると、本機に付属のソフトウェアを起動したり、本機のさまざまな機能を使うためのメニューが表示されます。まずはここをクリックして始めてください。

7 **クイック起動バー**

ここに表示されているアイコンをクリックすると、登録されているソフトウェアが起動します。

8 **ウィンドウのボタン表示**

使用中のソフトウェアや文書などがここにボタンとして表示されます。デスクトップ画面上にソフトウェアや文書などが表示されていなくても、このボタンをクリックすると画面にそのソフトウェアや文書などが表示されます。

9 **タスクトレイ**

本機を起動したときに自動的に使えるようになったWindows 2000の機能がここに表示されます。

日本語入力システム（MS-IMEツールバー）や時計表示などがあります。

準備する

電源を入れる

以下の手順に従って、本機の電源を入れてください。

1 バッテリを取り付ける。

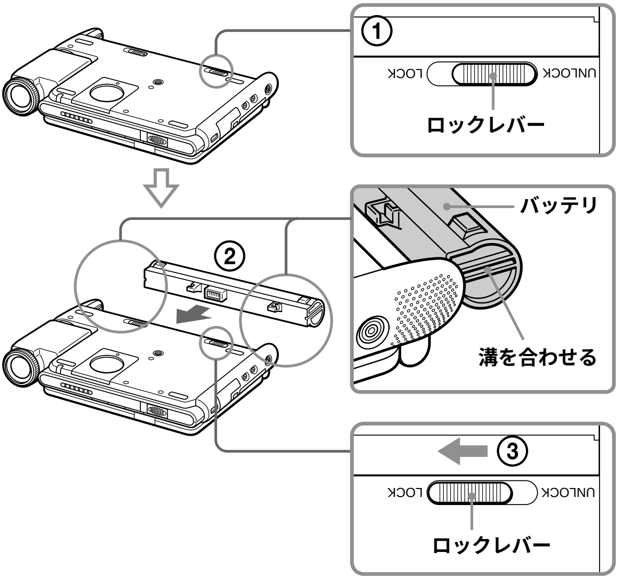
停電や誤ってACアダプタがはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリを取り付けます。バッテリについて詳しくは、「バッテリで使う」（50ページ）をご覧ください。

① 本機底面のロックレバーが外側（UNLOCK側）にあることを確認する。

② 本機後面とバッテリ両端の溝をあわせ、「カチッ」と音がするまでバッテリを差し込む。

③ ロックレバーを内側（LOCK側）にずらして、バッテリを固定する。

本機底面



ご注意

バッテリが正しく取り付けられていないと、バッテリがはずれ、作業中のデータが失われるおそれがあります。バッテリを取り付ける際は、本機底面のロックレバーを内側へずらしてしっかりと固定してください。

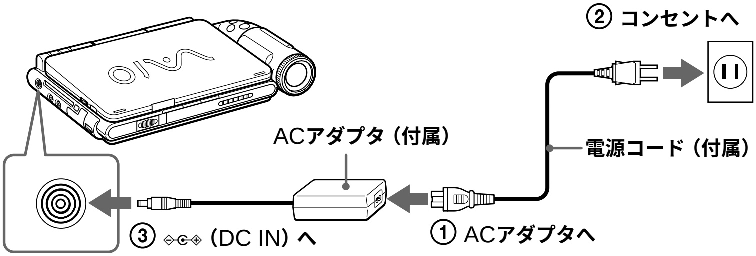
2 AC電源をつなぐ。

本機と壁のACコンセントを接続します。

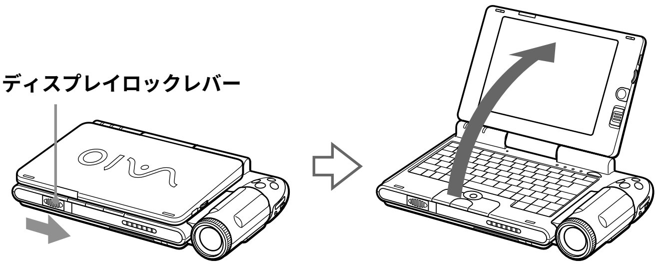
① 電源コードのプラグをACアダプタに差し込む。

② 電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。

③ ACアダプタのプラグを、本機左側面の ⊖⊙⊕（DC IN）に差し込む。

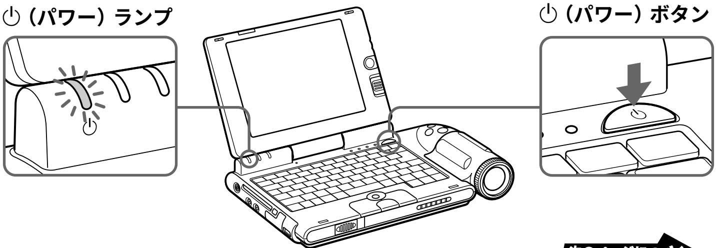


3 ディスプレイロックレバーをRELEASE側にずらして、ディスプレイパネルを開く。



4 ⏻（パワー）ボタンを押して、⏻（パワー）ランプが点灯（グリーン）したら離す。

電源が入ると、⏻（パワー）ランプが緑色に点灯し、Windows 2000のロゴの画面が表示され、本機が起動します。



次のページにつづく

本機の電源を初めて入れる場合は、Windows 2000のロゴの画面が表示され、しばらくして「Windows 2000 セットアップ ウィザードの開始」画面が表示されます。
「Windowsを準備する」（35ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。



ご注意

⏻（パワー）ボタンを4秒以上押し続けると、電源が切れてしまいます。
⏻（パワー）ランプが点灯したら指を離してください。

本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、工場出荷時の設定では、AC電源でご使用中に30分以上操作しないと、自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります（LCD/Videoスタンバイ*）。スティックに触れるかキーボードのいずれかのキーを押すと、元の状態に戻ります。
また、バッテリで長時間使用できるようにするため、工場出荷時の設定では、バッテリでご使用中に数分間以上操作をしないと自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります（LCD/Videoスタンバイ*またはスタンバイ*）。キーボードのいずれかのキーを押すと元の状態に戻ります。

* 詳しくは、「省電力動作モードについて」（238ページ）をご覧ください。

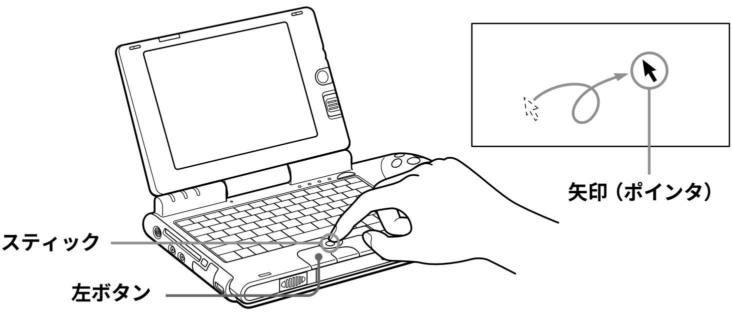
Windowsを準備する

本機を使う前に、Windows 2000を使うための準備が必要です。
Windows 2000が使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。以下の手順に従って、Windows 2000を使う準備をします。

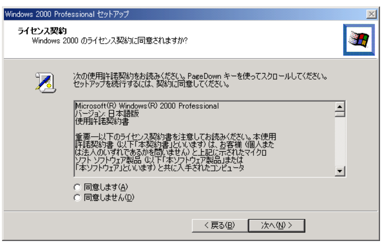
- 停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、以下の操作を行う前に付属のバッテリを本機に取り付けてください。
  取り付けかたについては「電源を入れる」の手順1（32ページ）をご覧ください。
- 「ポインティング・デバイスを使う」（56ページ）や「キーボードを使う」（59ページ）では、ポインティング・デバイスやキーボードの使いかたについて説明しています。そちらもあわせてご覧ください。

1 「Windows 2000セットアップ ウィザードの開始」画面が表示されたら（34ページ）、［次へ］をクリックする。

スティックを軽く指で押し、次へ(N) > の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。
これを「クリックする」と言います。

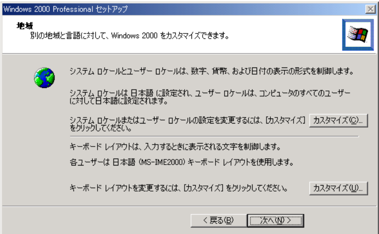


「ライセンス契約」画面が表示されます。



2 画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは［同意します］の ◯ をクリックして ◉ にし、［次へ］をクリックする。

「地域」画面が表示されます。



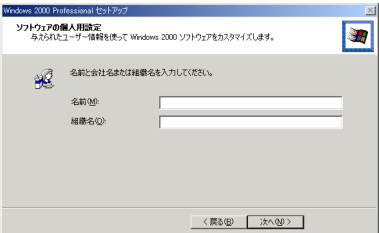
ご注意

［同意しません］の ◯ をクリックすると、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に入っているソフトウェアはお使いになれません。

3 ［次へ］をクリックする。

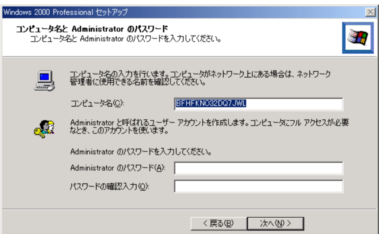
設定を変更したい場合は［カスタマイズ］をクリックして設定し直し、［次へ］をクリックしてください。

「ソフトウェアの個人用設定」画面が表示されます。



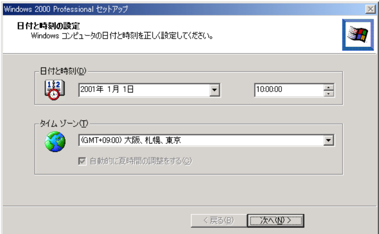
4 名前と、必要な場合は組織名を入力し、［次へ］をクリックする。

「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面が表示されます。



5 Administratorのパスワードを入力し、必要な場合はコンピュータ名を変更して、［次へ］をクリックする。

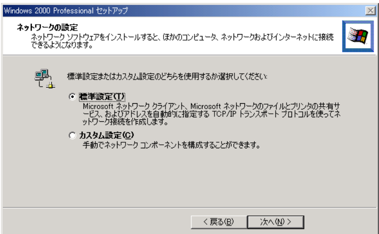
「日付と時刻の設定」画面が表示されます。



Administratorは、ハードウェアやソフトウェアの設定を変更できる管理者権限（Administrators）のある、あらかじめ用意されたユーザー名です。
セキュリティ確保のためにパスワードを設定しておくことをおすすめします。
また、パスワードは忘れないよう充分ご注意ください。

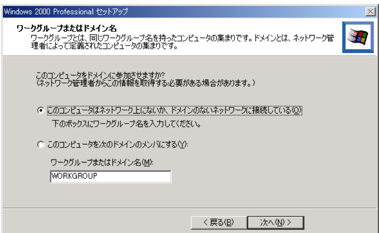
6 日付と時刻およびタイムゾーンを確認し、［次へ］をクリックする。

「ネットワークの設定」画面が表示されます。



7 ネットワークの設定方法を選び、［次へ］をクリックする。

「ワークグループまたはドメイン名」画面が表示されます。



次のページにつづく

8 ネットワーク環境に合わせて設定し、[次へ] をクリックする。

自動的に設定が行われ、「Windows 2000セットアップ ウィザードの完了」画面が表示されます。



9 [完了] をクリックする。

本機が自動的に再起動し、「ネットワーク識別ウィザード」が表示されます。

10 [次へ] をクリックする。

「このコンピュータのユーザー」画面が表示されます。

11 ログオン時のオプションを選択し、[次へ] をクリックする。

「ネットワーク識別ウィザードの終了」画面が表示されます。

「常に次のユーザーがこのコンピュータにログオンすると仮定する」を選択した場合、表示されるユーザー名は管理者権限（Administrators）のあるユーザーです。

セキュリティ確保のためにパスワードを設定しておくことをおすすめします。

また、パスワードは忘れないよう充分ご注意ください。

12 [完了] をクリックする。

これでWindows 2000が使えるようになりました。



ご注意

- 本機に付属のOS（Operating System）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- ハードディスクの内容を工場出荷時の状態に戻すには、下記のいずれかの専用ドライブが必要です。ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。
  – CD-ROMドライブPCGA-CD51 Series
  – CD-RWドライブPCGA-CDRW5_ Series
  – DVD-ROMドライブPCGA-DVD51 Series
  上記以外のドライブを使用しての本機の再セットアップの動作保証はいたしかねます。

電源を切る

以下の手順に従って、本機の電源を切ります。

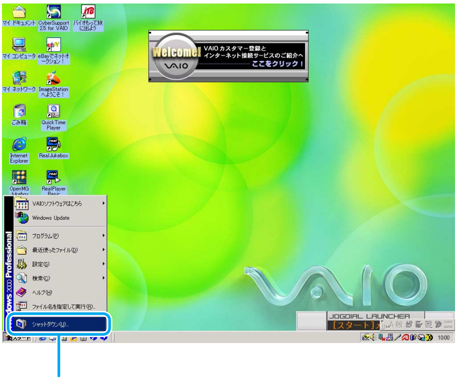
ご注意

必ず以下の手順に従って電源を切ってください。手順に従って電源を切らないと本機の故障の原因となったり、作成した文書などのファイルが使えなくなることがあります。

1 **［スタート］ボタンをクリックする。**

［スタート］メニューが表示されます。

2 **メニューの［シャットダウン］をクリックする。**



ここをクリックする

「Windowsのシャットダウン」画面が表示されます。

3 **▼ をクリックして、一覧の中から［シャットダウン］を選び、［OK］をクリックする。**



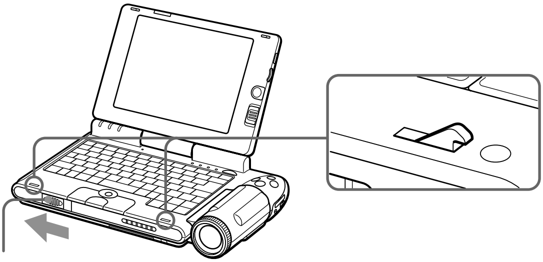
数秒後に本機の電源が自動的に切れ、⏻（パワー）ランプ（グリーン）が消灯します。

これで、本機を使う上で必要な準備と操作はひと通り終わりました。引き続きいろいろな操作をするためには、「基本的な使いかた（PCスタイル）」（50ページ）以降をご覧ください。

本機のMENUボタンを押して、システムメニューから「Windowsの終了」を選んでも、電源を切ることができます。

ディスプレイパネルを閉じるときは

ディスプレイロックレバーをLOCK側にずらしてツメを出してから、「カチッ」と音がするまで確実に閉じてください。



ディスプレイロックレバー

移動するときなどしばらく作業を中断するときや、翌日まで本機を使わないときなどは、休止状態を使うと便利です。
詳しくは、「バッテリの消費電力を節約する」(232ページ)、「省電力動作モードについて」(238ページ) をご覧ください。

再起動する

本機の設定を変更したり、ソフトウェアをインストールしたときなどは、本機を再起動する必要があります。

1 [スタート] ボタンをクリックする。
[スタート] メニューが表示されます。

2 メニューの [シャットダウン] をクリックする。
「Windows のシャットダウン」画面が表示されます。

3 ▼ をクリックして 一覧の中から「再起動」を選び、[OK] をクリックする。
数秒後に本機が再起動します。

カスタマー登録する

VAIOカスタマーご登録について

ソニーはVAIOをご所有のお客様へ必要な情報をお知らせし、充実したサポート・サービスをご提供するために、「VAIOカスタマーご登録」を行っていただくことをおすすめしています。ご登録のメリットについては、VAIOホームページ（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。
また、出荷時点で付属する保証書が提供する製品の保証期間はお買い上げ日から3か月です。
ご登録を行っていただくことで、VAIOカスタマー専用デスクから、お買い上げ日より1年間有効な保証書と「VAIOカスタマーID」を記したご登録証「VAIO Customer's Card」をお送りします（すでに「VAIO Customer's Card」をお持ちの方へはカードの送付は行われません）。
なお、保証について詳しくは「保証書とアフターサービス」（345ページ）をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ先

VAIOカスタマー専用デスク
電話番号：03-5977-7255

VAIOカスタマーご登録の方法

電話回線を通じて手軽にご登録が行えます。

- 付属の「VAIOカスタマー登録、保証書お申込書」にご記入の上、郵送いただくことでもご登録を行えます。
- 下記の場合を除き、ソニーがお客様の同意なく登録内容を外部へ開示することはありません。ただし、お客様個人を特定できない統計情報はこの限りではありません。
  ① お客様が、別途ご案内する「Upgrade Area」および「バイオネットワークサービス」を利用する場合には、これらのサービスの運営会社のソニースタイルドットコム・ジャパン株式会社もお客様の情報を利用いたします。

② VAIOカスタマーご登録制度の運営に必要な場合、ソニーは業務を委託する協力会社に開示することがあります。
（ソニーは、協力会社に対して、お客様の情報の厳重な管理と使用目的の遵守を徹底します。）

③ 法的義務を伴う要請を受けた場合、司法機関または行政機関に開示することがあります。

- VAIOカスタマーご登録は、本機の再セットアップをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などのご登録内容の変更を行うときは、VAIOホームページ内（http://www.vaio.sony.co.jp/）のページ上で、変更手続きが行えます。
また、[スタート] ボタンをクリックして [VAIOソフトウェアはこちら] にポインタを合わせ、[VAIOオンラインカスタマー登録] をクリックして変更手続きを行うこともできます。
- 12才までのお子さまは、保護者のかたと一緒に登録してください。

ご注意

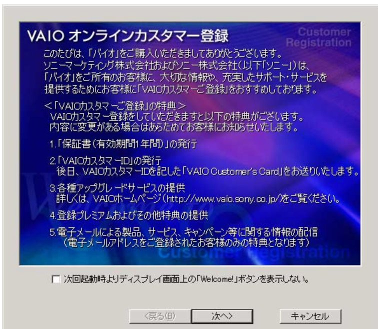
- オンラインカスタマーご登録は、管理者権限（Administrators）のユーザーのみ行うことができます。
- オンラインカスタマーご登録にご使用いただく電話回線は一般電話回線だけでなく、ISDN回線にも対応しています。ISDN回線をお使いになる場合は、ターミナルアダプタのデジタルポートと本機のUSBコネクタをつないでください。
ISDN回線やターミナルアダプタについて詳しくは、NTT（局番なしの116番）またはターミナルアダプタの製造元にお問い合わせください。

1 電話回線につなぐ。

「電話回線につなぐ」（164ページ）の手順に従ってつなぎます。

2 デスクトップ画面上の [Welcomeボタン！] をクリックする。

「VAIOオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。



次のページにつづく

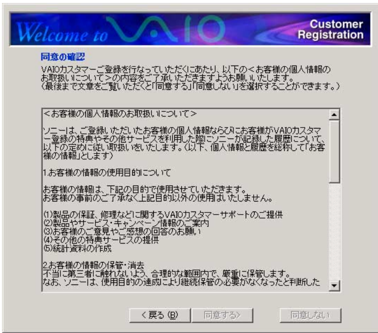
カスタマー登録をしない、または後でするときは、[キャンセル] をクリックして表示される画面で [終了] をクリックすると、「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。インターネットに接続する設定を行うときは、画面の指示に従って操作してください。インターネットを利用しない、または後で入会手続きを行う場合は、[キャンセル] をクリックします。
インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(155ページ) をご覧ください。

3 **[次へ] をクリックする。**

1つ前の画面を見たいときは、[戻る] をクリックします。

4 **[次へ] をクリックする。**

「同意の確認」画面が表示されます。



5 **スクロールバーの ▲ または ▼ をクリックして、画面に現れた内容をすべて読み、内容に同意するときは [同意する] をクリックする。**

「登録種別の選択」画面が表示されます。

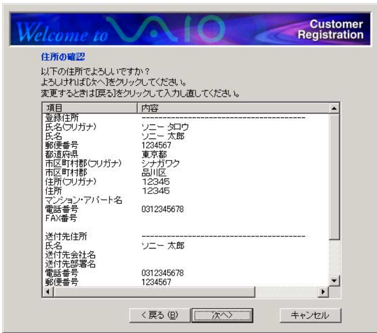
ご注意

[同意しない] をクリックすると、「ここでこのアプリケーションを終了すると登録が完了しません。」というメッセージが表示されます。[終了] をクリックすると、「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。

6 「新規」の ◯ をクリックして ◉ にし、[次へ] をクリックする。

「お客様氏名の入力」画面が表示されます。

画面の指示に従って操作して操作してください。入力が完了すると、「登録内容の確認」画面が表示されます。



- 本機を含めてVAIOをすでに2台以上お持ちの方など、すでにVAIOカスタマーIDをお持ちの方は、「機種追加」を選び、画面の指示に従って操作してください。
- すでにVAIOカスタマーご登録がお済みの方で、住所など、ご登録内容を変更したいときは、「更新」を選び、画面の指示に従って操作してください。
- 「本機を登録される方」で「法人」を選んだときは、法人用の情報を入力する画面が表示されます。画面の指示に従って情報を入力してください。
- 「パスワードリマインダー」画面の質問と答えは必ずしも入力する必要はありません。必要がない場合は、何も入力せずに [次へ] をクリックしてください。パスワードリマインダーは、VAIOカスタマーパスワードを忘れてしまったときに備え、あらかじめ設定しておいた質問と答えを使って、パスワードの初期化と再設定を行える便利な機能です。

7 ご登録いただく内容をご確認の上で、[次へ] をクリックする。

「接続方法の選択」画面が表示されます。

次のページにつづく

8 **「VAIOオンラインカスタマー登録専用回線」の ◯ をクリックして ◉ にし、［次へ］ をクリックする。**

「発信方式の設定」画面が表示されます。

ご注意

- 外線発信（0発信）はできません。
- 「インターネット経由」を選んでご登録いただく場合、接続料金はお客様の負担となります。
- ターミナルアダプタ、携帯電話、PHS など、お使いになる通信機器によっては、正しく接続できないことがあります。この場合は、本機のモジュラジャックと一般電話回線をつなぎ（164ページ）、通信を行ってください。

- ［次へ］をクリックすると、手順9に進む前に「接続デバイスの選択」画面が表示されることがあります。この場合は、通信に使う機器を選び、［次へ］をクリックしてください。
- 「インターネット経由」を選んで［次へ］をクリックしたときは、「インターネット経由の接続設定」画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。
  また、LAN の環境などによっては、「インターネット経由の接続設定」画面でプロキシの設定をする必要があります。プロキシの設定について詳しくは、職場のシステム管理者にお尋ねください。

9 **お使いの電話回線のダイヤル方法を選び、［次へ］をクリックする。**

「登録確認」画面が表示されます。

- 本機を一般電話回線につないでいるときのみトーン式／パルス式ダイヤルを選びます。
- トーン式ダイヤルとは
  電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしない電話機のダイヤル方法です。
- パルス式ダイヤルとは
  ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機のダイヤル方法です。
- お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、契約している電話会社へお問い合わせください。

10 **電話回線がつながっていることを確認し、[登録] をクリックする。**

登録内容が電話回線を通じて送られ、送信が終わると「ご登録の完了」画面が表示されます。

オンラインご登録時にお知らせする「VAIOカスタマーID 」と「VAIOカスタマーパスワード」は、正規の「VAIOカスタマーID」と「VAIOカスタマーパスワード」が届くまでの間ご使用いただく仮のIDとパスワードです。
正規のIDとパスワードは後日、ソニーより保証書（1年間保証書）とともに郵送でお知らせいたします。
なお、次の手順11、12の操作を行い、仮のIDとパスワードの情報をファイルとして保存しておくことをおすすめします。

ご注意

ターミナルアダプタ、携帯電話、PHS など、お使いになる通信機器によっては、正しく送信できないことがあります。この場合は、本機のモジュラジャックと一般電話回線をつなぎ（164ページ）、送信を行ってください。

11 **[ID、パスワードをファイルに保存] をクリックする。**

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

12 **ファイルに任意の名前を付け、[保存] をクリックする。**

お客様のカスタマーID とパスワードの情報がファイルとして「マイドキュメント」フォルダの中に保存されます。

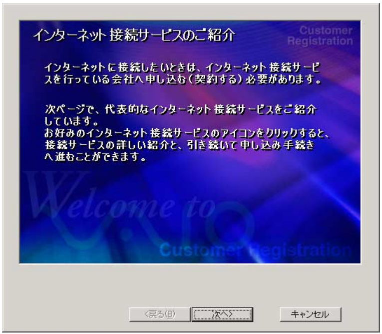
ご注意

保存されたデータを他人に見られたり、紛失しないようにご注意ください。

次のページにつづく

13 [OK] をクリックする。

「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。



- [OK] をクリックすると、サービス内容などをお知らせする画面が表示されることがあります。この場合は、[次へ] をクリックしてください。
  「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。
- VAIOカスタマーご登録が終わると、デスクトップ上に  が表示されます。
  このアイコンをダブルクリックすると、VAIOに関するサービス・サポート情報やVAIOホームページのご案内などのお知らせを見ることができます。

これでオンラインカスタマーご登録は終了です。引き続きインターネットに接続する設定を行うときは、画面の指示に従って操作してください。
インターネットを利用しない、または後で入会手続きを行う場合は、[キャンセル] をクリックします。
インターネットの接続に関して詳しくは、「インターネットを始める」(155ページ) をご覧ください。

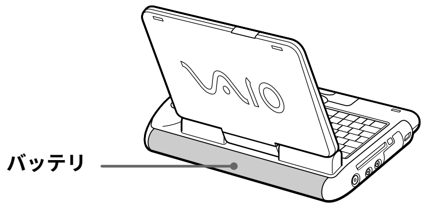
操作する（PCスタイル）

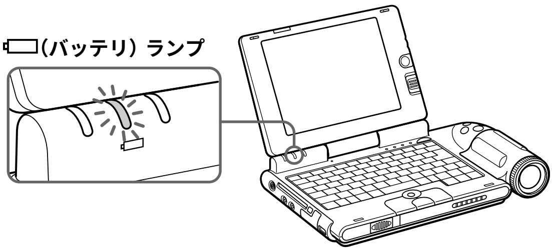
バッテリで使う

充電したバッテリを本機に装着していると、ACアダプタにつながなくても本機を使えます。別売りの大容量タイプのバッテリPCGA-BP52AまたはPCGA-BP54を取り付けることもできます。

ご注意

- 付属のバッテリは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリが消耗している状態になっていることがあります。
- スタンバイに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。
  なお、休止状態（236ページ）では、作業状態や作業中のデータをハードディスクに保存しますので、バッテリが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプタを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。
- 本機は、通常モード時にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるよう工場出荷時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。
  長時間席をはずされるときなどにバッテリが消耗した場合、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れて作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。
  バッテリでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。
- AC電源をつながない状態で、本機がスタンバイのときにバッテリを交換すると、保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから交換してください。





(バッテリ) ランプについて

本機の動作状態を示します。

点灯	バッテリ動作中
(パワー) ランプと一緒に点滅	バッテリの残量が少ない状態
2度連続点滅	バッテリ充電中
消灯	バッテリ切れ、またはAC電源で動作中

- 完全に充電したバッテリでの使用時間の目安は次の通りです。
  標準タイプ (PCGA-BP51A)　：約2～5時間*
  大容量タイプ (PCGA-BP52A)：約4～10時間*
  大容量タイプ (PCGA-BP54)　：約7～17時間*
  *「スーパースタミナ」プロファイル使用時
  ただし、「URecSight」など内蔵カメラ (MOTION EYE) を使うソフトウェアを使用すると、使用時間は短くなります。バッテリの使用時間について詳しくは、「バッテリ残量を確認する」(54ページ) をご覧ください。
- AC電源につないでいるときは、バッテリを装着しているときでも、AC電源から電源が供給されます。
- 付属の「PowerPanel」ソフトウェアを使って本機の動作モードを「スタミナ」プロファイルや「スーパースタミナ」プロファイルに変更することで、バッテリの使用時間をのばすことができます。詳しくは、「バッテリの消費電力を節約する」(232ページ) をご覧ください。
  工場出荷時の設定では、バッテリ使用時には「スタミナ」プロファイルになります。
- 付属の「PowerPanel」ソフトウェアを使って、バッテリの残量と放電予測時間を確認できます。詳しくは、「バッテリ残量を確認する」(54ページ) をご覧ください。

バッテリを取り付ける

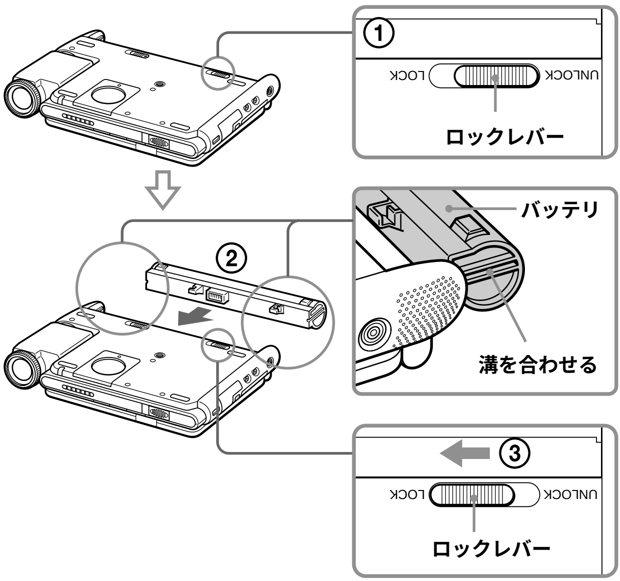
本機後面のバッテリ取り付け部にバッテリを取り付けます。
本機の液晶ディスプレイを閉じてから行ってください。

1 **本機底面のロックレバーが外側（UNLOCK側）にあることを確認する。**

2 **本機後面とバッテリ両端の溝をあわせ、「カチッ」と音がするまでバッテリを差し込む。**

3 **ロックレバーを内側（LOCK側）にずらして、バッテリを固定する。**

本機底面



ご注意

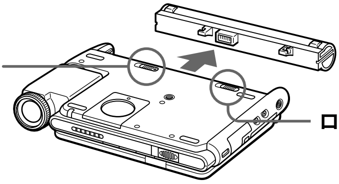
バッテリが正しく取り付けられていないと、バッテリがはずれ、作業中のデータが失われるおそれがあります。バッテリを取り付ける際は、本機底面のロックレバーを内側へずらしてしっかりと固定してください。

バッテリを取りはずすには

1 **本機の電源を切り、液晶ディスプレイを閉じる。**

2 **ロックレバーを外側（UNLOCK側）へずらす。**

3 **取りはずしレバーを外側（UNLOCK側）へずらして、バッテリを取りはずす。**



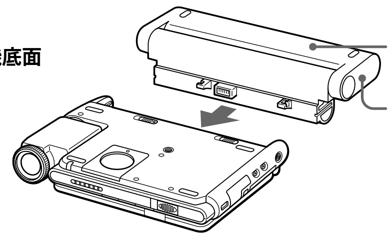
ご注意

- AC電源をつながない状態で、本機の電源を入れたままバッテリを取りはずすと、作業中のデータが失われます。
- AC電源をつながない状態で、本機がスタンバイ*のときにバッテリを取りはずすと、保存されていないデータは失われます。必ず、電源を切ってから取りはずしてください。

  * 詳しくは、「省電力動作モードについて」（238ページ）をご覧ください。

大容量のバッテリPCGA-BP54を取り付けるには

VAIOロゴのない面を上に向けて取り付けます。取り付けかたについて詳しくは、バッテリに付属の取扱説明書をご覧ください。



操作する（PCスタイル）

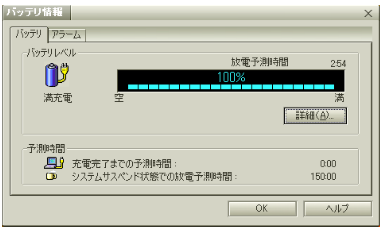
バッテリを充電する

本機をAC電源につないでいれば、本機を使っていてもバッテリは充電されます。充電中は、(バッテリ) ランプが2度連続で点滅します。
本機の電源が入っていないとき、付属の標準バッテリの残量が空の状態から充電されるまでに約1.5時間かかります（約85 %充電、使用状況による)。
バッテリが約85 %まで充電されると、(バッテリ) ランプは消灯します。約85 %まで充電されたバッテリは、約1時間後に完全に充電され、「バッテリの充電が完了しました」のメッセージが流れます。
本機の電源が入ってるときは、その使用状況によって充電時間が長くなる場合があります。

別売りのバッテリーチャージャーPCGA-BC5で充電することもできます。詳しくはPCGA-BC5の取扱説明書をご覧ください。

バッテリ残量を確認する

本機の電源を入れると、「PowerPanel」ソフトウェアが起動し、（バッテリアイコン）がデスクトップ画面右下のタスクトレイに表示されます。
タスクトレイの をダブルクリックすると、「バッテリ情報」画面が表示され、バッテリの放電予測時間や完全に充電されるまでの予測時間を確認できます。また、「バッテリ」タブ内の［詳細］をクリックするとバッテリの製品情報などを確認できます。



バッテリアイコンの見かた

バッテリアイコン	バッテリの状態
	放電中
	充電中
	満充電
	バッテリ未装着

バッテリ情報ツールバーを表示させるときは

1 **デスクトップ画面下のタスクバーにポインタを合わせ、右クリックする。**

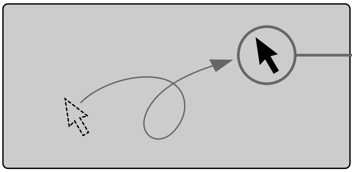
2 **ポップアップメニューから［ツールバー］を選び、［バッテリ情報］をクリックする。**

タスクバーにバッテリ情報ツールバーが表示されます。

- バッテリ情報ツールバーをデスクトップ画面右側に表示させたいときは、ツールバーをドラッグし、デスクトップ画面右へ移動してください。
- 「PowerPanel」の初期設定で用意されている警告表示や警告音を変更したりすることができます。
  詳しくは、「PowerPanel」のヘルプをご覧ください。

ポインティング・デバイスを使う

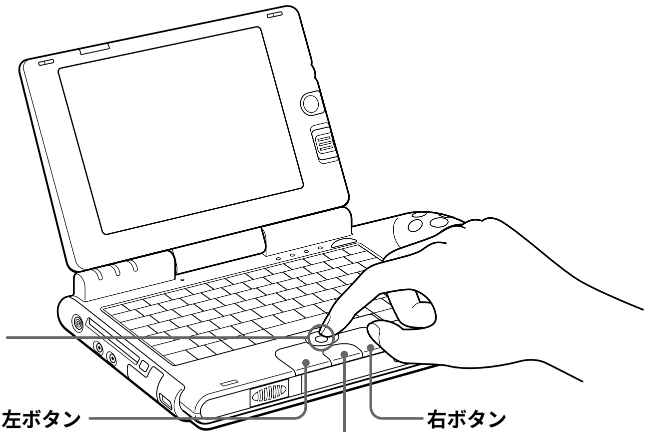
スティックを指で軽く押すと、画面上のポインタは押した方向に移動します。スティックを押す力（圧力）によって動く速度を調整できます。スティックを強く押すとポインタは速く動きます。



ご注意

ポインタが自然に動くことがまれにありますが、故障ではありません。しばらくスティックから指を離していればポインタは止まります。

ポインタを目的の位置まで動かして左ボタンまたは右ボタンを押すだけで、メニューを選んだり、さまざまな命令をコンピュータに伝えることができます。



スティックの設定を変更することができます。詳しくは、「ポインティング・デバイスの設定を変更する」（246ページ）をご覧ください。

クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、キーボードの手前にある左ボタンを1回押します。
[OK] や [キャンセル] などのボタンを押したり、メニューを選ぶときなどに使います。

ダブルクリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを2回続けて押します。
ワードプロセッサや表計算などのソフトウェアを実行したり、作成した文書などのファイルを開くときなどに使います。

ドラッグする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを押したまま、スティックを押し、希望の位置でボタンを離します。
ファイルを移動したり、ウィンドウの大きさを変更するときなどに使います。

ドラッグアンドドロップする

ファイルなどのアイコンをドラッグし、他のフォルダやウィンドウ、ソフトウェアのアイコンなどの上で左ボタンを離します。ファイルを移動したり、コピーするときに使います。

右クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、右ボタンを1回押します。
押したときのポインタの位置によって、さまざまな内容のポップアップメニューが表示されます。

スクロールする

センターボタンを押しながらスティックを指で押します。ソフトウェア上のスクロールバーを上下左右に移動できます。

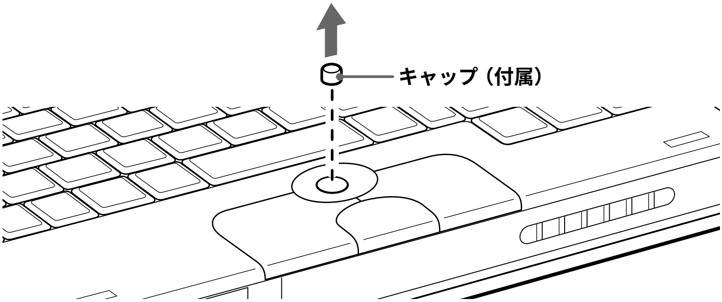
ご注意

スクロール機能を使うには、ソフトウェア側の対応が必要です。対応していないソフトウェアでは、この機能は使えません。

上記は工場出荷時の設定です。設定を変更したり、ポインティング・デバイスをより便利に使うには、「ポインティング・デバイスの設定を変更する」(246ページ) をご覧ください。

スティックのキャップを交換するには

スティックの先についているキャップは消耗品です。着脱式ですので、使いにくくなった場合は付属の予備キャップと交換することができます。



ご注意

キャップはしっかりとはめてください。正しく取り付けられていないと、ディスプレイパネルを閉じたときにキャップがぶつかり、液晶ディスプレイに傷がつくおそれがあります。

キーボードを使う

キーボードを使って文字や記号を入力したり、コンピュータへ命令を送ることができます。ここでは、主なキーのなまえと機能を紹介します。
使用するソフトウェアによって働きが異なるものもあります。各ソフトウェアのヘルプもあわせてご覧ください。
文字の入力のしかたについては、「文字を入力する」（76ページ）をご覧ください。

ご注意

- キートップがはずれてしまったら、元の位置に戻してカチッと音がするまで押し込んでください。Enterキーとスペースキーがはずれたときは、「困ったときは」の「キートップがはずれた」（272ページ）をご覧ください。
- キートップを故意にはずしたり、取り付けるときに無理に力を加えると故障や破損の原因となります。取り扱いにはご注意ください。



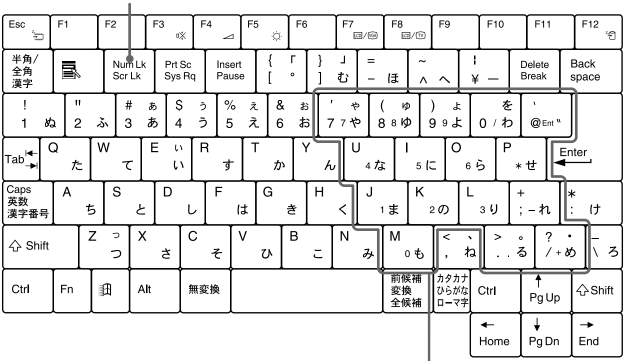
次のページにつづく

なまえ	機能
Esc（エスケープ）キー	設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。
ファンクションキー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。 Fnキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」（64ページ）をご覧ください。
Back Space （バックスペース）キー	カーソルの左側の文字を消します。
Delete（デリート）キー	カーソルの右側の文字を消します。
Shift（シフト）キー	文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。また、文字キーと他の機能キーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。
矢印キー	カーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示できます。
Alt（オルト）キー	文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。オルタネートキーともいいます。 使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
Windows （ウィンドウズ）キー	Windows 2000の［スタート］メニューが表示されます。 他のキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプおよび「Windowsキーとの組み合わせ」（63ページ）をご覧ください。
Fn（エフエヌ）キー	キーボード上で紫色で表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。 詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」（64ページ）をご覧ください。
Ctrl（コントロール）キー	文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。 例）Ctrlキーを押しながら、Sキーを押す。 メニューから「保存する」を選ばずに、ファイルを保存できます。

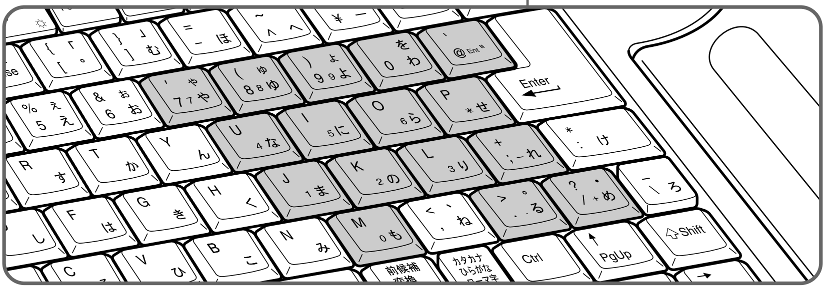
なまえ	機能
Caps Lock（キャプスロック）キー	Shift（シフト）キーを押しながらこのキーを押し、キーボード右上にある (Caps Lock) ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。もう1度、Shiftキーを押しながらこのキーを押すと、ランプが消え、アルファベットの小文字入力に戻ります。
Insert（インサート）キー	文字入力モードを切り替えます。文字を入力するとき、このキーを押すごとに、カーソルの位置に文字を挿入するか、カーソルの位置から文字を上書きするか切り替えることができます。
Prt Sc（プリントスクリーン）キー	表示されている画面全体をクリップボードに取り込みます。Altキーを押しながらこのキーを押すと、選択されているウィンドウだけを取り込みます。取り込んだ画像は「ペイント」などのソフトウェアで保存、加工、印刷できます。
Num Lk（ナムロック）キー	テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lkキーを押すと、キーボード右上にある (Num Lock) ランプが点灯します。もう1度、Num Lkキーを押すと消灯します。詳しくは、「Num Lkキーの機能」（62ページ）をご覧ください。
アプリケーションキー	ポインティング・デバイスの右ボタンを押したときと同じ働きをします。

Num Lkキーの機能

Num Lkキー



テンキー

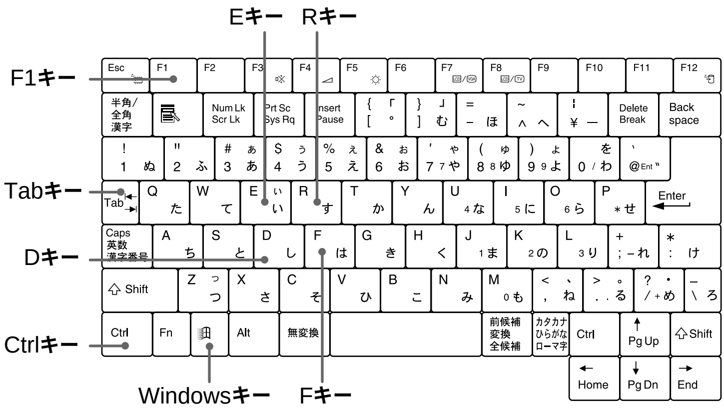


なまえ	機能
テンキー	Num Lkキーを押し、キーボード右上にある (Num Lock) ランプが点灯しているときにこれらのキーを押すと、キー上に黄色で表示されている数字を入力できます。 例) Uキーを押す。 「4」が入力されます。

キーボードショートカット

メニューを開かなくても、キーボードから各種コマンドを実行できます。

Windowsキーとの組み合わせ



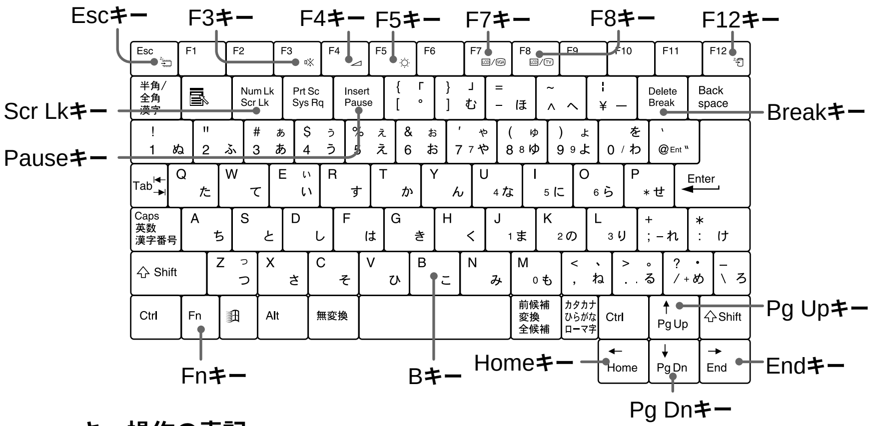
キー操作の表記

例： ⊞ +F ➡ Windowsキーを押しながらFキーを押す。

組み合わせ	機能
⊞ +F1	Windowsの「ヘルプとサポート」を表示します。
⊞ +E	エクスプローラ*を起動します。
⊞ +R	「ファイル名を指定して実行」を表示します。 ［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行...］を選んだときと同じです。
⊞ +D	表示されているすべてのウィンドウを最小化します。または元のサイズに戻します。
⊞ +F	ファイルとフォルダの検索画面を表示します。 ［スタート］メニューから［検索］の［ファイルやフォルダ...］を選んだときと同じです。
⊞ +Ctrl+F	コンピュータの検索画面を表示します。
⊞ +Tab	タスクバーに表示されているボタンの選択を切り替えます。

* コンピュータの内容（ファイルやフォルダ）をツリー図で表示します。作成したファイルなどがコンピュータのどこに保存されているか、一目で確認できます。

Fnキーとの組み合わせ



キー操作の表記

例：Fn + (Esc) ➡ Fnキーを押しながらEsc（エスケープ）キーを押す。

組み合わせ	機能
Fn+ (Esc)	現在の本機の状態をメインメモリに記憶させ、液晶ディスプレイとCPUの電源供給を停止して、使用電力を低減します（スタンバイ）。
Fn+ (F3)*	本機の内蔵スピーカーの音声を入／切します。
Fn+ (F4)*	本機の内蔵スピーカーの音量が調節できます。このコマンドを実行すると、数秒間だけ音量設定が表示されます。このときに↑または→キーを押すと大きくなり、←または↓キーを押すと小さくなります。
Fn+ (F5)*	液晶ディスプレイの明るさを調節できます。このコマンドを実行すると、数秒間だけ明るさ設定が表示されます。 このときに↑または→キーを押すと明るい画像になり、←または↓キーを押すと暗い画像になります。
Fn+LCD/VGA (F7)*	別売りのディスプレイアダプターPCGA-DA1Sを使って本機に接続した外部ディスプレイなどと、本機の液晶ディスプレイの表示を切り替えます。 液晶ディスプレイのみ→液晶ディスプレイと外部ディスプレイ同時表示→外部ディスプレイのみ→液晶ディスプレイのみ→…
Fn+LCD/TV (F8)*	本機に接続したテレビなどの外部モニタと、本機の液晶ディスプレイの表示を切り替えます。 液晶ディスプレイのみ→液晶ディスプレイと外部モニタの同時表示→外部モニタのみ→液晶ディスプレイのみ→…

組み合わせ	機能
Fn+ (F12)*	本機の液晶ディスプレイやCPUだけでなく、ほとんどの電源供給を停止します（休止状態）。使用環境はハードディスクに書き込まれるので復帰後もそのまま作業ができ、電源オフからの起動よりも早く本機を使用できます。
Fn+Break （ブレイク）キー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。 詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
Fn+Pg Up （ページアップ）キー	現在表示している画面の前のページを表示します。
Fn+End （エンド）キー	行の最後にカーソルを移動します。
Fn+Pg Dn （ページダウン）キー	現在表示している画面の次のページを表示します。
Fn+Home （ホーム）キー	行の先頭にカーソルを移動します。
Fn+B*	メガベース（低音増幅機能、ヘッドホン使用時のみ）のオン／オフを切り替えます。 詳しくは、「メガベースの設定を変更する」（225ページ）をご覧ください。
Fn+Pause （ポーズ）キー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。 詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
Fn+Scr Lk （スクロールロック）キー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。 詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

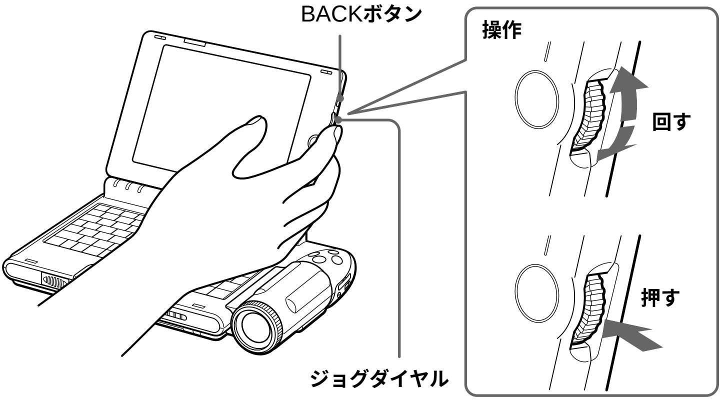
* ジョグダイヤルを使っても操作ができます。詳しくは、「「ジョグダイヤルランチャー」画面」（67ページ）をご覧ください。

ご注意

Windows起動後でないと作動しないものがあります。

ジョグダイヤルを使う

ジョグダイヤルは、回したり押したりするだけで、画面のスクロールや画面の中の項目の選択などさまざまな操作が簡単にできます。ここでは、ジョグダイヤルの使いかたやジョグダイヤルでできる操作について説明します。



デスクトップ画面上にはジョグダイヤルウィンドウが常に表示されています（工場出荷時の設定）。ジョグダイヤルウィンドウにはランチャー画面とガイド画面の2種類があります。それぞれの画面に対応してできる操作が異なります。

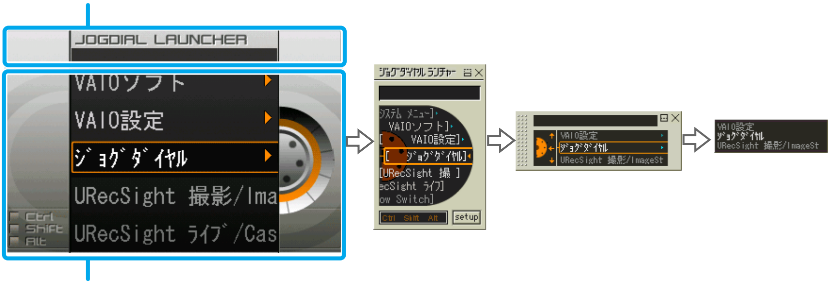
実際の使いかたについて詳しくは、以下のページをご覧ください。

- 「ジョグダイヤルランチャー」画面（67ページ）
- 「ジョグダイヤルガイド」画面（71ページ）

ジョグダイヤルウィンドウについて

- ジョグダイヤルウィンドウがバー表示のときにジョグダイヤルを操作すると、自動的にウィンドウサイズが大きくなります。

通常はこの部分のみ表示されます。（初期設定）



ジョグダイヤルを押したり、回したときにこの部分が表示されます。

工場出荷時の設定では、4秒経過するとバー表示に戻ります。
バー表示に戻るまでの時間を設定することもできます。詳しくは、「ジョグダイヤルの設定をする」（100ページ）をご覧ください。

- BACKボタンを押すと、一つ前に選んでいた内容を表示することができます。
- ジョグダイヤルウィンドウ上で右クリックして、［ジョグダイヤルウィンドウの非表示］をクリックしたり、ジョグダイヤルウィンドウ右上の × をクリックすると、ウィンドウが閉じます。
  再び表示させたい場合は、ジョグダイヤルを操作するか、デスクトップ画面右下のタスクトレイにある または をダブルクリックしてください。

「ジョグダイヤルランチャー」画面

ジョグダイヤルウィンドウがアクティブ状態（他のウィンドウが選択されていない状態）になっている場合は、「ジョグダイヤルランチャー」画面が表示されます。
操作項目について詳しくは、「ジョグダイヤルランチャーの操作」（68ページ）をご覧ください。

ジョグダイヤルランチャー画面



矢印が表示されている場合、ジョグダイヤルを押すと、一つ下の階層が表示されます。

次のページにつづく

ジョグダイヤルを回して、操作したい項目を選び、ジョグダイヤルを押すと、「ジョグダイヤルガイド」画面に変わります。表示される項目に従って、ジョグダイヤルを回したり押すことで操作できます。

［輝度調整］を選択したときの「ジョグダイヤルガイド」画面



別の操作を実行したい場合などは、ジョグダイヤルウィンドウを「ジョグダイヤルランチャー」画面に戻してからやり直してください。「ジョグダイヤルガイド」画面になっているときは、ジョグダイヤルウィンドウまたはデスクトップ上をクリックするかBACKボタンを押すと、「ジョグダイヤルランチャー」画面に戻ります。

「VAIO Action Setup」ソフトウェアを使ってジョグダイヤルでできる操作を新たに割り当てたり、削除することができます。詳しくは、「ジョグダイヤルにソフトウェアを登録する」（97ページ）をご覧ください。

ジョグダイヤルランチャーの操作

ジョグダイヤルランチャーには、あらかじめ以下の項目が設定されています。

❑ VAIOソフト

「Smart Capture」や「MovieShaker」などのソニー製ソフトウェアが起動します。

❑ VAIO設定

外部モニター設定	ジョグダイヤルを押すと、別売りのディスプレイアダプターPCGA-DA1Sを使って接続した外部ディスプレイなどと、本機の液晶ディスプレイの表示を切り替えることができます。 液晶ディスプレイのみ→液晶ディスプレイと外部ディスプレイ同時表示→外部ディスプレイのみ→液晶ディスプレイのみ→...

輝度調整	ジョグダイヤルを回して本機の液晶ディスプレイの明るさを調節することができます。ジョグダイヤルを押すと、調節した明るさに設定されます。
消音設定	ジョグダイヤルを押すと、本機の内蔵スピーカーの音量を消すことができます。
TV出力設定	ジョグダイヤルを押すと、AV OUTコネクタに接続したテレビなどの外部モニタと、本機の液晶ディスプレイの表示を切り替えることができます。 液晶ディスプレイのみ→液晶ディスプレイと外部モニタの同時表示→外部モニタのみ→液晶ディスプレイのみ→...
音量設定	ジョグダイヤルを回して本機の内蔵スピーカーの音量を調節することができます。ジョグダイヤルを押すと、調節した音量に設定されます。
録音設定	ジョグダイヤルを回して本機の録音音量を調節することができます。ジョグダイヤルを押すと、調節した音量に設定されます。
カメラ設定	ジョグダイヤルを操作して、内蔵カメラ（MOTION EYE）の画質やモードの設定ができます。
メガベース設定	メガベース（低音増幅機能、ヘッドホン使用時のみ）のオン／オフを切り替えることができます。
Sony Notebook Setup	「Sony Notebook Setup」ソフトウェアが起動して、本機起動時の設定を変更したり、ポインティング・デバイスの詳細設定などをすることができます。

❑ Window Switcher

ジョグダイヤルを使って、アクティブ状態のウィンドウを変更できます。

❑ **電源管理（PowerPanel）**

「PowerPanel」ソフトウェアを使って本機の動作モードを変更したり（232ページ）、バッテリの残量などを確認できます（54ページ）。

❑ **インターネット**

ジョグダイヤルを押すと、Microsoft® Internet Explorerが起動します。

❑ **フォルダブラウザ**

ジョグダイヤルを使って、フォルダの中を閲覧（ブラウジング）することができます。

次のページにつづく

❑ **［スタート］メニュー**

ジョグダイヤルを使って、［スタート］メニューの表示や［スタート］メニュー内の項目の選択／実行ができます。

❑ **ジョグダイヤル**

ジョグダイヤルに特化したユーティリティを使用できます。

- 設定（VAIO Action Setup）
  「VAIO Action Setup」ソフトウェアが起動して、ジョグダイヤルでできる操作の設定を行ったりすることができます。
- 壁紙チェンジャー
  ジョグダイヤルを使って壁紙を変更できます。
- ジョグダイヤルスクリーンセーバー
  ジョグダイヤルを使って、パスワードを設定してスクリーンセーバーにロックをかけたり、解除したりできます。（102ページ）
- ダイヤルアップツール
  ジョグダイヤルを使って、ダイヤルアップ先を選択し、接続することができます。

❑ URecSight **撮影**/ImageStation

「URecSight 」ソフトウェア*をImageStation モードで起動します。

❑ URecSight **ライブ**/CastaDrive

「URecSight 」ソフトウェア*をCastaDrive モードで起動します。

❑ CyberSupport for VAIO

「CyberSupport」ソフトウェアが起動します。

使いかたについて詳しくは、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

❑ Eudora

ジョグダイヤルを押すと、「Eudora」ソフトウェアが起動します。

「Eudora」でよく使う機能をジョグダイヤルで操作することもできます。

*「URecSight」ソフトウェアについて詳しくは、「操作編（カメラシューティングスタイル）」（135ページ）および「URecSight」のヘルプをご覧ください。
ヘルプを見るには、「URecSight」を起動している状態で（アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［ヘルプ］を選んでからジョグダイヤルを押します。または、［スタート］ボタンをクリックして、［プログラム］にポインタを合わせ、［URecSight］から［URecSight オンラインヘルプ］を選んでクリックしても、ヘルプを見ることができます。

「ジョグダイヤルガイド」画面

起動中のソフトウェアがある場合は、「ジョグダイヤルガイド」画面が表示されます。ウィンドウサイズの変更やスクロールなど、使用中のソフトウェアによってジョグダイヤルでできる操作が異なります。

ジョグダイヤルガイド画面



ソニー製ソフトウェアの操作

各ソフトウェアに割り当てられた操作がジョグダイヤルでできます。
ジョグダイヤルに対応していないウィンドウがアクティブ状態の場合は、以下の操作はできません。
ジョグダイヤルに対応していないソフトウェアの操作については、「ジョグダイヤル非対応のソフトウェアの操作」（74ページ）をご覧ください。

ソフトウェア	操作と機能
CyberCode Finder	CyberCode Finder**ウィンドウ** Shiftキーを押しながらジョグダイヤルを操作することにより、簡易メニューと詳細メニューの切り替えができます。 • 簡易メニュー：CyberCode認識モード（通常認識、マルチサーチおよびピックアップ）を選択できます。 • 詳細メニュー：「CyberCode Finder」の基本機能を階層メニューから操作できます。 詳しくは「CyberCode Finder」のヘルプをご覧ください。

次のページにつづく

ソフトウェア	操作と機能
DVgate	再生や停止など、接続しているDV機器の操作ができます（DVgate Motion/DVgate Still）。 ジョグダイヤルを回して、目的の操作項目を選び、ジョグダイヤルを押してください。リスト項目が表示されている場合は、ジョグダイヤルを回してリスト項目を選ぶこともできます。 詳しくは「DVgate」のヘルプの「その他」–「ジョグダイヤルを使う」をご覧ください。
Navin' You	フルスクリーンガイドモード時にジョグダイヤルを回すとNAVIメニューが表示されます。 ジョグダイヤルを回してルートガイド時の基本操作項目を選び、ジョグダイヤルを押して確定します。
OpenMG Jukebox	ジョグダイヤルを回すと、トラックを選択できます。ジョグダイヤルを押すと、再生／一時停止ができます。
PictureGear	PictureGear起動時に、PictureGearのどの領域をジョグダイヤルで操作するのかを、ジョグダイヤルウィンドウ内に表示されたリストの中から、ジョグダイヤルを回して選びます。 選択した操作領域によって、ジョグダイヤルの機能が変化します。 •「ツリービュー」選択時 ジョグダイヤルを回すと、フォルダ一覧に表示されているフォルダを選択できます。ジョグダイヤルを押すと、選択されているフォルダの開閉ができます。 •「表示エリア」選択時 ジョグダイヤルを回すと、表示エリアのスライド上でカーソルが移動します。ジョグダイヤルを押すと、スライドの選択（解除）ができます。 上記のほかにも、メニューやナビゲータの操作ができます。また、ShiftキーやCtrlキーを押しながらジョグダイヤルを操作すると、ジョグダイヤルの機能が変化します。 詳しくは、「PictureGear」のヘルプの「ジョグダイヤルの使いかた」をご覧ください。

ソフトウェア	操作と機能
Smart Capture	Smart Capture **ウィンドウ** Shiftキーを押しながらジョグダイヤルを操作することにより、簡易モードと詳細モードの切り替えができます。 • 簡易モード：キャプチャモード（スチルモード、長時間モード、またはネットムービーモード）を選択できます。 • 詳細モード：「Smart Capture」の基本機能を階層メニューから操作できます。詳しくは、「Smart Capture」の｛ヘルプ｝をご覧ください。 Still Viewer **ウィンドウ** 表示される静止画像を選択できます。ジョグダイヤルを回すと、その前後の静止画が表示されます。 Movie Player **ウィンドウ** 停止時 表示される動画像を選択できます。ジョグダイヤルを回すと、その前後の動画が表示されます。 ジョグダイヤルを押すと、現在表示されている動画の再生／一時停止の切り替えができます。 再生／一時停止時 表示される動画像のフレームを選択できます。ジョグダイヤルを回すと、その前後のフレームが一時停止状態で表示されます。ジョグダイヤルを押すと、現在表示されているフレームの位置からの動画再生が始まります。

次のページにつづく

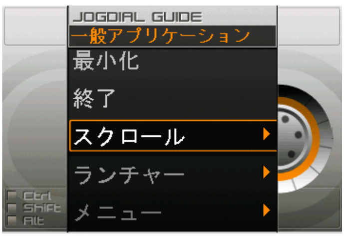
ソフトウェア	操作と機能
VAIO Action Setup	ジョグダイヤルを操作することで、イベント設定をメニューから切り替え／選択できます。 **タブ移動** ジョグダイヤルを回すと、画面上の選択項目を移動できます。ジョグダイヤルを押すと選択項目を実行できます。メニューに戻るには、BACKボタンを押すか、ジョグダイヤルを長く押してください。
VisualFlow	ジョグダイヤルを操作することでコンテンツを選択できます。ジョグダイヤルを回してコンテンツを選び、ジョグダイヤルを押すとそのコンテンツを拡大表示、または再生できます。拡大表示の際にジョグダイヤルを操作すると、起動するソフトウェアを選択できます。起動するソフトウェアを選択してジョグダイヤルを押すと、選んだソフトウェアが起動します。ソフトウェアが選択されていないときにジョグダイヤルを押すと、元の表示サイズに戻ります。 詳しくは、「VisualFlow」のヘルプをご覧ください。

ジョグダイヤル非対応のソフトウェアの操作

使用中のソフトウェアやプログラムがジョグダイヤルに対応していない場合は、ウィンドウのサイズを変更したり、ウィンドウの中の項目を選択することができます。

一般アプリケーション

[最大化]、[最小化]、[終了]、[スクロール]、[ジョグダイヤルランチャー]、[メニュー] から選ぶことができます。



項目	操作と機能
最大化*	ジョグダイヤルを押すと、アクティブ状態のウィンドウが最大化します。もう1度押すと、元の大きさに戻ります。
最小化*	ジョグダイヤルを押すと、アクティブ状態のウィンドウが最小化します。もう1度押すと、元の大きさに戻ります。
終了*	ジョグダイヤルを押すと、アクティブ状態のソフトウェアやプログラムを終了します。
スクロール*	ジョグダイヤルを押してから上下に回すと、アクティブ状態のウィンドウがスクロールします。
ジョグダイヤルランチャー	「ジョグダイヤルランチャー」画面が表示されます。
メニュー*	ジョグダイヤルを押すと、メニューが表示されます。ジョグダイヤルを上下に回してから押すと、メニューの中の項目を選ぶことができます。

* ソフトウェアやプログラムによって、選択できない場合があります。

ダイアログ

「画面のプロパティ」などのウィンドウがアクティブ状態の場合は、「ダイアログ」が表示され、ジョグダイヤルを回して、タブやウィンドウの中の項目を選択したり、押すことによりEnterキーを押したときと同じ操作を行うことができます。

また、BACKボタンを押すことにより、Escキーを押したときと同じ操作を行うことができます。

ダイアログ画面



[スタート] メニュー

[スタート] メニューが表示されているときに、ジョグダイヤルを使って [スタート] メニュー内の項目を選択、実行できます。

また、BACKボタンを押すことにより、ひとつ前の階層に戻ります。

文字を入力する

ここでは、文字の入力のしかたについて説明します。文字を入力するにはキーボードを使います。本機に付属している、「ワードパッド」という文章を作成するためのソフトウェアを使って、文字入力を練習してみましょう。
キーボード上の各キーのなまえと働きについて詳しくは、「キーボードを使う」（59ページ）をご覧ください。

日本語入力の前に

ここでは、「ワードパッド」ソフトウェアを起動して、日本語を入力できるようにするまでの手順を説明します。

1 「ワードパッド」を起動する

まず、「ワードパッド」を起動します。

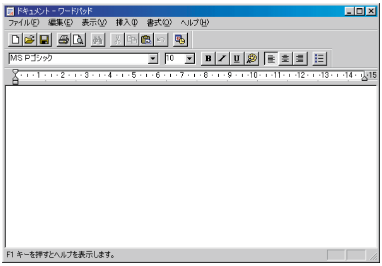
1 ［スタート］ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。



2 ［プログラム］にポインタを合わせ、［アクセサリ］から［ワードパッド］をクリックする。

「ワードパッド」が起動し、文字を入力する画面が表示されます。



2 日本語入力を選ぶ

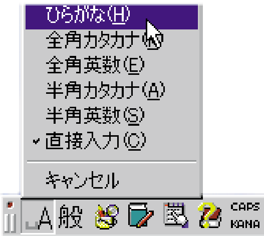
キーボード上の各キーにはアルファベットやひらがなが印刷されていますが、ただキーを押しても、漢字やカタカナは入力できません。
日本語を入力するためには、画面に表示されているMS-IMEのツールバーを使って、入力文字を切り替える必要があります。



MS-IMEツールバー

1 MS-IMEツールバーの［␣A］をクリックする。

文字入力選択メニューが表示されます。



2 ［ひらがな］をクリックする。

画面上に表示されているツールバーの表示が［␣A］から［あ］に変わり、日本語を入力できるようになります。



［␣A］から［あ］に変わる。

ツールバーが表示されていないときは

デスクトップ画面右下のタスクトレイにある をクリックして、「ツールバーを表示」をクリックします。

ツールバーについて詳しくは、MS-IMEのヘルプをご覧ください。

入力のしかたを選ぶ

日本語を入力する方法として、ローマ字入力方式とかな入力方式があります。お好みにあわせて、入力方法を選んでください。

なお、お買い上げ時は、ローマ字入力に設定されています。

ローマ字入力

キーボード上のアルファベットを組み合わせて、ローマ字で日本語を入力する方法です。1文字を入力するために2つのキーを組み合わせるので、操作が多少めんどうですが、英文タイプライターに慣れているかたはこちらが便利です。

かな入力

キーボード上の各キーに印刷されているひらがなを使って、日本語を入力する方法です。1文字につき1つのキーを押せばよいので操作は楽ですが、50音それぞれのキーの配置を覚える必要があります。

かな入力とローマ字入力を切り替える

MS-IMEツールバーの［KANA］をクリックするか、Ctrlキーを押しながら英数キーを押す。

ローマ字入力とかな入力とが切り替わります。

かな入力



KANAの文字が押された状態

［KANA］をクリックするか、Ctrlキーを押しながら英数キーを押す。

ローマ字入力



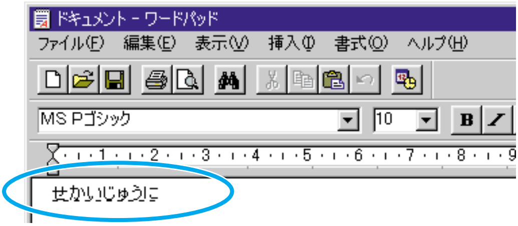
KANAの文字が押されていない状態

文字入力を練習する

ここでは、具体的な文字の入力のしかたを説明します。
例として、「世界中にひろがったVAIOノート」という言葉を入力してみます。

1 漢字を入力する

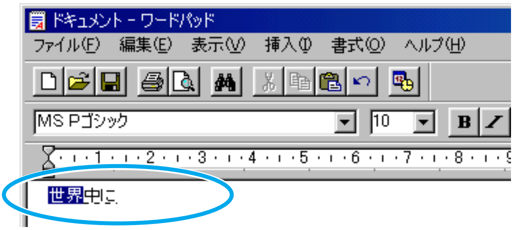
1 「世界中に」の読みを入力する。



- **ローマ字入力の場合**
  S、E、K、A、I、J、U、U、N、Iの順にキーを押します。
- **かな入力の場合**
  せ、か、い、し、゛（濁点）、ゅ（Shiftキーを押しながら「ゆ」を押します）、う、に、の順にキーを押します。

キーを押すごとに、カーソルが文字の入力位置に動きます。

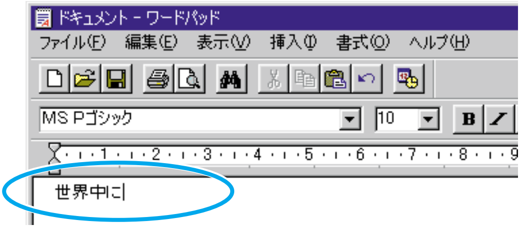
2 スペースキーを押す。



入力した読みに当てはまる漢字が表示されます。
間違った漢字が表示されたときは、正しい漢字が表示されるまで、何回かスペースキーを押します。

次のページにつづく

3 Enter**キーを押す。**



変換が確定します。

間違って入力したときは

次のキーを使って修正します。

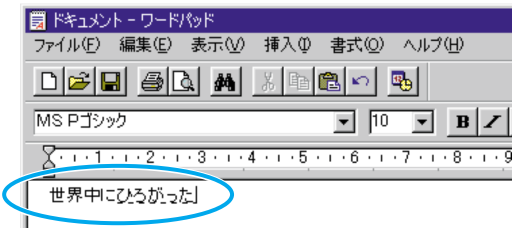
Backspace**キー**：カーソルの直前の1字を消し、カーソルの位置が戻ります。

Delete**キー**：カーソルのある位置の1字を消します。

Esc**キー**：確定していない文字をすべて消去します。

2 ひらがなを入力する

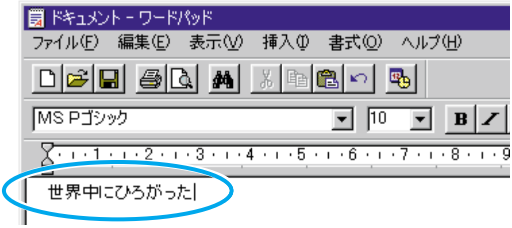
1 「ひろがった」の読みを入力する。



- **ローマ字入力の場合**
  H、I、R、O、G、A、T、T、Aの順にキーを押します。
- **かな入力の場合**
  ひ、ろ、か、゛（濁点）、っ（Shiftキーを押しながら「つ」を押します）、た、の順にキーを押します。

キーを押すごとに、カーソルが文字の入力位置に動きます。

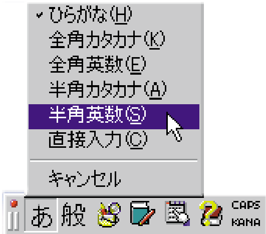
2 Enterキーを押す。



変換する必要がないので、スペースキーを押す必要はありません。

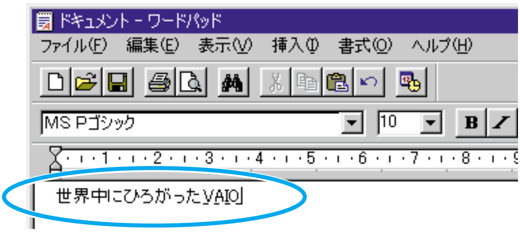
3 英字を入力する

1 MS-IMEのツールバーの［あ］をクリックして、［半角英数］を選ぶ。



ツールバーの表示が［␣A］になり、アルファベットが入力できる状態になります。

2 Shiftキーを押しながら、V、A、I、Oの順にキーを押す。



3 Enterキーを押す。

アルファベットの小文字や数字を入力するときは、Shiftキーを押す必要はありません。

次のページにつづく

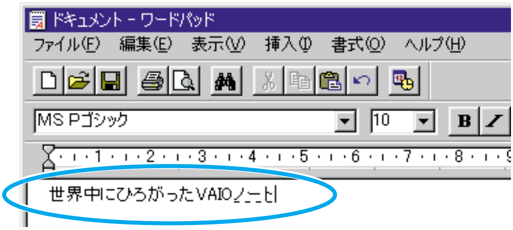
4 カタカナを入力する

1 **MS-IMEのツールバーの［␣A］をクリックして、［全角カタカナ］を選ぶ。**



ツールバーの表示が［カ］になり、カタカナが入力できる状態になります。

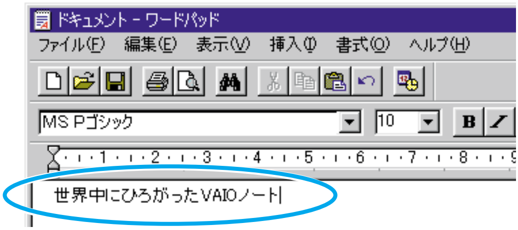
2 **「ノート」の読みを入力する。**



- **ローマ字入力の場合**
  N、O、-（長音、［ほ］キー）、T、Oの順にキーを押します。
- **かな入力の場合**
  の、ー（長音、［¥］キー）、と、の順にキーを押します。

キーを押すごとに、カーソルが文字の入力位置に動きます。

3 Enterキーを押す。



変換する必要がないので、スペースキーを押す必要はありません。

これで「世界中にひろがったVAIOノート」と入力できました。

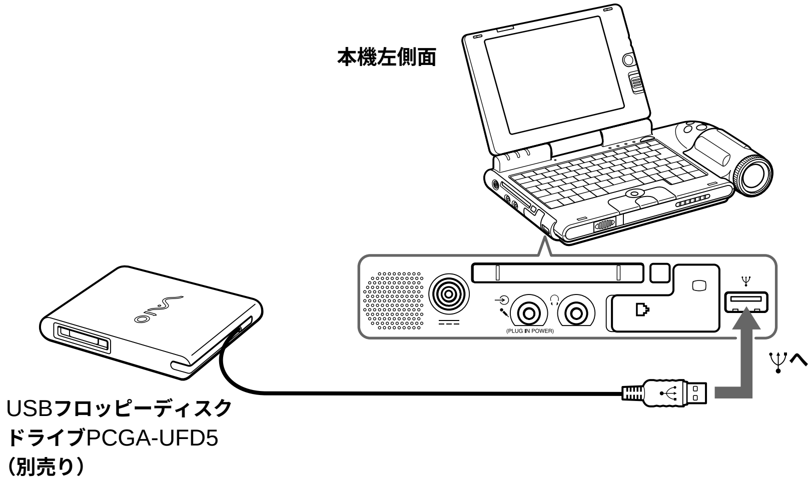
キーボード上にない文字や記号の入力のしかたや、漢字に変換する文節の位置の調節のしかたなどについて詳しくは、MS-IMEのヘルプをご覧ください。

フロッピーディスクを使う

本機には、本機専用のUSBフロッピーディスクドライブ PCGA-UFD5（別売り）をつなぐことができます。
USBフロッピーディスクドライブは、本機の電源を入れたままで取り付け／取りはずすことができます。
ただし取りはずす際は、「フロッピーディスクドライブを取りはずすには」（85ページ）の手順に従って操作してください。

フロッピーディスクドライブを取り付ける

別売りのUSBフロッピーディスクドライブを本機の Ψ（USB）コネクタに接続します。



接続すると、USBフロッピーディスクドライブは自動的に認識されます。

フロッピーディスクドライブを取りはずすには

ご注意

- 本機の電源が入っているときにUSBフロッピーディスクドライブを取りはずすときは、必ず以下の手順に従ってください。誤った取りはずしかたをすると、システムが正常に動作しない可能性があります。本機の電源が切れているときは、手順1～4の操作は不要です。
- USBフロッピーディスクドライブのアクセスランプ（86ページ）が点滅していないことを確認してから、取りはずしてください。

1 **デスクトップ画面右下のタスクトレイにある**  **をダブルクリックする。**

2 **リストから［**Y-E Data USB Floppy**］をクリックし、［停止］をクリックする。**

3 **確認画面が表示されたらデバイスを確認し、［**OK**］をクリックする。**

4 **［**'Y-E Data USB Floppy' **は安全に取り外すことができます。］と表示されたら［**OK**］をクリックする。**

5 **本機のコネクタから**USB**フロッピーディスクドライブを抜く。**

タスクトレイに  が表示されていないときは下記の手順に従って操作してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［ハードウェアの追加と削除］アイコンをダブルクリックする。

3「ハードウェアの追加と削除ウィザード」画面が表示されたら、［次へ］をクリックする。

4［デバイスの削除／取り外し］を選び、［次へ］をクリックする。

5［デバイスの取り外し］を選び、［次へ］をクリックする。

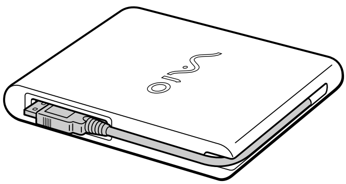
6［Y-E Data USB Floppy**］を選び、［次へ］をクリックする。**

7 確認画面が表示されたらデバイスを確認し、［次へ］をクリックする。

8［完了］をクリックし、本機のコネクタからUSB**フロッピーディスクドライブを抜く。**

フロッピーディスクドライブを持ち運ぶときは

取りはずしたあとは、ケーブルをUSBフロッピーディスクドライブ側面にはめ込むと、ケーブルが邪魔になりません。



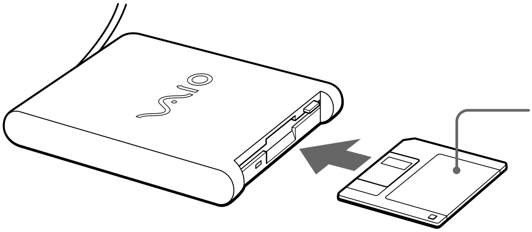
フロッピーディスクを入れる

本機で使うフロッピーディスクは、あらかじめ初期化しておく必要があります。詳しくは、「フロッピーディスクを初期化する」（88ページ）をご覧ください。市販の「DOS/V 1.44MB フォーマット済」フロッピーディスクの場合は、あらかじめ初期化されているので、すぐに使うことができます。その他、本機で使えるフロッピーディスクについて詳しくは、「使用できるフロッピーディスク」（89ページ）をご覧ください。

1 フロッピーディスクドライブを取り付ける。

取り付けかたについては84ページをご覧ください。

2 フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに入れる。

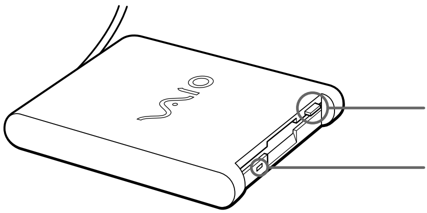


フロッピーディスクを取り出すには

USBフロッピーディスクドライブのアクセスランプが点灯していないことを確認してから、イジェクトボタンを押します。

ご注意

アクセスランプが点灯しているときにイジェクトボタンを押すと、ディスクおよびデータの破損の原因となります。



イジェクトボタンを押してもフロッピーディスクが取り出せないときは

USBフロッピーディスクドライブを取りはずして、VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

フロッピーディスクにデータを保存する

フロッピーディスクに文書ファイルなどのデータを保存するには、以下の手順に従ってください。

1 **フロッピーディスクを**USB**フロッピーディスクドライブに入れる。**
入れかたについては86ページをご覧ください。

2 **デスクトップ画面上の［マイ コンピュータ］をダブルクリックする。**
「マイ コンピュータ」画面が表示されます。

3 ［3.5**インチ**FD（A:)］**をダブルクリックする。**
「3.5インチFD（A:)」画面が表示されます。

4 **フロッピーディスクに保存したいデータのアイコンを、「**3.5**インチ**FD（A:)**」画面にドラッグアンドドロップする。**

フロッピーディスクのデータを誤って消さないようにする

フロッピーディスクには書き込み禁止のタブがついています。このタブを上下に動かして、フロッピーディスクを書き込み可能に、あるいは書き込み禁止にできます。

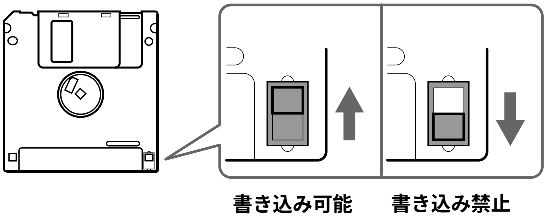
❑ **書き込み可能**

データの書き込みが可能な状態です。

❑ **書き込み禁止**

穴が見える位置にタブをスライドさせると、書き込み禁止の状態になります。データの読み出しはできますが、書き込みはできません。

フロッピーディスク裏面



フロッピーディスクを初期化する

新しいフロッピーディスクを使うには、「初期化」（「フォーマット」ともいう）という作業が必要です。
「DOS/V 1.44 MBフォーマット済」などと書かれた、すでに初期化されたフロッピーディスクも市販されているので、これをお買い求めになれば、すぐに使うことができます。

ご注意

すでにデータが書き込まれているフロッピーディスクを初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消すことがないようご注意ください。

1 **初期化したいフロッピーディスクをUSBフロッピーディスクドライブに入れる。**
入れかたについては86ページをご覧ください。

2 **デスクトップ画面上の［マイ コンピュータ］をダブルクリックする。**
「マイ コンピュータ」画面が表示されます。

3 **［3.5インチFD (A:)］を右クリックし、［フォーマット］をクリックする。**
フォーマットの画面が表示されます。

4 **［開始］をクリックする。**
フロッピーディスクが初期化されます。

5 **［閉じる］をクリックする。**

使用できるフロッピーディスク

DOS/V 3.5 型フロッピーディスクには、2HD（両面高密度）タイプと2DD（両面倍密度倍トラック）タイプのものがあり、フォーマットによって2HD 1.44 Mバイト、2DD 720 Kバイトの2種類に分けることができます。本機はこれらのフロッピーディスクに対応しています。

種類	本機でできること
2HD 1.44 Mバイト	フォーマット、読み書きともに可。
2DD 720 Kバイト	フォーマット、読み書きともに可。

ご注意

- データを保存するときは、2HD 1.44 Mバイトまたは2DD 720 Kバイトタイプのフロッピーディスクをご使用ください。
- コンピュータのフロッピーディスクドライブの種類によって、使えるフロッピーディスクが異なります。他のコンピュータとデータのやりとりをする場合は、下記のフロッピーディスクをご使用ください。

データをやりとりしたいコンピュータのフロッピーディスクドライブの種類	使用するフロッピーディスク
1.44 Mバイトのフロッピーディスクドライブ	2HD 1.44 Mバイトまたは2DD 720 Kバイト
1.2 Mバイトのフロッピーディスクドライブ	2DD 720 Kバイト

“メモリースティック”を使う

“メモリースティック”は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。“メモリースティック”対応機器間でのデータをやりとりするのに便利なだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータを保存するときもお使いいただけます。

“メモリースティック”の種類

“メモリースティック”には、著作権保護技術（MagicGate）を搭載した“マジックゲート メモリースティック”（以降、“MG メモリースティック”と略します）と、搭載していない一般の“メモリースティック”の2種類があります。
ご購入の際は、下記のマークのついた“メモリースティック”をお買い求めください。

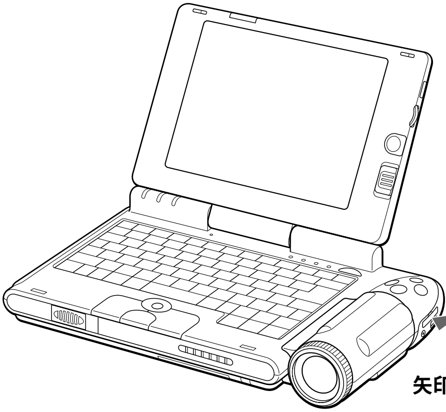
ご注意

“メモリースティック”をお使いになるときは、以下の点にご注意ください。

- “メモリースティック”の端子部に手や金属で触れないでください。
- ラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをおすすめします。
- メモリースティックランプが点灯中に“メモリースティック”を抜かないでください。
- 著作権保護されているファイルの操作を行う場合は、本機のメモリースティックスロットは使用しないでください。
- 下記の場合、記録したデータが消えたり壊れたりすることがあります。
  - メモリースティックランプが点灯中に“メモリースティック”を抜いたり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

“メモリースティック”を入れる

“メモリースティック”を本機右側面の （メモリースティック）スロットに差し込みます。正しく挿入するとカチッと音がしてスロット内のコネクタに接続されます。



“メモリースティック”が正しく接続されると、Sドライブとして認識されます。

［リムーバブルディスク（S:)］をダブルクリックすると、“メモリースティック”の内容が表示されます。

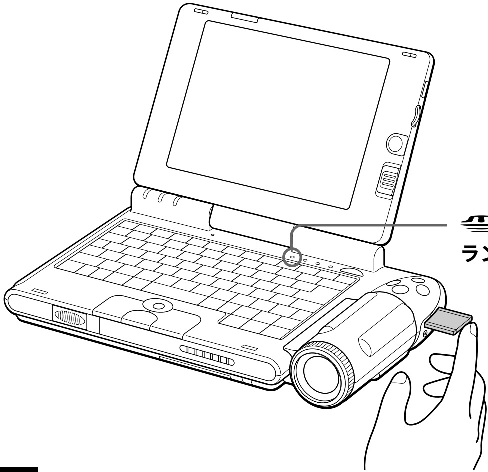
“メモリースティック”を挿入したときに、自動的に「VisualFlow」ソフトウェアが起動します。「VisualFlow」以外のソフトウェアが起動するように設定したいときは「VAIO Action Setup」ソフトウェアを使います。詳しくは、「メモリースティックランチャーの設定を変更する」（112ページ）をご覧ください。

ご注意

- 差し込む際は、“メモリースティック”の向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとすると、本機のメモリースティックスロットや“メモリースティック”本体が破損する恐れがあります。
- 「PowerPanel」で「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、“メモリースティック”は使用できません。「スーパースタミナ」プロファイル以外のプロファイルを選んでください。詳しくは、「本機の動作モードを設定する（プロファイル）」（234ページ）をご覧ください。

“メモリースティック”を取り出すには

（メモリースティック）ランプが点灯していないことを確認してから“メモリースティック”を奥まで押し込みます。いったん手を離し、“メモリースティック”を引き抜いてください。



ご注意

- （メモリースティック）ランプが点灯しているときに“メモリースティック”を取り出さないでください。データが失われるおそれがあります。画像ファイルなどの大容量データの読み出しに時間がかかる場合がありますので、“メモリースティック”を取り出す際はご注意ください。
- 本機のメモリースティックスロットから“メモリースティック”を取り出すときに“メモリースティック”を押して指を離すと、“メモリースティック”が勢いよく飛び出る場合があります。最後まで指を添えて取り出すようにしてください。
- “メモリースティック”が取り出せないときは、もう1度奥まで押し込んでいったん離し、“メモリースティック”を取り出してください。

“メモリースティック”のデータを誤って消さないようにする

大切なデータを誤って消してしまうことのないように、“メモリースティック”には書き込み禁止のタブがついています。このタブを動かして、“メモリースティック”を書き込み可能に、あるいは書き込み禁止にできます。

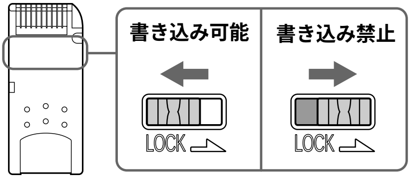
❑ 書き込み可能

データの書き込みが可能な状態です。

❑ 書き込み禁止

タブを矢印方向にスライドさせると、書き込み禁止の状態になります。データの読み出しはできますが、書き込みはできません。

“メモリースティック”裏面



“メモリースティック”を初期化する

“メモリースティック”は、標準フォーマットとして専用のFATフォーマットで出荷されており、すぐにお使いになれます。
フォーマット（初期化）が必要な場合は、必ず“メモリースティック”専用機器で行ってください。
本機で“メモリースティック”を再フォーマットするときは、付属の「メモリースティックフォーマッタ」ソフトウェアを使って、下記の手順に従って行ってください。
「メモリースティックフォーマッタ」ソフトウェアの使いかたについて
詳しくは、このソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ご注意

すでにデータが書き込まれている“メモリースティック”をフォーマットすると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消すことがないようにご注意ください。

1 **本機に“メモリースティック”を入れる。**
入れかたについては91ページをご覧ください。

2 **［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、［Memory Stick Utility］を選んで、［Memory Stick Formatter］をクリックする。**

3 **Sドライブが選択されていることを確認してから、［フォーマット開始］をクリックする。**

4 **「メモリースティック フォーマッタの確認」画面が表示されたら、[OK]をクリックする。**
フォーマットが始まります。

CD-ROMドライブなどをつなぐ

CD-ROMはコンピュータで扱うプログラムやデータを記録した、読み取り専用の記録メディアです。
本機には、本機専用の下記ドライブ（別売り）をつなぐことができます。
あらかじめ各ドライブ用のドライバがインストールされているので、改めてインストールする必要はありません。ドライブによっては、ソフトウェアのインストールが必要なものもあります。詳しくは、お使いになるドライブに付属の取扱説明書をご覧ください。

- CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series
- CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Series
- DVD-ROMドライブ PCGA-DVD51 Series

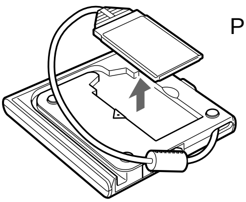
ご注意

- 接続のしかたや使いかたは、お使いになるドライブによって異なります。詳しくは、ドライブに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機で音楽CDを聞くには、上記の専用ドライブが必要です。
- 上記の専用ドライブ以外では本機で使用できないものもあります。詳しくは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご確認ください。

CD-ROMドライブなどを取り付ける

ドライブはPCカードを使って本機とやりとりします。
PCGA-CDRW5_ Seriesをお使いのときは、ドライブ底面にある切り替えスイッチを「CardBus」に合わせ、PCGA-CDRW5_ Seriesに付属のACアダプタを取り付けてください。

1 ドライブの底面からPCカードをはずす。



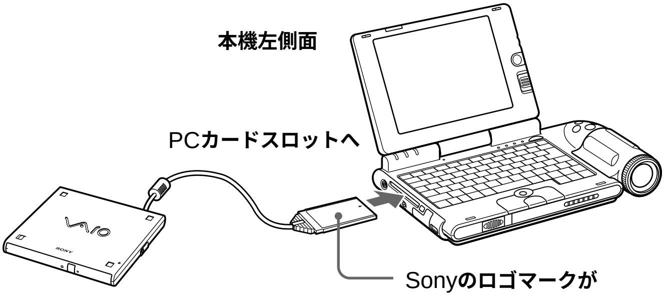
次のページにつづく

2 **PCカードを本機に取り付ける。**

PCカードのSonyのロゴマークが書かれている面を上にして取り付けます。スロットの奥にあるコネクタに、カードがしっかりと固定されるまで押し込みます。

カードがうまく入らない場合は、無理にカードを押し込まずに、カードの挿入方向を確認してからもう1度挿入し直してください。

「マイ コンピュータ」画面内にドライブのアイコンが表示されます。



CD-ROMドライブなどを取りはずすには

「PCカードを取り出す」（222ページ）の手順に従ってPCカードを取り出します。

ご注意

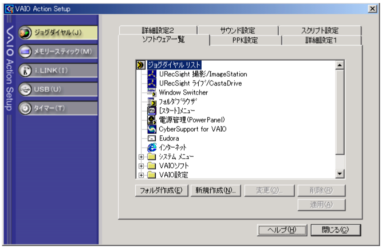
- ドライブのトレイにディスクが入っていないことを確認してから取りはずしてください。
- イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せないときは、ドライブ底面のピンをマニュアルイジェクト穴に押し込んでください。詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

ジョグダイヤルにソフトウェアを登録する

本機に付属の「VAIO Action Setup」ソフトウェアを使って、ジョグダイヤルに新たにソフトウェアを登録したり削除できます。

1　ジョグダイヤルウィンドウ上で右クリックして、［ジョグダイヤル　セットアップ（VAIO Action Setup）］をクリックする。

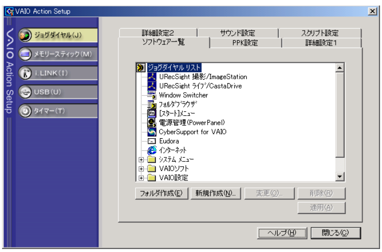
「VAIO Action Setup」画面が表示されます。



- ジョグダイヤルウィンドウがデスクトップ画面上に表示されていない場合は、ジョグダイヤルを操作するか、デスクトップ画面右下のタスクトレイにある または をダブルクリックしてジョグダイヤルウィンドウを表示させてください。
- デスクトップ画面右下のタスクトレイにある または を右クリックしてポップアップメニューを表示させ、［ジョグダイヤル　セットアップ（VAIO Action Setup）］をクリックして「VAIO Action Setup」画面を表示させることもできます。

2　画面左側の［ジョグダイヤル］をクリックする。

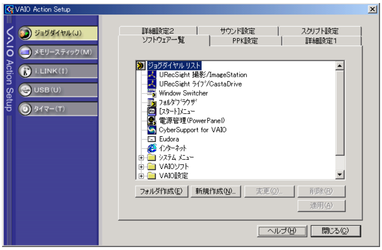
ジョグダイヤルの設定画面が表示されます。



次のページにつづく

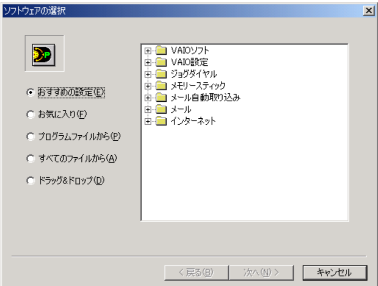
3 [ソフトウェア一覧] タブをクリックする。

ジョグダイヤルに登録されているソフトウェアの一覧が表示されます。



4 [新規作成] をクリックする。

「ソフトウェアの選択」画面が表示されます。



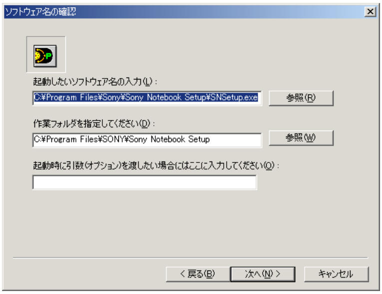
5 画面左側のボタンで設定方法を選び、画面右側の一覧から登録したいソフトウェアを選ぶ。

画面左側のボタンには、以下の設定方法が用意されています。

- おすすめの設定：ソニー製のソフトウェアなどが表示されます。
- お気に入り：Microsoft Internet Explorerに登録してある「お気に入り」が表示されます。
- プログラムファイルから：[スタート] メニューの [プログラム] にあるソフトウェアが表示されます。
- すべてのファイルから：本機の内容（ファイルやフォルダ）がツリー表示されます。
- ドラッグ&ドロップ：他のウィンドウから好みのソフトウェアをドラッグアンドドロップ（57ページ）して設定できます。

6 ［次へ］をクリックする。

「ソフトウェア名の確認」画面が表示されます。



7 設定内容を確認し、［次へ］をクリックする。

「設定名の入力」画面が表示されます。



8 「設定名」と「詳細情報」を確認または入力し、［完了］をクリックする。

ジョグダイヤルウィンドウ内のソフトウェアの順番を変えるには

「ジョグダイヤルにソフトウェアを登録する」（97ページ）の手順1と2を行い、ソフトウェアの一覧でソフトウェアをドラッグアンドドロップして順番を並べかえ、［適用］をクリックします。

ジョグダイヤルからソフトウェアを削除するには

1 「ジョグダイヤルにソフトウェアを登録する」（97ページ）の手順1と2を行う。

ジョグダイヤルに登録されているソフトウェアの一覧が表示されます。

2 削除したいソフトウェアを選んでから［削除］をクリックする。

確認画面が表示されます。

3 ［OK］をクリックする。

ジョグダイヤルの設定をする

ジョグダイヤルの回転方向や、ジョグダイヤルを操作するときの効果音などを設定できます。

1 **ジョグダイヤルウィンドウ上で右クリックして、[ジョグダイヤルセットアップ（VAIO Action Setup）] をクリックする。**

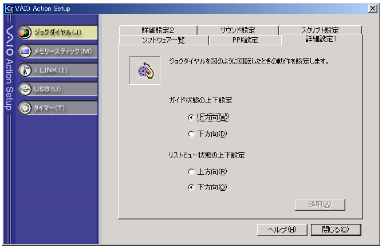
「VAIO Action Setup」画面が表示されます。

2 **画面左側の［ジョグダイヤル］をクリックする。**

- **ジョグダイヤルの回転方向を設定するには**

  ［詳細設定 1］タブをクリックします。

  ガイド状態およびリストビュー状態のときに、ジョグダイヤルを上下方向に回したときのウィンドウの動作を設定します。

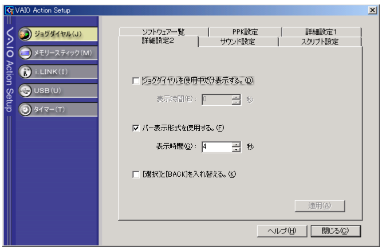


- **一定時間後に自動的にジョグダイヤルウィンドウが閉じるよう設定するには**

  ［詳細設定 2］タブをクリックします。

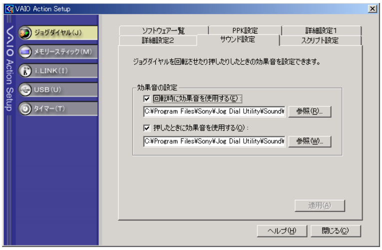
  「ジョグダイヤルを使用中だけ表示する。」をチェックしてから、「表示時間」を設定します。設定した時間が経過すると、自動的にジョグダイヤルウィンドウが閉じ、ジョグダイヤルを操作すると再び表示されます。

  「ジョグダイヤルを使用中だけ表示する。」のチェックをはずすと、ジョグダイヤルウィンドウは常に表示されます（工場出荷時の設定）。



- **ジョグダイヤルウィンドウがバー表示に戻るまでの時間を設定するには**
  [詳細設定2] タブをクリックします。
  「バー表示形式を使用する」の「表示時間」で設定します。

- **ジョグダイヤルを操作するときの効果音を設定するには**
  [サウンド設定] タブをクリックします。
  [参照] ボタンをクリックしてWAVEファイルを選択し、好みの効果音に設定できます。また、自分で録音した音声などのWAVEファイルを効果音に設定することもできます。
  さらに、「回転時に／押したときに効果音を使用する」のチェックをはずすことで、効果音が出ないように設定することもできます。



ジョグダイヤルでスクリーンセーバーを操作する

あらかじめジョグダイヤルに登録したパスワードを使って、スクリーンセーバーを解除することができます。

ジョグダイヤルにパスワードを登録するには

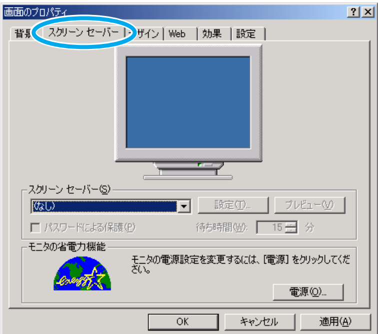
1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 ［画面］アイコンをダブルクリックする。

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

3 ［スクリーン セーバー］タブをクリックする。



4 「スクリーン セーバー」ドロップダウンリストから「JogScrLock」を選んでクリックする。

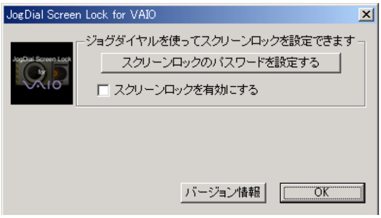
「パスワードによる保護」がチェックされていないことを確認してください。



ここをクリックします。

5 [設定] をクリックする。

「JogDial Screen Lock for VAIO」が表示されます。



6 [スクリーンロックを有効にする] をクリックしてチェックする。

7 [スクリーンロックのパスワードを設定する] をクリックする。

「ジョグダイヤルでパスワード設定」画面が表示されます。



操作する（PCスタイル）

次のページにつづく

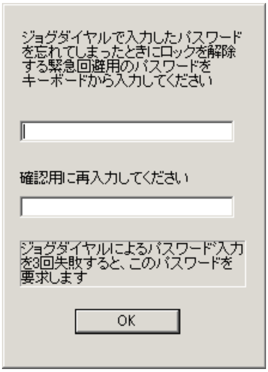
8 **ジョグダイヤルウィンドウが［パスワード設定］になっていることを確認して、ジョグダイヤルを押す。**



9 **ジョグダイヤルを上下に回してパスワードを設定し、ジョグダイヤルを押す。**

確認のために、もう1度同じパスワードを入力してから、ジョグダイヤルを押してください。

緊急回避用のパスワードを入力する画面が表示されます。



10 **キーボードを使ってパスワードを2回入力し、［OK］をクリックする。**

手順4の画面に戻ります。

11 **［OK］をクリックする。**

ジョグダイヤルでスクリーンセーバーを解除するには

ジョグダイヤルを回して設定したパスワードを入力し、ジョグダイヤルを押します。
間違ったパスワードを3回入力すると、「緊急回避用パスワード」画面が表示され、キーボードを使ってパスワードを入力して解除できます。
また、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押すことで、スクリーンセーバーを解除できます。

ご注意

CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押してもスクリーンセーバーを解除できるため、より厳重に保護する場合は「ジョグダイヤルでスクリーンセーバーを操作する」の手順4（103ページ）で［パスワードによる保護］をチェックし、［OK］をクリックしてください。

「VAIO Action Setup」で好みのソフトウェアを自動的に起動する

好みのソフトウェアを自動的に起動する（PPK機能）

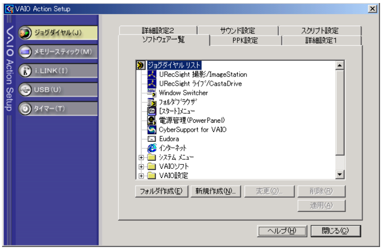
電源を切った状態や省電力動作モード時にジョグダイヤルを押すだけで、好みのソフトウェアを起動したり、自動的に電子メールを取り込むことができます（PPK機能）。

1 **ジョグダイヤルウィンドウ上で右クリックして、［ジョグダイヤルセットアップ（VAIO Action Setup）］をクリックする。**

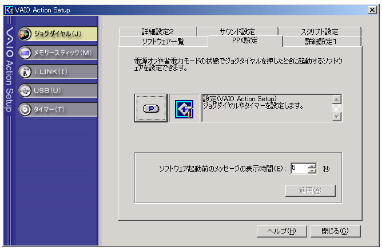
「VAIO Action Setup」画面が表示されます。

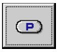
2 **画面左側の［ジョグダイヤル］をクリックする。**

ジョグダイヤルの設定画面が表示されます。

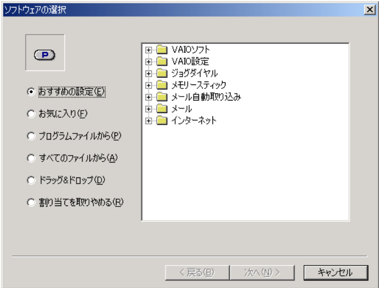


3 **［PPK設定］タブをクリックする。**



4  をクリックする。

「ソフトウェアの選択」画面が表示されます。



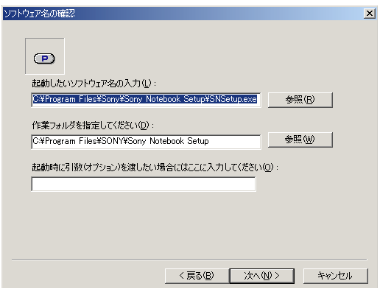
5 画面左側のボタンで設定方法を選び、画面右側の一覧から登録したいソフトウェアを選ぶ。

画面左側のボタンには、以下の設定方法が用意されています。

- おすすめの設定：ソニー製のソフトウェアなどが表示されます。
- お気に入り：Microsoft Internet Explorerに登録してある「お気に入り」が表示されます。
- プログラムファイルから：［スタート］メニューの［プログラム］にあるソフトウェアが表示されます。
- すべてのファイルから：本機の内容（ファイルやフォルダ）がツリー表示されます。
- ドラッグ&ドロップ：他のウィンドウから好みのソフトウェアをドラッグアンドドロップ（57ページ）して設定できます。

6 ［次へ］をクリックする。

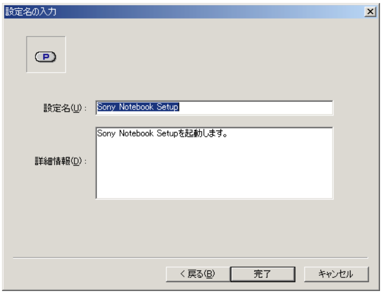
「ソフトウェア名の確認」画面が表示されます。



次のページにつづく

7 設定内容を確認し、[次へ] をクリックする。

「設定名の入力」画面が表示されます。



8 「設定名」と「詳細情報」を確認または入力し、[完了] をクリックする。

106ページの手順3の画面にある「ソフトウェア起動前のメッセージの表示時間」で時間を設定すると、ソフトウェアが起動する前に、設定時間だけメッセージダイアログボックスが表示されます。

割り当てたソフトウェアを起動するには

電源を切った状態や省電力動作モード時にジョグダイヤルを押します。

ソフトウェアの割り当てを変更するには

「好みのソフトウェアを自動的に起動する（PPK機能）」（106ページ）の手順を行って、ソフトウェアを割り当て直します。

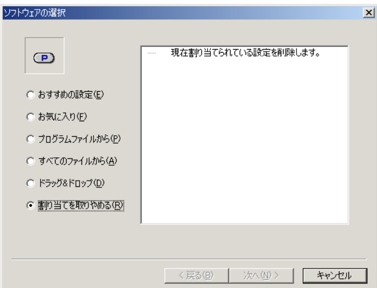
ソフトウェアの割り当てを無効にするには

1 「好みのソフトウェアを自動的に起動する（PPK機能）」（106ページ）の手順1～4を行う。

「ソフトウェアの選択」画面が表示されます。

2 画面左側の [割り当てを取りやめる] をクリックする。

3 画面右側に表示された [現在割り当てられている設定を削除します。] をクリックし、[完了] をクリックする。



タイマーで決まった時刻にソフトウェアを起動する

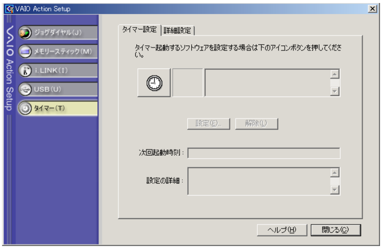
タイマーを使うと好きな時刻に好みのソフトウェアを起動できます。

1 **ジョグダイヤルウィンドウ上で右クリックして、[ジョグダイヤルセットアップ（VAIO Action Setup）] をクリックする。**

「VAIO Action Setup」画面が表示されます。

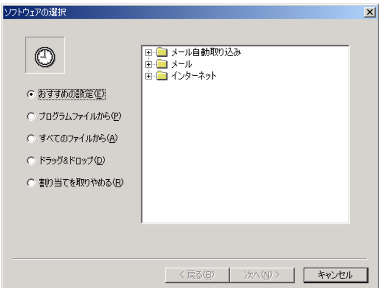
2 **画面左側の［タイマー］をクリックする。**

タイマーの設定画面が表示されます。



3 **［タイマー設定］タブの**  **をクリックする。**

「ソフトウェアの選択」画面が表示されます。



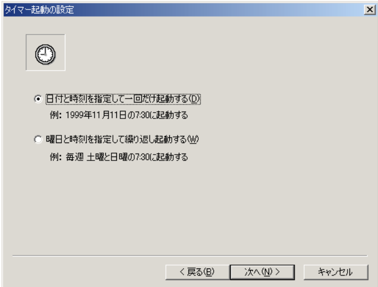
4 **画面左側の「プログラムファイルから」を選び、画面右側の一覧から好みのソフトウェアを選び、［次へ］をクリックする。**

「ソフトウェア名の確認」画面が表示されます。

次のページにつづく

5 設定内容を確認し、[次へ] をクリックする。

「タイマー起動の設定」画面が表示されます。



「日付と時刻を指定して一回だけ起動する」を選んだときは設定した1回のみ、「曜日と時刻を指定して繰り返し起動する」を選んだときは、毎週決まった時間にタイマーが起動します。

6 [次へ] をクリックする。

タイマー起動時刻を設定します。

手順5で「日付と時刻を指定して一回だけ起動する」を選んだときは日付と時刻を、「曜日と時刻を指定して繰り返し起動する」を選んだときは曜日と時刻を設定します。

7 [次へ] をクリックする。

「タイマー起動後の処理」画面が表示されます。

自動的にソフトウェアが起動したあと、一定時間後に省電力動作モードにしたいときは、[タイマー起動後の処理を設定する。] をクリックして、時間と省電力動作モードを指定します。

8 [次へ] をクリックする。

「設定名の入力」画面が表示されます。

9 「設定名」と「詳細情報」を確認または入力し、[完了] をクリックする。

- タイマー起動後、実際にソフトウェアが動作を始めるまでに時間がかかることがあります。どれくらい時間がかかるかを、あらかじめ確認しておくことをおすすめします。
- 109ページの手順2の画面で [詳細設定] タブをクリックし、「ソフトウェア起動前のメッセージの表示時間」で時間を設定すると、ソフトウェアが起動する前に、設定時間だけメッセージダイアログボックスが表示されます。

ご注意

動作しているプログラムやデバイスによっては、省電力動作モードに移行できないことがあります。

ソフトウェアの割り当てを変更するには

「タイマーで決まった時刻にソフトウェアを起動する」（109ページ）の手順を行って、ソフトウェアを割り当て直します。

タイマー設定時刻などを変更するには

1 「タイマーで決まった時刻にソフトウェアを起動する」（109ページ）**の手順1と2を行う。**

タイマーの設定画面が表示されます。

2 ［タイマー設定］タブの［設定］をクリックする。

「タイマー起動の設定」画面が表示されるので、タイマーの設定時刻を変更します。

3 ［次へ］をクリックする。

「タイマー起動後の処理」画面が表示されるので、タイマーが起動したあとの設定を変更します。

4 ［完了］をクリックする。

タイマー設定を無効にするには

1 「タイマーで決まった時刻にソフトウェアを起動する」（109ページ）**の手順1と2を行う。**

タイマーの設定画面が表示されます。

2 ［タイマー設定］タブの［解除］をクリックする。

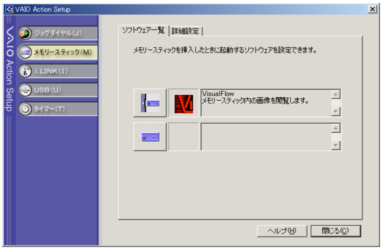
3 ［閉じる］をクリックする。

メモリースティックランチャーの設定を変更する

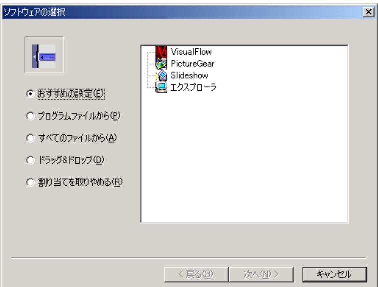
工場出荷時の設定では、本機の （メモリースティック）スロットに“メモリースティック”を挿入すると自動的に「VisualFlow」ソフトウェアが起動するよう設定されています。
下記の手順でメモリースティックランチャーの設定を変更し、他のソフトウェアを起動するよう設定できます。

1 **ジョグダイヤルウィンドウ上で右クリックして、[ジョグダイヤルセットアップ（VAIO Action Setup）] をクリックする。**
「VAIO Action Setup」画面が表示されます。

2 **画面左側の [メモリースティック] をクリックする。**
メモリースティックの設定画面が表示されます。



3 **[ソフトウェア一覧] タブの  をクリックする。**
「ソフトウェアの選択」画面が表示されます。



4 画面左側のボタンで設定方法を選び、画面右側の一覧から登録したいソフトウェアを選ぶ。

画面左側のボタンには、以下の設定方法が用意されています。

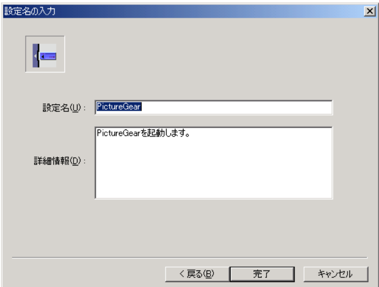
- おすすめの設定：ソニー製のソフトウェアなどが表示されます。
- プログラムファイルから：［スタート］メニューの［プログラム］にあるソフトウェアが表示されます。
- すべてのファイルから：本機の内容（ファイルやフォルダ）がツリー表示されます。
- ドラッグ&ドロップ：他のウィンドウから好みのソフトウェアをドラッグアンドドロップ（57ページ）して設定できます。

5 ［次へ］をクリックする。

「ソフトウェア名の確認」画面が表示されます。

6 設定内容を確認し、［次へ］をクリックする。

「設定名の入力」画面が表示されます。



7 「設定名」と「詳細情報」を確認または入力し、［完了］をクリックする。

112ページの手順2の画面で［詳細設定］タブをクリックし、「ソフトウェア起動前のメッセージの表示時間」で時間を設定すると、ソフトウェアが起動する前に、設定時間だけメッセージダイアログボックスが表示されます。

メモリースティックランチャーを無効にするには

1 **「メモリースティックランチャーの設定を変更する」**（112**ページ**）**の手順**1**と**2**を行う。**

メモリースティックの設定画面が表示されます。

2 **［詳細設定］タブをクリックする。**

3 **「メモリースティックランチャー機能を有効にする」の［本機搭載のメモリースティックスロット］をクリックして、チェックをはずす。**

ご注意

「PowerPanel」で「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、“メモリースティック”は使用できません。「スーパースタミナ」プロファイル以外のプロファイルを選んでください。詳しくは、「本機の動作モードを設定する（プロファイル）」（234ページ）をご覧ください。

制限事項について

電話回線を使用するソフトウェアを起動する場合は

通信状態やサーバーの状態によっては、正常に回線を切断できないことがあります。プログラム実行中は実行状態を監視して、異常が発見された場合には手動で回線を切断してください。

電話回線自動接続機能を持つ電子メールソフトウェアを使うときは

電子メールソフトウェアには、「Microsoft Outlook Express」などの電話回線に自動的に接続する機能を持つものもあります。
このような機能を持った電子メールソフトウェアを使用するときは、「VAIO Action Setup」ソフトウェアのダイヤルアップ機能（スクリプトなど）を使ってインターネットに接続するよりも、電子メールソフトウェアの機能を使ってインターネットに接続したほうが、接続不良などの異常事態が発生したときに、安定して回線を切断できる可能性が高くなります。
「VAIO Action Setup」ソフトウェアの簡易設定では、電子メールソフトウェアなどの起動前にダイヤルアップネットワークに自動的に接続します。そのため、電子メールソフトウェア側でダイヤルアップできるときは、電子メールソフトウェア側でダイヤルアップするように設定を変更するようおすすめします。

CyberCodeを体験する

本機では、CyberCodeを使ってさまざまな楽しいことができます。
CyberCodeを本機の内蔵カメラ（MOTION EYE）の前でかざすことでソフトウェアを起動させたり（119ページ）、ホームページを表示させたり、音声や画像でメッセージを作ったりすることができます。
この説明書裏表紙の内側にあるCyberCodeカードを内蔵カメラ（MOTION EYE）にかざしてCyberCodeを体験してみましょう。
ここではCyberCode取扱説明カードを使って、CyberCodeの特長や使いかたを説明します。

ご注意

- 内蔵カメラ（MOTION EYE）のレンズに触らないでください。
- 電源の入／切にかかわらず、内蔵カメラ（MOTION EYE）を太陽に向けないでください。内蔵カメラ（MOTION EYE）の故障の原因となります。
- 内蔵カメラ（MOTION EYE）は取りはずせません。
- 「CyberCode Finder」は、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使う他のソフトウェア（URecSight、Smart Captureなど）と同時に使用することはできません。
「CyberCode Finder」を使うときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用する他のソフトウェアを終了してください。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［VAIOソフトウェアはこちら］にポインタを合わせ、［サイバーコードを認識：CyberCode Finder］をクリックする。**

「CyberCode Finder」画面が表示されます。



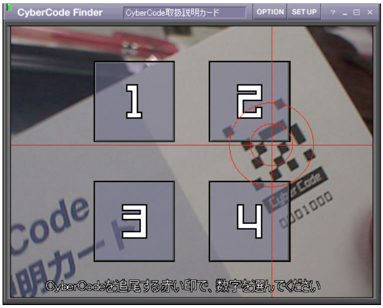
2 CyberCode取扱説明カードのCyberCodeをカメラにかざす。

メニュー画面が表示されます。

CyberCode取扱説明カード



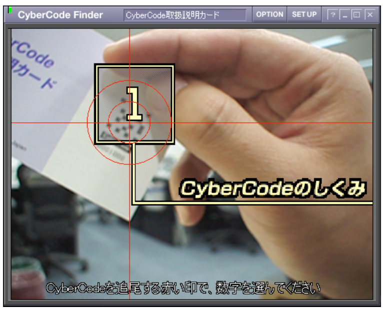
CyberCode



CyberCodeが認識されないときは、CyberCodeにピントが合うように内蔵カメラ（MOTION EYE）を調節してください。（141ページ）

3 見たい内容の数字にCyberCodeが映るように、位置を合わせる。

ここでは「1」を選んでみます。



次のページにつづく

「1」の内容が再生されます。



各数字の内容は以下のとおりです。

1：CyberCodeのしくみ
2：旅でも活躍CyberCode
3：CyberCodeで写真を整理
4：CyberCodeでパーティーも楽しく！

「CyberCode Finder」を終了するには

画面右上の  をクリックします。

内蔵カメラ（MOTION EYE）でソフトウェアを起動する

付属のCyberCodeシールを使って、よく使うソフトウェアやホームページなどを記憶させておくと、記憶させたCyberCodeシールを内蔵カメラ（MOTION EYE）にかざすだけで起動させることができます。

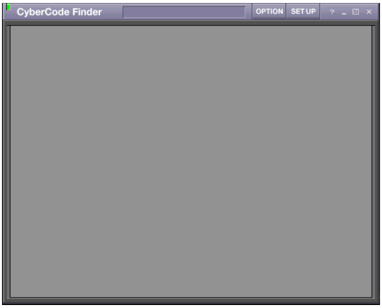
ご注意

- 内蔵カメラ（MOTION EYE）のレンズに触らないでください。
- 電源の入／切にかかわらず、内蔵カメラ（MOTION EYE）を太陽に向けないでください。内蔵カメラ（MOTION EYE）の故障の原因となります。
- 内蔵カメラ（MOTION EYE）は取りはずせません。
- 「CyberCode Finder」は、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使う他のソフトウェア（URecSight、Smart Captureなど）と同時に使用することはできません。
「CyberCode Finder」を使うときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用する他のソフトウェアを終了してください。

CyberCodeにソフトウェアやホームページを記憶させるには

1 **［スタート］ボタンをクリックして［VAIOソフトウェアはこちら］にポインタを合わせ、［サイバーコード認識：CyberCode Finder］をクリックする。**

「CyberCode Finder」画面が表示されます。



次のページにつづく

2 何も登録していないCyberCodeシールを内蔵カメラ（MOTION EYE）にかざす。

「CyberCode Setup」ソフトウェアが起動し、内蔵カメラ（MOTION EYE）にかざしたCyberCodeが表示されます。



3 「タイトル」入力欄にタイトルを、「ファイル名」入力欄に登録するファイル名をそれぞれ入力したあと、［OK］または［適用］をクリックする。

表示されたCyberCodeに、選んだファイルが登録されます。



［最近使ったファイルを参照］をクリックして、「最近使ったファイル」リストからファイルを選ぶこともできます。

CyberCodeに登録したソフトウェアやホームページなどを起動するには

「CyberCode Finder」を起動して、登録したCyberCodeシールを内蔵カメラ（MOTION EYE）にかざします。

CyberCodeシールの登録内容を変更したり、取り消すには

Ctrlキーを押しながら、登録済みCyberCodeシールを内蔵カメラ（MOTION EYE）にかざします。「CyberCode Setup」が起動して、登録内容の変更や削除を行うことができます。

CyberCodeのID番号は0～1048575番まで使用できます。

CyberCode 3Dカードを使うには

この説明書には、裏表紙の内側にCyberCode3DカードとCyberCodeサーキットが印刷されています。

CyberCode3Dカードを内蔵カメラ（MOTION EYE）にかざすと、3次元のキャラクターが表示され、カードの角度を変えるとキャラクターもその向きに回転して、いろいろな角度から楽しむことができます。

CyberCodeサーキット中央のCyberCodeを内蔵カメラ（MOTION EYE）にかざすと、3次元のレーシングカーがサーキット上を走るのを楽しむことができます。

ご注意

- CyberCodeが斜めになったり、ぶれたりしないように、しっかり固定して持ち、まっすぐ内蔵カメラ（MOTION EYE）に向けて映してください。
- CyberCodeが内蔵カメラ（MOTION EYE）から遠すぎたり、内蔵カメラ（MOTION EYE）のピントがずれたりすると、登録したソフトウェアやホームページなどを起動させることができないことがあります。適度な距離（10cm程度）をおいて、内蔵カメラ（MOTION EYE）のフォーカスリングを回してピントを合わせて内蔵カメラ（MOTION EYE）に映してください。（141ページ）
- 逆光や反射でCyberCodeがファインダに正しく映らない場合は、起動しにくいことがあります。
- 内蔵カメラ（MOTION EYE）を使う他のソフトウェア（URecSight、Smart Captureなど）をCyberCodeに登録し、起動させることはできません。
- CyberCode 3Dカードを内蔵カメラ（MOTION EYE）にまっすぐ向けたまま、持ち続けてください。CyberCode 3Dカードを内蔵カメラ（MOTION EYE）から遠ざけると、メッセージが途中で終了します。

音楽CDを再生する

本機には音楽ファイル管理再生ソフトウェアとして、「Windows Media Player」、「RealJukebox」、「OpenMG Jukebox」の3種類が付属しています。
どのソフトウェアでも、音楽CDや音楽ファイルの再生が可能です。
それぞれのソフトウェアには次のような特長があります。

- Windows Media Player
  音楽CDをディスクドライブに入れたときに自動的に起動するよう、工場出荷時に設定された音楽・動画再生ソフトウェアです。音楽CDを手軽に再生するときなどに便利です。
  WMA、MP3、MIDIなど、さまざまな形式の音楽ファイルの再生にも対応しています。
  また、インターネットを利用してストリーミング動画配信サービスを楽しむためにも適しているソフトウェアです。
- RealJukebox
  音楽CDをハードディスクに取り込んで管理したり、インターネットを利用して音楽CDに関する音楽情報を見るのに適しているソフトウェアです。
- OpenMG Jukebox
  音楽CDの再生はもちろんのこと、音楽CDをハードディスクに録音する機能や、EMD（インターネットによる音楽配信）サービスを利用して、インターネットからダウンロードした音楽データを本機で再生したり、OpenMGに対応したソニー製のポータブルプレーヤーに音楽ファイルを転送（チェックアウト）して楽しむのに適したソフトウェアです。
  「OpenMG Jukebox」上で蓄積した音楽データは、「MusicShaker」や「LabelMaker」など、他のソニー製ソフトウェアでさまざまに活用することができます。

通常使用する主な目的に応じて、音楽CDをディクスドライブに入れたときに起動するソフトウェアをあらかじめ決めておくと便利です。詳しくは、次ページの「CD挿入時に自動的に起動するソフトウェアを設定するには」をご覧ください。

CD挿入時に自動的に起動するソフトウェアを設定するには

操作手順について詳しくは、それぞれのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

「Windows Media Player」にするとき

「Windows Media Player」の「ツール」メニューから［オプション］をクリックし、［形式］タブをクリックします。
「利用できるファイル形式」の中の「CDオーディオトラック」のチェックボックスをクリックしてチェックします（お買い上げ時にはチェックがついています）。

「RealJukebox」にするとき

「RealJukebox」の「ツール」メニューから［環境設定］をクリックし、［一般］タブをクリックします。
「メディアタイプ」の中の［関連付け設定］をクリックします。
「CD Audio」のチェックボックスをクリックしてチェックします。

「OpenMG Jukebox」にするとき

「OpenMG Jukebox」を初めて起動したときに表示される「再生の設定」画面で、「音楽CD挿入時にOpenMG Jukeboxを自動起動する」のチェックボックスをクリックしてチェックします。
または、「OpenMG Jukebox」の「ツール」メニューから［設定］をクリックし、［CD録音/再生］タブをクリックします。「CD挿入時の設定」の中の「自動的にOpenMG Jukeboxを起動」のチェックボックスをクリックしてチェックします。

ご注意

上記の設定は、あとから設定したソフトウェアが優先されます。

音楽CDを再生するには

ここでは「Windows Media Player」ソフトウェアで音楽CDを再生する方法を簡単に説明します。
「Windows Media Player」を使うと、他のソフトウェアを操作しながら（一部のソフトウェアを除く）音楽CDのさまざまな再生が楽しめるだけでなく、MIDIファイルなどの音楽ファイル、動画ファイルを再生して楽しむことができます。
「Windows Media Player」の使いかたについて詳しくは、「Windows Media Player」のヘルプをご覧ください。
なお、本機で音楽CDを再生するには、下記のいずれかの専用ドライブが必要です。ドライブをお使いになるときは「CD-ROMドライブなどをつなぐ」（95ページ）および、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series
- CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Series
- DVD-ROMドライブ PCGA-DVD51 Series

ご注意

- はじめて音楽CDを再生するときは、本機にドライブをつないだ状態で下記の手順を行います。その後、音楽CDの再生をお楽しみください。
  1. **［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。**
     「コントロール パネル」画面が表示されます。
  2. **［システム］アイコンをダブルクリックする。**
  3. **［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］をクリックする。**
  4. **［DVD/CD-ROMドライブ］をダブルクリックする。**
  5. **「DVD/CD-ROMドライブ」の下にお使いのドライブ名が表示されるので、ダブルクリックする。**
  6. **［プロパティ］タブをクリックし、「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」のチェックボックスをクリックしてチェックする。**
- 「RealJukebox」で音楽CDを使用する場合、PCカード接続のCD-ROMドライブなどは、「RealJukebox」を起動する前にあらかじめ本機に取り付けておいてください。また、「RealJukebox」の起動中はドライブの抜き差しを行わないでください。「RealJukebox」が不正に終了することがあります。

再生したい音楽CDをディスクドライブに入れる。

自動的に「Windows Media Player」ソフトウェアが起動し、再生が始まります。

- （停止）をクリックすると再生が停止します。
- （再生）をクリックすると再生が始まります。
- （一時停止）を再生中にクリックすると、一時停止します。もう1度クリックすると再生が再開します。

DVDビデオを再生する

別売りのDVD-ROMドライブPCGA-DVD51 Seriesを本機に接続して、DVDビデオの再生を楽しむことができます。接続のしかたについて詳しくは、「CD-ROMドライブなどをつなぐ」（95ページ）およびお使いのドライブに付属の取扱説明書をご覧ください。
DVDビデオを再生するには、「Media Bar DVD Player」ソフトウェアを使います。
はじめてお使いになるときは、ドライブに付属のソフトウェアCD-ROMを使って、下記の「DVDビデオを再生できるように設定するには」の手順に従ってインストール作業を行ってください。
なお、下記のインストール手順およびDVDビデオの再生手順以外は、PCGA-DVD51 Seriesの取扱説明書もあわせてご覧ください。

DVDビデオを再生できるように設定する

PCGA-DVD51 Seriesの取扱説明書には、Media Bar Version 2.0以上のプリインストールが必要とされていますが、本機ではMedia Barがプリインストールされていなくても、ドライブに付属のソフトウェアCD-ROMを使って「DVDソフトウェアデコーダー」と「Media Bar DVD Player」のインストールができます。

1 **DVD-ROMドライブを本機に接続して、ドライブに付属のソフトウェアCD-ROMを入れる。**

2 **デスクトップ画面上の［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックする。**

「マイ コンピュータ」画面が表示されます。

3  **をダブルクリックする。**

ソフトウェアCD-ROMの画面が表示されます。

4 **をダブルクリックする。**

インストールが始まります。以降は画面の指示に従って操作してください。

インストールが完了すると、「Media Bar」ソフトウェアの「AV再生の設定」画面が表示されます。

5 **「DVDビデオ」がチェックされていることを確認して［OK］をクリックする。**

6 **本機を再起動する。**（41ページ）

これで設定は完了です。ソフトウェアCD-ROMの画面を閉じて、ディスクを取り出してください。

DVDビデオを再生する

以下の手順で「Media Bar DVD Player」ソフトウェアを起動して再生します。

DVD-ROMドライブを本機に接続して、再生したいDVDビデオを入れる。

自動的に「Media Bar DVD Player」が起動します。

「Media Bar DVD Player」の操作方法について詳しくは、［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、［Media Bar］から［ヘルプ］をクリックして、ヘルプをご覧ください。

ディスクを入れても「Media Bar DVD Player」が起動しない場合は、［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、［Media Bar］から［DVD Player］をクリックして起動してください。

DVDビデオについてのご注意

- DVDビデオを再生するときは、必ず「Media Bar DVD Player」ソフトウェアをお使いください。その他のソフトウェアで再生すると、本機の故障の原因となります。
- DVDビデオは、ディスクによっては、操作および機能に制限があったり、音がとぎれたり、コマ落ちすることがあります。また、ディスクによっては再生できないものもあります。
- 16 bitモード（ドライブに付属のACアダプタをつながない場合）でのDVDビデオの再生では十分なパフォーマンスが得られない場合があります。CardBusモード（ドライブに付属のACアダプタから電源を供給する場合）での再生をおすすめします。
- 20 ビットまたは24 ビット サンプリングの高音質で音楽が録音されたDVDの中には、再生時にノイズが出るなど、再生に不具合があるものが確認されています。本機にオーディオ機器を接続して音楽をお聞きになる場合は、スピーカーを保護するため、いったん音量を下げて正常に再生できることを確認してからご使用ください。
- DVDビデオ再生中は、本機の液晶ディスプレイの解像度や色数を変更しないでください。「Media Bar DVD Player」の動作が不安定になることがあります。
- DVD-ROMドライブにディスクが入っているときに、本機のジョグダイヤルの操作またはFnキーを押しながらF8キーを押しても、液晶ディスプレイとテレビの表示を切り替えることはできません。
- DVDビデオ再生中は、省電力動作モード（238ページ）の切り替えを行わないでください。また、スクリーンセーバーなどが動作しないように設定してください。省電力動作モードに移行するときは、「Media Bar DVD Player」を終了してから行ってください。
- 常駐型のディスクユーティリティや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、不安定な動作の原因となりますので使用を控えてください。
- ウイルスチェッカーを起動している場合は、ウイルスチェッカーを終了させてください。
- DVDビデオディスクによっては画面の一部が表示されないことがあります。
- DVDビデオはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の取扱説明書も必ずご覧ください。

マイクやオーディオ機器から録音する

本機の🎤（マイク）／⊸（ライン）入力コネクタは、ひとつのコネクタでマイク入力（ステレオ、プラグインパワー方式）とライン入力（ステレオ）の両方に対応しています。このコネクタにマイクやオーディオ機器をつなぐことにより、さまざまなアナログ録音を楽しむことができます。

ステレオ／モノラル録音を切り替える

内蔵ステレオマイクや、本機に接続した外部マイクから録音する音声のモノラル／ステレオを切り替えることができます。
本機は工場出荷時には、モノラル録音されるように設定されていますが、以下の操作でステレオ録音できるようになります。

1 **デスクトップ画面右下のタスクトレイにある 🔊 をダブルクリックする。**
「Volume Control」画面が表示されます。

2 **［オプション］メニューの［プロパティ］をクリックする。**
「プロパティ」画面が表示されます。

3 **「音量の調整」の［録音］を選び、［OK］をクリックする。**
「Recording Control」画面が表示されます。

4 **［Stereo Mic］の［選択］をクリックしてチェックし、［オプション］メニューの［ボリュームコントロールの終了］をクリックする。**

ご注意

手順1の「Volume Control」画面で「Microphone」や「Line」の調節をすると、スピーカーやヘッドホンから聞こえる音量を調節することはできますが、録音には反映されません。録音レベルなどを調節する際は、必ず手順3の「Recording Control」画面で行ってください。

マイク入力とライン入力を切り替える

1 **デスクトップ画面右下のタスクトレイにある をダブルクリックする。**

「Volume Control」画面が表示されます。

2 **［オプション］メニューの［プロパティ］をクリックする。**

「プロパティ」画面が表示されます。

3 **「音量の調整」から［録音］を選び、［OK］をクリックする。**

「Recording Control」画面が表示されます。

4 **「Microphone」または「Line」の［選択］をクリックしてチェックし、［オプション］メニューの［ボリュームコントロールの終了］をクリックする。**

マイクからの音を録音したり、音声認識ソフトウェアなどでマイクを使う場合は、「Microphone」を選択します。

オーディオ機器などからの音を録音する場合は、「Line」を選択します。

録音レベルを調節するには、音量スライダを上下に動かしてください。

ご注意

手順1の「Volume Control」画面で「Microphone」や「Line」の調節をすると、スピーカーやヘッドホンから聞こえる音量を調節することはできますが、録音には反映されません。録音レベルなどを調節する際は、必ず手順3の「Recording Control」画面で行ってください。

「Recording Control」画面で「Microphone」や「Line」が表示されないときは

1 **［オプション］メニューの［プロパティ］をクリックする。**

2 **「表示するコントロール」から表示させたい項目をクリックする。**

3 **［OK］をクリックする。**

マイクの音量が小さいときは

下記の設定を行うと、録音されるマイク音量が増幅されます。

1 デスクトップ画面右下のタスクトレイにある をダブルクリックする。

「Microphone」が表示されていない場合は、［オプション］メニューの［プロパティ］をクリックして、「表示するコントロール」画面から［Microphone］を選び、［OK］をクリックします。

2 ［オプション］メニューの［トーン調整］をクリックする。

「Microphone」画面に［トーン］が表示されます。

3 「Microphone」の［トーン］をクリックする。

「Microphone の詳細設定」画面が表示されます。

4 「そのほかの調整」の［Mic 20dB］をクリックして、［閉じる］をクリックする。

再生音量を調節する

1 デスクトップ画面右下のタスクトレイにある  をダブルクリックする。

「Volume Control」画面が表示されます。

2 各サウンドデバイスの再生音量を調節する。

表示されないサウンドデバイスがある場合は、

① ［オプション］メニューの［プロパティ］をクリックする。

②「音量の調整」の［再生］を選ぶ。

③「表示するコントロール」から項目を選んでチェックする。

④ ［OK］をクリックする。

サウンドデバイス	機能
Volume Control	スピーカーやヘッドホンから聞こえる音の全体の調整をします。
WAVE	「.wav」ファイルの再生時やWindowsの各種効果音の調整をします。
PC Beep	PCカードを抜き差しするときなどに聞こえるビープ音を調整します。
Telephony[1]	モデムや電話回線の音を調整します。
Microphone[2]	内蔵ステレオマイクや、本機に接続した外部マイクの音を調整します。
Line	本機に接続したオーディオ機器の音量を調整します。
CD Audio	CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series などによるCDのデジタル再生音量を調整します。
Midi Out[3]	MIDIの音量を調整します。
3D Wide	効果音に広がりをもたせます（ゲームなどに適しています）。

[1] 回線の音はデジタル化しているので、会話の聞き取りには適しません。

[2] マイクにエコーをかける場合は下記の手順で操作します。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。

2 ［ヤマハ DS-XG設定］アイコンをダブルクリックする。

3 ［エコー］タブをクリックする。

4「有効」をクリックし、好みに合わせて「遅延時間」などを設定する。

5 ［OK］をクリックする。

ご注意

録音時や音声を扱うソフトウェアでマイクエコーを使用する場合、機能の一部に制限があります。

3) MIDI音源に効果をかけるには、下記の手順で操作します。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。

2 ［ヤマハ DS-XG設定］アイコンをダブルクリックする。

3 ［シンセ］タブをクリックする。

4 好みのエフェクトを選び、［OK］をクリックする。

録音音量を調節する

1 **デスクトップ画面右下のタスクトレイにある をダブルクリックする。**

「Volume Control」画面が表示されます。

2 **［オプション］メニューの［プロパティ］をクリックする。**

「プロパティ」画面が表示されます。

3 **「音量の調整」の［録音］を選び、［OK］をクリックする。**

「Recording Control」画面が表示されます。

4 **各サウンドデバイスの録音音量を調節する。**

表示されないサウンドデバイスがある場合は、

①［オプション］メニューの［プロパティ］をクリックする。

②「音量の調整」の［録音］を選ぶ。

③「表示するコントロール」から項目を選んでチェックする。

④［OK］をクリックする。

サウンドデバイス	機能
Telephony	モデムや電話回線の音を調整します。
Microphone	内蔵ステレオマイクや、本機に接続した外部マイクの音を調整します。入力される音はモノラルになります。
Line	本機に接続したオーディオ機器の音量を調整します。
CD Audio	CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series などによるCDのデジタル再生音量を調整します。
Stereo Out	「Volume Control」で調整し出力されるすべての音を調整します（ただし、メガベース機能は働きません）。
Stereo Mic	内蔵ステレオマイクや、本機に接続した外部マイクの音を調整します。入力される音はステレオになります。

操作する（カメラシューティングスタイル）

カメラシューティングスタイルでこんなことができます

静止画や動画を撮影する

付属の「URecSight」ソフトウェアを使って、静止画や動画を撮影することができます。画像にエフェクト（特殊効果）を加えて撮影したり、動画を長時間撮影したりすることもできます。

画像を撮影しながらインターネット上にアップロードする

付属の「URecSight」ソフトウェアを使って、画像（静止画や動画）を撮影しながらインターネット上の「ImageStation」サービスにアップロードして保管することができます。
「ImageStation」について詳しくは、別冊の「インターネットで楽しむバイオGT & URecSight」をご覧ください。

撮影している動画をネット上で配信する

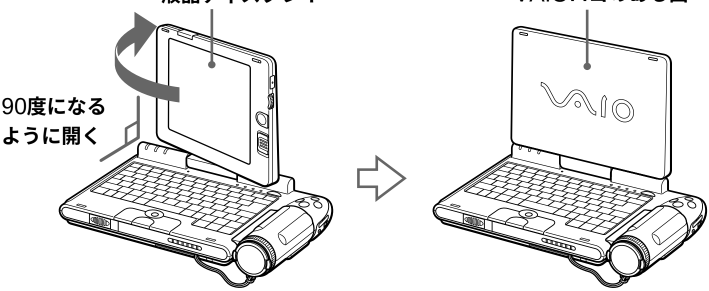
内蔵カメラ（MOTION EYE）や本機のi.LINKコネクタにつないだデジタルビデオカメラレコーダーなどで撮影している動画をネット上で配信することができます。配信するには付属の「URecSight」ソフトウェアを使って、CastaDriveに対応した「PercasTV」サービスを利用します。
「PercasTV」について詳しくは、別冊の「インターネットで楽しむバイオGT & URecSight」をご覧ください。

カメラシューティングスタイルにする

撮影のためには、本機をカメラシューティングスタイルにする必要があります。

1 ディスプレイパネルを左側に回し、VAIOロゴのある面が正面になるように裏返す。

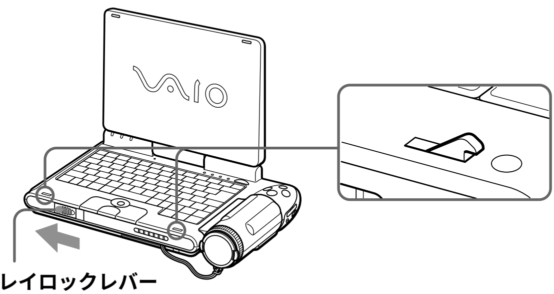
液晶ディスプレイに手が触れないようにしてください。また、ディスプレイパネルを回すときは、キーボードと液晶ディスプレイの角度が90度になるように開いてから回転してください。



ご注意

ディスプレイパネルを回すときは、キーボードと液晶ディスプレイの角度が90度になるようにしてください。ディスプレイパネルを斜めにして回すと、液晶ディスプレイとキーボードが接触して、本機に傷がついたり故障するおそれがあります。

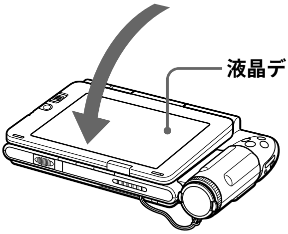
2 ディスプレイロックレバーをLOCK側にずらしてツメを出す。



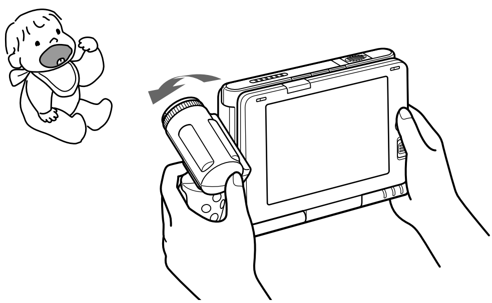
次のページにつづく

3 **液晶ディスプレイを上にして、ディスプレイパネルを閉じる。**

「カチッ」と音がするまで確実に閉じてください。



4 **両手で本機を持ち、レンズキャップをはずして内蔵カメラ（MOTION EYE）を下図のように被写体に向ける。**



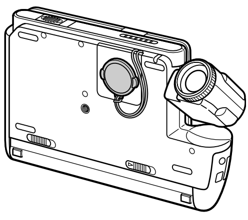
手前側の被写体（自分など）を撮るときは

内蔵カメラ（MOTION EYE）を手前に向けます。

これで撮影する準備ができました。静止画や動画の撮影について詳しくは、「静止画を取り込む」（143ページ）または「動画を取り込む」（147ページ）をご覧ください。

レンズキャップを収納する

レンズキャップは、下図のようにレンズキャップホルダーに収納しておくと、邪魔になりません。

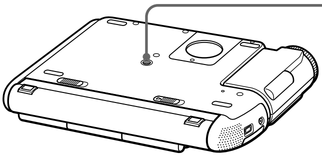


ご注意

- 内蔵カメラ（MOTION EYE）を使わないときは、必ずレンズキャップを内蔵カメラ（MOTION EYE）に取り付けておいてください。
- 撮影時以外は、本機はPCスタイルにしてください。

三脚を取り付ける

お手持ちの三脚に取り付けて撮影することもできます。

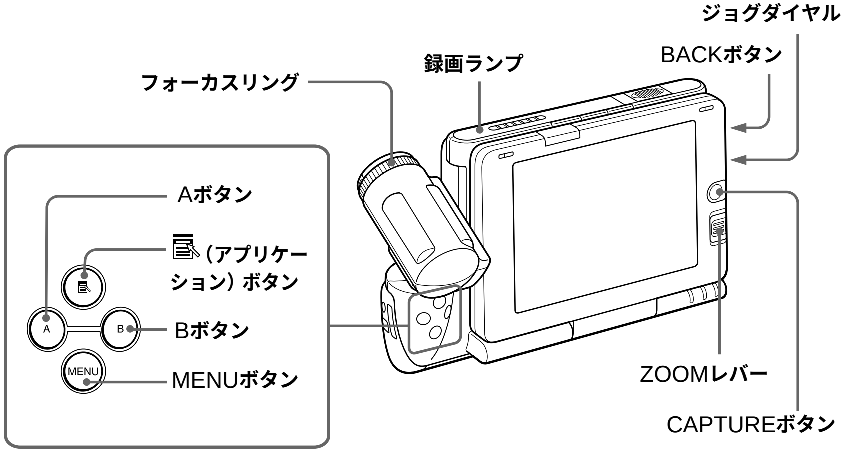


ご注意

- 三脚を取り付けたまま、本機を持ち歩かないでください。本機が落下して、故障の原因となります。
- 三脚は、ネジの長さが6.5mm未満のものをお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。
- 取り付けるときは、本機が地面と水平になるように取り付けてください。本機が傾いていると転倒の原因となります。
- 本機の向きを調整するときは、三脚のハンドルおよび本機を手で支えて、本機が転倒しないようにしてください。
- 本機の内蔵カメラ（MOTION EYE）や液晶ディスプレイの角度を調整するときは、必ず本機を手で支えて行ってください。
- 本機のキーボードやポインティング・デバイスなどを操作するときは、必ず本機を手で支えて行ってください。
- 本機を取り付けた三脚が転倒しないよう、充分に大きい三脚をお使いください。

カメラシューティングスタイルで使用するボタン

カメラシューティングスタイルでは、下図のボタンなどを使います。



録画ランプ

動画を録画中に点灯（アンバー（赤褐色））します。

BACKボタン

ひとつ前に選んでいた内容を表示したり、エフェクトのメニューをキャンセルします。

ジョグダイヤル

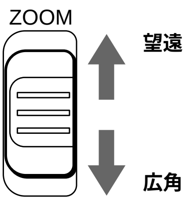
操作パネルのモードやエフェクトの種類を選びます。

CAPTUREボタン

「URecSight」ソフトウェアを起動したり、画像を取り込んだりします。また、省電力動作モードのスタンバイ、休止状態のときに、元の状態に戻します。さらに電源オフ時には、パワーボタンとして、本機の電源を入れることもできます。

ZOOMレバー

画像の倍率を変えます。レバーを下にすると広角、上にすると望遠になります。



（アプリケーション）ボタン

現在選択されているメニューを表示させます。「URecSight」ではアプリケーションメニューを表示します。

Aボタン

「URecSight」など、Aボタンに対応したソフトウェアで使用します。

Bボタン

「URecSight」など、Bボタンに対応したソフトウェアで使用します。

フォーカスリング

画像のピントを合わせます。工場出荷時はオートフォーカスに設定されていますが、マニュアルに設定を変更したときに使います。（152ページ）

MENUボタン

システムメニューを表示します。システムメニューには以下の項目があります。



- ❑ **URecSight 撮影/ImageStation**

  ジョグダイヤルを操作して、「URecSight」で静止画や動画を撮影したり、その画像を「ImageStation」サービスにアップロードすることができます。

  「ImageStation」について詳しくは、別冊の「インターネットで楽しむバイオGT & URecSight」をご覧ください。

- ❑ **URecSight ライブ/CastaDrive**

  ジョグダイヤルを操作して、「URecSight」で本機の内蔵カメラ（MOTION EYE）で撮影している動画を「PercasTV」サービスなどを利用してネット上で配信することができます。

  「PercasTV」について詳しくは、別冊の「インターネットで楽しむバイオGT & URecSight」をご覧ください。

❑ **カメラ設定**

ジョグダイヤルを操作して、内蔵カメラ（MOTION EYE）の画質やモードの設定ができます。（151ページ）

❑ **録音設定**

ジョグダイヤルを回して本機の録音音量を調節することができます。ジョグダイヤルを押すと、調節した音量に設定されます。

❑ VAIO**設定**

「ジョグダイヤルランチャーの操作」（68ページ）をご覧ください。

❑ **便利ツール**

- Window Switcher
  ジョグダイヤルを使って、アクティブ状態のウィンドウを変更できます。
- ダイヤルアップツール
  ジョグダイヤルを使って、ダイヤルアップ先を選択し、接続することができます。
- フォルダブラウザ
  ジョグダイヤルを使って、フォルダの中を閲覧（ブラウジング）することができます。
- ［スタート］メニュー
  ジョグダイヤルを使って、［スタート］メニューの表示や［スタート］メニュー内の項目の選択／実行ができます。

❑ **手前のウィンドウを閉じる**

ジョグダイヤルを押すと、手前のウィンドウを閉じることができます。

❑ **スタンバイ**

ジョグダイヤルを操作して、本機の動作モードをスタンバイに変更することができます。（236ページ）

❑ **休止状態**

ジョグダイヤルを操作して、本機の動作モードを休止状態に変更することができます。（236ページ）

❑ Windows **の終了**

ジョグダイヤルを押して、Windowsを終了することができます。

静止画を取り込む

「URecSight」ソフトウェアを使って、内蔵カメラ（MOTION EYE）で静止画を撮ることができます。

ご注意

- 内蔵カメラ（MOTION EYE）のレンズに触らないでください。
- レンズが汚れている場合は、やわらかい布などで汚れを拭き取ってください。汚れたままだと、取り込む画像が劣化します。
- 電源の入／切にかかわらず、内蔵カメラ（MOTION EYE）を太陽に向けないでください。内蔵カメラ（MOTION EYE）の故障の原因となります。
- 内蔵カメラ（MOTION EYE）は取りはずせません。
- 「URecSight」は、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使う他のソフトウェア（Smart Capture、CyberCode Finderなど）と同時に使用することはできません。「URecSight」を使うときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用する他のソフトウェアを終了してください。
- 本機から「Smart Capture」をアンインストール（削除）すると、「URecSight」は正常に使用できなくなります。「Smart Capture」をアンインストールしないでください。

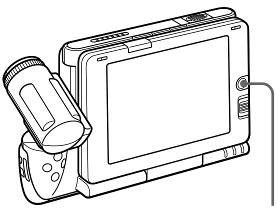
重要な記録をする際は、実際に画像を取り込む前にためし撮りをし、正常に動作するか確認することをおすすめします。万一、本機の不具合などにより画像が取り込めなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

1 **本機をカメラシューティングスタイルにする。**

詳しくは、137ページをご覧ください。

2 CAPTURE**ボタンを押し込む。**

「URecSight」が起動し、ファインダウィンドウが表示されます。



CAPTURE**ボタン**



3 ジョグダイヤルを回して「Function」の［撮る］を選び、ジョグダイヤルを押す。



4 ジョグダイヤルを回して「Camera」の［STILL］を選び、ジョグダイヤルを押す。

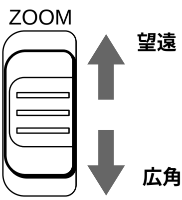


5 必要に応じて撮影の設定をする。

設定について詳しくは、「URecSight」のヘルプをご覧ください。ヘルプを見るには、（アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［ヘルプ］を選んでからジョグダイヤルを押します。

6 ZOOMレバーで倍率を合わせる。

レバーを下にすると広角、上にすると望遠になります。



7 **画像にエフェクトを加えるときは、Aボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルを回してエフェクトの種類を選び、ジョグダイヤルを押す。**

操作について詳しくは、「URecSight」のヘルプをご覧ください。
ヘルプを見るには、（アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［ヘルプ］を選んでからジョグダイヤルを押します。

8 CAPTURE**ボタンを軽く押す。**

画像が一時的に静止します。
画像を選び直すときは、CAPTUREボタンを離してから選び、もう1度軽く押します。

9 CAPTURE**ボタンを押し込む。**

画像が取り込まれ、画面右上のプレビュー画面に静止画が表示されます。



取り込まれた静止画

- 手前側（自分など）撮影時、ファインダウィンドウに映る画像は鏡のように映りますが、取り込まれた画像は左右正しくなります。
- 「URecSight」で取り込んで表示される静止画は、「URecSight」を終了したり、本機の電源を切った後も、あらかじめ設定された「静止画像記録フォルダ」に保存されています。詳しくは、「URecSight」のヘルプをご覧ください。ヘルプを見るには、（アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［ヘルプ］を選んでからジョグダイヤルを押します。

ご注意

- 「URecSight」で取り込める静止画のサイズは、640×480、320×240、160×120、80×60 の4種類です。
- 動きの速い被写体をファインダウィンドウに表示させると画面に水平方向に段差のようなものが発生する場合がありますが、これは故障ではありません。

撮影した静止画の一覧を見るには

「Function」の［見る・送る］を選び、ジョグダイヤルを押します。

詳しくは、「URecSight」のヘルプをご覧ください。ヘルプを見るには、(アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［ヘルプ］を選んでからジョグダイヤルを押します。



ここを選ぶ。

「URecSight」を終了するには

(アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［URecSightの終了］を選んでからジョグダイヤルを押します。

動画を取り込む

「URecSight」ソフトウェアを使って、内蔵カメラ（MOTION EYE）で動画を撮ることができます。

ご注意

- 内蔵カメラ（MOTION EYE）のレンズに触らないでください。
- レンズが汚れている場合は、やわらかい布などで汚れを拭き取ってください。汚れたままだと、取り込む画像が劣化します。
- 電源の入／切にかかわらず、内蔵カメラ（MOTION EYE）を太陽に向けないでください。内蔵カメラ（MOTION EYE）の故障の原因となります。
- 内蔵カメラ（MOTION EYE）は取りはずせません。
- 「URecSight」は、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使う他のソフトウェア（Smart Capture、CyberCode Finderなど）と同時に使用することはできません。「URecSight」を使うときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用する他のソフトウェアを終了してください。
- 本機から「Smart Capture」をアンインストール（削除）すると、「URecSight」は正常に使用できなくなります。「Smart Capture」をアンインストールしないでください。

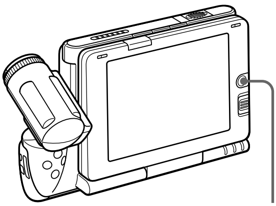
重要な記録をする際は、実際に画像を取り込む前にためし撮りをし、正常に動作するか確認することをおすすめします。万一、本機の不具合などにより画像が取り込めなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

1 **本機をカメラシューティングスタイルにする。**

詳しくは、137ページをご覧ください。

2 CAPTURE**ボタンを押し込む。**

「URecSight」が起動し、ファインダウィンドウが表示されます。



CAPTUREボタン



次のページにつづく

3 ジョグダイヤルを回して「Function」の［撮る］を選び、ジョグダイヤルを押す。



4 ジョグダイヤルを回して「Camera」の［NET MOVIE］（ネットムービー）または［LONG MOVIE］（長時間）を選び、ジョグダイヤルを押す。

- NET MOVIE
  – 最大99分間の動画を録画できます。
  – 録画した動画のデータはインターネット上の「ImageStation」サービスにアップロードできます。
  – 録画するときにエフェクトを加えることができます。
- LONG MOVIE
  – 録画時にハードウェアを使って圧縮するので、高解像度、高フレームレートでの録画が行えます。
  – 録画時間の制限はありません。ディスクの空き容量に応じて最大1Gバイトまでのファイル容量の動画を録画できます。

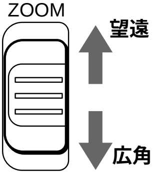


5 必要に応じて撮影の設定をする。

画面サイズや画質などを設定できます。設定について詳しくは、「URecSight」のヘルプをご覧ください。
ヘルプを見るには、（アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［ヘルプ］を選んでからジョグダイヤルを押します。

6 ZOOMレバーで倍率を合わせる。

レバーを下にすると広角、上にすると望遠になります。



7 画像にエフェクトを加えるときは、Aボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルを回してエフェクトの種類を選び、ジョグダイヤルを押す。（NET MOVIEのみ）

操作について詳しくは、「URecSight」のヘルプをご覧ください。
ヘルプを見るには、 （アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［ヘルプ］を選んでからジョグダイヤルを押します。

8 CAPTUREボタンを押す。

録画が開始し、録画中の動画が表示されます。
録画ランプが点灯（アンバー（赤褐色））します。

9 CAPTUREボタンを再度押して、録画を終了する。

録画ランプが消灯します。

- 手前側（自分など）撮影時、ファインダウィンドウに映る画像は鏡のように映りますが、取り込まれた画像は左右正しくなります。
- 「URecSight」で取り込まれる動画のフォーマットは、次のようになります。

NET MOVIE時

– 非圧縮時

ビデオ形式：160×120 ピクセル、24ビット、最大10フレーム／秒（非圧縮）
オーディオ形式：16ビットPCM、11.025KHz、モノラル

– MPEG1形式での圧縮時

ビデオ形式：MPEG1、160×112 ピクセル、最大30フレーム／秒（実質最大10フレーム／秒相当）
オーディオ形式：MPEG1、44.1KHz（実質11.025 kHz相当）、モノラル

LONG MOVIE時

ビデオ形式：モーションJPEG、640×480 ピクセル、最大15フレーム／秒、またはモーションJPEG、320×240 ピクセル、最大30フレーム／秒
オーディオ形式：16ビットPCM、22.05KHz、ステレオまたはモノラル

ご注意

- NET MOVIEでは、録画できる時間は最大99分間です。
- LONG MOVIEでは、録画できる容量は最大1 Gバイトまでです。

取り込んだ動画を見るには

「Function」の［見る・送る］を選び、ジョグダイヤルを押します。
詳しくは、「URecSight」のヘルプをご覧ください。ヘルプを見るには、（アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［ヘルプ］を選んでからジョグダイヤルを押します。



ここを選ぶ。

「URecSight」を終了するには

（アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［URecSightの終了］を選んでからジョグダイヤルを押します。

動画を編集する

本機の内蔵カメラ（MOTION EYE）で撮影した動画にさまざまな特殊効果を加えるなど、楽しく簡単に編集することができます。
この操作は本機をPCスタイルにして行ってください。

内蔵カメラ（MOTION EYE）で動画を撮影する

「URecSight」の NET MOVIE および LONG MOVIEで撮影した動画を編集できます。

「MovieShaker」ソフトウェアを起動する

「MovieShaker」ソフトウェアを使って動画を編集します。
「MovieShaker」の使いかたについて詳しくは、「MovieShaker」のヘルプをご覧ください。

内蔵カメラ（MOTION EYE）の画質などを設定する

「カメラ設定ユーティリティ」を使って、内蔵カメラ（MOTION EYE）の画質やモードを設定できます。

1 MENU**ボタンを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「カメラ設定」を選び、ジョグダイヤルを押す。**

「カメラ設定ユーティリティ」画面が表示されます。



- ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］から［MOTION EYE］アイコンを選んでも、「カメラ設定ユーティリティ」を起動できます。
- 他のソフトウェアで内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用していると、ファインダ画面は表示されませんが、カメラ設定を行うことはできます。

3 **設定を変更する。**

変更したい設定項目をクリックして、設定を変更してください。

項目	内容
明るさ	• オート：画像の明るさを自動的に調整します。 • マニュアル：スライダを動かして手動で調節します。

次のページにつづく

項目	内容
ホワイトバランス	撮影時の光量に応じて、自然な色あいの画像になるように設定します。 • オート：光量に応じて自然な色合いになるよう、自動的に調節します。 • 屋内：屋内での撮影に適したモードです。 • 屋外：屋外（自然光のもと）での撮影に適したモードです。 • ホールド：直前のホワイトバランスの状態を保持し、設定が自動的に変化しないようにします。
フォーカス	• オート：フォーカスを自動的に調整します。 • マニュアル：フォーカスリングを回して、手動でピントを合わせます。
デジタルズーム	• ON：ズーム倍率は40倍までになります。 • OFF：デジタルズームを解除します。ズームは10倍までになります。
手ぶれ補正	• ON：手ぶれ補正します。 • OFF：手ぶれ補正を解除します。三脚に取り付けて撮影するときなどは、自然な画像になります。
逆光補正	• ON：被写体の後ろに光源があり、被写体が暗く写るときなどに自動的に明るさを補正します。 • OFF：逆光補正を解除します。
フィールド／フレーム	被写体の動きに応じて設定します。 • フィールド：動きの激しい被写体の撮影に適したモードです。 • フレーム（補間）：フィールドモードとフレームモードの中間のモードです。 • フレーム：静止している被写体の撮影に適したモードです。

- 撮影条件や被写体によって、適切なモードは異なります。
- ホワイトバランスを「ホールド」にしたまま屋内外を行き来すると、色あいが正しくならない場合があります。いったん「オート」にして、白っぽい被写体を10秒程度撮影すると、よりよい色あいに調節されます。
- 手ぶれ補正がONになっていても、手ぶれが大きすぎると補正しきれないことがあります。
- デジタルズームを使うと、画像をデジタル処理するため、画質が低下します。デジタルズームを使う必要がないときは、「デジタルズーム」を「OFF」にすることで、デジタルズームになることを防ぐことができます。

4 ［OK］**をクリックする。**

設定が有効になります。

💡

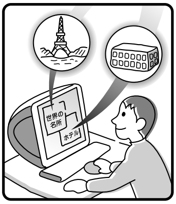
［標準に戻す］をクリックしてから［OK］をクリックすると、工場出荷時の設定に戻ります。

インターネットを始める

インターネットとは

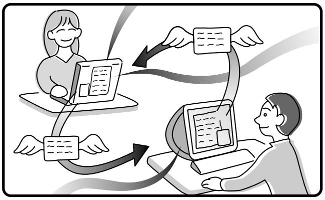
インターネットとは、世界中のコンピュータがつながった、地球規模のネットワークのことです。ここではインターネットでできることを簡単に紹介します。

ホームページを見る



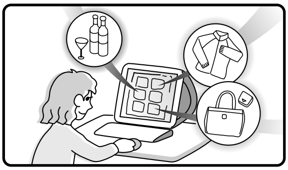
世界の景色を見る。
ホテルや乗物の予約をする。
調べたい情報を検索する。
趣味の仲間をさがす。
すべてが地球規模です。

電子メールをやりとりする



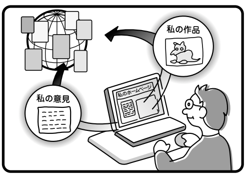
世界各国に時間を
気にすることなく
好きなときに、
電子メールを送れます。

オンラインショッピングをする



食べ物や衣類など、
家に居ながら遠く離れた外国でも
行きつけのお店の感覚で
買い物ができます。

情報を発信する



自分の意見を発言する。
趣味の仲間をつのる。
絵や文芸作品を発表する。
仕事の広告を出す。
世界中が読者です。

インターネット接続に必要なものは

世界中の情報に接することのできるインターネットですが、インターネット自体は電話回線のように、ケーブルがつながったものでしかありません。情報を受け取ったり、発信したりするためには専用のソフトウェアが必要になります。
また、電話回線を通してインターネットにつなぐためにインターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。
インターネットに接続するために必要なものは以下の通りです。

電話回線

電話回線には一般電話回線とISDN回線の2種類があります。電話を使っている回線が一般電話回線です。
ISDN回線をお使いになる場合はNTT（局番なしの116番）にご相談ください。

ISDNとは

NTTのデジタル通信網を使った回線で、通信速度も速く、1回線で従来の2回線が使えます。

ADSLについて

ADSLとは、「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットへ高速に常時接続できるサービスのことです。
このサービスを利用するには、ADSL接続サービスを提供している接続業者と契約し、申し込むことが必要です。
ADSL接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するADSL接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

ターミナルアダプタ

コンピュータや従来の一般電話回線対応の通信機器、電話機をつなぐためのISDN回線用の機器です。ISDN回線を使って本機を使用するためには、本機の他にこの機器が必要になります。
ターミナルアダプタについて詳しくは、NTT（局番なしの116番）またはターミナルアダプタの製造元にお問い合わせください。

次のページにつづく

モデム

電子メールをやりとりしたり、インターネット上のホームページを見るために電話をかける装置です。本機には内蔵されていますので、準備する必要はありません。

ソフトウェア

インターネットに接続してホームページを見るには専用のソフトウェア(「ウェブブラウザ」と言います。)が必要です。また、電子メールをやりとりするにも専用のソフトウェアが必要です。本機には両方の専用ソフトウェアが付属しています。

本機には以下のウェブブラウザおよび電子メールソフトウェアが付属しています。

❑ ウェブブラウザ

Microsoft Internet Explorer

❑ 電子メールソフトウェア

Outlook Express

Eudora

PostPet

この説明書では、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアと「Outlook Express」ソフトウェアの設定と使いかたを中心に説明していきます。

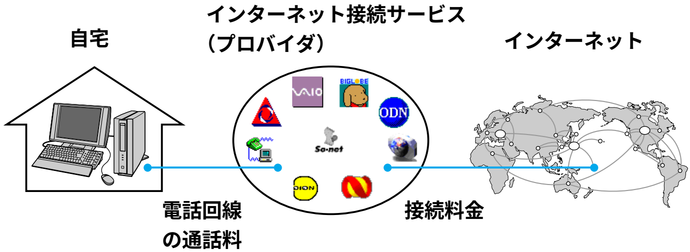
これらのソフトウェアの特長について詳しくは、「付属ソフトウェア一覧」(287ページ)をご覧ください。

インターネット接続サービス(インターネットサービスプロバイダ)

インターネットにつなぐためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。この会社のことを「インターネットサービスプロバイダ」または単に「プロバイダ」と言います。(以下、「プロバイダ」と記します。)

プロバイダはインターネットと本機との間を仲介する役割を持っています。

プロバイダと契約すると、インターネットを使って、いろいろな情報が載ったホームページを簡単に見ることができます。また、「電子メールアドレス」という、あなたの住所のようなものが契約時に用意されます。電子メールアドレスは、電子メールを送受信するときの宛先になります。これらのサービスの他に、契約するプロバイダによっていろいろなサービスがあります。
プロバイダと契約すると、サービスに応じた接続料金がかかります。また、プロバイダには電話回線を使って接続するので、接続料金とは別に電話回線の通話料がかかります。



ご注意

- 本機および付属ソフトウェアの設定によっては、本機の電源を切っている間でも、自動的にインターネットに接続することがあります。自動接続すると、接続を自動的に終了しないことがあります。この場合、通話料と接続料金が多額になる可能性がありますので、ご注意ください。
- インターネットに接続している間は、電話をかけたり、受けたりできないことがあります。

インターネット上のトラブルについて

現在一般に普及し、さまざまなサービスを提供しているインターネットですが、普及に伴いトラブルも発生しています。
インターネットは非常に便利なものですが、使いかたを誤ったり、安易な気持ちで使用すると思わぬトラブルにあう可能性があります。

インターネット上の情報について

インターネット上の情報はすべてが正しいとは限りません。
ひぼう・中傷・暴力・わいせつなど、情報を受ける側もモラルを持って情報を利用する必要があります。
また、情報を発信する場合もマナーを守って行わないと、気がつかないところで自分が加害者になる恐れもあります。
ユーザー名やパスワードなどは他人に知られないように管理してください。

コンピュータウイルスやチェーンメールなどの被害について

ホームページからダウンロードしたファイルや悪意を持った人たちから突然送られてくる電子メールには、コンピュータウイルス（コンピュータの動作に悪影響を与えるプログラム）が潜んでいたり、チェーンメールなどにより不快な内容の電子メールが送られてくることもあります。
見知らぬ人から電子メールが送られてきた場合は、安易に開いたり、プログラムを実行せずに削除してください。
また、できるだけインターネットサービスプロバイダなどに報告して、自分が加害者にならないようにしましょう。
本機にはコンピュータウイルス検査／除去用のソフトウェアとして「Norton AntiVirus」ソフトウェアが付属しています。このソフトウェアについて詳しくは、「コンピュータウイルスについて」（328ページ）、および「Norton AntiVirus」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

情報の機密性について

ソフトウェアやOSなどの不具合により、コンピュータの情報などがインターネット上にもれ出すことがあります。悪意を持った人たちの標的になりやすいため対応することが必要です。
ウェブブラウザやOSの各ソフトウェアの情報が、開発元のホームページなどに掲載されていますので、不具合情報をこまめに確認することをおすすめします。
また、電子メールには完全な機密性はありません。送信する内容にはご注意ください。

インターネットショッピングでのトラブル

インターネットショッピングをするときに、むやみにクレジットカードの番号を入力しないようにご注意ください。プライバシー情報がもれる可能性があります。
注文した品物と違う、代金を送金したのに品物が届かないなどのトラブルも発生しています。できるだけ信用のおけるところを利用するなどの注意が必要です。

その他

インターネット上で無料で公開されているソフトウェアの中には、国際電話やダイヤルQ2などに接続してしまうものもあります。
知らない間に接続し、課金されている場合がありますのでご注意ください。

- インターネット上での個人情報の公開には細心の注意を払いましょう。
- 社会的に犯罪とされているものはインターネット上でも犯罪です。

インターネットに接続するまでの流れ

インターネットを利用してホームページを見たり、電子メールをやりとりするには、本機をインターネットに接続する必要があります。
以下の流れに従ってインターネットに接続します。詳しくは、各手順の参照ページをご覧ください。

ご注意

管理者権限（Administrators）のユーザーのみインターネットに接続するための設定を行うことができます。

Administratorとは

「アドミニストレーター」と読みます。Administratorは、ハードウェアやソフトウェアの設定を変更できる管理者権限（Administrators）のある、あらかじめ用意されたユーザー名です。

1 電話回線につなぎましょう（164ページ）

本機を電話回線につなぎます。

電話回線にISDN回線をお使いになる場合は、NTT（局番なしの116番）にご相談ください。

↓

2 プロバイダと契約しましょう（167ページ）

プロバイダと契約します。契約すると、インターネット接続に必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。

↓

3 チェックシートを作成しましょう（171ページ）

プロバイダから郵送されてきた資料をもとに、チェックシートを作成します。資料の内容など、インターネット接続の設定の際の不明点については、契約したプロバイダにお問い合わせください（168ページ）。

ご注意

郵送されてくるまでしばらく時間がかかります。

↓

4 接続のための設定をしましょう（178ページ）

チェックシートをもとに、本機を使ってインターネットに接続するための設定をします。

5 電子メールソフトウェアの設定をしましょう（183ページ）

電子メールを使うときは電子メールを使うための設定をします。

6 インターネットに接続してみましょう（188ページ）

契約したプロバイダに接続します。

7 ホームページを見てみましょう（191ページ）

ホームページを見る練習をします。

8 電子メールをやりとりしてみましょう（196ページ）

電子メールをやりとりする練習をします。

電話回線につなぐ

付属のテレホンコードを使って本機と電話回線をつなぐと、インターネットを楽しんだり、ファックスを送受信できるようになります。
本機の内蔵モデム（V.90、K56flex対応）の通信速度は、データ受信時最大56 kbps、データ送信時最大33.6 kbpsです。電話回線の状況によって通信速度は変化することがあります。
お使いの電話回線のコンセントによっては、別売りアクセサリが必要なものもあります。接続する前にコンセントの種類をご確認ください。
詳しくは、「電話回線のコンセントの種類」（338ページ）をご覧ください。

ご注意

使用可能な回線は、一般電話回線です。PBX（構内交換機）回線には接続しないでください。故障・発火の原因になります。

1 お使いの電話回線のダイヤル方法を確認する。

電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしないときはトーン式ダイヤルです。ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機は、パルス式ダイヤルです。

2 モデムのダイヤル方法を設定する。

① **［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。**

② **［電話とモデムのオプション］アイコンをダブルクリックする。**

③ **［ダイヤル情報］タブで所在地を選び、［編集］をクリックする。**
新しく所在地を設定する場合は、［新規］をクリックします。

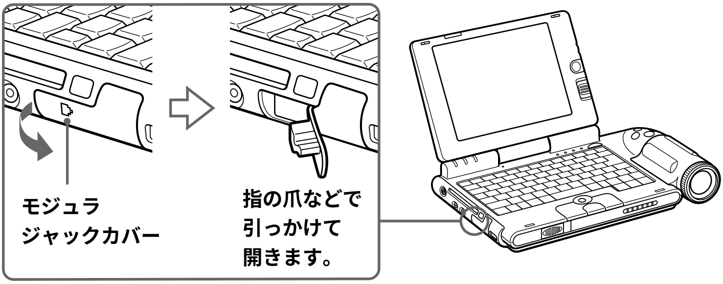
④ **［全般］タブの「ダイヤル方法」で、上記手順 1 で確認したお使いの電話回線のダイヤル方法に合わせて［トーン］または［パルス］を選択する。**

⑤ **市外局番を入力する。**
外線発信番号が必要な場合は、「外線発信番号」で市内通話/市外通話ともに入力してください。

⑥ ［OK］**をクリックする。**
手順3の画面に戻ります。

⑦ ［OK］**をクリックする。**

3 モジュラジャックカバーを開ける。

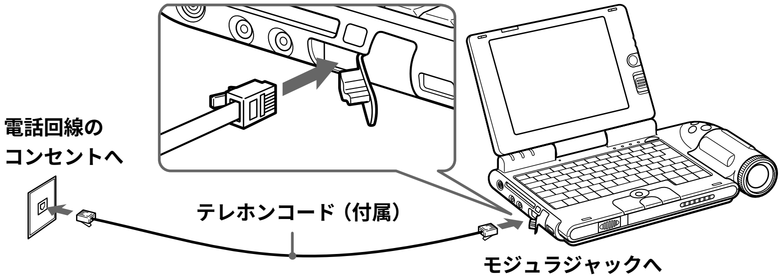


ご注意

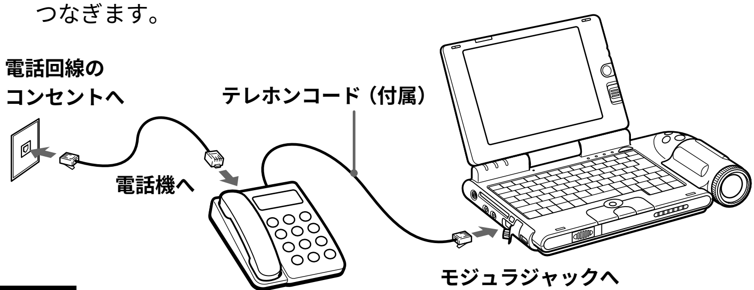
- カバーを開く際は、強く引っ張りすぎないようにご注意ください。
  引きすぎると破損の原因となります。
- カバーを取りはずすことはできません。

4 電話回線につなぐ。

モジュラジャックは本機の横側から、モジュラプラグのツメが「カチッ」とロックするまでまっすぐに差し込みます。



モジュラジャックが2 つある電話機をお使いのときは、下図のようにつなぎます。



ご注意

接続後、お使いになる通信用ソフトウェアで、電話機やファックス、通信方法などの設定をする必要があります。詳しくは、それぞれのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

電話回線についてのご注意

- PBXの中には、回線の電気条件がNTTの一般電話回線と同じものもありますが、接続できるかどうかは、PBXメーカーまたはPBX保守業者にお問い合わせください。
- 本機の内蔵モデムは、通信相手が応答しない場合、60 秒で電話を切るように設定されています。30 秒以内に電話を切るようにモデムの設定を変更することもできますが、この場合、交換機の接続遅延時間によっては接続できないことがあります。設定を変更する場合でも、30 秒以上に設定するようおすすめします。
- ISDN回線などでTA（ターミナルアダプタ）をお使いのときは、TAとの接続やTAの設定を確認してください。詳しくは、TAの取扱説明書をご覧ください。
- 契約したプロバイダがV.90またはK56flexに対応している場合、最大56 kbpsで通信が可能です。ただし、電話回線の状態によって、通信速度は変化します。V.90 、K56flex は自動的に選択されます。
- 分配器を使用して電話回線を分岐すると、モデムおよび接続先の機器が正しく動作しないことがあります。
  なお、屋内配線の中には分配器経由で各部屋に配線されている場合があります。
- モデムのプロパティから国選択ができますが、本機を使用する場合は、必ず日本国モード（工場出荷時のまま）でご使用ください。他国のモードをご使用になると、電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。

なお、「困ったときは」の「モデム・インターネット」（260ページ）もあわせてご覧ください。

ISDN回線につなぐときは

「ISDN回線」とはNTTのデジタル通信網を使った電話回線で、通信速度も速く、1回線で従来の2回線が使えます。ISDN回線を使って本機を使用するには、付属のテレホンコードのほかにターミナルアダプタや従来の一般電話回線対応の通信機器、電話機をつなぐためのISDN回線用の機器が必要です。

オンラインカスタマー登録（42ページ）やインターネットに接続して（188ページ）ホームページを見たり、電子メールをやりとりするときは、本機のUSBコネクタとターミナルアダプタのデジタルポート（USBコネクタ）をつないでください。

接続について詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

プロバイダと契約する

インターネットに接続するには、インターネット接続サービスを提供する会社「プロバイダ」と契約する必要があります。
数多くのプロバイダがありますので、料金やサービスの内容をご検討のうえ、ご自分にあったプロバイダと契約することをおすすめします。料金やサービスの内容について詳しくは、デスクトップ画面上の［インターネット接続サービス］アイコンをダブルクリックし、表示される「インターネット接続サービスご紹介」画面の各プロバイダの紹介画面をご覧ください。

オンラインサインアップとは

電話回線を通じてプロバイダと契約することです。

ご注意

- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。

本機では以下の2つの方法が用意されています。

- デスクトップ画面上の［インターネット接続サービス］アイコンをダブルクリックし、表示される「インターネット接続サービスご紹介」画面でお好みのプロバイダのアイコンをクリックして、オンラインで契約を始める。

  ［インターネット接続サービス］アイコンをダブルクリックすると、特定のプロバイダの紹介画面が最初に表示されます。
  その他のプロバイダの紹介をご覧になるときは、［その他のインターネット接続サービスへ］をクリックしてください。
- ［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、お好みのプロバイダのフォルダをクリックし、表示されるオンラインサインアップソフトウェアをクリックしてオンラインで契約を始める。

ご注意

一部のプロバイダでは、ユーザー権限による制限のため、入会手続きをするオンラインサインアップソフトウェアを起動できない場合があります。詳しくは、次ページをご覧ください。

プロバイダ	ユーザー制限
AOL	制限なし
@nifty	管理者権限（Administrators）または 標準ユーザー権限（PowerUsers）のユーザーのみ
BIGLOBE	管理者権限（Administrators）のユーザーのみ
DION	管理者権限（Administrators）のユーザーのみ
DTI	管理者権限（Administrators）または 標準ユーザー権限（PowerUsers）のユーザーのみ
ODN	管理者権限（Administrators）のユーザーのみ
So-net	管理者権限（Administrators）のユーザーのみ
バイオネットワーク サービス	制限なし
ぷらら	管理者権限（Administrators）のユーザーのみ

各プロバイダについて詳しくは、各プロバイダのオンラインサインアップソフトウェアの紹介をご覧いただくか、下記の各プロバイダの電話番号へお問い合わせください。

プロバイダと契約したあとは

契約後はプロバイダから契約内容とインターネットに接続するために必要な情報が記載された資料がお手元に郵送されてくるまでお待ちください。
すぐにインターネットに接続したいときは、契約するプロバイダにご相談ください。
各プロバイダについて詳しくは、各プロバイダのオンラインサインアップソフトウェアの紹介をご覧いただくか、下記の電話番号へお問い合わせください。

❑ AOL

株式会社ドコモAOL　AOLサポートセンター
電話番号：(03) 5331-7400
受付時間：9時～21時（年中無休）
会員サポート・入会問い合わせ：(0120) 275-265（フリーダイヤル）
携帯電話および国際電話によるサポート：(03) 5331-7400
電子メール：AOLJapanMS@aol.com

❑ BIGLOBE

BIGLOBEカスタマーサポート インフォメーションデスク
電話番号：(0120) 86-0962 (フリーダイヤル)
(03) 3947-0962 (携帯)
受付時間：24時間365日

❑ DION

KDDIカスタマーサービスセンター
内容に関するお問い合わせ
電話番号：(0077) 7192 (無料)
接続・設定などに関するお問い合わせ
電話番号：(0077) 20227 (有料、全国一律1分10円)
上記番号につながらない場合は
札幌 (011) 232-7012／東京 (03) 5348-3975 (有料)

❑ DTI

DTIカスタマーセンター
入会のお問い合わせ・資料請求：(0120) 83-0501
受付時間：平日11時～19時 土曜日11時～17時
電子メール：service@dti.ad.jp

❑ @nifty

ニフティ株式会社　@niftyサービスセンター
電話番号：(0120) 816-042 (フリーダイヤル)
携帯・PHS・国際電話の場合：(03) 5753-2374
受付時間：毎日9時～21時
(ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。)

❑ ODN

日本テレコム株式会社　ODNサポートセンター
電話番号：(0088) 86 (無料)

次のページにつづく

❑ So-net

ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社
So-netインフォメーションデスク
電話番号：(0570) 00-1414 (全国共通)
携帯・PHSからおかけになる場合は、こちらへおかけください。
札幌 (011) 711-3765／仙台 (022) 256-2221／
東京 (03) 3446-7555／名古屋 (052) 819-1300／
大阪 (06) 6577-4000／広島 (082) 286-1286／
福岡 (092) 624-3910
受付時間：10時〜21時 年中無休
ご入会方法、サービス内容のお問い合わせ、各種会員情報の変更方法や
課金状況の確認などのお問い合わせは、上記の電話番号のほか、
ファックスやメールでも承ります。
ファックス番号：(03) 3446-7557
電子メール：info@so-net.ne.jp

❑ **バイオネットワークサービス**

ソニースタイルドットコム・ジャパン (株)　バイオネットワーク
サービスセンター
電話番号：(03) 5783-1133

❑ **ぷらら**

株式会社ぷららネットワークス「ぷららダイアル」
電話番号：(03) 5954-5330

チェックシートを作成する

プロバイダと契約を結ぶと、通常、インターネットに接続するために必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。
その資料をもとにインターネットに接続するための設定をします。
プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になりながら、次ページのチェックシートをあらかじめ作成しておくと、「接続のための設定をする」（178ページ）および「電子メールソフトウェアの設定をする」（183ページ）の手順でインターネットに接続するための設定が簡単になります。
「設定項目について」（173ページ）からの説明に従ってチェックシートの各項目をご記入ください。

ご注意

- チェックシートに書き込む内容は、あなたの個人情報です。取り扱いには充分ご注意ください。
- チェックシートは、将来、再度設定し直さなければならないときなどにも活用できますので、チェックシートは大切に保管しておいてください。
- 他人にご自分のパスワードなどの情報がもれないようにご注意ください。
  パスワードは、他人に自分の名前を使われたり、電子メールを読まれたりしないようにするためのものです。できるだけ紙に書き留めず、記憶しておくことをおすすめします。
- 「(5) パスワード（PPP)」はプロバイダに電話回線を通じて接続できるようにするためのパスワードです。「(14) パスワード（POPアカウントパスワード)」は電子メールを受信できるようにするためのパスワードです。これらのパスワードは両方とも同じでも、別々でもかまいません。これらのパスワードはWindowsを使用するときのパスワードとは異なります。

次ページのチェックシートに各項目を記入し、他人に見られることがないように、厳重に保管することをおすすめします。

設定項目	あなたの設定値	例（So-netの場合）
（1）市外局番		03
（2）トーン／パルス（電話回線の種類）		
（3）電話番号（アクセスポイント）		03-5792-9060
（4）ユーザー名（PPP）		ichiro@aa2
（5）パスワード（PPP）		
（6）DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）	． ． ．	202.238.95.24
（7）別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）	． ． ．	202.238.95.26
（8）ダイヤルアップ接続名		So-net
（9）表示名（差出人フィールドでの表示）		Ichiro Suzuki
（10）電子メールアドレス	@	ichiro@aa2.so-net.ne.jp
（11）受信メール（POP3またはIMAP）サーバー		pop.aa2.so-net.ne.jp
（12）送信メール（SMTP）サーバー		mail.aa2.so-net.ne.jp
（13）POPアカウント名		ichiro
（14）パスワード（POPアカウントパスワード）		
（15）インターネットメールアカウント名		ichiro@aa2.so-net.ne.jp

記入内容がわからないときは契約したプロバイダにお問い合わせください。

「（6）DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）」、「（7）別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）」、「（11）受信メール（POP3またはIMAP）サーバー」、「（12）送信メール（SMTP）サーバー」は、プロバイダによっては設定しなくてよいことがあります。

設定項目について

（1）　市外局番

ご自分の電話番号の市外局番をご記入ください。

例：03

（2）　トーン／パルス（電話回線の種類）

お使いの電話回線のダイヤル方法がトーン式かパルス式か確認してご記入ください。

トーン式：

電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」と音がしない電話機のダイヤル方法です。

パルス式：

ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」と音がする電話機のダイヤル方法です。パルス式ダイヤルの場合、ダイヤルボタンを押すと受話器から電子音が聞こえるものもあります。

お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなど電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT（局番なしの116番）など電話会社にお問い合わせください。

（3）　電話番号（アクセスポイント）

プロバイダから送られてきた資料をご覧になり、プロバイダのアクセスポイントの電話番号（接続先の電話番号）をご記入ください。アクセスポイントは「K56flex」または「V.90」に対応しているものをお選びになると、より高速な通信ができます。

例：03-5792-9060

アクセスポイントとは

一般加入電話からインターネットに接続するために、プロバイダが設けている接続地点のことです。インターネットの利用者は接続地点までの電話料金を負担する必要があるので利用地点からより近いアクセスポイントで接続する方が通話料は少なくてすみます。

次のページにつづく

ご注意

- ここで記入する電話番号はご自分の電話番号ではありませんのでご注意ください。
- 電話番号は必ず市外局番からご記入ください。
- ISDN回線をお使いの場合やPHSを使ってインターネットに接続するときは、電話番号が異なる場合があります。詳しくは、契約したプロバイダにお問い合わせください。

(4)　ユーザー名（PPP）

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイヤルアップ接続するときに使用するユーザー名をご記入ください。
例：ichiro@aa2

ユーザー名は「ユーザーID」、「PPPログイン名」、「ネットワークID」、「接続ログイン名」、「アカウント名」、「ログオン名」などともいいます。

(5)　パスワード（PPP）

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイヤルアップ接続するときに使用する、ユーザー名に対するパスワードを記入します。

PPPとは

「Point to Point Protocol」の略で、ネットワークに接続する方法の1つです。
電話による接続が一般的なことから「ダイヤルアップ接続」とも呼ばれています。

- このパスワードは「PPPパスワード」、「ネットワークパスワード」、「接続パスワード」などともいいます。
- パスワードの入力は、一般的に半角の英数字や記号などを使います。

(6)　DNSサーバーアドレス（プライマリDNS）

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、ご記入ください。
例：202.238.95.24

- DNSサーバーは「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」ともいいます。
- この項目が必要ないプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

（7） 別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS）

「（6）DNSサーバーアドレス」以外のアドレスがプロバイダから郵送されてきた資料に書かれている場合はご記入ください。
DNSサーバーアドレスは1つだけのプロバイダもあります。この場合は、「（7）別のDNSサーバーアドレス」は空欄のままでかまいません。
例：202.238.95.26

（8） ダイヤルアップ接続名

デスクトップ画面左下の［スタート］ボタンをクリックして、［設定］、［ネットワークとダイヤルアップの接続］の順にポインタを合わせ、［ネットワークとダイヤルアップの接続］をクリックして表示される「ネットワークとダイヤルアップの接続」画面の中の接続アイコンの名前です。
お好みの名前をご記入ください。
例：So-net

プロバイダによっては、オンラインサインアップソフトウェアを使って契約すると自動的に接続アイコンが作られ、名前も付けられます。

（9） 表示名（差出人フィールドでの表示）

あなたが送る電子メールの差出人欄に表示する名前をお好みでご記入ください。通常はご自分の名前のフルネームにします。
例：Ichiro Suzuki

この表示名は全角の漢字でも良いですが、日本語圏以外の相手に電子メールを送ることが多いかたは半角のアルファベットにすることをおすすめします。こうすることによって電子メールを送った相手には「Ichiro Suzuki ＜ichiro@aa2.so-net.ne.jp＞」などと表記されます。

（10） 電子メールアドレス

電子メールをやりとりするときのあなたの宛先をご記入ください。
プロバイダから郵送されてきた資料には「xxxxx@xxxx.xx.xx」と記載されています。電子メールアドレスは、あなたの住所と同じ役割をします。
例：ichiro@aa2.so-net.ne.jp

電子メールアドレスは、「E-Mailアドレス」、「Mailアドレス」、「メールアドレス」などともいいます。

（11）受信メール（POP3またはIMAP）サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを受け取るサーバーのアドレスをご記入ください。受信メールサーバーは、郵便局のような役割をします。受信メールサーバーからあなたの電子メールアドレスに電子メールが送られます。

例：pop.aa2.so-net.ne.jp

- 受信メールサーバーは、「メールサーバー」、「POPサーバー」、「メール受信サーバー」、「POP3」などともいいます。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

（12）送信メール（SMTP）サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを送信するサーバーのアドレスをご記入ください。送信メールサーバーも郵便局のような役割をします。あなたが送った電子メールを受け取り、送り先の電子メールアドレスに送ります。

例：mail.aa2.so-net.ne.jp

- 送信メールサーバーは「メールサーバー」、「SMTPサーバー」、「メール送信サーバー」、「SMTP」などともいいます。「（11）受信メールサーバー」と同じ場合もあります。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

（13）POPアカウント名

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名をご記入ください。「（10）電子メールアドレス」の「@」（アットマーク）より前の部分を記入します。電子メールを見るためには、このアカウント名と「（14）パスワード」の両方が必要になります。

例：「ichiro@aa2.so-net.ne.jp」が電子メールアドレスなら、
　　POPアカウント名は「ichiro」になります。

POPアカウント名は「メールアカウント名」、「メールサーバーログイン名」、「メールログイン名」、「POPサーバーアカウント」、「POPサーバーログイン名」ともいいます。「（4）ユーザー名」と同じ場合もあります。

（14）パスワード（POPアカウントパスワード）

受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名に対するパスワードを半角の英数字でご記入ください。
電子メールを見るためには、「(13) POPアカウント名」とこのパスワードの両方が必要になります。

このパスワードは、「メールパスワード」、「メールサーバーパスワード」などともいいます。

（15）インターネットメールアカウント名

お好みの名前をご記入ください。わかりやすいように電子メールアドレスを入れることをおすすめします。
例：ichiro@aa2.so-net.ne.jp

接続のための設定をする

本機をインターネットに接続するための設定を行います。
「チェックシートを作成する」（171ページ）で作成したチェックシートをご覧になりながら、各項目に記入した内容を実際の画面の入力欄にキーボードを使って入力していきます。以下の手順に従って操作してください。

1 本機の電源を入れる。

2 デスクトップ画面上にある［インターネットに接続］アイコンをダブルクリックする。

「インターネット接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

接続のための設定が終わると［インターネットに接続］アイコンはデスクトップ画面から消えます。もう1度「インターネット接続ウィザード」を表示させたいときは、デスクトップ画面左下の［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、［アクセサリ］、［通信］、［インターネット接続ウィザード］の順にクリックします。

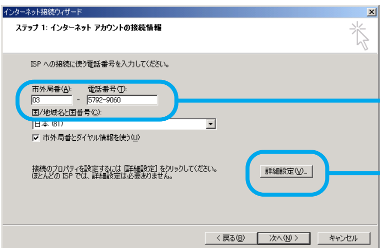
3 一番下の［インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します］の ◯ をクリックして ◉ にし、［次へ］をクリックする。

「インターネット接続の設定」画面が表示されます。

4 ［電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します］の ◯ をクリックして ◉ にし、［次へ］をクリックする。

「ステップ1：インターネット アカウントの接続情報」画面が表示されます。

5 アクセスポイントの電話番号を入力し、［詳細設定］をクリックする。



チェックシートの（3）電話番号（アクセスポイント）を入力する。

ここをクリックする。

「詳細接続プロパティ」画面が表示されます。

💡

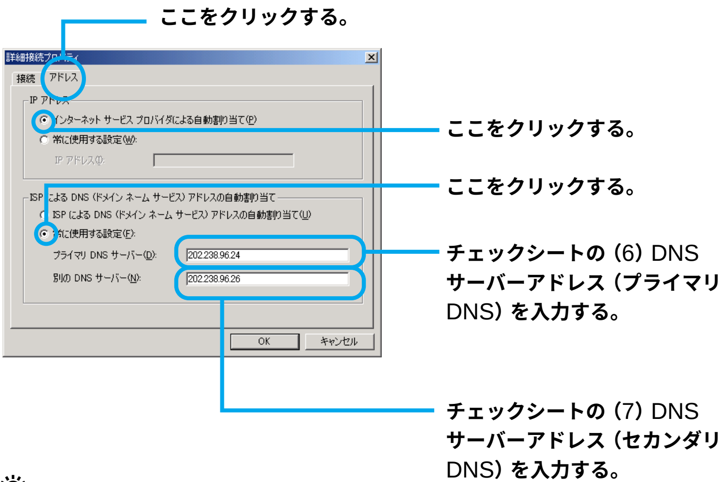
チェックシートの「(6) DNSサーバーアドレス（プライマリDNS)」と「(7) 別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS)」が空欄のときは、契約したプロバイダが自動的にDNSサーバーの設定を行います。この場合は、詳細設定を行う必要はありませんので、チェックシートの「(3) 電話番号（アクセスポイント)」を入力したあと、［詳細設定］をクリックせずに、［次へ］をクリックして手順10へ進んでください。

6 ［接続］タブをクリックし、各項目を以下のように設定する。

- 接続の種類：［PPP（Point to Pointプロトコル)］をクリックする。
- ログオンの手続き：［なし］をクリックする。

7 ［アドレス］タブをクリックし、各項目を以下のように設定する。

- IPアドレス：［インターネット サービス プロバイダによる自動割り当て］をクリックする。
- ISPによるDNS（ドメイン ネーム サービス）アドレスの自動割り当て：［常に使用する設定］をクリックし、DNSサーバーアドレスを入力する。



💡

チェックシートの「(6) DNSサーバーアドレス（プライマリDNS)」と「(7) 別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS)」が空欄のときは、契約したプロバイダが自動的にDNSサーバーの設定を行います。この場合は、［ISPによるDNS（ドメイン ネーム サービス）アドレスの自動割り当て］をクリックしてください。「(6) DNSサーバーアドレス（プライマリDNS)」と「(7) 別のDNSサーバーアドレス（セカンダリDNS)」は同じ場合があります。このときは「別のDNSサーバー」は入力する必要はありません。

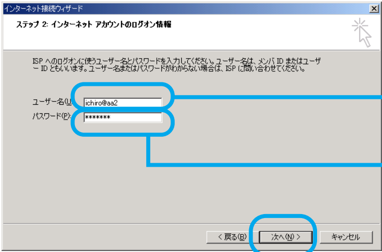
8 **[OK] をクリックする。**

「詳細接続プロパティ」画面が閉じます。

9 **[次へ] をクリックする。**

「ステップ2：インターネット アカウントのログオン情報」画面が表示されます。

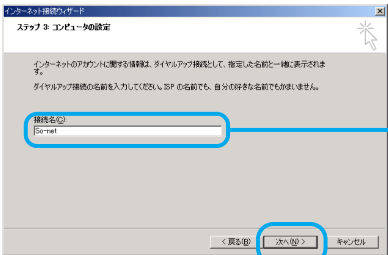
10 **ユーザー名とパスワードを入力し、[次へ] をクリックする。**



「ステップ3：コンピュータの設定」画面が表示されます。

「パスワード」はパスワードの文字数と同じ数の「*」で表示されます。

11 **ダイヤルアップ接続名を入力し、[次へ] をクリックする。**



「インターネット メール アカウントの設定」画面が表示されます。

12 **[いいえ] の ◯ をクリックして ◉ にし、[次へ] をクリックする。**

「インターネット接続ウィザードを終了します」画面が表示されます。

13 ［今すぐインターネットに接続するにはここを選び［完了］をクリックしてください］をクリックしてチェックをはずし、［完了］をクリックする。

「インターネット接続ウィザード」が終了します。

14 デスクトップ画面左下の［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。

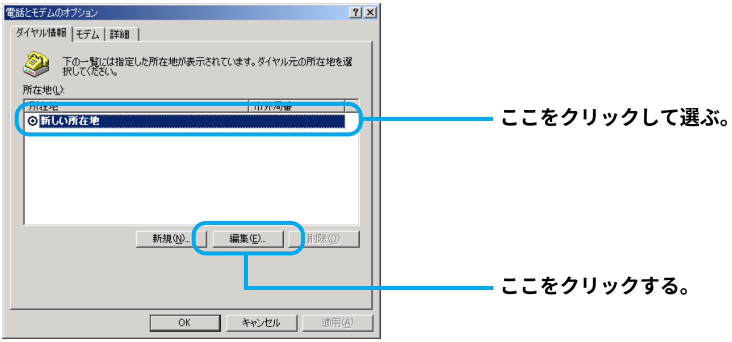
「コントロール パネル」ウィンドウが表示されます。

15 ［電話とモデムのオプション］アイコンをダブルクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

16 設定されている所在地をクリックして選び、［編集］をクリックする。

「所在地の編集」画面が表示されます。

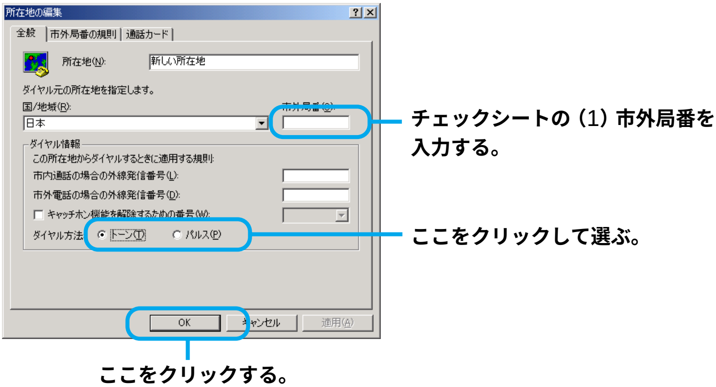


該当する所在地がないときは［新規］をクリックしてください。「新しい所在地」画面が表示されます。

次のページにつづく

17 各項目を以下のように設定し、［OK］をクリックする。

- 市外局番：ダイヤル元の市外局番を半角の数字で入力する。
- ダイヤル方法：お使いの電話回線のダイヤル方法に合わせて［トーン］または［パルス］をクリックして選ぶ。



18 「電話とモデムのオプション」画面の［OK］をクリックする。

これでインターネット接続のための設定は終わりです。

電子メールソフトウェアの設定をする

電子メールのやりとりを正しく行えるようにするための設定を行います。「チェックシートを作成する」（171ページ）で作成したチェックシートをご覧になりながら、各項目に記入した内容を実際の画面の入力欄にキーボードを使って入力していきます。以下の手順に従って操作してください。
ここでは、本機に付属の電子メールソフトウェア「Outlook Express」を例に電子メールをやりとりするための設定をしていきます。

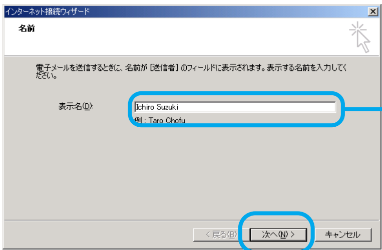
「Outlook Express」ソフトウェアの設定は1度行えば、2回目以降の起動時には不要です。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、［Outlook Express］をクリックする。**

インターネット接続ウィザードの「名前」画面が表示されます。

お使いの機種によっては、「名前」画面とは違う画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示に従って操作し、手順2の画面まで進んでください。

2 **表示したい名前を入力し、［次へ］をクリックする。**

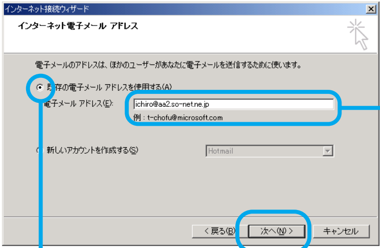


チェックシートの（9）表示名（差出人フィールドでの表示）を入力する。

ここをクリックする。

「インターネット電子メール アドレス」画面が表示されます。

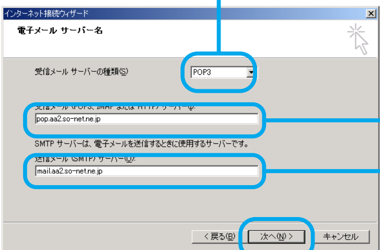
3 ［既存の電子メールアドレスを使用する］の ◯ をクリックして ◉ にし、電子メールアドレスを入力して、［次へ］をクリックする。



「電子メール サーバー名」画面が表示されます。

4 受信メールサーバーと送信メールサーバーの名前を入力し、［次へ］をクリックする。

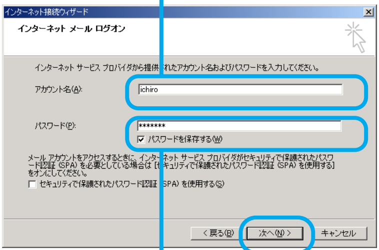
「インターネット メール ログオン」画面が表示されます。



「（11）受信メール（POP3またはIMAP）サーバー」の名前と「（12）送信メール（SMTP）サーバー」の名前は同じ場合があります。

5　POPアカウント名とパスワードを入力し、［次へ］をクリックする。

チェックシートの（13）POPアカウント名を入力する。



ここをクリックする。

チェックシートの（14）パスワード（POPアカウントパスワード）を入力する。

「設定完了」画面が表示されます。

- 「パスワード」は「*」で表示されます。
- 「パスワードを保存する」の □ をクリックして ☑ にすると、実際にインターネット接続するときの接続画面でパスワードを入力する手間が省けます。しかし、他人に勝手にインターネットに接続される恐れがありますのでご注意ください。

6　［完了］をクリックする。

自動的に「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

ご注意

［完了］をクリックしたあと、その他の画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示に従って操作してください。

「Outlook Express」ソフトウェアで作成したメッセージは初期設定でHTML形式になります。HTML形式に対応していない電子メールソフトウェアを使っている相手にHTML形式のメッセージを送ると、相手側が正しく受け取れないことがあります。メッセージはテキスト形式で送ることをおすすめします。メッセージをテキスト形式で送るように設定するには、以下の手順に従ってください。

① 「Outlook Express」画面上部の［ツール］をクリックし、表示されるメニューから［オプション］をクリックする。
　「オプション」画面が表示されます。

次のページにつづく

② ［送信］タブをクリックする。
「送信」画面が表示されます。
③「メール送信の形式」で［テキスト形式］をクリックし、［OK］をクリックする。
送信するメッセージがテキスト形式になります。
電子メールをテキストのみで送りたいときも同様の設定でお使いください。

7 画面右上の  をクリックする。
「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

電子メールの設定を変更するには

チェックシートの「(15) インターネットメールアカウント名」は、下記の方法で変更できます。

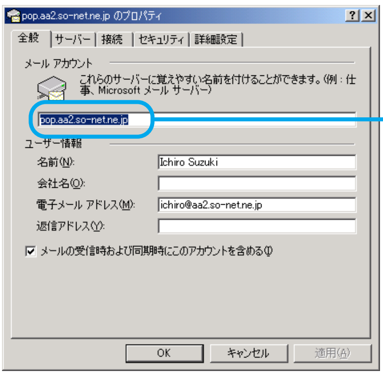
1 「Outlook Express」画面上部の［ツール］をクリックする。
「ツール」メニューが表示されます。

2 ［アカウント］をクリックする。
「インターネットアカウント」画面が表示されます。

3 ［メール］タブをクリックする。
「メール」画面が表示されます。

4 ［プロパティ］をクリックする。
プロパティ画面が表示されます。

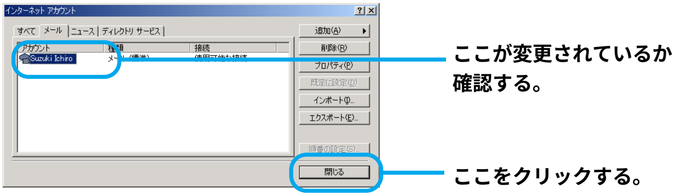
5 「メールアカウント」(「pop.aa2.so-net.ne.jp」が反転表示されている部分) を変更する。
ここでは「Suzuki Ichiro」と入力してみます。



ここをクリックする。

6 ［OK］**をクリックする。**

7 **名前を変更した場合は、変更されているか確認して［閉じる］をクリックする。**



8 **「Outlook Express」画面で右上の ✕ をクリックする。**

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

インターネットに接続する

契約したプロバイダのインターネットサーバーに接続するには、以下の手順に従って操作してください。

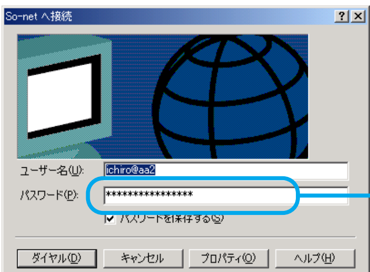
インターネットサーバーとは
常時インターネットに接続され、アクセス可能なコンピュータのことです。ホームページ・サーバー、メールサーバーなどがあります。

1 デスクトップ画面左下の［スタート］ボタンをクリックして［設定］、［ネットワークとダイヤルアップ接続］の順にポインタを合わせ、［ネットワークとダイヤルアップ接続］をクリックする。
「ネットワークとダイヤルアップ接続」ウィンドウが表示されます。

以下の方法でも「ネットワークとダイヤルアップ接続」ウィンドウを表示することができます。
- デスクトップ画面左下の［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。表示された「コントロール パネル」ウィンドウで［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックする。
- デスクトップ画面左上の［マイネットワーク］アイコンを右クリックし、表示されるメニューから［プロパティ］をクリックする。

2 ダイヤルアップ接続名（チェックシートの（8））のアイコンをダブルクリックする。
So-netの例では［So-net］をダブルクリックします。
「So-netへ接続」画面が表示されます。

3 「So-netへ接続」画面の各項目を入力または確認する。
① パスワード（チェックシートの（5））を入力する。



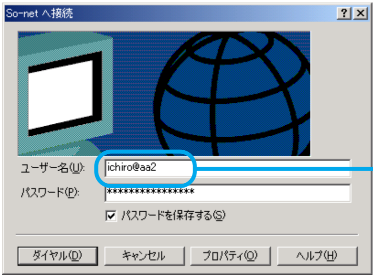
チェックシートの（5）パスワード（PPP）を入力する。

ご注意

「パスワードを保存する」の をクリックして にすると次回からパスワードを入力する手間が省けます。しかし、他人に勝手にインターネットに接続される恐れがありますのでご注意ください。

- 「パスワード」（チェックシートの（5）パスワード（PPP））は「*」で表示されます。
- 「パスワード」入力欄は、「電子メールソフトウェアの設定をする」（183ページ）の手順5で、「パスワードを保存する」の をクリックして にすると、入力された状態で表示されます。
- インターネットに接続していないときに、ウェブブラウザでホームページを見ようとしたり、電子メールソフトウェアで電子メールをやりとりしようとした場合、「接続」画面が表示され、そこからインターネットに接続することができます。接続先とユーザー名を確認し、パスワードを入力して［接続］をクリックします。

② ユーザー名（チェックシートの（4））が正しいか確認する。



ここを確認する。

③ ［ダイヤル］をクリックする。

プロバイダのインターネットサーバーに接続します。

「（ダイヤルアップ接続名）は現在接続しています。」画面が表示されたときは、［OK］をクリックします。

［OK］をクリックする前に［今後、このメッセージを表示しない］をチェックしておけば、次回からこの画面は表示されません。

デスクトップ画面右下のタスクトレイには が表示されます。

次のページにつづく

これで、接続は完了です。
インターネットに接続しているときは、常にデスクトップ画面右下のタスクトレイに が表示されます。

- ホームページを見るには
  「ホームページを見る」（191ページ）をご覧ください。
- 電子メールをやりとりするには
  「電子メールをやりとりする」（196ページ）をご覧ください。
- 接続を切断するときは
  下記の「接続を切断するには」をご覧ください。
- 接続できなかった場合は
  「困ったときは：モデム・インターネット」（260ページ）をご覧ください。

接続を切断するには

インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも通話料やプロバイダへの接続料金がかかります。また、「Microsoft Internet Explorer」や「Outlook Express」ソフトウェアを終了しても、インターネットへの接続は解除されません。操作を行わないときや操作が終わったあとなどは、インターネットの接続を切断してください。
接続を切断するには、以下の2つの方法があります。

- デスクトップ画面右下のタスクトレイの を右クリックして表示されるメニューから［切断］をクリックする。
- デスクトップ画面右下のタスクトレイの をダブルクリックして表示される「（ダイヤルアップ接続名）の状態」画面で［切断］をクリックする。

電子メールを書いているときや電子メールを受け取った後に読むときは、インターネットの接続を切断しておけば接続料金はかかりません。

ホームページを見る

インターネット上のホームページを見てみます。ホームページを見るには、「ウェブブラウザ」という専用ソフトウェアが必要です。ここでは、付属の「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを使ってホームページを見てみます。

以下の操作をする前に、デスクトップ画面右下のタスクトレイに が表示されていることを確認してください。表示されていれば、インターネットに接続しています。インターネットに接続していない場合は、下記の操作を行うと、「インターネット接続ウィザード」が起動します。「インターネットに接続する」（188ページ）の手順に従い、インターネットに接続し、 を表示させてください。

[1]「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動する

まず「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動します。

1 デスクトップ画面上の［Internet Explorer］アイコンをダブルクリックするか、［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、［Internet Explorer］をクリックする。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが起動し、ホームページが表示されます。

ホームページが表示されなかった場合は、「困ったときは：モデム・インターネット」（260ページ）をご覧ください。

ご注意

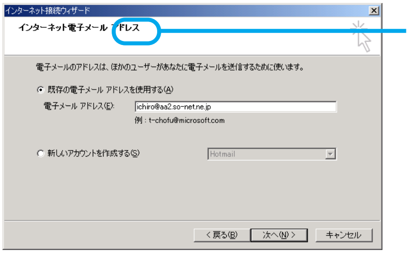
「Microsoft Internet Explorer」を起動したときに表示されるホームページは各自の設定により異なります。設定のしかたについては、「Microsoft Internet Explorer」のヘルプをご覧ください。

[2]「Microsoft Internet Explorer」にあらかじめ登録されているホームページを見る

「Microsoft Internet Explorer」にあらかじめ登録されているホームページを見ることができます。ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページを見てみましょう。

次のページにつづく

1 **画面上部の［お気に入り］をクリックする。**



ここをクリックする。

メニューが表示されます。

2 **［バイオを楽しむためのサイト］にポインタを合わせ、［VAIOホームページ］→［SUPPORT（サービス・サポート情報）］の順にクリックする。**

VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。

［3］ホームページのURLを入力してホームページを見る

見たいホームページのURLをすでにご存知の場合は、アドレスバーにそのURLを入力します。
ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）を見てみます。

URLとは

インターネット上で使われるホームページにはそれぞれ特定の住所があります。この住所のことを「URL」と言います。URLを書き込むことでホームページが見られます。URLの最初には必ず「http://」がつきます。

1 **アドレスバーに「http://vcl.vaio.sony.co.jp/」と入力する。**



ここにURLを入力する。

2 **キーボードのEnterキーを押す。**

VAIOカスタマーリンクのホームページが表示されます。

[4] リンクをたどる

ホームページから他のホームページにジャンプしたり、データをインターネット上から本機にコピーすることができます。このように、ホームページから、他のページにジャンプしたり、データにジャンプすることを「リンクする」と言います。
ここでは、VAIOカスタマーリンクのホームページから、ENJOY VAIOのホームページにジャンプしてみましょう。

1 ポインティング・デバイスに触れて指を動かし、デスクトップ画面上の（ポインタ）を［ENJOY VAIO］に移動して、に変わったらクリックする。

ENJOY VAIOのホームページが表示されます。

ホームページの中で、（ポインタ）がに変わる文字や画像は、リンクが張られているところです。

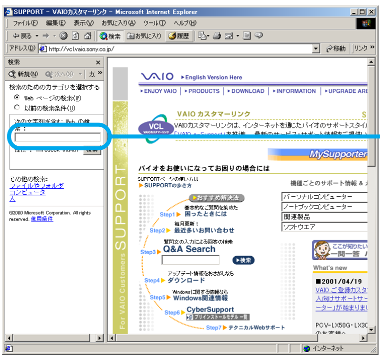
[5] 目的のホームページを検索して見る

目的のホームページを「検索」メニューで検索することができます。
ここでは「VAIO」を検索してみましょう。

1 ツールバーの［検索］をクリックする。

検索画面が表示されます。

2 検索画面の中央上にある の中に「VAIO」と入力する。

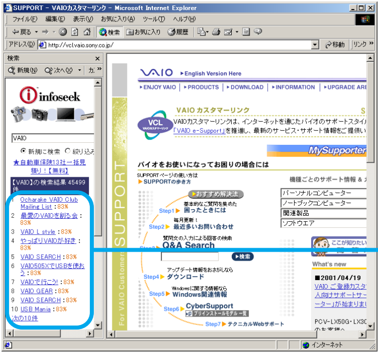


次のページにつづく

3 ［検索］をクリックする。

該当するホームページの検索結果が一覧表示されます。

4 見たいホームページをクリックする。



クリックしたホームページが表示されます。

[6] よく見るホームページを登録する

よく見るホームページを「お気に入り」メニューの中に登録することができます。

ここではSony online Japanのホームページを登録してみましょう。

💡

Sony online Japanはインターネット上のソニーエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

1 アドレスバーに「http://www.sony.co.jp/」と入力する。



2 キーボードのEnterキーを押す。

Sony online Japanのホームページが表示されます。

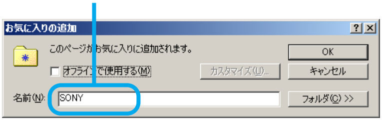
3 メニューバーの［お気に入り］をクリックし、次に［お気に入りに追加］をクリックする。

「お気に入りの追加」画面が表示されます。

4 「名前」に、登録するホームページを示すお好みの名前を入力し、[OK] をクリックする。

ここでは「Sony online Japan」と入力します。

ここに「Sony online Japan」と入力する。



Sony online Japanホームページが登録され、入力した名前が「お気に入り」メニューの中に表示されるようになります。

[7]「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了する

最後に「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを終了します。

1 画面左上の [ファイル] にポインタを合わせ、クリックする。

「ファイル」メニューが表示されます。

2 [閉じる] にポインタを合わせ、クリックする。

「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが終了します。

3 デスクトップ画面右下のタスクトレイの を右クリックして表示されるメニューから [切断] をクリックする。

インターネットへの接続が切断されます。

ご注意

インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールを送受信するなどの操作を行っていないときでも、通話料やプロバイダへの接続料金がかかります。また、「Microsoft Internet Explorer」を終了しても、インターネットへの接続は解除されません。ホームページを見ている間など、操作を行わないときや、操作が終わった後などは、インターネットへの接続を切断してください。

「Microsoft Internet Explorer」について詳しくは、ヘルプをご覧ください。「Microsoft Internet Explorer」のヘルプを見るときは、「Microsoft Internet Explorer」画面上部の [ヘルプ] をクリックしてください。

電子メールをやりとりする

インターネットを使って、電子メールをやりとりできます。電子メールをやりとりするには、電子メールソフトウェアが必要です。
ここでは、付属の「Outlook Express」ソフトウェアを使って自分の電子メールアドレスに電子メールを送ったり、受け取ったりしてみます。

ご注意

電子メールをやりとりする手順は、インターネットへの接続やソフトウェアの設定によって変わることがあります。

[1]「Outlook Express」ソフトウェアを起動する

まず「Outlook Express」ソフトウェアを起動します。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、「Outlook Express」をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。
「ダイヤルアップの接続」画面が表示されたときは、［キャンセル］をクリックして画面を閉じてください。

「ダイヤルアップの接続」画面で［キャンセル］をクリックするとオフライン作業となります。

オフライン作業とは

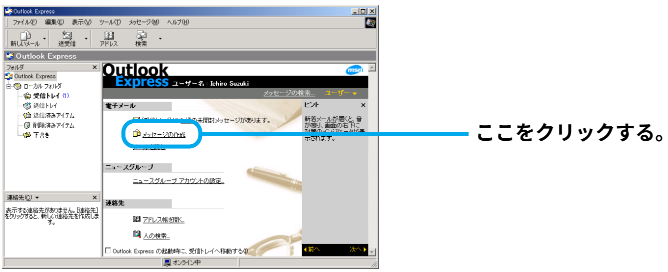
インターネットに接続していない状態で「Outlook Express」を使って電子メールを書いたり、読んだりといった作業をすることです。

[2] 電子メールを送信する

ためしに自分のメールアドレス宛に電子メールを送信してみましょう。

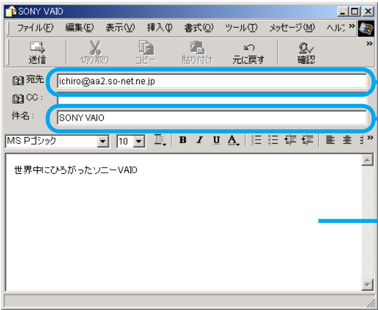
1 ［メッセージの作成］をクリックする。

「メッセージの作成」画面が表示されます。



電子メールを書くときや電子メールを受け取ったあとに読むときは、インターネットに接続していない状態（オフライン作業）の方が接続料金と通話料がかからなくてすみます。

2 メッセージを作成する。



ここでは、メッセージに「世界中にひろがったソニーVAIO」と入れてみます。
タイトルは「SONY VAIO」にしましょう。

3 画面左上の［ファイル］をクリックし、［オフライン作業］をクリックする。

「オフライン作業」の前のチェックマークが消えます。

4 画面左上の［送信］をクリックする。

「（ダイヤルアップ接続名）に接続中」画面が表示され、本機がインターネットに接続し、作成した電子メールが送り先に送られます。

ご注意

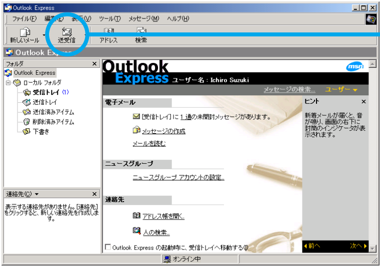
オフライン（インターネットに接続していない状態）で［送信］をクリックした場合は、電子メールは送信トレイに保管されます。「Outlook Express」画面左上の［送受信］をクリックすると、電子メールが送り先へ送られます。

［3］電子メールを受信する

手順［2］で送った自分のメールアドレス宛の電子メールを受信してみましょう。

次のページにつづく

1 **インターネットに接続した状態で、画面左上の［送受信］をクリックする。**



パスワードを入力する画面が表示されます。

ご注意

オフライン（インターネットに接続していない状態）のときは、「オフライン作業しています。オンラインに切り替えますか？」というメッセージが表示されます。この場合は、［はい］をクリックしてください。

2 **パスワードを入力し、［OK］をクリックする。**

手順［2］で送った電子メールが届きます。

- 作成した電子メールが送信トレイにある場合は、同時に送り先に送られます。インターネットに接続していない場合は、「接続」画面が表示され、接続を促します。インターネットに接続したあとに電子メールが送受信されます。
- 電子メールの送受信のあと、ホームページを見たりしないときは、インターネットの接続を切断しましょう（190ページ）。

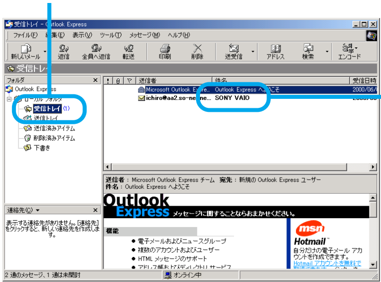
[4] 受け取った電子メールを見る

手順［3］で届いた電子メールを見てみます。

1 画面左側の［受信トレイ］をクリックし、［SONY VAIO］をクリックする。

受け取った電子メールのメッセージが表示されます。

ここをクリックする。



ここをクリックする。

[5] 送った電子メールを見る

手順［2］で送った電子メールを見てみます。

1 画面左側の［送信済みアイテム］をクリックし、［SONY VAIO］をクリックする。

送った電子メールのメッセージが表示されます。

電子メールをやりとりできなかった場合は、「困ったときは：モデム・インターネット」（260ページ）をご覧ください。

[6]「Outlook Express」ソフトウェアを終了する

最後に「Outlook Express」ソフトウェアを終了します。

1 画面左上の［ファイル］をクリックする。

「ファイル」メニューが表示されます。

2 ［終了］をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

3 デスクトップ画面右下のタスクトレイの をクリックして表示されるメニューから［切断］をクリックする。

インターネットへの接続が切断されます。

外出先でインターネットにアクセスする

公衆電話を使ってアナログ接続するには

本機はモデムを内蔵しているので、モジュラジャックのある公衆電話に直接つなげます。
テレホンコードとモジュラジャック付きの電話機さえあれば、どこからでもアクセスできますが、アナログ接続のため、使用する電話機によってはすぐに接続が切れてしまうことがあります。

ご注意

公衆電話のデジタルポートにはつながないでください。故障の原因となります。

1 **本機と電話機のアナログポートをテレホンコードでつなぐ。**

2 **電話機の「データ通信」ボタンを押す。**

3 **テレホンカードを入れる。**

4 **通信用のソフトウェアを起動する。**
これでインターネットにアクセスできます。

公衆電話を使ってISDN接続するには

市販のISDNのTA（ターミナルアダプタ）カードを本機に装着してモジュラジャックのある公衆電話につなぐと、外出先でもISDN経由で接続できます。
通信速度が速く（最大64 kbps）、安定した状態でアクセスできますが、市販のISDNターミナルアダプタカードが必要です。

ご注意

アクセスしようとしているプロバイダがISDNに対応しているかどうかをあらかじめ確認しておいてください。プロバイダによっては、通常のアナログ接続用とISDN接続用で異なる電話番号を用意していることがあります。

デジタル携帯電話を使って接続するには

デジタル携帯電話が使えるところではどこからでも、また移動中でもアクセスできますが、携帯電話にあわせた接続キットが必要です。

ご注意

接続キットや接続のしかたについて詳しくは、お使いのデジタル携帯電話の電話会社にお問い合わせください。

PHSを使って接続するには

通信速度が速く、PHSが使えるところではどこからでもアクセスできますが、PHSにあわせた接続キットが必要です。また、PIAFS（ピアフ）方式で接続するときは、契約しているプロバイダなどがPIAFSに対応している必要があります。

ご注意

- 接続キットや接続のしかたについて詳しくは、電話会社にお問い合わせください。本機のPCカードスロットに直接装着できるPHSもあります。
- PIAFS方式でアクセスするときは、接続しようとしている電話番号がPIAFS方式に対応しているかどうかをあらかじめ確認しておいてください。

拡張する

i.LINK対応機器とデータをやりとりする

i.LINK対応機器について

下記のi.LINK対応機器に接続し、データをやりとりしたり、画像をデジタルのまま取り込むことができます。
（2001年5月10日現在）

- i.LINKコネクタを持つソニーパーソナルコンピュータ
- i.LINKコネクタを持つソニーノートブックコンピュータ *
  * 別売りのドッキングステーションやポートリプリケーターを取り付ける必要があるモデルもあります。詳しくは、お使いのノートブックコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- ソニーが2001年4月末日までに日本国内で発売したDV端子付きの家庭用DV機器（メディアコンバーターおよびDigital 8デジタルビデオカメラレコーダーを含む。ツーリストモデルは除く。）
- その他、ソニー製のVAIOブランドのi.LINK対応機器の最新情報は、VAIOカスタマーリンク ホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。

ご注意

- 本機はDTLAコピー・プロテクション技術に対応していないため、デジタルCSチューナーやD-VHSデッキなどのDTLAコピー・プロテクション技術に対応した機器に接続しても操作することはできません。
- i.LINKは、すべての機器間での接続動作が保証されているものではありません。i.LINK搭載各機器の動作条件と接続の可否情報をご確認ください。動作の可否は、各機器のソフトウェア（OSを含む）・ハードウェアによって規定されます。
- i.LINKで、接続を行うコンピュータ周辺機器類（ハードディスクドライブやCD-RWドライブなど）は、OSによっては対応していない場合がありますので、あらかじめ動作環境をご確認ください。

i.LINK対応機器をつなぐ

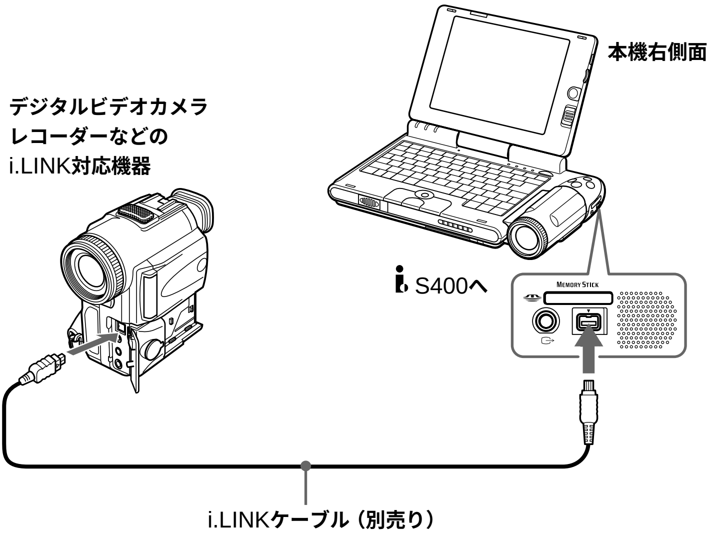
本機で操作できるi.LINK対応機器に付属のi.LINKケーブルまたは、ソニー製i.LINKケーブル「VMC-IL Series」（別売り）をお使いください。

主なケーブル

- VMC-IL4415A（4ピン ←→ 4ピン、1.5 m）
- VMC-IL4615A（4ピン ←→ 6ピン、1.5 m）

ご注意

DVケーブルはご使用になれません。



i.LINK対応機器をつないだときに、自動的に好みのソフトウェアが起動するように設定することができます。詳しくは、「VAIO Action Setup」のヘルプをご覧ください。

次のページにつづく

拡張する

ご注意

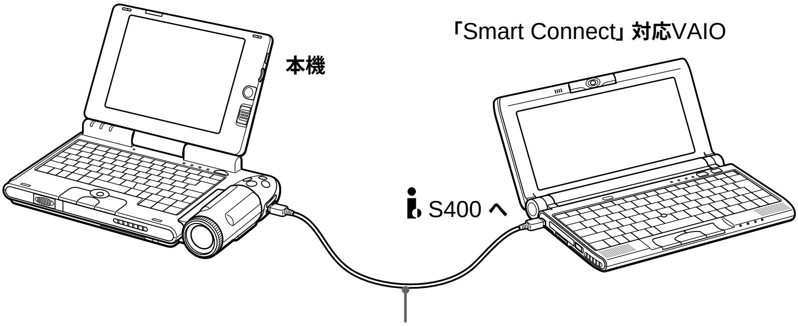
- 「PowerPanel」で「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、i.LINK対応機器からデータを取り込むことはできません。「スーパースタミナ」プロファイル以外のプロファイルを選んでください。詳しくは、「本機の動作モードを設定する（プロファイル）」（234ページ）をご覧ください。
- 一度に接続できるデジタルビデオカメラレコーダーは1台のみです。同時に2台以上のデジタルビデオカメラレコーダーを接続することはできません。
- 本機のi.LINKコネクタは、i.LINK対応機器に電源を供給しません。i.LINKコネクタからの電源供給が必要な一部の機器は、正しく使用できないことがあります。
- 本機のi.LINKコネクタは最大400 Mbpsのデータ転送に対応していますが、実際の転送速度は接続したi.LINK対応機器の転送速度により変わります。
- 接続のしかたや画像の取り込みかたは、接続するi.LINK対応機器や使用するソフトウェアによって異なります。詳しくは、i.LINK対応機器の取扱説明書や、本機に付属している「DVgate」などの各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

i.LINK接続でデータをやりとりする

「Smart Connect」ソフトウェアに対応したVAIOと本機を別売りのi.LINKケーブルで接続し、お互いのファイルをコピーしたり、削除、編集などを行うことができます。また、接続先のVAIOにつないだプリンタを使って印刷することもできます。
詳しくは、「Smart Connect」のヘルプをご覧ください。

ご注意

- これまでi.LINKケーブルで接続したことのないVAIOとの初回接続時にドライバのインストールが行われます。
  ドライバのインストール時は管理者権限（Administrators）のユーザーでログインしている必要があります。
- 「PowerPanel」で「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、「Smart Connect」を使ってデータをやりとりすることはできません。他のプロファイルを選んでください。詳しくは、「本機の動作モードを設定する（プロファイル）」をご覧ください。



Smart Connect Version 2.1 以前を搭載した VAIO と接続した場合、機能に制限があったり、アップデートが必要になります。詳しくは、「Smart Connect」のヘルプおよび、［スタート］ボタンをクリックして［VAIO］にポインタをあわせ、［VAIO同士をつなぐ：Smart Connect］を選び［Smart Connect 1.0 との接続について］をクリックしてご覧ください。

次のページにつづく

拡張する

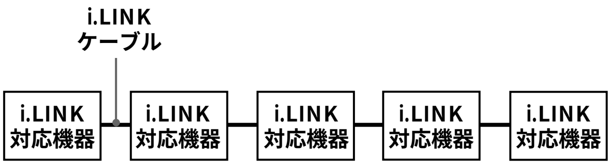
i.LINKとは？

i.LINKは、i.LINKコネクタを持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェイスです。
複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけではなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。このため、機器を接続する順序を気にする必要はありません。
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKでの接続について

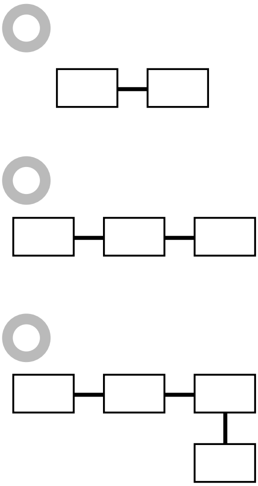
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブルで数珠つなぎにして接続します。このような接続のしかたを「デイジーチェーン」と呼びます。



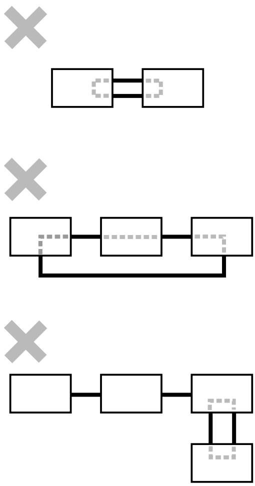
接続が輪にならないようにご注意ください

デジタル信号は、接続したすべてのi.LINKケーブルに流れます。信号を出力した機器に同じ信号が戻らないよう、接続が輪にならないようにつないでください。接続が輪（環状）になることを「ループ」と呼びます。

正しい接続例



ループの接続例



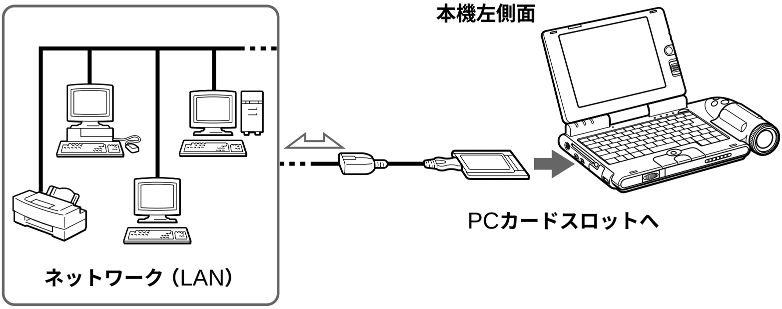
接続についてのご注意

- コンピュータなど一部のi.LINK対応機器の中には、電源が切られているとデータを中継しない機器があります。i.LINKでの接続の際は、接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- i.LINK対応機器には、その機器が対応している最大データ転送速度がi.LINKコネクタの周辺に表記されています。i.LINKの最大データ転送速度は、約100／200／400 Mbpsが定義されており、200 MbpsのものはS200、400 MbpsのものはS400と表記されます。
  最大データ転送速度が異なる機器を接続した場合や、機器の仕様により、実際の転送速度が表記と異なることがあります。
- i.LINKは、すべての機器間での接続動作が保証されているものではありません。i.LINK搭載各機器の動作条件と接続の可否情報をご確認ください。動作の可否は、各機器のソフトウェア（OSを含む）・ハードウェアによって規定されます。
- i.LINKで、接続を行うコンピュータ周辺機器類（ハードディスクドライブやCD-RWドライブなど）は、OSによっては対応していない場合がありますので、あらかじめ動作環境をご確認ください。

ネットワーク（LAN）につないでデータをやりとりする

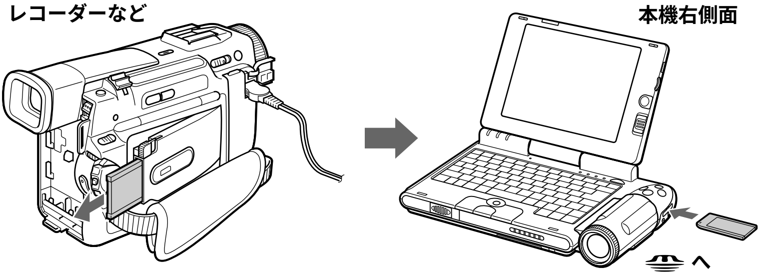
本機を職場などのネットワーク（LAN）に接続して、ネットワーク内の他の機器とデータをやりとりできます。
本機とネットワークをつなぐには、接続したいネットワークに合わせた種類のネットワークPCカードが必要です。
ネットワークに接続するために必要な周辺機器や設定については、職場などのネットワークのシステム管理担当者にご相談ください。

ネットワークPCカードを本機のPCカードスロットに挿入し、ネットワークに接続してください。PCカードの使いかたについて詳しくは、「PCカードを使う」（221ページ）をご覧ください。



“メモリースティック”を使ってデータをやりとりする

ソニーデジタルビデオカメラレコーダーやデジタルスチルカメラなどの“メモリースティック”対応機器で“メモリースティック”に動画や静止画を取り込み、その“メモリースティック”を本機のメモリースティックスロットに差し込むことにより、画像データファイルとして取り込むことができます。本機に取り込んだ画像を、付属の「PictureGear」ソフトウェアを使って編集することができます。
詳しくは、お使いになる機器の取扱説明書および、「PictureGear」のヘルプをご覧ください。



💡
“メモリースティック”を挿入したときに、自動的に「VisualFlow」ソフトウェアが起動します。“メモリースティック”を挿入したときに、「VisualFlow」ソフトウェア以外のソフトウェアが起動するように設定したいときは「VAIO Action Setup」ソフトウェアを使います。
詳しくは、「メモリースティックランチャーの設定を変更する」（112ページ）をご覧ください。

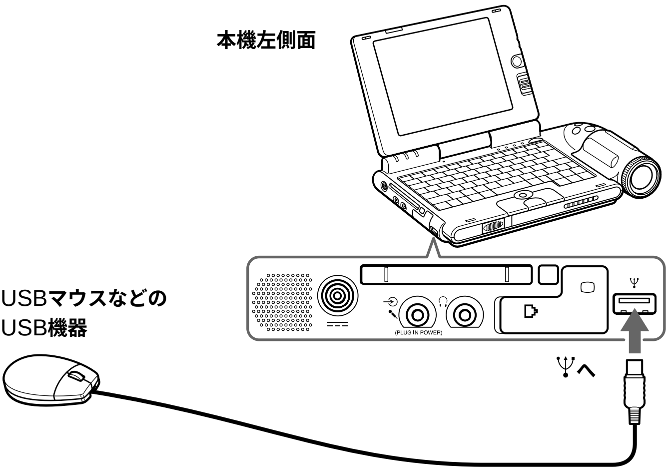
ご注意

「PowerPanel」で「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、“メモリースティック”は使用できません。「スーパースタミナ」プロファイル以外のプロファイルを選んでください。詳しくは、「本機の動作モードを設定する（プロファイル）」（234ページ）をご覧ください。

拡張する

USB機器をつなぐ

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



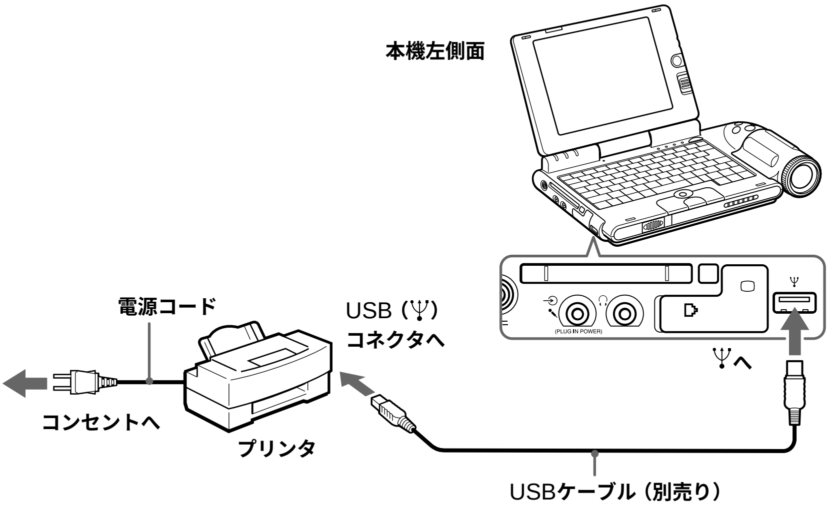
- 別売りのソニー製USBマウスPCGA-UMS1 SeriesやUSBフロッピーディスクドライブPCGA-UFD5などを接続できます。本機にはあらかじめドライバがインストールされているので、接続するだけでご使用になれます。
- USB機器をつないだときに、自動的に好みのソフトウェアが起動するように設定することができます。詳しくは、「VAIO Action Setup」のヘルプをご覧ください。

ご注意

- PCGA-UMS1 Series以外のUSBマウスは本機で使用できないものがあります。詳しくは、マウスの販売元または販売店にご確認ください。
- シリアルマウスおよびPS/2マウスは、直接本機に接続できません。

プリンタをつなぐ

USB対応のプリンタを本機につないで、作成した書類などを印刷できます。



ご注意

- Windows 2000に対応していないプリンタを本機につないでも、正常に動作しないことがあります。
- プリンタの取扱説明書などでUSBコネクタの形状をご確認の上、USBケーブルをご購入ください。
- プリンタドライバのインストールおよび設定方法については、お使いのプリンタの製造元にお問い合わせください。
- パラレルポートに接続するタイプのプリンタは、直接本機に接続できません。

プリンタを使用する前の準備

プリンタに付属のドライバを本機にインストールする必要があります。
詳しくは、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

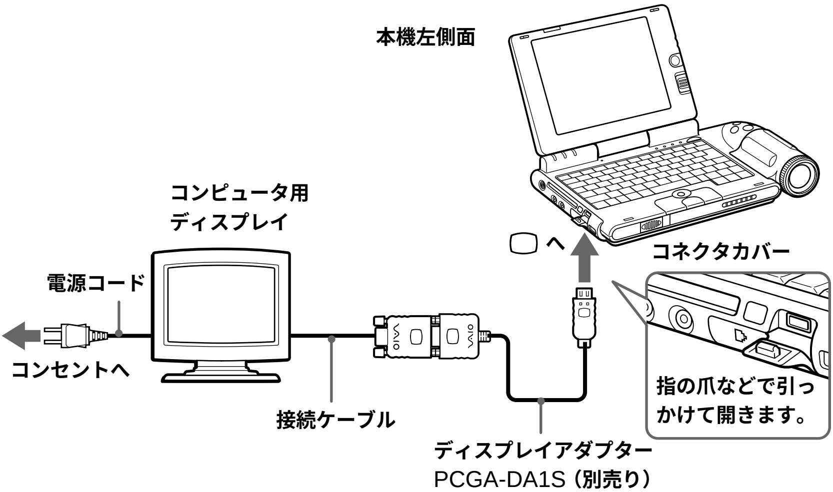
外部ディスプレイをつなぐ

大きな画面で内容を確認したいときなどは、別売りのディスプレイアダプターPCGA-DA1Sを使って、本機に外部ディスプレイを接続します。本機のコネクタカバーを開けて、接続してください。

ご注意

- 本機と接続する機器の電源を切り、コンセントからACアダプタや電源コードを抜いてから接続してください。
- 電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。
- 電源を入れるときは、外部ディスプレイなどの周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- 外部ディスプレイやプロジェクタの種類によっては、本機の液晶ディスプレイと同時表示できないものもあります。
- カバーを開く際は、強く引っ張りすぎないようにご注意ください。引きすぎると破損の原因となります。
- カバーを取りはずすことはできません。

スピーカーなどが内蔵されていない通常のディスプレイにつなぐときは、ディスプレイの他に外部アクティブスピーカーなどをつなぐことでAV環境をよりお楽しみいただけます。



ディスプレイに表示するには

下記のいずれかの操作によって、本機のディスプレイと、接続した外部ディスプレイなどとの表示を切り替えられます。

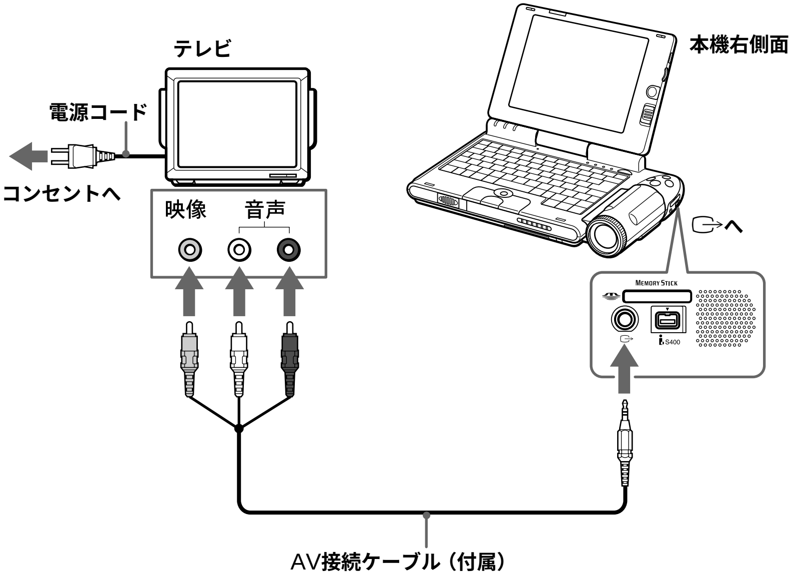
- ジョグダイヤルを操作する（68ページ）。
- 「画面のプロパティ」画面で設定する（243ページ）。
- Fnキーを操作する（64ページ）。

テレビをつなぐ

内蔵カメラ（MOTION EYE）を使って取り込んだ静止画や動画などをテレビ画面に表示することができます。

ご注意

- 本機と接続する機器の電源を切り、コンセントからACアダプタや電源コードを抜いてから接続してください。
- 電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。
- 電源を入れるときは、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。



テレビに表示するには

テレビの入力切替を「外部入力」に合わせて、下記のいずれかの操作によって本機のディスプレイと接続したテレビとの表示を切り替えられます。

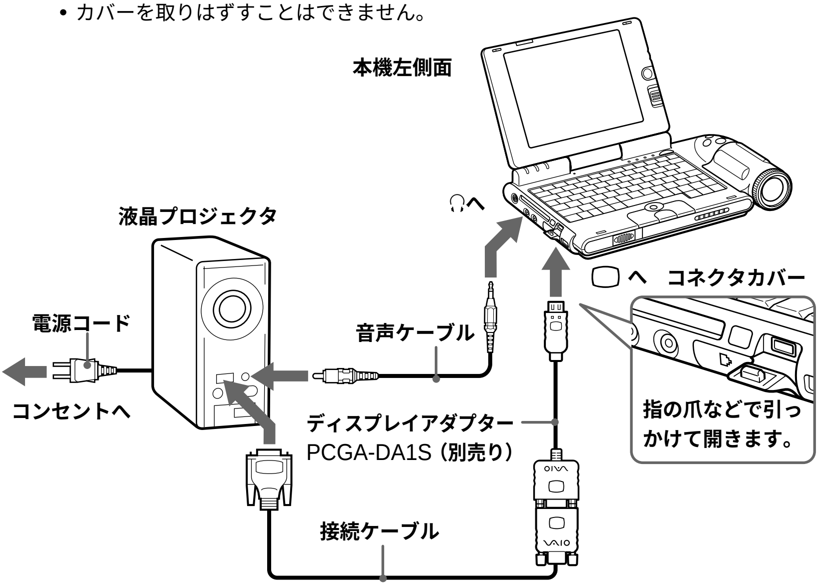
- ジョグダイヤルを操作する（69ページ）。
- 「画面のプロパティ」画面で設定する（243ページ）。
- Fnキーを操作する（64ページ）。

液晶プロジェクタをつなぐ

液晶プロジェクタを使うと、プレゼンテーションをするときなどに便利です。接続のしかたは機器によって異なります。詳しくは、液晶プロジェクタの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機と接続する機器の電源を切り、コンセントからACアダプタや電源コードを抜いてから接続してください。
- 電源コードは、すべての接続が終わってから接続してください。
- 電源を入れるときは、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- 外部ディスプレイやプロジェクタの種類によっては、本機の液晶ディスプレイと同時表示できないものもあります。
- カバーを開く際は、強く引っ張りすぎないようにご注意ください。引きすぎると破損の原因となります。
- カバーを取りはずすことはできません。



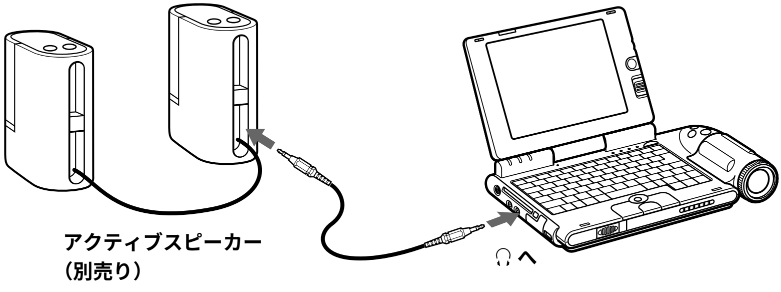
液晶プロジェクタに表示するには

下記のいずれかの操作によって、本機のディスプレイと接続した液晶プロジェクタなどとの表示を切り替えられます。

- ジョグダイヤルを操作する（68ページ）。
- 「画面のプロパティ」画面で設定する（243ページ）。
- Fnキーを操作する（64ページ）。

外部スピーカーをつなぐ

スピーカーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

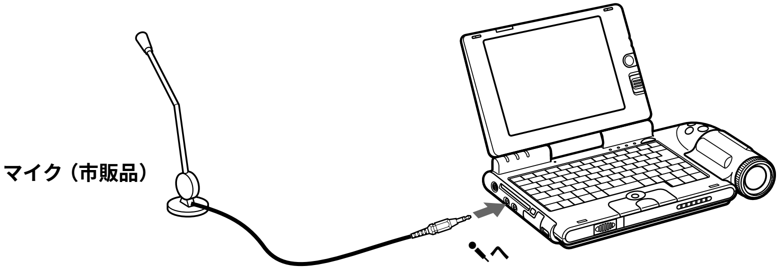


ご注意

- 電源を入れるときは、外部スピーカーの音量を最小にしてください。
- 外部スピーカーの上にフロッピーディスクなどを置かないでください。スピーカーの磁気によりディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。

マイクをつなぐ

プラグインパワー方式に対応したマイクをご使用ください。
マイクの取扱説明書もあわせてご覧ください。



メモリを増設する

別売りの専用メモリを増設すると、データの処理速度や、複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

ご注意

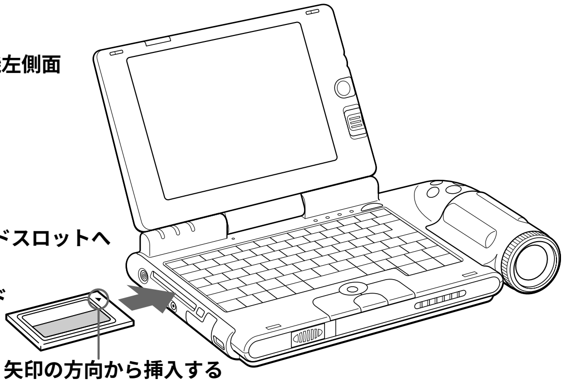
専用メモリの増設は、弊社の指定サービス窓口にて行ってください。
ご自分で増設されて故障が発生した場合は、保証期間中であっても有償修理となります。

PCカードを使う

本機では、PC CardタイプIIに準拠したPCカードが使えます。
また、本機のPCカードスロットは16ビットCardおよびCard Busに対応しています（ZV（Zoomed Video）Portには対応していません）。

PCカードを取り付ける

PCカードを取り付けるときに本機の電源を切る必要はありません。
下図のように、スロットの奥にあるコネクタに、カードがしっかりと固定されるまで押し込みます。
カードがうまく入らない場合は、無理にカードを押し込まずに、カードの挿入方向を確認してからもう1度挿入し直してください。



取り付けたあとの使いかたについては、PCカードの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- PCカードによっては本機で使用できないものや、機能が制限されるものがあります。
- PCカードの製造メーカーから最新のドライバを入手してお使いください。
  PCカードによっては、ドライバを最新のものにすることによって不具合が改善される場合があります。
- PCカードスロットからはみ出るPCカード（ワイヤレスLANカードなど）を挿入した状態で、本機を移動しないでください。
  移動時にPCカードに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。

PCカードを取り出す

ご注意

本機の電源が入っているときにカードを取り出す場合は、必ず以下の手順に従ってください。誤った取り出しかたをすると、システムが正常に動作しない可能性があります。本機の電源が切れているときは、手順1～4の操作は不要です。

1 **デスクトップ画面右下のタスクトレイにある**  **をダブルクリックする。**

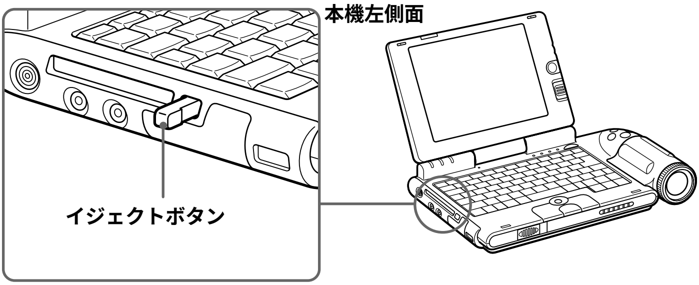
2 **リストから取り出したいPCカードをクリックし、［停止］をクリックする。**

3 **確認画面が表示されたらデバイスを確認し、［OK］をクリックする。**

4 **「……は安全に取り外すことができます。」と表示されたら［OK］をクリックする。**

5 **PCカードスロットのイジェクトボタンを押してボタンを出し、もう1度イジェクトボタンを押してPCカードを取り出す。**

カードの端を持って、スロットから引き抜いてください。



タスクトレイに  が表示されていないときは下記の手順に従って操作してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。
2［ハードウェアの追加と削除］アイコンをダブルクリックする。
3「ハードウェアの追加と削除ウィザード」が表示されたら、［次へ］をクリックする。
4［デバイスの削除/取り外し］を選び、［次へ］をクリックする。
5［デバイスの取り外し］を選び、［次へ］をクリックする。
6 リストから取り出したいデバイスを選び、［次へ］をクリックする。
7 確認画面が表示されたらデバイスを確認し、［次へ］をクリックする。
8［完了］をクリックし、PCカードを取り出す。

セットアップ

本機の使用環境を設定する

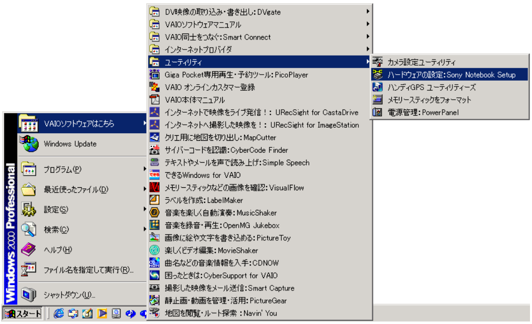
本機に付属の「Sony Notebook Setup」ソフトウェアを使って、本機の製品情報を確認したり、使用環境の設定を変更できます。
また、本機のジョグダイヤルを使っても操作できます。

本機のシステム情報を確認する

本機の製品情報や、メモリの容量などのシステム情報を確認することができます。
なお「Sony Notebook Setup」は、管理者権限（Administrators）のユーザーのみ起動できます。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［VAIOソフトウェアはこちら］にポインタを合わせ、［ユーティリティ］から［ハードウェアの設定：Sony Notebook Setup］をクリックする。

「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。



2 ［システム情報］タブをクリックする。

本機の製品情報やハードウェア情報を確認できます。



確認が終わったら

［OK］をクリックします。

メガベースの設定を変更する

メガベース（低音増幅機能、ヘッドホン使用時のみ）の設定変更や効果の確認ができます。
なお「Sony Notebook Setup」は、管理者権限（Administrators）のユーザーのみ起動できます。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［VAIOソフトウェアはこちら］にポインタを合わせ、［ユーティリティ］から［ハードウェアの設定：Sony Notebook Setup］をクリックする。**
「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

2 **［メガベース］タブをクリックする。**
メガベースの設定項目が表示されます。



3 **好みにあわせて設定を変更する。**
メガベースのオン／オフの切り替えができます。また、「サウンドファイル」のリストからサンプルを選び、再生しながら切り替えると、メガベースによる低音増幅機能の効果を確認できます。

4 **［OK］をクリックする。**

ジョグダイヤルを使ったり（69ページ）、Fnキーを押しながらBキーを押しても（65ページ）、メガベースのオン／オフを切り替えることができます。

セットアップ

起動時の設定を変更する

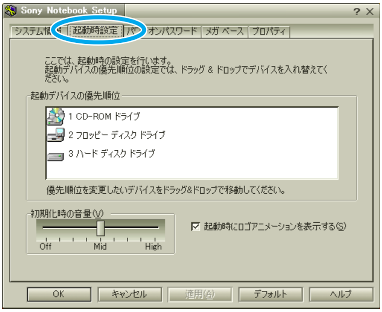
起動ドライブや、起動時に流れる音楽の音量の設定を変更できます。
なお「Sony Notebook Setup」は、管理者権限（Administrators）のユーザーのみ起動できます。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［VAIOソフトウェアはこちら］にポインタを合わせ、［ユーティリティ］から［ハードウェアの設定：Sony Notebook Setup］をクリックする。**

「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

2 **［起動時設定］タブをクリックする。**

設定画面が表示されます。



3 **好みにあわせて設定を変更する。**

– 起動デバイスの優先順位：順序を変更したいドライブを上下にドラッグします。
  リスト表示中の上にあるドライブから先に本機が起動します。
– 初期化時の音量：スライダを使って、ロゴアニメーションを表示するときに流れる音楽の音量を設定できます。
– 起動時にロゴアニメーションを表示する：起動時にVAIOロゴを表示するように設定できます。

4 **［OK］をクリックする。**

次に電源を入れるときは、手順3で設定した順位の高いドライブから本機が起動し、設定した音量で音楽が流れます。

本機をCD-ROMドライブから起動するには

下記の専用ドライブが必要です。お使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series
- CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Series
  ドライブ底面にある切り替えスイッチを「Recovery」に合わせ、PCGA-CDRW5_ Seriesに付属のACアダプタを取り付けてください。
- DVD-ROMドライブ PCGA-DVD51 Series
  PCGA-DVD51 Seriesに付属のACアダプタは取り付けないでください。

パスワードを登録する

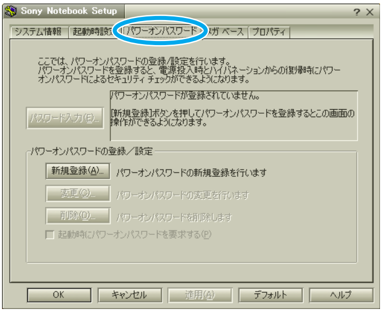
パスワードを登録して、パスワードを知っているユーザーだけが本機を使えるようにできます。大切なデータを守りたいときなどに便利です。
ここで登録したパスワードは、本機を起動してSonyのロゴマークが表示されたあとに入力します。
なお「Sony Notebook Setup」は、管理者権限(Administrators)のユーザーのみ起動できます。

ご注意

パスワードを忘れると、本機を起動することができなくなります。
パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
万一パスワードを忘れてしまったときは、修理(有償)が必要となります。
VAIOカスタマーリンクまでご相談ください。

1 **[スタート]ボタンをクリックして[VAIOソフトウェアはこちら]にポインタを合わせ、[ユーティリティ]から[ハードウェアの設定:Sony Notebook Setup]をクリックする。**
「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

2 **[パワーオンパスワード]タブをクリックする。**
パスワードの設定項目が表示されます。

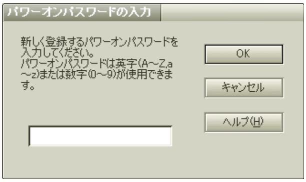


3 **[新規登録]をクリックする。**
確認画面が表示されます。

4 ［はい］をクリックする。

5 登録したいパスワードを入力してから、［OK］をクリックする。

パスワードは半角の英数字7文字以内で入力します。1文字入力するごとに、「＊」が表示されます。



6 手順5で入力したパスワードをもう1度入力してから、［OK］をクリックする。

7 ［OK］をクリックする。

入力したパスワードが登録されます。

パスワードの登録をやめるときは

手順4で、［いいえ］をクリックします。

パスワードを変更する

1 「パスワードを登録する」(228ページ)の手順1と2を行う。

2 ［パスワード入力］をクリックする。

パスワード入力画面が表示されます。変更前のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

3 ［変更］をクリックする。

パスワード入力画面が表示されます。

4 登録したいパスワードを入力してから、［OK］をクリックする。

5 手順4で入力したパスワードをもう1度入力してから、［OK］をクリックする。

パスワードが変更されます。

6 ［OK］をクリックする。

パスワードを削除する

1. **「パスワードを登録する」**（228ページ）**の手順**1**と**2**を行う。**

2. **［パスワード入力］をクリックする。**
   パスワード入力画面が表示されます。登録してあるパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

3. **［削除］をクリックする。**
   確認画面が表示されます。

4. **［はい］をクリックする。**
   パスワードが削除されます。
   削除をやめるときは、［いいえ］をクリックします。

5. ［OK］**をクリックする。**

工場出荷時の設定に戻す

「Sony Notebook Setup」を工場出荷時の設定に戻します。
なお、下記の操作を行っても、登録したパスワードの設定は戻りません。
なお「Sony Notebook Setup」は、管理者権限（Administrators）のユーザーのみ起動できます。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［VAIOソフトウェアはこちら］にポインタを合わせ、［ユーティリティ］から［ハードウェアの設定：Sony Notebook Setup］をクリックする。**
「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

2 **［デフォルト］をクリックする。**

ご注意

［デフォルト］をクリックしても、登録したパスワードの設定は戻りません。

バッテリで本機を使用しているときは、本機のハードディスクや液晶ディスプレイを自動的に停止させたり、バッテリでの動作時間をのばすことができます（パワーマネージメント機能）。

「PowerPanel」を起動する

本機を起動すると、（バッテリアイコン）がデスクトップ画面右下のタスクトレイに表示されます。バッテリアイコンについて詳しくは、「バッテリ残量を確認する」（54ページ）をご覧ください。

「PowerPanel」はジョグダイヤルを使って操作します。ジョグダイヤルの操作について詳しくは、「ジョグダイヤルを使う」（66ページ）をご覧ください。

なお「PowerPanel」は、管理者（Administrators）または標準ユーザー（Power Users）グループ権限のユーザーのみ使用できます。

CPUアイコンの見かた

タスクトレイに表示される「PowerPanel」のCPUアイコンで、CPUのパフォーマンスを知ることができます。

CPUアイコン	CPUのパフォーマンス
	最高CPUクロック周波数固定：パワーマネージメントオフ選択時
	最低CPUクロック周波数固定：スーパースタミナ選択時
	LongRunパワーマネージメント：CPUのクロック周波数および動作電圧を変化させます。ACアダプタ、バッテリ使用時。*

* 工場出荷時はこの設定になっています。

「PowerPanel」で「最低CPUクロック周波数固定」を選んでいるときは、「URecSight」ソフトウェアでライブ配信できないことがあります。
「最低CPUクロック周波数固定」以外を選んでください。詳しくは、「プロファイルのパワーマネージメント設定を変更する」（237ページ）をご覧ください。

電源管理ツールバーを表示するには

1. **デスクトップ画面下のタスクバーにポインタを合わせ、右クリックする。**
2. **ポップアップメニューから［ツール バー］を選び、［電源管理］をクリックする。**

   タスクバーに電源管理ツールバーが表示されます。

電源管理ツールバーをデスクトップ画面右側に表示させたいときは、ツールバーをドラッグし、デスクトップ画面右へ移動してください。

本機の動作モードを設定する（プロファイル）

ジョグダイヤルウィンドウがジョグダイヤルランチャー画面になっていることを確認してから、ジョグダイヤルを回して「電源管理（PowerPanel）」を選び、ジョグダイヤルを押します。さらに、「パワープロファイル」を選びジョグダイヤルを押すと、下記のようなプロファイルが表示されます。



プロファイルを変更するには、ジョグダイヤルを回して設定したいプロファイルを選び、ジョグダイヤルを押して確定します。

 AC

ACアダプタをつないで使用するとき、ここで設定した状態になります。ACアダプタをはずすと、バッテリで使用していたときに選んでいた状態に戻ります。

 **ノーマル**

消費電力を節約しつつ、できるだけ通常の動作状態を保つよう、自動的に調整します。

 **スタミナ**

バッテリを長時間使用できるように動作状態を自動的に調節します。工場出荷時の設定では、バッテリ動作時には自動的に「スタミナ」プロファイルが選択されます。

スーパースタミナ

バッテリを最大限に長時間使用できるように動作状態を自動的に調節します。「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、バッテリ動作時にi.LINK対応機器や“メモリースティック”を本機に接続して使用することはできません。

カメラ

内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用するのに適した動作状態を保つように自動的に調節します。

パワーマネージメントオフ

パワーマネージメント機能を無効にします。このプロファイルの内容は変更できません。

- バッテリ動作時にいずれかのプロファイルを選択すると、そのプロファイルのパワーマネージメント機能が有効になり、以後バッテリ動作時には自動的にそのプロファイルが選択されます。
- プロファイル選択メニューには上記の他にもいろいろなプロファイルが用意されています。お使いになるソフトウェアに合わせてプロファイルを選択することができます。
- 「プロファイル自動選択」を選択すると、使用中のソフトウェアに合わせて自動的にプロファイルが切り替わります。
- 工場出荷時の設定では、バッテリ動作時（「スタミナ」プロファイル）の液晶ディスプレイの明るさは、暗めの設定になっています。液晶ディスプレイの明るさを調節するには、Fnキーを押しながらF5キーを押すか（64ページ）、プロファイルの設定を変更してください（237ページ）。
- 「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、“メモリースティック”やi.LINK対応機器を使って本機にデータを取り込めないなど、「DVgate」などのお使いになるソフトウェアによって、正しく動作しないことがあります。
  これらの場合は、「スーパースタミナ」プロファイル以外のプロファイルを選択してください。
- 「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、「URecSingt」ソフトウェアでライブ配信できないことがあります。「スーパースタミナ」プロファイル以外のプロファイルを選択してください。

特定のデバイスの電力供給をコントロールする（コマンド）

ジョグダイヤルウィンドウがジョグダイヤルランチャー画面になっていることを確認してから、ジョグダイヤルを回して「電源管理（PowerPanel）」を選び、ジョグダイヤルを押します。設定したい省電力動作モードを選びジョグダイヤルを押すと、省電力動作モードに移行します。
「省電力動作モードについて」（238ページ）もご覧ください。

スタンバイ

現在の本機の状態をメインメモリに記憶させ、液晶ディスプレイとCPUの電源供給を停止して、使用電力を低減します。
システムを元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押します。
ちょっと席をはずすときなどに便利です。

カメラシューティングスタイルでお使いのときにシステムを元の状態に戻すには、CAPTUREボタンを押します。

ご注意

スタンバイに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。
なお休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクに保存しますので、バッテリが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプタを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

休止状態

現在のシステムの状態をハードディスクに書き込んでから、自動的に本機の電源を切ります。本機の電源を入れると、休止状態前の状態に戻ります。
この機能を使って電源を切ると、「電源を切る」（40ページ）の手順で電源を切ったときよりも、次回電源を入れたときに短時間で本機を使用できます。
しばらく本機を使わないときなどに便利です。

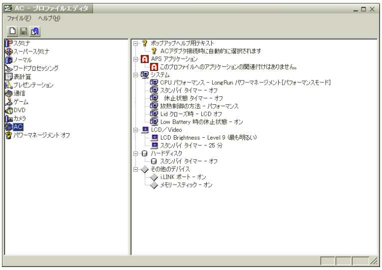
カメラシューティングスタイルでお使いのときに休止状態前の状態に戻すには、CAPTUREボタンを押します。

プロファイルのパワーマネージメント設定を変更する

使用環境に合わせて、プロファイルのシステムタイマーや画面の輝度などのパワーマネージメント設定を変更することもできます。
ジョグダイヤルを使ってもこの操作ができます。詳しくは、「「ジョグダイヤルランチャー」画面」（67ページ）をご覧ください。

1 **デスクトップ画面右下のタスクトレイの を右クリックして、選択メニューから［プロファイルの編集／作成］をクリックする。**

「プロファイルエディタ」が起動します。



2 **設定を変更したいプロファイルをクリックする。**

3 **変更したい項目をダブルクリックする。**

設定値のリストが表示されます。
現在有効な設定値がチェックされています。

4 **好みの設定値をクリックする。**

5 **「ファイル」メニューをクリックし、［保存］をクリックする。**

6 **「ファイル」メニューをクリックし、［終了］をクリックする。**

「プロファイルエディタ」が終了し、手順4で選んだ設定値が有効になります。

新しくプロファイルを作成して追加することもできます。詳しくは、「PowerPanel」のヘルプをご覧ください。

省電力動作モードについて

バッテリでの使用時間をのばすため、使用状況に合わせて省電力動作モードを使い分けてください。
工場出荷時の設定では、バッテリの残量がわずかになると自動的に休止状態になります。

通常モード

（⏻（パワー）ランプ点灯：グリーン）
通常の動作モードですが、液晶ディスプレイやハードディスクなどをそれぞれ省電力動作モードに移行させて、消費電力を節約することもできます。

❑ LCD/Video**スタンバイ**
本機を一定時間以上操作しないと、自動的に液晶ディスプレイの電源を切ったり、外部ディスプレイを省電力動作モードに移行します。
スティックに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押すと元の状態に戻ります。

省電力動作モード

本機では以下の2つの省電力動作モードがあります。より使用状況に合った使い分けをしてください。

❑ **スタンバイ**
（⏻（パワー）ランプ点滅：アンバー（赤褐色））
現在作業中の状態を保持したまま、省電力状態に入ります。ちょっと席をはずすときなどに便利です。

- **スタンバイにするには**

  Fnキーを押しながらEscキーを押します。または、⏻（パワー）ボタンを押したり、（工場出荷時の設定）、ジョグダイヤルで「電源管理（「PowerPanel」）」ソフトウェアを使って設定することもできます（236ページ）。

- **通常モードに戻すには**

  キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻（パワー）ボタンを一瞬押します。

💡

カメラシューティングスタイルでお使いのときにシステムを元の状態に戻すには、CAPTUREボタンを押します。

ご注意

⏻（パワー）ボタンを4秒以上押し続けると、スタンバイに移行する前の作業状態や保存していないデータが失われてしまいますのでご注意ください。スタンバイに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。
なお休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクに保存しますので、バッテリが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプタを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

❑ 休止状態

（⏻（パワー）ランプ消灯）

現在作業中の状態をハードディスクに保存して、本機の電源を切ります。しばらく本機を使わないようなときに便利です。

- **休止状態にするには**

  Fnキーを押しながらF12キーを押します。またはジョグダイヤルで「PowerPanel」ソフトウェアを使って設定することもできます（236ページ）。
  ▭（バッテリ）ランプが ⏻（パワー）ランプと同時に点滅するか、「バッテリが少なくなりました」というメッセージがあったら、休止状態にすることをおすすめします。

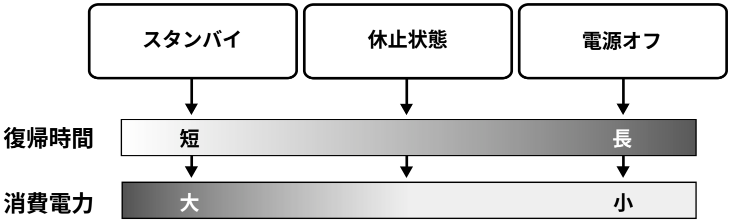
- **通常モードに戻すには**

  ⏻（パワー）ボタンで本機の電源を入れ直します。電源を入れると、前回の作業状態に戻ります。
  電源オフ（40ページ）からの起動よりも早く復帰できます。

💡

カメラシューティングスタイルでお使いのときにシステムを元の状態に戻すには、CAPTUREボタンを押します。

復帰時間と消費電力について



ご注意

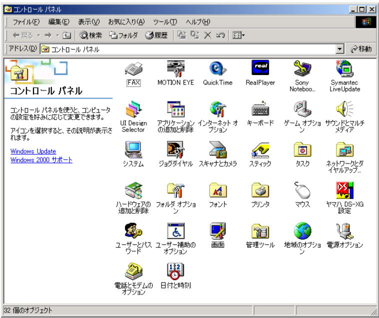
本機は、通常モード時にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるよう工場出荷時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。
長時間席をはずされるときなどに、バッテリが消耗した際、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れ、作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。
バッテリでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。

ディスプレイの設定を変更する

本機の液晶ディスプレイの解像度は、標準では1024×768 ドット（16ビット）に設定されています。ディスプレイの解像度と色数の設定の変更をするには、以下の手順に従ってください。
Windows 2000のヘルプもあわせてご覧ください。

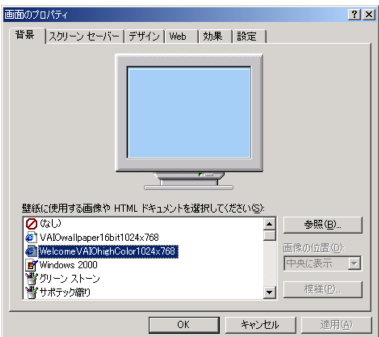
1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。



2 ［画面］アイコンをダブルクリックする。

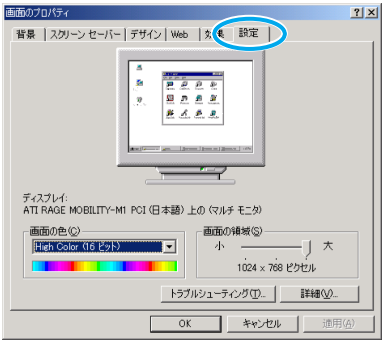
「画面のプロパティ」画面が表示されます。



セットアップ

次のページにつづく

3 ［設定］タブをクリックする。



4 「画面の色」リストで色数を、「画面の領域」のスライダで解像度をそれぞれ設定する。

5 ［OK］をクリックする。

確認画面が表示されます。

6 ［OK］をクリックする。

「モニタの設定」画面が表示されます。

7 ［はい］をクリックする。

変更した設定が有効になります。

ご注意

設定によっては本機を再起動する必要がある場合があります。画面に表示される指示に従ってください。

色数について

手順4の「画面の色」リストの設定と実際に表示される色数は以下の通りです。

High Color（16 ビット）→ 65,536色

True Color（24 ビット）→ 約1,677万色*

True Color（32 ビット）→ 約1,677万色*

*本機の液晶ディスプレイに表示するときはグラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現

表示するディスプレイを選ぶ

別売りのディスプレイアダプターPCGA-DA1Sを使って本機に外部ディスプレイなどをつないでいる場合には、ATIビデオコントローラを使って、どのディスプレイに表示するか設定できます。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 ［画面］アイコンをダブルクリックする。

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

3 ［設定］タブをクリックする。

4 ［詳細］をクリックする。

「MOBILITY-M1 PCIのプロパティ」画面が表示されます。

5 ［画面］タブをクリックして、表示するディスプレイを設定する。

ディスプレイの左上にある緑色のボタン  を押すと、どのディスプレイに表示させるかを設定できます。

詳しくは画面右下の［ヘルプ］をクリックし、表示されるヘルプをご覧ください。

ご注意

- 外部ディスプレイやプロジェクタの種類によっては、本機の液晶ディスプレイと同時表示できないものもあります。
- 外部ディスプレイで動画やDVDビデオ、内蔵カメラ（MOTION EYE）のファインダなどを表示できない場合は、以下の手順で表示させたいディスプレイをプライマリに設定してください。

  1 上記手順1〜4を行う。

  2 ［画面］タブをクリックし、「モニタ」または「テレビ」の「セカンダリ」の  をクリックしてチェックをはずし「プライマリ」にする。

- 電源を入れるときは、外部ディスプレイなどの周辺機器の電源を入れてから、本機の電源を入れてください。

ウィンドウのデザインを変更する

「UI Design Selector」に対応したソニー製ソフトウェアのインターフェイスデザインを好みに合わせて変更することができます。

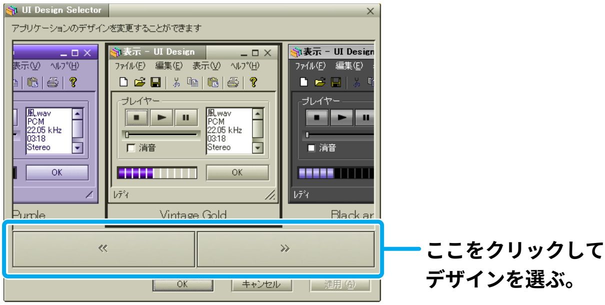
1 **［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。**

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 ［UI Design Selector］**アイコンをダブルクリックする。**

「UI Design Selector」画面が表示されます。

3 ［<<］**または**［>>］**をクリックして、デザインを選ぶ。**



4 **［適用］をクリックする。**

「UI Design Selector」画面のデザインが変わります。ソニー製ソフトウェアのウィンドウもこの画面と同じデザインになります。

5 **デザインを選び直すときは、**［<<］**または**［>>］**をクリックする。**

6 ［OK］**をクリックする。**

ソニー製ソフトウェアのウィンドウのデザインが変更され、「UI Design Selector」画面が閉じます。

アクティブデスクトップを非表示にする

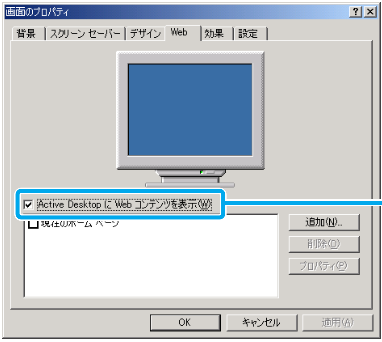
本機の初期設定では、「アクティブデスクトップ」が標準のデスクトップ画面になっています。
このアクティブデスクトップ画面を、Windows 2000のデスクトップ画面に表示しないように変更することもできます。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **［画面］アイコンをダブルクリックする。**
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

3 **［Web］タブをクリックする。**

4 **［Active DesktopにWeb コンテンツを表示］のチェックボックスをクリックして、チェックをはずす。**



ここをクリックしてチェックをはずす。

5 **［OK］をクリックする。**
Windows 2000のデスクトップ画面からアクティブウィンドウがはずれます。

選択されている壁紙がアクティブデスクトップを必要とする場合に上記の手順を行うと、「選択された壁紙はActive Desktopが有効になっている場合にのみ表示されます。有効にしますか？」というメッセージが表示されます。［いいえ］をクリックするとアクティブデスクトップをはずすことができます。

セットアップ

スティックの設定を変更する

スティックの感度などの設定を好みに合わせて変えることで、スティックをより便利に使えます。次の機能を使って、ほとんど手やポインタの位置を動かさずに片手だけで本機を快適に操作できます。

- プレスセレクト機能
- スクロール／拡大機能

プレスセレクト機能を使う

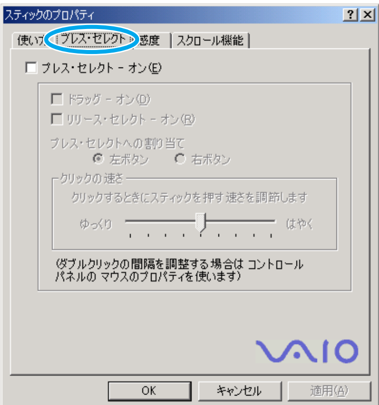
左ボタンをクリックする操作をスティックを軽くたたく動作で代用できます。右ボタンをクリックする操作の代用にすることもできます。
また、スティックを押さえながら動かして希望の位置で離すとドラッグすることができます。

プレスセレクト機能を使うには

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 ［スティック］アイコンをダブルクリックする。
「スティックのプロパティ」画面が表示されます。

3 ［プレス・セレクト］タブをクリックする。



4 **［プレス・セレクト – オン］のチェックボックスをクリックし、チェックする。**

5 **［OK］をクリックする。**

変更した設定が有効になります。

スティックの感度を調節する

スティックとプレスセレクト機能の感度を同時に調節します。
感度を低く（重く）すると、強く押さなければプレスセレクト機能が効かなくなります。同時にポインタの動きも鈍くなります。感度を高く（軽く）すると、軽く押すだけでプレスセレクト機能が効くようになります。同時にポインタの動きも速くなります。

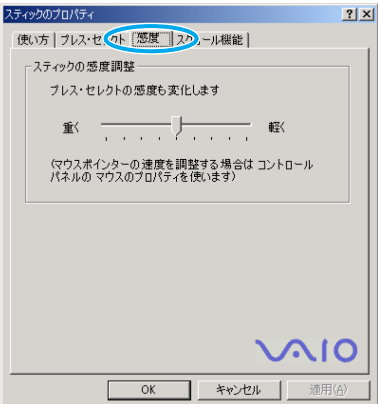
1 **［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。**

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **［スティック］アイコンをダブルクリックする。**

「スティックのプロパティ」画面が表示されます。

3 **［感度］タブをクリックする。**



4 **スティックの感度を調節する。**

5 **［OK］をクリックする。**

変更した設定が有効になります。

スクロール／拡大機能を使う

センターボタンを押したときに働く機能を選択します。

- **スクロール機能**
  センターボタンを押しながらスティックを動かすとスクロールバーに触らずに、スクロールバーを動かすことができます。ホームページの下の方を見たいときや、長い文章を読んでいるときなどにこの機能を使うと便利です。
- **拡大機能**
  拡大機能を使うと、画面に四角い虫メガネが現れます。
  虫メガネを移動するには：
  センターボタンを押しながらスティックを動かします。
  虫メガネの倍率を変えるには：
  センターボタンを押しながらクリックします。
  虫メガネのサイズを変えるには：
  センターボタンを押しながら右クリックします。

ご注意

工場出荷時にはスクロール機能に設定されています。

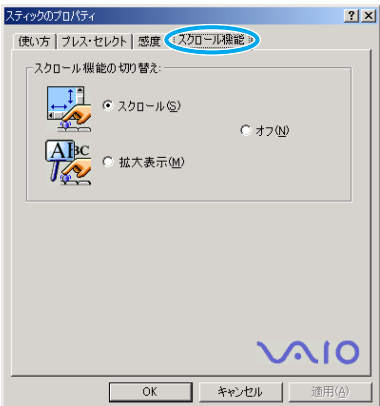
1 **［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。**

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **［スティック］アイコンをダブルクリックする。**

「スティックのプロパティ」画面が表示されます。

3 **［スクロール機能］タブをクリックする。**



4 **［スクロール］または［拡大表示］のチェックボックスをクリックし、チェックする。**

どちらも使わないときは、［オフ］をチェックします。

5 **［OK］をクリックする。**

変更した設定が有効になります。

困ったときは

トラブルを解決するには

本機を操作していて困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに下記の流れに従ってください。
また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順1　この説明書やヘルプで調べる

- 「主なトラブルとその解決方法」（255ページ）をチェックする。
- ソフトウェアのヘルプ
- Windows 2000 のヘルプ
  デスクトップ画面左下の［スタート］ボタンをクリックし、［ヘルプ］をクリックして、「ヘルプとサポート」をご覧ください。
- 「サイバーサポート（CyberSupport 2.5 for VAIO）」ソフトウェア
  付属の「CyberSupport 2.5 for VAIO」ソフトウェアを使うと、本機の電子マニュアルやVAIOカスタマーリンクに寄せられたFAQ（よくある質問とその回答）などから自動的に解決方法を検索できます。
  使いかたについて詳しくは、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

手順2　VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する

VAIOカスタマーリンク ホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ情報やサービスを掲載しています。
VAIOカスタマーリンク ホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

手順3　VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる

254ページのお問い合わせ先にご相談ください。

「CyberSupport for VAIO」をはじめてお使いになるときは

VAIO カスタマーリンクのホームページにアクセスし、「CyberSupport 2.5 for VAIO 」ソフトウェアで検索できる情報を更新してください。

更新するには、インターネットに接続した状態で、［最新のデータに更新］をクリックします。自動的に情報が更新されます。最初に更新するときは数十分時間がかかることがありますので、ご注意ください。

操作について詳しくは、別冊の「VAIO サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

また、この機能を使うには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」（155ページ）をご覧ください。

「ImageStation」や「PercasTV」についてのお問い合わせは

別冊の「インターネットで楽しむ バイオGT & URecSight」をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク お問い合わせ先

VAIO**カスタマーリンク**

電話番号　(0466) 30-3000

受付時間

平日　10時〜20時

土、日、祝日　10時〜17時

(年末年始は除く)

一般的にお電話は午前中より午後の方がつながりやすくなっております。

- お電話は音声認識を用いた自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。
- 付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェア一覧」(287ページ)をご覧になり、各ソフトウェアのお問い合わせ先へお電話ください。
- 本機のご購入日から90日間無料。それ以後は、有料でのサポートメニュー「サポートプラス」をご用意しております。

お電話の前に以下の内容をご用意ください

① お客様のVAIOカスタマーID

② 本機の型名：IDラベル (25ページ) または、保証書に記載されています

③ 本機の製造番号：保証書などに記載されている7桁の番号です

④ カスタマー登録していていただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号

発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

⑤ 本機に接続している周辺機器名：メーカー名と型名

⑥ 表示されたエラーメッセージ

⑦ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、そのソフトウェアの名前とバージョン

⑧ トラブルが発生する前または直前に行った操作

⑨ トラブルがどのくらいの頻度で再現するか

⑩ その他お気づきの点

修理の場合は

⑪ VAIOカルテ：修理をお申し込みになるとき

⑫ 筆記用具：修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です

主なトラブルとその解決方法

ここでは、本機の主なトラブルとその解決方法を説明します。

ご注意

再起動または電源を入れ直す場合は、必ず「電源を切る」（40ページ）の手順に従い、いったん電源を切ってください。
他の方法で本機の電源を切ると、作成したファイルが使えなくなることがあります。

電源

電源が入らない。（⏻（パワー）ランプがつかないとき）

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。ACアダプタや、バッテリが正しく接続されていることを確認した上で、以下のいずれかの操作を行ってください。

→ プログラム動作中に異常が発生したので電源を切った場合

プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。クリップなどの細い棒で本機底面のリセットスイッチ（28ページ）を押してから、電源を入れ直してください。シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。
それでも電源が入らない場合は、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから再度取り付け直し、電源を入れてください。

→ 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、または湿度の高い場所で使用する場合

本機内部に結露が生じている可能性があります。その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。また、湿度の高い場所（80%以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

電源が入らない。（⏻（パワー）ランプ（グリーン）が点灯するとき）

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。ACアダプタや、バッテリが正しく接続されていることを確認した上で、以下のいずれかの操作を行ってください。

→ プログラム動作中に異常が発生したので電源を切った場合

クリップなどの細い棒で本機底面のリセットスイッチ（28ページ）を押してから、電源を入れ直してください。シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。
それでも電源が入らない場合は、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから再度取り付け直し、電源を入れてください。

→ 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、または湿度の高い場所で使用する場合

本機内部に結露が生じている可能性があります。その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。また、湿度の高い場所（80%以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

→ 外部ディスプレイに表示が切り替えられている。Fnキーを押しながら、F7キーまたはF8キーを何回か押してください。（64ページ）
ジョグダイヤルを使ってもこの操作ができます。詳しくは、「「ジョグダイヤルランチャー」画面」（67ページ）をご覧ください。

電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。以下の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

→ 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作などを確認してください。

→ 使用中のソフトウェアをすべて終了してください。

→ PCカードをお使いの場合は、「PCカードを取り出す」（222ページ）の手順に従ってPCカードを取り出してください。

→ USB機器を接続しているときは取りはずしてください。

→ 周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。
Windows 2000は、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。また、周辺機器のデバイスドライバによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

→ **「スタート」メニューから［シャットダウン］を選んでも電源が切れない場合**
Altキーを押しながらF4キーを数回押して「Windowsのシャットダウン」画面を表示させます。をクリックし、［シャットダウン］を選んでから、［OK］をクリックしてください。
Altキーを押しながらF4キーを数回押しても「Windowsのシャットダウン」画面が表示されない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、「Windowsのセキュリティ」画面が表示されたら、［シャットダウン］をクリックしてください。
それでも電源が切れない場合は、本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。

次のページにつづく

→ **本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにしても、電源が切れない場合**

クリップなどの細い棒で本機底面のリセットスイッチ（28ページ）を押してください。
シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。

→ 上記の操作を行っても電源が切れない場合は、ACアダプタとバッテリをはずして電源を切ってください。

これらの操作を行うと、作成中のデータが破壊されるおそれがあります。また、本機の電源を入れ直した際、ディスクのチェックが行われます。その場合は、Windowsのデスクトップ画面が表示されるまで画面の指示に従って操作し、その後「電源を切る」（40ページ）の手順に従っていったん本機の電源を正しく切ってください。

電源が勝手に切れた。

→ バッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。

Windowsの起動

電源を入れると、「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが出て、Windowsが起動できない。

→ フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っているときは、イジェクトボタンを押して、取り出す。その後、キーボードのいずれかのキーを押す。

電源を入れると、「Operating system not found」と表示され、Windowsが起動できない。

→ USBフロッピーディスクドライブに起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、ディスクを取り出してからCtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動する。

→ 再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。本機に付属のリカバリ CDを使って、パーティションサイズを変更し、本機を再セットアップしてください。詳しくは、「パーティションサイズを変更する」（336ページ）をご覧ください。

電源を入れると「System Disable」と表示され、Windowsが起動しない。

→ パワーオンパスワードを3回間違えて入力すると、「System Disable」と表示されWindowsが起動しません。本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。
その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。
パスワードを入力する際は、🔒1(Num Lock) ランプや 🔒A(Caps Lock) ランプが点灯していないか確認してください。点灯してる場合は、Num Lkキーまたは Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

ハードディスクから起動できない。

→ フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出す。その後、キーボードのいずれかのキーを押す。

CD-ROMから起動できない。

→ 下記の専用ドライブ以外からは、本機を起動できません。

- CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series
- CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Series
  ドライブ底面にある切り替えスイッチを「Recovery」に合わせ、PCGA-CDRW5_ Seriesに付属のACアダプタを取り付けてください。
- DVD-ROMドライブ PCGA-DVD51 Series
  PCGA-DVD51 Seriesに付属のACアダプタは取り付けないでください。

なお、ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

電源を入れたあと、「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示され、Windowsが起動しない。

→ 内蔵バックアップバッテリが消耗している。

以下の操作を行ってください。

1 電源を入れ、Sonyのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。
画面左下に「Entering Setup...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。「Entering Setup...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

困ったときは

次のページにつづく

2 日時を確認する。

「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認する。間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。

①「System Date」の項目に月／日／年（西暦）を入力する。

例：2000年1月31日と設定するには、1＋Enterキー＋31＋Enterキー＋2000＋Enterキーの順で入力します。

② ↓キーで「System Time」を選び、時刻を24時間表示で入力する。

例：午後2時35分00秒と設定するには、14＋Enterキー＋35＋Enterキー＋00＋Enterキーの順で入力します。

3 Escキーを押す。

4 ↓キーで［Get Default Values］を選択し、Enterキーを押す。

5「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

6［Exit(Save Changes)］が選ばれていることを確認してEnterキーを押す。

7「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

起動時にVAIOロゴが表示されない、音が鳴らない。

→「Sony Notebook Setup」で起動時の設定を変更してください（226ページ）。

モデム・インターネット

内蔵モデムが認識されない。またはダイヤルできない。

→ テレホンコードの接続を確認する。
「発信音が聞こえません」とメッセージが表示されたときは、本体側のモジュラジャックと壁側の電話回線のコンセントの接続を確認します。「カチッ」と音がするまでモジュラジャックに差し込んでください。

また、予備のテレホンコードがあれば、テレホンコードを交換して試してみます。（164ページ）

→ 分配器を使わずに、電話回線のコンセントにテレホンコードを直接接続しているか確認する。また、テレホンコードが長すぎないか、電話機の子機に接続していないか確認する。

→ ISDN回線に接続しているときは、ターミナルアダプタが使える状態になっているか確認する。詳しくは、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

→ 3分以内に3回以上同じ電話番号にかけた場合は、リダイヤル制限がかかります。

3分以上、時間をおいてからかけ直してください。

→ モデムがWindowsに正しく認識されているか確認する。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 ［電話とモデムのオプション］アイコンをダブルクリックし、［モデム］タブをクリックする。

3 お使いのモデムをクリックして選び、［プロパティ］をクリックし、［診断］タブをクリックする。

4 ［モデムの照会］をクリックする。

コマンドとその応答が表示されたら、モデムは正しく認識されています。

正しく認識されていないときは以下の手順で操作し、COMポートのリソース（IRQなど）が他のデバイスと競合していないか確認する。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［システム］アイコンをダブルクリックする。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

3 「ハードウェア」タブの［デバイス マネージャ］をクリックする。

「デバイス マネージャ」画面が表示されます。

デバイスのアイコンに「！」がついているものは、他のデバイスと競合を起こしている可能性があります。

競合している場合は以下の手順でデバイスを無効にする。

また、競合しているデバイスが着脱可能な場合は、本機から取りはずせば競合は解消します。

1 「デバイス マネージャ」画面で競合しているデバイスをダブルクリックする。

2 ［全般］タブの「デバイスの使用状況」の ▼ をクリックし、表示されるリストから［このデバイスを使わない（無効）］をクリックする。

3 ［OK］をクリックする。

次のページにつづく

→ 一般電話回線に接続する。

使用可能な回線は、一般電話回線です。PBX（構内交換機）回線には接続しないでください。故障・発火の原因になります。

PBX（構内交換機）回線の中には、回線の電気条件がNTTの一般電話回線と同じものもありますが、接続できるかどうかは、PBXメーカーまたはPBX保守業者にお問い合わせください。

PBX（構内交換機）回線が使用可能な場合は、以下の手順に従って外線発信番号を「0」（0発信）に設定し、ダイヤルトーン（受話器を上げたときの「ツー」という音）を待たずにダイヤルするよう設定してください。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。**

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 **［電話とモデムのオプション］アイコンをダブルクリックする。**

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

3 **［編集］をクリックする。**

「所在地の編集」画面が表示されます。

4 **「市外局番」に接続先の市外局番を入力し、「市内通話の場合の外線発信番号」と「市外電話の場合の外線発信番号」に半角で「0」（ゼロ）と入力する。**

5 **［OK］をクリックする。**

6 **［モデム］タブをクリックする。**

「モデム」画面が表示されます。

7 **お使いのモデムをクリックして選び、［プロパティ］をクリックする。**

8 **［全般］タブにある「ダイヤルの管理」の「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックボックスをクリックして、チェックをはずす。**

9 **［OK］をクリックする。**

10 **「電話とモデムのオプション」画面で［OK］をクリックし、画面を閉じる。**

モデムはダイヤルしているが、接続できない。

うまく接続できないときは、以下の項目を確認してください。

→ お使いの電話回線のダイヤル方式がトーン式ダイヤルかパルス式ダイヤルかを確認し、以下の手順に従って操作し、ダイヤル方法が正しく設定されているか確認する。

お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、契約している電話会社へお問い合わせください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 ［電話とモデムのオプション］アイコンをダブルクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

3 ［編集］をクリックする。

「所在地の編集」画面が表示されます。

4 「ダイヤル方法」が電話回線の種類と同じか確認する。

5 ［OK］をクリックする。

6 「電話とモデムのオプション」画面で［OK］をクリックし、画面を閉じる。

→ 接続先の電話番号などを再確認する。

「指定したポートは接続されていません」または、「リモートコンピュータが応答していません」、「ユーザー名またはパスワード、あるいはその両方が無効なため、このドメインにアクセスできませんでした」といったメッセージが表示されるときは、以下の手順でプロバイダやネットワークに接続するための設定を確認します。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 ［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックする。

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

3 接続先のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから［プロパティ］をクリックする。

4 契約しているプロバイダから提供された資料に従って設定を確認する。

特に、次の点を重点的に確認してください。

- ［全般］タブ
  「接続の方法」と「電話番号」の設定
- ［ネットワーク］タブ
  「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の設定で「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」が選択されていることと、「チェックボックスがオンになっているコンポーネントはこの接続で使われます」の「インターネットプロトコル（TCP/IP）」がチェックされていることを確認してください。
  また、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のプロパティを開き、その設定内容も確認してください。

次のページにつづく

ご注意

- チェックすべき項目以外はすべてチェックをはずしてください。
- プロバイダからDNSサーバーアドレスを指定されない場合（自動設定）は、［DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する］をクリックしてください。

💡

- プロバイダによっては、同じアクセスポイントでも一般電話回線とISDN回線で電話番号をわけていることもあります。使用する電話回線にあった電話番号かは、契約したプロバイダにお問い合わせください。
- DNSサーバーアドレス（プライマリDNSとセカンダリDNS）を入力し直す場合は、［次のDNSサーバーのアドレスを使う］をクリックしてから、正しいアドレスを入力します。

設定などに問題がなかった場合は、以下の手順でダイヤルアップ接続アイコンを作り直してから、接続してみてください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 ［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックする。

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

3 接続先のアイコンをごみ箱にドラッグアンドドロップする。

ダイヤルアップ接続アイコンを削除するか確認するメッセージが表示されます。

4 ［はい］をクリックする。

ダイヤルアップ接続アイコンが削除されます。

5 ［新しい接続の作成］アイコンをダブルクリックする。

「ネットワークの接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

6 ［次へ］をクリックする。

「ネットワーク接続の種類」画面が表示されます。

7 ［インターネットにダイヤルアップ接続する］の ◯ をクリックして ◉ にし、［次へ］をクリックする。

「インターネット接続ウィザードの開始」画面が表示されます。
引き続き「接続のための設定をする」（178ページ）の手順3〜13の操作を行ってください。
インターネット接続ウィザードが終了すると、「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面の中に新しいダイヤルアップ接続アイコンができます。
このアイコンをダブルクリックして、接続を試してください。

それでも接続できない場合は、接続先のサーバーが停止している可能性があります。時間をおいて再度ダイヤルし直してください。

→ 接続中の動作が長く続くとき

接続中の動作が長く続き接続が完了しないときは、いったん回線を切断してかけ直します。高い通信速度で接続する場合、まれに接続に失敗して、接続確認の動作が終わらなくなることがあります。

→ 内蔵モデムやターミナルアダプタが発信しているのに、ネゴシエーションが始まらない場合は、以下のような問題が考えられます。

電話回線の問題

- 電話回線の状態が良くない。
- 電話回線が混み合っている。

この場合は、時間帯をずらして再度接続してみてください。

接続先（プロバイダのアクセスポイント）の問題

- 接続先の回線の状態が良くない。
- 接続先の回線が混み合っている。
- 接続先のモデムが不調である。

この場合は、時間帯をずらして再度接続してみるか、アクセスポイントを変更して接続してみてください。

アクセスポイントを変更するには、以下の手順に従って操作します。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］、［ネットワークとダイヤルアップ接続］の順にポインタを合わせ、［ネットワークとダイヤルアップ接続］をクリックする。

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

2 ダイヤルアップ接続名（チェックシートのダイヤルアップ接続名）のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから［プロパティ］をクリックする。

ダイアルアップ接続のプロパティ画面が表示されます。

3「電話番号」の入力欄に別のアクセスポイントの電話番号を半角の数字で入力する。

4［OK］をクリックする。

→「ハイパーターミナル」ソフトウェアで時報の電話番号に接続できるか試してみる。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、［アクセサリ］から［通信］、［ハイパーターミナル］の順にクリックする。

「ハイパーターミナル」ソフトウェアが起動し、「接続の設定」画面が表示されます。

2「名前」に任意の名前を入力し、［OK］をクリックする。

次のページにつづく

3「電話番号」に下記のとおり時報の番号を入力し、［OK］をクリックする。

トーン回線をお使いのかたは「ATDT117」と入力します。パルス回線をお使いのかたは「ATDP117」と入力します。

［OK］をクリックすると、「接続」画面が表示されます。

4［ダイヤル］をクリックする。

インターネットに接続できない。

→ ユーザー名やパスワードを確認する。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2［インターネットオプション］アイコンをダブルクリックする。

「インターネットのプロパティ」画面が表示されます。

3［接続］タブをクリックする。

「接続」画面が表示されます。

4「ダイヤルアップの設定」から接続先を選んでクリックし、［設定］をクリックする。

「ダイヤルアップの設定」画面が表示されます。

5「ユーザー名」や「パスワード」が正しいか確認する。

ユーザー名やパスワードを忘れてしまった場合は、プロバイダから郵送されてきた資料を確認してください。または、契約したプロバイダにお問い合わせください。

→「モデムはダイヤルしているが接続できない」（262ページ）の内容も合わせてご覧ください。

→ インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」（155ページ）をご覧ください。

携帯電話を使って接続できない。

→ 所在地情報を確認する。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。

2［電話とモデムのオプション］アイコンをダブルクリックする。

3［ダイヤル情報］タブで所在地を選び、［編集］をクリックする。

4［全般］タブの「市外局番」に何も入力されていないときは、「000」など実在しない番号を入力する。

最高の通信速度で通信できない。

→ 回線が混み合っている場合や回線の品質が悪い場合は、エラーが発生しないよう自動的に通信速度を落とします。

電子メールを送受信できない。

→「Outlook Express」ソフトウェアをお使いの場合は、以下の手順に従って操作し、電子メールソフトウェアの設定を確認する。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、［Outlook Express］をクリックする。

「Outlook Express」が起動します。

「ダイヤルアップの接続」画面が表示されたときは、［キャンセル］をクリックします。

2 画面上部の［ツール］をクリックし、表示されるメニューから［アカウント］をクリックする。

「インターネットアカウント」画面が表示されます。

3 ［メール］タブをクリックする。

「メール」画面が表示されます。

4 お使いのアカウントをクリックして選び、［プロパティ］をクリックする。

5 各タブをクリックし、各項目が正しく入力されているか確認する。

ご注意

文字は半角文字で入力してください。全角で入力してあると、電子メールソフトウェアが正しく設定されません。

→「Outlook Express」以外の電子メールソフトウェアをお使いの場合は、それぞれのソフトウェアの取扱説明書またはヘルプをご覧になり、正しく設定されているか確認してください。

→ 電子メール送受信について詳しくは、「インターネットを始める」（155ページ）をご覧ください。

ホームページが表示されない。

→ アドレスバーに入力されている英数字を確認する。URLは半角で入力してください。

カスタマー登録

オンラインでカスタマー登録できない。

→ 本機が電話回線に正しく接続されているか確認する。（164ページ）

→ お使いの電話回線がトーン式ダイヤルかパルス式ダイヤルかを確認し、ダイヤルの種類に合わせて内蔵モデムを設定する。

💡
お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線（基本）使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、契約している電話会社へお問い合わせください。

→ ISDN回線をお使いの場合は、ターミナルアダプタのデジタルポートと本機のUSBコネクタをつないでください。

→ ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる通信機器によっては、正しく接続できないことがあります。この場合は、本機のモジュラジャックと一般電話回線をつなぎ（164ページ）、通信を行ってください。

液晶ディスプレイ・外部ディスプレイ

液晶ディスプレイに何も表示されない。

→ LCD/Videoスタンバイになっている。スティックに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押す。

→ 外部ディスプレイに表示が切り替えられている。Fnキーを押しながら、F7キーまたはF8キーを何回か押してください。（64ページ）
ジョグダイヤルを使ってもこの操作ができます。詳しくは、「「ジョグダイヤルランチャー」画面」（67ページ）をご覧ください。

液晶ディスプレイが暗い。

→ Fnキーを押しながら、F5キーを押すと、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。（64ページ）
ジョグダイヤルを使ってもこの操作ができます。詳しくは、「「ジョグダイヤルランチャー」画面」（67ページ）をご覧ください。

→ 本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、工場出荷時の設定では、AC電源でご使用中に30分以上操作をしないと、自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります。スティックに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押すと元の状態に戻ります。
また、バッテリで長時間使用できるようにするため、工場出荷時の設定では、バッテリでご使用中に数分間以上操作をしないと自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります（LCD/Videoスタンバイ* またはスタンバイ*）。
キーボードのいずれかのキーを押すと元の状態に戻ります。

* 詳しくは、「省電力動作モードについて」（238ページ）をご覧ください。

外部ディスプレイに何も表示されない。

→ 表示するディスプレイの設定を確認してください。詳しくは、「表示するディスプレイを選ぶ」（243ページ）をご覧ください。

液晶ディスプレイと外部ディスプレイに動画やDVDビデオ、内蔵カメラ（MOTION EYE）のファインダなどを同時に表示できない。

→ 液晶ディスプレイと外部ディスプレイに動画やDVDビデオ、内蔵カメラ（MOTION EYE）のファインダなどを同時に表示することはできません。表示するディスプレイを選択してください。詳しくは、「表示するディスプレイを選ぶ」（243ページ）をご覧ください。

外部ディスプレイの表示サイズ、表示位置がおかしい。

→ ディスプレイの調整つまみで設定する。詳しくは、ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

デスクトップ画面上にウィンドウやアイコンの軌跡が残る。

→ ⊞キーを押しながらDキーを2回押す。

ポインティング・デバイス

スティックに触れていないのに画面上のポインタが動く。

→ キーボードの矢印キーなどを押していないことを確認してください。

次のページにつづく

→ 通常の操作状態でスティックを使っていないにもかかわらず、ポインタが自然に動くことがあります。これは「ドリフト」と言い、故障ではありません。
しばらくスティックから指を離しておけば、ポインタは止まります。ドリフトは以下の場合に起こることがあります。

- 電源を入れた直後
- スタンバイから通常モードの状態に戻った直後
- スティックを長時間使用し続けたとき
- 温度が急激に変化したとき

スティックをたたくと、左ボタンを押していないのにクリックされる。

→ プレスセレクト機能が有効になっていないか確認する。（工場出荷時の設定は無効になっています。）詳しくは、「プレスセレクト機能を使う」（246ページ）をご覧ください。

画面上のポインタが動かない。

→ CD-ROMなどのディスクを再生しているときなどにポインタが動かなくなった場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して、［タスクマネージャ］でディスクの再生を強制的に終わらせ、以下の手順で本機を再起動する。

→ ⊞キーを押して「スタート」メニューを表示させ、↑キーを押して［シャットダウン］を選んでEnterキーを押し、↑キーまたは↓キーを押して［シャットダウン］または［再起動］を選び、Enterキーを押してください。

→ 上記の操作で電源が切れないまたは再起動しない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windowsのセキュリティ」を表示させ、Sキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して［シャットダウン］または［再起動］を選び、Enterキーを押す。

→ 以上の操作でも何も起こらないときは、本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

画面上のすべてのものが動かなくなってしまった。

→ CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windows のセキュリティ」を表示させ、Sキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して［再起動］を選び、Enterキーを押して本機を再起動する。

キーボード

キーボードを使って正しく入力できない。

→ U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock（ナムロック）が有効になっている場合があります。
1(Num Lock) ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

→ 以下の手順で操作し、キーボードの項目が「日本語 PS/2キーボード（106/109キー Ctrl+英数）」に設定されているか確認してください。異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［システム］アイコンをダブルクリックする。

3 「ハードウェア」タブの［デバイス マネージャ］をクリックする。

4 キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード（106/109キーCtrl+英数）」に設定されているか確認する。

→ 市販のUSB機器（キーボードやテンキーなど）を本機に接続したときなどに、本機のキーボードのキーボード配列が101英語キーボードの設定になり、正しくキーボード入力できないことがあります。その場合は下記の手順に従って操作し、日本語キーボードの設定に戻してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［システム］アイコンをダブルクリックする。

3 ［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイス マネージャ］をクリックする。

4 「キーボード」の［+］をクリックする。

5 表示される項目から［日本語 PS/2 キーボード（106/109キー Ctrl+英数）］を選んで右クリックし、［プロパティ］をクリックする。

「日本語 PS/2 キーボード（106/109キー Ctrl+英数）のプロパティ」画面が表示されます。

6 ［ドライバ］タブをクリックし、［ドライバの更新］をクリックする。

「デバイス ドライバのアップグレード ウィザードの開始」画面が表示されます。

7 ［次へ］をクリックする。

8 ［このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する］をクリックして選び、［次へ］をクリックする。

「デバイス ドライバの選択」画面が表示され、「モデル」に「101/102英語キーボードまたはMicrosoft Natural PS/2キーボード」が表示されます。

次のページにつづく

9［このデバイス クラスのハードウェアをすべて表示］をクリックする。

「製造元」と「モデル」の一覧が表示されます。

10「製造元」は［(標準キーボード)］を、「モデル」は［日本語 PS/2 キーボード (106/109キー Ctrl+英数)］をそれぞれクリックして選び、［次へ］をクリックする。

11 ドライバの更新警告メッセージが表示されたら、［はい］をクリックする。

「デバイス ドライバのインストールの開始」画面が表示されます。

12「日本語 PS/2 キーボード (106/109キー Ctrl+英数)」のドライバがインストールされることを確認してから、［次へ］をクリックする。

ドライバのインストールが始まります。インストールが終わると、「デバイス ドライバのアップグレード ウィザードの完了」画面が表示されます。

13［完了］をクリックする。

「システム設定の変更」画面が表示されます。

14［はい］をクリックする。

本機が再起動し、キーボードが日本語キーボードの設定に戻ります。

キートップがはずれた

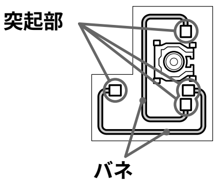
→ Enterキーとスペースキーは以下の図に従って取り付けてください。

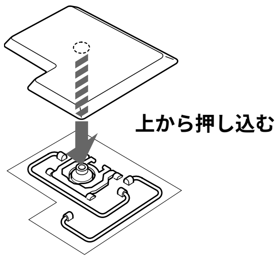
その他のキートップがはずれたときは、元の位置に戻して「カチッ」と音がするまで上から押し込んでください。

キートップの取り付けかた

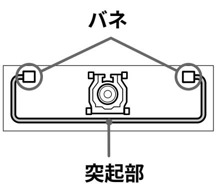
キートップから針金のバネを取りはずして、突起部にひっかけ、キートップの中心を合わせて「カチッ」と音がするまで上から押し込む。

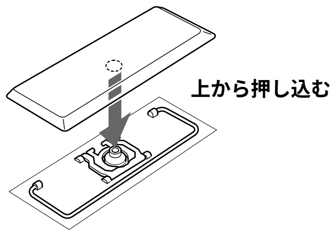
Enterキー





スペースキー





ご注意

- キートップを故意にはずさないでください。故障の原因となります。
- 取り付けるときに無理に力を加えると破損の原因となります。取り扱いには充分ご注意ください。

内蔵カメラ（MOTION EYE）

内蔵カメラ（MOTION EYE）を使って、暗い背景の中で明るい被写体を映すと縦に尾を引いたような画像になる。

→「スミア」という現象で故障ではありません。

「URecSight」ソフトウェアが起動しない、または起動後に内蔵カメラ（MOTION EYE）が正常に動作しない。

→ 本機から「Smart Capture」ソフトウェアをアンインストール（削除）すると、「URecSight」は正常に使用できなくなります。「Smart Capture」をアンインストールしてしまった場合は、付属のアプリケーション リカバリCD-ROMを使って「Smart Capture」を再インストールしてください。

「URecSight」ソフトウェアのファインダに映る画像が粗い。

→ 動きの速い被写体をファインダに表示させると、画面の途中に水平方向に段差のようなものが発生することがありますが、故障ではありません。

内蔵カメラ（MOTION EYE）で取り込んだ静止画、動画の画像が悪い。

→ 蛍光灯の下で撮影した画像は光の反射が映ることがあります。

→ 取り込んだ画像に暗い部分があるときは、赤や緑のノイズがでることがあります。

→ レンズが汚れていると、きれいに撮影できません。汚れていたらきれいにしてください。詳しくは、「レンズのお手入れ」（344ページ）をご覧ください。

→ ピントが合わない場合は、内蔵カメラ（MOTION EYE）の「フォーカス」の設定を「マニュアル」にして、フォーカスリングでピントを合わせてください。詳しくは、「内蔵カメラ（MOTION EYE）の画質などを設定する」（151ページ）をご覧ください。

動画を取り込むときに、コマ落ちが発生したり、音声が途切れたりする。

→「URecSight」のエフェクトの設定により、コマ落ちが発生することがあります。詳しくは、「URecSight」のヘルプをご覧ください。ヘルプを見るには、（アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［ヘルプ］を選んでからジョグダイヤルを押します。

内蔵カメラ（MOTION EYE）からの映像が表示されない。

→ 他に内蔵カメラ（MOTION EYE）を使うソフトウェア（Smart Capture、CyberCode Finderなど）が起動しています。それらのソフトウェアを終了してください。

→ 画面モードや色数、その他の使用状況によっては、ビデオメモリが不足するため内蔵カメラ（MOTION EYE）からの映像が表示されない場合があります。その場合は、解像度を下げたり色数を減らしてください。詳しくは、「ディスプレイの設定を変更する」（241ページ）をご覧ください。

→ カメラ設定ユーティリティを起動し、「標準に戻す」を選択してください。詳しくは、「内蔵カメラ（MOTION EYE）の画質などを設定する」（151ページ）をご覧ください。

→ 上記のことをしても、内蔵カメラ（MOTION EYE）からの映像が表示されない場合は、本機を再起動してください。

CyberCodeを内蔵カメラ（MOTION EYE）にかざしても、登録されているソフトウェアが起動しない。

→ 内蔵カメラ（MOTION EYE）からの距離が遠すぎたり、CyberCodeが斜めになっていたり、手ぶれをおこしているとうまく起動しません。しっかりと固定して、まっすぐ内蔵カメラ（MOTION EYE）に映してください。

→ 逆光や反射、暗がりではうまく映りません。適度な明るさの場所で使用してください。

→ ピントが合わない場合は、内蔵カメラ（MOTION EYE）の「フォーカス」の設定を「マニュアル」にして、フォーカスリングでピントを合わせてください。詳しくは、「内蔵カメラ（MOTION EYE）の画質などを設定する」（151ページ）をご覧ください。

「CyberCode Finder」ソフトウェアで正しく画像認識されない。

→ ピントが合わない場合は、内蔵カメラ（MOTION EYE）の「フォーカス」の設定を「マニュアル」にして、フォーカスリングでピントを合わせてください。詳しくは、「内蔵カメラ（MOTION EYE）の画質などを設定する」（151ページ）をご覧ください。

→ カメラ設定ユーティリティを起動し、「標準に戻す」を選択してください。詳しくは、「内蔵カメラ（MOTION EYE）の画質などを設定する」（151ページ）をご覧ください。

「URecSight」ソフトウェアでライブ配信中に配信が終了してしまう。

→「PowerPanel」で「最低CPUクロック周波数固定」を選んでいるときは、ライブ配信できないことがあります。「最低CPUクロック周波数固定」以外を選んでください。詳しくは、「プロファイルのパワーマネージメント設定を変更する」（237ページ）をご覧ください。

→「PowerPanel」で「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、ライブ配信できないことがあります。「スーパースタミナ」プロファイル以外のプロファイルを選んでください。詳しくは、「本機の動作モードを設定する（プロファイル）」（234ページ）をご覧ください。

→ PHSを使ってライブ配信している場合は、電波状況が悪いと配信できない場合があります。その際は、本機を移動してください。

→ 以下の手順に従って、ライブ配信回線とライブ配信帯域の設定を確認してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［VAIOソフトウェアはこちら］にポインタを合わせ、［インターネットで映像をライブ発信：URecSight］をクリックする。

「URecSight」ソフトウェアが起動します。

2 （アプリケーション）キーを押し、「URecSight設定」をクリックします。

3 ［ライブ配信回線］タブをクリックして通信キャリアの設定を、［ライブ配信帯域］タブをクリックして配信帯域の設定をそれぞれ確認する。

詳しくは、「PercasTV」サービスのWebページ（http://www.percastv.net）をご覧ください。

4 ［OK］をクリックする。

カメラの画像がめまぐるしく左右入れ替わる。

→ 以下の手順に従って操作し、オーディオドライバの省電力動作モード設定を「大幅に節約」モード以外に設定してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 ［ヤマハ DS-XG設定］アイコンをダブルクリックする。

3 ［省電力］タブをクリックする。

4「電力消費の程度」で［大幅に節約］以外をクリックする。

5 ［OK］をクリックする。

ソフトウェア

「Microsoft Internet Explorer」から、PDF形式のファイルを開こうとすると、「Could not find Acrobat External Window Handler.」、「An internal error has occurred.」というメッセージが表示され、PDF形式のファイルを開くことができない。

→ 本機を再起動後、下記の手順を行ってください。

1. **［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、［Adobe Acrobat 4.0］から［Acrobat Reader 4.0］をクリックする。**
2. **言語を選択する画面が表示されたら、「日本語」を選択し、［OK］をクリックする。**

   言語を選択する画面が表示されない場合は、そのまま手順3を行ってください。
3. **「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されたら、契約書の内容を読み、［同意する］をクリックする。**

   「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されずに「Adobe Acrobat Reader」が起動した場合は、そのまま手順4を行ってください。
4. **「Adobe Acrobat Reader」が起動したら、画面右上の  をクリックする。**
5. **「Microsoft Internet Explorer」から、先ほど開けなかったPDF形式のファイルを開き、表示されることを確認する。**

フロッピーディスク

フロッピーディスクが取り出せない。

→ USBフロッピーディスクドライブを取りはずして、VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

「ディスクがいっぱいです」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。

→ フロッピーディスクの容量の空きがない。容量の空きが充分にある別のフロッピーディスクを使って保存し直してください。

「書き込み禁止」というメッセージが表示された。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にしてください。詳しくは、「フロッピーディスクのデータを誤って消さないようにする」（87ページ）をご覧ください。

「マイ コンピュータ」からフロッピーディスクを選んで初期化しようとしたができない。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にしてください。詳しくは、「フロッピーディスクのデータを誤って消さないようにする」（87ページ）をご覧ください。

→ フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブにきちんと入っているか確認してください。

→「アプリケーションが使用中です」というメッセージが表示されるときは、フロッピーディスクの内容が画面表示されている。画面表示されているときは初期化できないので、フロッピーディスクのウィンドウを閉じてください。

ハードディスクから起動できない。

→ USBフロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクが入っていないか確認してください。

CD-ROM • DVD-ROM

→ CD-ROMドライブから起動できない。

下記の専用ドライブ以外からは、本機を起動できません。

- CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series
- CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Series
  ドライブ底面にある切り替えスイッチを「Recovery」に合わせ、PCGA-CDRW5_ Seriesに付属のACアダプタを取り付けてください。
- DVD-ROMドライブ PCGA-DVD51 Series
  PCGA-DVD51 Seriesに付属のACアダプタは取り付けないでください。

なお、ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

→ PCGA-DVD51 SeriesでDVDビデオを再生中に音が切れたり、コマ落ちする。

PCGA-DVD51 Seriesに付属のACアダプタを接続してください。詳しくは、PCGA-DVD51 Seriesの取扱説明書をご覧ください。

“メモリースティック”

「書き込み禁止」または「書き込み保護されています」というメッセージが表示された。

→ “メモリースティック”が書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にしてください。詳しくは、「“メモリースティック”のデータを誤って消さないようにする」（93ページ）をご覧ください。

“メモリースティック”を挿入すると、「このメディアは使用できません。著作権非対応のメディアか不正なメディアが挿入されています」などのメッセージが表示される。

→ “メモリースティック”内に保存されている静止画像などを表示／再生する場合は、下記の手順で「OpenMG Jukebox」ソフトウェアの設定を確認してください。

1［スタート］ボタンをクリックする。

2［プログラム］にポインタを合わせ、［OpenMG Jukebox］**から、**［OpenMG Jukebox］**をクリックする。**

3［ツール］メニューから［設定］を選んでクリックする。

4［全般］タブをクリックする。

5「Jukebox Startup**をシステムトレーに追加する」がチェックされていないことを確認する。**

チェックされているときは、クリックしてチェックをはずします。

6［OK］**をクリックする。**

“メモリースティック”を挿入しても、画像が表示されない。

→ 工場出荷時の設定では、“メモリースティック”を挿入すると自動的に「VisualFlow」が起動するよう設定されています。「VisualFlow」が起動しても、“メモリースティック”内の画像が表示されない場合は、“メモリースティック”のフォーマット形式が違う可能性があります。この場合は、“メモリースティック”内のデータをハードディスクなどにいったんコピーした後、本機に付属の「メモリースティックフォーマッタ」ソフトウェアでフォーマットしなおしてください。

“メモリースティック”を挿入してもS:**ドライブにアクセスできない。
または、“メモリースティック”を挿入すると「**VisualFlow**」が起動するが、“メモリースティック”の内容が表示されない。**

→「PowerPanel」で「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、“メモリースティック”は使用できません。「スーパースタミナ」プロファイル以外のプロファイルを選んでください。詳しくは、「本機の動作モードを設定する（プロファイル）」（234ページ）をご覧ください。

DV機器・i.LINK機器

DV機器が使用できない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。

→ DV機器の電源が入っているか、またはケーブルが正しく接続されているか確認してください。詳しくは、「i.LINK対応機器をつなぐ」(205ページ)をご覧ください。

→ i.LINKでは、複数の機器を接続して動くように設計されていますが、機器との組み合わせによっては、動作が不安定になることがあります。接続されている機器すべての電源をいったん切り、なるべく不要な機器を取りはずして、ケーブルの接続を確認した後、再度電源を入れてください。

→「PowerPanel」で「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、「DVgate」や「Smart Connect」ソフトウェアを使用して本機にデータを取り込むことはできません。「スーパースタミナ」プロファイル以外のプロファイルを選んでください。詳しくは、「本機の動作モードを設定する(プロファイル)」(234ページ)をご覧ください。

本機と接続したi.LINK対応機器が認識されない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。

→ いったんi.LINKケーブルを抜き、再度接続し直してください。詳しくは、「i.LINK対応機器をつなぐ」(205ページ)をご覧ください。

→「PowerPanel」で「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、「DVgate」ソフトウェアを使用して本機にデータを取り込むことはできません。「スーパースタミナ」プロファイル以外のプロファイルを選んでください。詳しくは、「本機の動作モードを設定する(プロファイル)」(234ページ)をご覧ください。

「DVgate」ソフトウェアを使用してテープに録画中、「DV機器への録画に失敗しました。DV機器の電源、接続の状態を確認して操作をやり直してください」というメッセージが表示される。

→ DV機器の電源やケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。また、続けて録画を行っていると、機器が正しく接続されていても、録画できなくなる場合があります。その場合、すべてのソフトウェアを終了してから本機を再起動してください。
さらに快適な環境でご使用いただくためには、メモリの増設をおすすめします。詳しくは、「メモリを増設する」(220ページ)をご覧ください。

次のページにつづく

「DVgate」ソフトウェアを使用中にフレーム落ちが生じる。

→ 使用状況によってはフレーム落ちが生じることがあります。その場合は、メモリの増設をしてください。詳しくは、「メモリを増設する」(220ページ)をご覧ください。

「DVgate」ソフトウェアを使用して本機にデータを取り込めない。

→「PowerPanel」で「スーパースタミナ」プロファイルを選んでいるときは、「DVgate」ソフトウェアを使用して本機にデータを取り込むことはできません。「スーパースタミナ」プロファイル以外のプロファイルを選んでください。詳しくは、「本機の動作モードを設定する(プロファイル)」(234ページ)をご覧ください。

プリンタ

プリンタで印刷できない。

→ Windows 2000対応でないプリンタドライバではお使いになれません。

→ お使いのプリンタの製造元からWindows 2000に対応したドライバを入手してお使いいただくか、プリンタの製造元へお問い合わせください。

PCカード

PCカードが使えない。

→ Windows 2000対応でないPCカードは使えないことがあります。

→ 下記の手順でドライバの更新を行ってください。

1 [スタート] ボタンをクリックして [設定] にポインタを合わせ、[コントロールパネル] をクリックする。

2 [システム] アイコンをダブルクリックする。

3 [ハードウェア] タブの [デバイス マネージャ] をクリックする。

4 動作しないPCカードをダブルクリックして、プロパティ画面を表示する。

5 [ドライバ] タブの [ドライバの更新] をクリックする。

→ ドライバの更新を行っても使用できない場合は、PCカード製造元にお問い合わせください。

スピーカー

スピーカーから音が出ない。

→ 本機の内蔵スピーカーが「切」になっている。Fnキーを押しながら、F3キーを押してください。（64ページ）
ジョグダイヤルを使ってもこの操作ができます。詳しくは、「「ジョグダイヤルランチャー」画面」（67ページ）をご覧ください。

→ 本機の内蔵スピーカーの音量が最小になっている。Fnキーを押しながら、F4キーを押したあと、↑または→キーを押して音量を上げてください（64ページ）。
ジョグダイヤルを使ってもこの操作ができます。詳しくは、「「ジョグダイヤルランチャー」画面」（67ページ）をご覧ください。

→ 再生音量を確認してください。

→ 外部スピーカーをお使いの場合は、本機とスピーカーが正しく接続されているか確認してください。

→ 外部スピーカーの音量が最小になっている。音量つまみで音量を上げてください。詳しくは、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧ください。

→ 🎧コネクタにケーブルをつないでいるときは、ケーブルをはずしてください。

本機に接続したドライブで音楽CDを再生してもスピーカーから音が出ない。

→ CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Seriesまたは、CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Series、DVD-ROMドライブ PCGA-DVD51 Seriesをお使いの場合は、本機にドライブをつないだ状態で下記の手順で設定を確認してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［システム］アイコンをダブルクリックする。

3 ［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］をクリックする。

4 ［DVD/CD-ROMドライブ］をダブルクリックする。

5 「DVD/CD-ROMドライブ」の下に表示されたお使いのドライブ名をダブルクリックする。

6 ［プロパティ］タブをクリックし、「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」がチェックされていることを確認する。

チェックされていないときは、クリックしてチェックします。

困ったときは

次のページにつづく

Fnキーを押しながらF3キーまたはF4キーを押しても、何も表示されない。

→ 以下の手順で「デバイス マネージャ」画面を表示し、サウンドデバイスを使用できるように設定してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［システム］アイコンをダブルクリックする。

3［ハードウェア］タブの［デバイス マネージャ］をクリックする。

「Windows Media Player」ソフトウェアで録音すると雑音が混じる。

→ 下記の手順で設定をしたあと、再度録音し直してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、［Windows Media Player］をクリックする。

「Windows Media Player」ソフトウェアが起動します。

2「ツール」メニューから［オプション］をクリックする。

3［CDオーディオ］タブをクリックし、「コピーの設定」の［エラー訂正を使う］のチェックボックスをクリックしてチェックする。

4［OK］をクリックする。

PCカードの検出音や内蔵モデムの通信音など一部のシステム音が出ない。

→ 以下の手順に従って操作し、オーディオドライバの省電力動作モード設定を「大幅に節約」モード以外に設定してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2［ヤマハ DS-XG設定］アイコンをダブルクリックする。

3［省電力］タブをクリックする。

4「電力消費の程度」で［大幅に節約］以外をクリックする。

5［OK］をクリックする。

マイク

マイクが使えない。

→ 録音デバイスとしてマイクが選択されていない可能性があります。下記の手順に従って選択してください。

1 デスクトップ画面右下の をダブルクリックする。

2［オプション］メニューから［プロパティ］を選ぶ。

3「音量の調整」の［録音］と「表示するコントロール」のマイクの項目をチェックし、［OK］をクリックする。

4 マイクの欄で「選択」がチェックされていることを確認する。
チェックされていないときは、クリックしてチェックします。

5 スライダを上下に動かして好みの音量に調整する。

→「Windows Media Player」などの音声を扱うソフトウェアと同時に動かしている場合は、それらのソフトウェアを終了させてください。

→ プラグインパワー方式以外のマイクはお使いになれません。

内蔵ステレオマイクで音声を録音すると雑音が入る。

→ ハードディスクのアクセス音などが録音されてしまうためで、故障ではありません。

音声を扱うソフトウェアでエラーメッセージが表示された。

→ 下記の手順で操作して、マイクエコーを無効にしてください。

1 [スタート] ボタンをクリックして [設定] にポインタを合わせ、[コントロールパネル] をクリックする。

2 [ヤマハ DS-XG設定] アイコンをダブルクリックする。

3 [エコー] タブをクリックする。

4 [有効] をクリックしてチェックをはずし、[OK] をクリックする。

→ 他の音声を扱うソフトウェアと同時に動かしている場合は、それらのソフトウェアを終了させてください。

パスワード

パスワードを忘れた。

→ パスワードを忘れてしまったときは、修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

省電力動作モード

「VAIO Action Setup」で省電力動作モードにならない。

動作しているプログラムやデバイスによっては、省電力動作モードに移行できないことがあります。

バッテリ残量がわずかなのに、休止状態にならない。

使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。

次のページにつづく

休止状態に移行できない。

下記の操作を行ってください。

→ モデム通信、プリンタユーティリティなどが使用中の場合は、終了するか一時的に使用不可にしてください。

→ Fnキーを押しながら F12 を押して休止状態に移行できない場合は、次の手順で「Hotkey Utility」が表示されるか確認してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする。

「Hotkey Utility」が表示されるか確認してください。表示されない場合は、ジョグダイヤルを使って「電源管理（PowerPanel）」の  を選択してください。

→ それでも休止状態に移行できない場合は、下記の手順で確認してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［電源オプション］アイコンをダブルクリックする。

3［休止状態］タブをクリックし、「休止状態をサポートする」がチェックされているか確認する。

チェックがされていないときは、チェックボックスをクリックしてチェックを付けてください。

スタンバイに移行できない。

下記の操作を行ってください。

→ モデム通信やプリンタユーティリティなどが使用中の場合は、終了するか一時的に使用不可にする。

→ Fnキーを押しながらEscキーを押してスタンバイに移行できない場合は、下記の手順で「HotKey Utility」が表示されるか確認してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする。

「Hotkey Utility」が表示されるか確認してください。表示されない場合は、ジョグダイヤルを使って「電源管理（「PowerPanel」）」の  を選択してください。

ハードディスク

誤ってハードディスクを初期化してしまった。

→ リカバリ CDを使って、本機を再セットアップする必要があります。詳しくは、「リカバリ CDで本機を再セットアップする」（331ページ）をご覧ください。

ハードディスクから起動できない。

→ フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出す。その後、キーボードのいずれかのキーを押す。

文字入力

日本語が入力できない。

→ 詳しくは、「文字を入力する」（76ページ）をご覧ください。

キーボードを使って正しく入力できない。

→ U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock（ナムロック）が有効になっている場合があります。

1(Num Lock）ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

→ 以下の手順で操作し、キーボードの項目が「日本語 PS/2キーボード（106/109キー Ctrl+英数)」に設定されているか確認してください。異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。**
2 **［システム］アイコンをダブルクリックする。**
3 **「ハードウェア」タブの［デバイス マネージャ］をクリックする。**
4 **キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード（106/109キーCtrl+英数)」に設定されているか確認する。**

入力した文字が表示されない。

→ 文字を入力したいソフトウェアの画面が前面に出ていない。（デスクトップ画面上では薄い色の画面になります。）画面のどこかをクリックするか、AltキーとTabキーを同時に押して目的のソフトウェアを前面に出し、使えるようにしてください。

付属ソフトウェア一覧

ここでは、本機に付属しているソフトウェアについて簡単に説明しています。付属ソフトウェアに関する詳細のお知らせにつきましては、それぞれのヘルプをご覧いただくか、各お問い合わせ先へ直接ご連絡ください。お問い合わせ先は、各ソフトウェアの説明の下に記載されています。

付属ソフトウェアをお使いになる前のご注意

Windows 2000は、Windows Meなどとは異なり、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。本機に付属のソフトウェアの中には、ある一定以上の権限をもつユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。その場合はシステム管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「Administrators」などの権限を与える設定にして作業をやり直してください。「Administrators」などの権限使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。

ユーザーへの権利とアクセス許可は、そのユーザーが属するユーザーグループのグループメンバーシップによって決まります。詳しくは、付属の「クイック スタートガイド」の「ユーザーアカウントの作成」をご覧ください。

クリエーション

DVgate Version 2.3







i.LINK（IEEE1394）コネクタまたはDV端子を持つデジタルビデオカメラレコーダーなどの機器と映像をやりとりするためのソフトウェアです。i.LINK対応機器からコンピュータに動画や静止画を取り込んだり、コンピュータで作成した映像をi.LINK対応機器で録画したりできます。また、取り込んだ動画や静止画のカット編集を行うこともできます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	目的に合わせて、［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［DV映像の取り込み・書き出し：DVgate］→［カット・並びかえ編集：DVgate Assemble］、［DV動画を取り込み・書き出し：DVgate Motion］、［静止画取り込み：DVgate Still］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［DVgate］→［DVgate ヘルプ］をクリックするか、［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［DV映像の取り込み・書き出し：DVgate］→［DVgateの使いかた］をクリックしてヘルプをご覧ください。

ご注意

「DVgate」ソフトウェアを使うには、データのスペースとしてD:ドライブが必要です。本機は、ハードディスクドライブがC:ドライブとD:ドライブの2つに分かれています（工場出荷時）。付属のリカバリCD-ROMを使って、パーティションサイズを変更できます。操作のしかたなど詳しくは、「パーティションサイズを変更する」（336ページ）をご覧ください。

LabelMaker 5.0



用意されたテンプレートに画像・文字などを加えるだけでCD・MDなど多彩なラベルを作成できるソフトウェアです。OpenMG Jukeboxの「プレイリスト」やCDNOW JAPANのWebサイトから曲名やアーティスト名を取り込んでラベルを作ることもできます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
　　　　　ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［ラベルを作成：LabelMaker］をクリックして起動します。

MovieShaker Version 3.0

内蔵カメラ（MOTION EYE）やデジタルビデオカメラレコーダーなどから動画を取り込み、手軽に編集し、楽しむためのソフトウェアです。
文字タイトルなどのさまざまな特殊効果を加えるなど、簡単に動画編集ができます。
また、作成したデータをデジタルビデオカメラレコーダーに録画したり、ホームページに掲載したり、電子メールに添付して送ることもできます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク
電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［楽しくビデオ編集：MovieShaker］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	MovieShakerの画面上の ? をクリックするか、［スタート］→［プログラム］→［MovieShaker］→［MovieShaker ヘルプ］をクリックします。

この製品は、マクロメディア社のMacromedia® Flash™ Player ソフトウェア技術を採用しています。

付属ソフトウェア一覧

PictureGear Version 5.0

いろいろな種類の画像や映像データを一括して表示し、管理・活用するためのソフトウェアです。動画から画像を合成したり、HTMLアルバム・スライドショーなど画像データを使って、いろいろなものを作ることができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［静止画・動画を管理・活用：PictureGear］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「PictureGear Version 5.0」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開くか、［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［VAIOソフトウェアマニュアル］→［PictureGear マニュアル］をクリックして電子マニュアルをご覧ください。

PictureToy Version 1.0

写真や地図などの静止画を下敷きとして、そのうえに重ねてお絵描きができるソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［画像に絵や文字を書き込める：PictureToy］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「PictureToy」の［MENU］をクリックしてから［Help］をクリックしてヘルプを開きます。

オーディオ&ビジュアル

Beatnik Player Version 2.0



インターネット上で音楽やサウンドをインタラクティブに体験することを可能にする、ウェブブラウザ用のプラグイン・ソフトウェアです。
Beatnik対応のホームページを閲覧すると、アイコンにマウスポインタを合わせただけで音声やジングルが聞こえたり、瞬時に楽曲を試聴したり、音楽を編集して楽しむリミックスを体験することができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先

電子メール：vaiouser@beatnik.com

操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［Beatnik Player］→［ドキュメント（オンライン）］をクリックして表示します。インターネットに接続する必要があります。

OpenMG Jukebox Version 2.1 for VAIO

ソニーの開発した著作権保護技術「OpenMG」を採用し、コンピュータのハードディスクに保存したデジタル音楽コンテンツを楽しむためのソフトウェアです。
音楽CDの曲を「OpenMG Jukebox」で扱えるデータ形式に変換して取り込み、コンピュータ上で再生したり、対応ポータブルプレーヤーに転送（チェックアウト）して持ち出して聞くことができます。
また、インターネットなどを利用した音楽配信サービスから、デジタル音楽コンテンツをダウンロードして再生することもできます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

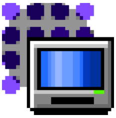
電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［音楽を録音・再生：OpenMG Jukebox］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［OpenMG Jukebox］→［OpenMG Jukeboxのヘルプ］をクリックするか、「OpenMG Jukebox」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

ご注意

- 「OpenMG Jukebox」を起動中は、PCカード接続のCD-ROMやDVD-ROMドライブなどを絶対に抜き挿ししないでください。音楽CDへのアクセス中に、CD-ROMやDVD-ROMドライブなどを取りはずすと、お客様の大切なデータを失う場合があります。
- 別売りのCD-ROMドライブ PCGA-CD5は、「OpenMG Jukebox」での音楽の取り込みにはお使いになれません。
- 「OpenMG Jukebox」と「RealJukebox」を同時に起動しないでください。
  本機や外部機器などに収録された音楽ファイルが壊れ、正常に再生できなくなる場合があります。

PicoPlayer Version 4.1



「Giga Pocket」ソフトウェア（Version 4.0以降）が搭載されている「バイオ」と組み合わせて使用するソフトウェアです。ご利用にあたっては、本機の他に「Giga Pocket」ソフトウェアが搭載されている「バイオ」が必要です。
「Giga Pocket」ソフトウェアで録画したテレビ番組（MPEG1形式のみ）を再生したり、「Giga Pocket」ソフトウェアが搭載されている「バイオ」へ録画予約を設定することができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは　[スタート] → [VAIOソフトウェアはこちら] → [Giga Pocket専用再生・予約ツール：PicoPlayer] をクリックして起動します。

QuickTime 4.1



QuickTimeは、マルチプラットフォーム対応マルチメディア・アーキテクチャの業界標準です。
多くのソフトウェア会社やコンテンツ・クリエータが、グラフィックスや音、映像、文書、音楽を提供するのに利用している技術です。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは　目的に合わせて、[スタート] → [プログラム] → [QuickTime] → [QuickTime Player]、[PictureViewer] をクリック、またはデスクトップ画面上の [QuickTime Player] をダブルクリックして起動します。

RealJukebox 2 Basic

音楽CDをハードディスクに取り込んで管理したり、インターネットを利用して音楽CDに関する音楽情報を見るのに適しているソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
リアルネットワークス株式会社　サポートセンター

電話番号：(03) 5302-2313

起動するときは	**お使いになる前に：** 「RealJukebox」をお使いになる前に、必ず「使用許諾契約書」をお読みください。 [スタート] → [プログラム] → [Real] → [RealJukebox] → [RealJukeboxライセンス契約] をクリックして使用許諾契約書を開きます。 **起動するときは：** [スタート] → [プログラム] → [Real] → [RealJukebox] → [RealJukebox] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	[スタート] → [プログラム] → [Real] → [RealJukebox] → [RealJukebox ヘルプ] をクリックするか、「RealJukebox」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

ご注意

- 「OpenMG Jukebox」と「RealJukebox」を同時に起動しないでください。
  本機や外部機器などに収録された音楽ファイルが壊れ、正常に再生できなくなる場合があります。
- 「RealJukebox」は、外部機器などに収録された「曲の移動*」に対応した音楽ファイルを、本機のハードディスクに移動する機能には対応していません。
  「RealJukebox」を使って、外部機器などに収録された「曲の移動」に対応した音楽ファイルを削除してしまうと、データが完全に消去されてしまいますので、ご注意ください。
  「曲の移動」に対応した音楽ファイルを操作する場合は、「OpenMG Jukebox」をお使いください。
  *「曲の移動」について詳しくは、「OpenMG Jukebox」のヘルプを開き、「外部機器・メディアの曲を操作する」の「MGメモリースティックからコンピュータに曲を移動する」をご覧ください。

- 「RealJukebox」は、OpenMGに対応した音楽配信サービスからダウンロードされた音楽ファイルを本機で再生することは可能ですが、外部機器やメディアへチェックアウトすることはできません。音楽配信サービスをお使いになる場合には、「OpenMG Jukebox」をお使いください。
- PCカード接続のCD-ROMドライブなどをお使いになる場合は、「RealJukebox」を起動する前にあらかじめドライブを本機に取り付けておいてください。また、「RealJukebox」の起動中はドライブの抜き挿しを行わないでください。「RealJukebox」が不正に終了することがあります。

RealPlayer 8 Basic

インターネットライブなど、インターネットで配信されているストリーミング動画を再生するソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
リアルネットワークス株式会社　サポートセンター

電話番号：(03) 5466-1458

起動するときは	［スタート］→［プログラム］→［Real］→［RealPlayer］→［RealPlayer］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［Real］→［RealPlayer］→［RealPlayer ヘルプ］をクリックしてヘルプを開きます。

Windows Media™ Player 7

本機のデフォルトの音楽・動画再生ソフトウェアです。音楽CDを手軽に再生するときなどに便利です。
WMA、MP3、MIDIなど、さまざまな形式の音楽ファイルの再生にも対応しています。
また、インターネットを利用してストリーミング動画配信サービスを楽しむためにも適しています。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
　　　　ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	デスクトップ画面上の［Windows Media Player］アイコンをダブルクリックするか、または［スタート］→［プログラム］→［Windows Media Player］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「Windows Media Player」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

エンターテインメント

CyberCode Finder 2.4

内蔵カメラ（MOTION EYE）にCyberCodeを認識させることによって登録してあるプログラムを自動的に起動するソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
　　ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［サイバーコードを認識：CyberCode Finder］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［CyberCode］→［CyberCode ヘルプ］をクリックしてヘルプを開くか、「内蔵カメラ（MOTION EYE）でソフトウェアを起動する」（119ページ）をご覧ください。

MusicShaker Version 1.3

付属の「OpenMG Jukebox」ソフトウェアに取り込んだ曲を楽しく再生するための、音楽ファイル再生ソフトウェアです。「OpenMG Jukebox」に登録した曲以外にも、好みの音楽ファイル（WAVファイル、MP3ファイル）を選んで再生することもできます。曲を連続して再生し、曲が切り替わるときのつなぎ目に効果音をつけたり、曲にエフェクトをかけることができます。また、曲にあわせて映像効果も楽しむことができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
　　ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［音楽を楽しく自動演奏：MusicShaker］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［MusicShaker］→［MusicShaker ヘルプ］をクリックするか、「MusicShaker Version 1.3」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

コミュニケーション

AOL 5.0 for Windows

オンラインサービス「AOL」を利用するためのソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
株式会社ドコモAOL　AOLサポートセンター

受付時間：9時～21時（年中無休）

会員サポート・入会問い合わせ：
(0120) 275-265（フリーダイヤル）

携帯電話および国際電話によるサポート：(03) 5331-7400

電子メール：AOLJapanMS@aol.com

初めて使うときは	デスクトップ画面上の［インターネット接続サービス］アイコンをダブルクリックするか、［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［インターネットプロバイダ］→［AOL］をクリックして入会手続きを行います。 インターネットの接続に関して詳しくは、「インターネットを始める」(155ページ) をご覧ください。
操作がわからなくなったときは	付属のパンフレットをご覧いただくか、「AOL 5.0 for Windows」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

BIGLOBEサインアップナビ

インターネット接続サービス「BIGLOBE」に入会するためのソフトウェアです。
※BIGLOBE入会特典「6ヶ月間1000円使いほーだい！」
2004年12月31日までにBIGLOBEの「使いほーだい！」コースへご入会いただいた場合、ご入会月を含む6か月間基本料金を半額にてご提供いたします。
詳しくは付属のパンフレットをご確認ください。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
BIGLOBEカスタマーサポート
インフォメーションデスク

電話番号：(0120) 86-0962 (フリーダイヤル)

携帯電話：(03) 3947-0962

受付時間：24時間365日

初めて使うときは	デスクトップ画面上の［インターネット接続サービス］アイコンをダブルクリックするか、［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［インターネットプロバイダ］→［BIGLOBE］をクリックして入会手続きを行います。 インターネットの接続に関して詳しくは、「インターネットを始める」(155ページ) をご覧ください。
操作がわからなくなったときは	付属のパンフレットをご覧いただくか、「BIGLOBEサインアップツール」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

DIONオンラインサインアッププログラム

インターネット接続サービス「DION」に入会するためのソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
KDDIカスタマサービスセンター

内容に関するお問い合わせ
電話番号：（0077）7192（無料）

接続・設定などに関するお問い合わせ
電話番号：（0077）20227（有料、全国一律1分10円）

上記番号につながらない場合は
札幌（011）232-7012／東京（03）5348-3975（有料）

初めて使うときは	デスクトップ画面上の［インターネット接続サービス］アイコンをダブルクリックするか、［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［インターネットプロバイダ］→［DION］をクリックして入会手続きを行います。 インターネットの接続に関して詳しくは、「インターネットを始める」（155ページ）をご覧ください。
操作がわからなくなったときは	付属のパンフレットをご覧ください。

DreamStart

「DreamStart」はインターネット接続サービス「DTI」への入会からご利用まで、面倒な設定なしに簡単に楽しむことができるインターネット統合ソフトです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
DTIカスタマーセンター

入会のお問い合わせ・資料請求：0120-830501

受付時間：平日11時～19時　土曜日11時～17時

電子メール：service@dti.ad.jp

初めて使うときは	デスクトップ画面上の［インターネット接続サービス］アイコンをダブルクリックするか、［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［インターネットプロバイダ］→［DreamStart］をクリックして入会手続きを行います。 インターネットの接続に関して詳しくは、「インターネットを始める」（155ページ）をご覧ください。
操作がわからなくなったときは	付属のパンフレットをご覧ください。

Eudora (4.3-J)

Eudoraは世界で2000万人のユーザーが愛用している電子メールソフトウェアです。
使いやすさと高機能を追及したメールソフトですので、初心者からヘビーユーザーまで幅広い層で高い支持を得ています。
ジョグダイヤルに対応し、さらに使いやすくなりました。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先

電話番号：(06) 6441-0234

ファックス番号：(06) 6441-0235

電子メール：eudora-sales@kuni.co.jp

テクニカルサポート：

トラブルや操作・技術的内容に関するご質問はテクニカルサポートセンターにお問い合わせください。
テクニカルサポートセンターへの電子メール、電話、ファックスでのお問い合わせについては「Eudora (4.3-J)」のヘルプメニューから［テクニカルサポート］をクリックしてご覧ください。
お問い合わせの際に必ず登録コードが必要になります。登録コードの入手方法は下記をご覧ください。

登録コードの入手方法：

1 「Eudora (4.3-J)」を起動する。

2 ［ヘルプ］、［購入と登録］の順にクリックし、表示される「購入と登録」画面でスポンサードモードを選択した状態で［登録］をクリックする。

3 「Eudora」の登録ページが表示されたら、必要事項を入力する。

4 「登録コード」が記載されたユーザー登録確認メールが配信される。

※ 登録コードを含む電子メールは「Eudora (4.3-J)」で受信すると、自動的に登録コードを組み込むシステムになっています。
自動的に登録コードが組み込まれた場合は、［ヘルプ］、［購入と登録］の順にクリックして表示される「購入と登録」画面の「登録情報」に登録コードが表示されます。
自動的に登録コードが組み込まれなかった場合は、［ヘルプ］、［購入と登録］の順にクリックし、表示される「購入と登録」画面の［登録内容の変更］をクリックし、「登録」画面で情報を入力してください。

※ 電子メールは登録コードを含んだ状態でメールが送信されます。

※ ライトモードはサポートを行っておりません。

次のページにつづく

初めて使うときは	［スタート］→［プログラム］→［Eudora］→［Eudora］をクリックして表示される「アカウントウィザード」でセットアップを行います。
起動するときは	［スタート］→［プログラム］→［Eudora］→［Eudora］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「Eudora (4.3-J)」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを起動します。

JTBご紹介

JTBのホームページ「JTB INFO CREW」のご紹介です。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先

電話番号：(03) 5639-5117

受付時間：平日10時～18時

電子メール：infocrew@jtb.co.jp

起動するときは	デスクトップ画面上の をダブルクリックして起動します。

Microsoft® Internet Explorer 5.5

インターネット用のブラウザです。インターネットのさまざまな情報を表示したり、コンピュータに保存されているファイルを見ることができます。指定した時刻の自動巡回やインターネットラジオの接続、検索アシスタントを用いた柔軟な検索などの優れた機能を搭載しています。また本機のデスクトップ環境をインターネット対応にする、電子メールの送受信、ネットニュースの購読、ビデオ会議などの機能が統合されています。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

初めて使うときは	デスクトップ画面上の［Internet Explorer］アイコンをダブルクリックしてセットアップを行います。
起動するときは	デスクトップ画面上の［Internet Explorer］アイコンをダブルクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「ホームページを見る」(191ページ)をご覧になるか、「Microsoft Internet Explorer 5.5」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

Microsoft® Outlook Express 5.5

電子メールを送受信するためのメールソフトです。
このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

初めて使うときは	［スタート］→［プログラム］→［Outlook Express］をクリックしてセットアップを行います。
起動するときは	［スタート］→［プログラム］→［Outlook Express］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「Outlook Express」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

@niftyでインターネット

インターネット接続サービス「@nifty」に入会するためのソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ニフティ株式会社　@niftyサービスセンター

電話番号：（0120）816-042（フリーダイヤル）

携帯・PHS・国際電話の場合：（03）5753-2374

ご注意

お問い合わせの際は、電話番号をよくお確かめください。

受付時間：毎日 9時〜21時
（ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。）

初めて使うときは	デスクトップ画面上の［インターネット接続サービス］アイコンをダブルクリックするか、［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［インターネットプロバイダ］→［@nifty］をクリックして入会手続きを行います。 インターネットの接続に関して詳しくは、「インターネットを始める」（155ページ）をご覧ください。
起動するときは	［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［インターネットプロバイダ］→［@nifty］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	付属のパンフレットをご覧ください。

ODNスターターキットソフトウェア

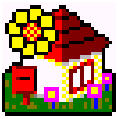
日本テレコムのインターネット接続サービス「ODN」へ入会し、コンピュータの設定も自動的に行えるソフトウェアです。
ODNダイヤルアップサービスは、アナログ回線やISDN回線を利用したインターネット接続サービスです。あらゆるコミュニケーションで、あなたのネットワーク環境をサポートします。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
日本テレコム株式会社 ODNサポートセンター

電話番号：0088-86（無料）

初めて使うときは	デスクトップ画面上の［インターネット接続サービス］アイコンをダブルクリックするか、［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［インターネットプロバイダ］→［ODN］をクリックして入会手続きを行います。 インターネットの接続に関して詳しくは、「インターネットを始める」（155ページ）をご覧ください。
操作がわからなくなったときは	付属のパンフレットをご覧ください。

PostPet for Windows



かわいいペットがメールを運ぶおちゃめな電子メールソフトです。テディベアやうさぎなど8種類のペットの中からお好きなペットを1種類選び、そのペットを育てます。ペットは、メールを運ぶだけでなく、飼い主や、飼い主の友達に手紙や日記を書いたりもします。
また、ポストペットと連動して開設されている「ポストペットホームページ」には、飼い主とそのペット達が参加できるイベントがたくさん用意されています。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先
ポストペットホームページ：
http://www.so-net.ne.jp/postpet/

起動するときは	［スタート］→［プログラム］→［PostPet for Windows ver. 2.0］→［PostPet for Windows ver. 2.0］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［PostPet for Windows ver. 2.0］→［PostPet for Windows ver. 2.0の使い方］をクリックしてヘルプを開きます。

ご注意

「ポストペット」はインターネット専用の電子メールソフトです。
電子メールの送受信には、POP3またはAPOPサーバー、およびSMTPサーバーに対応したプロバイダとの契約が必要です。

P'zDialer Ver 2.2.1



ネットワークサービス「ぷらら」を利用するためのソフトウェアです。初心者の方でも簡単にアクセスでき、インターネットの世界をお楽しみいただけます。また、ぷらら独自のオンラインショッピングやコンテンツサービスも豊富で、よりネットワークをお楽しみいただけます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
株式会社ぷららネットワークス「ぷららダイアル」

電話番号：(03) 5954-5330

初めて使うときは	デスクトップ画面上の［インターネット接続サービス］アイコンをダブルクリックするか、［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［インターネットプロバイダ］→［ぷらら］をクリックして入会手続きを行います。 インターネットの接続に関して詳しくは、「インターネットを始める」(155ページ)をご覧ください。
起動するときは	［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［インターネットプロバイダ］→［ぷらら］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［P'zPub］→［ぷらら入会案内］をクリックするか、付属のパンフレットをご覧ください。

Smart Capture Version 4.1







本機の内蔵カメラ（MOTION EYE）やi.LINK（IEEE1394）コネクタまたはDV端子を持つデジタルビデオカメラレコーダーなどの機器から画像を取り込み、取り込んだ静止画や動画を表示／再生したり、メールに添付するときに使うソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
　　　　　ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	目的に合わせて、［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［撮影した映像をメール送信：Smart Capture］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［Smart Capture］→［Smart Capture ヘルプ］をクリックしてヘルプを開くか、［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［VAIOソフトウェアマニュアル］→［Smart Captureマニュアル］をクリックして電子マニュアルをご覧ください。

Smart Connect Version 3.0



i.LINKケーブルで接続したVAIO間でファイルを共有するためのソフトウェアです。接続したVAIO間でお互いのファイルをコピーしたり、削除したりできます。接続先のVAIOにつないだプリンタを使って印刷することもできます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

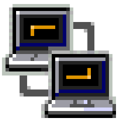
電話番号：(0466) 30-3000

初めて使うときは	[スタート] → [VAIOソフトウェアはこちら] → [VAIO同士をつなぐ：Smart Connect] → [Smart Connect 切り替え] をクリックします。
操作がわからなくなったときは	[スタート] → [プログラム] → [Smart Connect] → [Smart Connect Online Help] をクリックしてヘルプを開きます。

ご注意

これまでi.LINKケーブルで接続したことのないVAIOとの初回接続時にドライバのインストールが行われます。ドライバのインストール時は管理者権限 (Administrators) のユーザーでログインしている必要があります。

Smart Connect モニタ Version 1.1



「Smart Connect」ソフトウェアで接続されているコンピュータが一覧表示されます。また、「Smart Connect」ソフトウェアの動作状態やデータの転送状況も見ることができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	[スタート] → [VAIOソフトウェアはこちら] → [VAIO同士をつなぐ：Smart Connect] → [接続状態を確認：Smart Connect モニタ] をクリックして起動します。起動すると、デスクトップ画面右下のタスクトレイにアイコンが表示されます。
操作がわからなくなったときは	[スタート] → [プログラム] → [Smart Connect] → [Smart Connect モニタ Online Help] をクリックしてヘルプを開きます。

So-net 簡単スターター

インターネットサービスプロバイダ「So-net」に入会するためのソフトウェアです。画面に表示された指示に従って操作するだけで、誰でも簡単にSo-netに入会できます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
So-netインフォメーションデスク

電話番号：（0570）00-1414（全国共通）
携帯・PHSからおかけになる場合は、こちらへおかけください。
札幌（011）711-3765／仙台（022）256-2221
東京（03）3446-7555／名古屋（052）819-1300
大阪（06）6577-4000／広島（082）286-1286
福岡（092）624-3910
受付時間：10時～21時　年中無休

ご入会方法、サービス内容のお問い合わせ、各種会員情報の変更方法や課金状況の確認などのお問い合わせは、上記の電話番号のほか、ファックスや電子メールでも承ります。

ファックス番号：（03）3446-7557
電子メール：info@so-net.ne.jp

初めて使うときは	デスクトップ画面上の［インターネット接続サービス］アイコンをダブルクリックするか、［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［インターネットプロバイダ］→［So-net］をクリックして入会手続きを行います。 インターネットの接続に関して詳しくは、「インターネットを始める」（155ページ）をご覧ください。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［So-net］→［So-netについて］をクリックします。

URecSight

Sony Original

内蔵カメラ（MOTION EYE）や本機に接続されているDVカメラなどを使って静止画や動画を撮影して取り込んだり、画像をインターネット上の「ImageStation」サービスにアップロードして保管したり、撮影している動画を「PercasTV」サービスを利用して、ネット上にライブ配信するときに使うソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	**PCスタイルの場合：** ［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［インターネットで映像をライブ発信！：URecSight for CastaDrive］または［インターネットへ撮影した映像を！：URecSight for ImageStation］をクリックして起動します。 **カメラシューティングスタイルの場合：** MENUボタンを押してシステムメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［URecSight 撮影/ImageStation］または［URecSight ライブ/CastaDrive］を選んで、ジョグダイヤルを押して起動します。
操作がわからなくなったときは	**PCスタイルの場合：** ［スタート］→［プログラム］→［URecSight］→［URecSight オンライン ヘルプ］をクリックしてヘルプを開きます。 **カメラシューティングスタイルの場合：** （アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［ヘルプ］を選んでから、ジョグダイヤルを押してヘルプを開きます。

イーベイご紹介

インターネットオークションコミュニティ「イーベイ」のご紹介です。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先
電子メール：jpsupport@ebay.com

起動するときは	デスクトップ画面上の をダブルクリックして起動します。

ご注意

eBayのオークションにて万一お客様に不利益が生じた場合でも、ソニーは一切の責任を負いません。

バイオネットワークサービスオンラインサインアップ

VAIOカスタマー専用のインターネット接続サービス「バイオネットワークサービス」に入会するためのソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニースタイルドットコム・ジャパン株式会社
バイオネットワークサービスセンター

電話番号：(03) 5783-1133

初めて使うときは	デスクトップ画面上の［インターネット接続サービス］アイコンをダブルクリックするか、［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［インターネットプロバイダ］→［バイオネットワークサービス］をクリックして入会手続きを行います。 インターネットの接続に関して詳しくは、「インターネットを始める」（155ページ）をご覧ください。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［VAIOネットワークサービス］→［ヘルプ］をクリックしてヘルプを開きます。

リファレンスツール

Adobe Acrobat Reader 4.0

PDF（Portable Document Format）形式の書類を画面上で読むためのソフトウェアです。読むだけでなく、書類中の単語を検索したり、書類を印刷したりできます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
　　　　　ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

初めて使うときは	［スタート］→［プログラム］→［Adobe Acrobat 4.0］→［Acrobat Reader 4.0］をクリックすると、「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されるので、画面の指示に従って操作してください。
起動するときは	［スタート］→［プログラム］→［Adobe Acrobat 4.0］→［Acrobat Reader 4.0］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「Acrobat Reader 4.0」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

MapCutter 1.0

Sony Original

Navin' You専用マップをパーソナルエンターテインメントオーガナイザーCLIEで持ち出し活用するための地図切り出しソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
　　　　　ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［クリエ用に地図を切り出し：MapCutter］をクリックして起動します。

Navin' You Version 5.1

本機で地図を見たり、インターネットから店舗情報を検索したり、地図上で路線の探索などが行えるソフトウェアです。
株式会社ゼンリンの「Navin' You専用マップ」シリーズ、または、株式会社アルプス社の「プロアトラス」シリーズの地図CD-ROMを表示することができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［地図を閲覧・ルート検索：Navin' You］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［Navin' You 5.1］→［Navin' You Help］をクリックしてヘルプを開くか、［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［VAIOソフトウェアマニュアル］→［Navin' You マニュアル］をクリックして電子マニュアルをご覧ください。

ご注意

- お使いになる地図によっては機能の制限があります。
- 別売りのハンディGPSレシーバーをお使いになる場合は、初めて本機に接続する前に、［スタート］→［プログラム］→［Navin' You 5.1］→［Handy GPS Utilities 2.1のインストール］をクリックしてインストールを行ってください。

Navin' You専用マップサンプル版

Navin' You専用マップサンプル版は、東京23区／名古屋市／大阪市エリアの機能限定版です。
Navin' You Version 5.0以降を使って見ることができます。
このサンプル版では機能の制限があります。詳しくは、「Navin' You」の電子マニュアルをご覧ください。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
株式会社ゼンリン　お客様ご相談窓口

電話番号：(03) 5259-5077

受付時間：10時～12時／13時～17時　月～金（祝日は除く）

ハイパーダイヤ



時刻表、経路および運賃を検索できるソフトウェアです。
発着駅および出発、到着時刻を設定するだけで、乗車日を考慮した3万本を超える列車時刻表データベースの中から最適な乗り継ぎ経路と時刻、運賃を自動検索します。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
（株）日立情報システムズ
ハイパーダイヤ ユーザーサポートセンター

電話番号：（03）3464-7844

起動するときは	［スタート］→［プログラム］→［ハイパーダイヤ］→［ハイパーダイヤ］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［ハイパーダイヤ］→［ハイパーダイヤ取扱説明書］をクリックします。

郵便番号検索ツール

Sony Original



郵便番号から住所を検索したり、住所から郵便番号を検索するソフトウェアです。

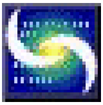
このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［プログラム］→［郵便番号検索ツール］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	郵便番号検索ツールの［ヘルプ］をクリックしてヘルプを開きます。

ユーティリティ

CyberSupport 2.5 for VAIO



本機を使っていて困ったことや疑問があった場合に使用するソフトウェアです。
本機に付属の取扱説明書を閲覧したり、VAIOカスタマーリンクに寄せられた、よくあるお問い合わせの中から回答を検索することができます。

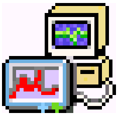
このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	デスクトップ画面上の［CyberSupport 2.5 for VAIO］アイコンをダブルクリックするか、［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［困ったときは：CyberSupport for VAIO］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	画面左下の［使い方］をクリックして表示される説明をご覧ください。

VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）にアクセスし、「CyberSupport 2.5 for VAIO」ソフトウェアで検索できる情報を更新してください。
更新するには、インターネットに接続した状態で、画面左下の［最新のデータに更新］をクリックします。自動的に、情報が更新されます。
最初に更新するときは数十分時間がかかることがありますので、ご注意ください。
操作について詳しくは、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。
また、この機能を使うには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」（155ページ）をご覧ください。

Norton AntiVirus 2001



ノートン・アンチウィルスはどんなウィルスでも発見し自動で駆除。
新種ウィルスが現れても、世界最大のコンピュータウィルス研究所（SARC）が対策をサポートし、ワクチンを全自動で最新のものに更新するので安心です。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
「コンピュータウイルスについて」（328ページ）をご覧ください。

起動するときは	［スタート］→［プログラム］→［Norton AntiVirus］→［Norton AntiVirus 2001］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［Norton AntiVirus］→［Norton AntiVirus 情報］をクリックするか、「Norton AntiVirus」画面右上のヘルプをクリックしてヘルプを開きます。

本機の工場出荷時の設定では、インターネット経由で届く電子メールの添付ファイルをスキャンする「電子メールスキャン」機能が働かないよう設定されています。この機能をご利用になるには、「コンピュータウイルスについて」（328ページ）をご覧になり、手順に従って操作してください。

PowerPanel

Sony Original

バッテリの消費電力を調整したり、本機の動作モードを切り替えるためのソフトウェアです。
また、バッテリの残量を確認したり、あらかじめ設定した残量になると警告が表示されるように設定することもできます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

操作がわからなくなったときは	「バッテリの消費電力を節約する」(232ページ) をご覧いただくか、[スタート] → [プログラム] → [PowerPanel] → [ヘルプ] をクリックしてヘルプを開きます。

Simple Speech 2.0

Sony Original

テキストデータをコンピュータに読み上げさせることのできるソフトウェアです。テキストファイル、電子メール、Webページの内容を音声で聞くことができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	[スタート] → [VAIOソフトウェアはこちら] → [テキストやメールを声で読み上げ：Simple Speech] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	[スタート] → [プログラム] → [Simple Speech] → [Simple Speechヘルプ] をクリックしてヘルプを開きます。

Sony Notebook Setup



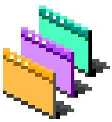
本機をご使用になる環境や好みに合わせた動作環境をつくるためのソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
　　　　ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［ユーティリティ］→［ハードウェアの設定：Sony Notebook Setup］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「本機の使用環境を設定する」（224ページ）をご覧いただくか、［スタート］→［プログラム］→［Sony Notebook Setup］→［Sony Notebook Setup Online Help］をクリックしてヘルプを開きます。

UI Design Selector



ソニー製ソフトウェアのインターフェイスデザインを好みに合わせて変更するためのソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
　　　　ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	［スタート］→［設定］→［コントロール パネル］→［UI Design Selector］アイコンをダブルクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「ウィンドウのデザインを変更する」（244ページ）をご覧ください。

VAIO Action Setup Version 1.3

Sony Original

本機のジョグダイヤルの働きを設定するためのソフトウェアです。タイマー設定や“メモリースティック”などの設定をすることもできます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
　　　　　ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	ジョグダイヤルウィンドウ上で右クリックして、[ジョグダイヤル セットアップ(VAIO Action Setup)] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「「VAIO Action Setup」で好みのソフトウェアを自動的に起動する」(106ページ) および「ジョグダイヤルの設定をする」(100ページ) をご覧いただくか、「VAIO Action Setup」の [ヘルプ] をクリックしてヘルプを開きます。

VisualFlow Version 2.0

Sony Original

“メモリースティック”に保存されている静止画像、動画、音声ファイルを表示し、選択したファイルを他のソフトウェアで表示／再生することができます。ハードディスクやMOディスクなど、他のメディアでも同じことができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
　　　　　ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	[スタート] → [VAIOソフトウェアはこちら] → [メモリースティックなどの画像を確認：VisualFlow] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	画面下にあるツールバーの右端にポインタを移動し、表示されるサブツールバーにある ? をクリックしてヘルプを開きます。

“メモリースティック”を挿入したときに、自動的に「VisualFlow」ソフトウェアが起動します。「VisualFlow」以外のソフトウェアが起動するように設定したいときは、「VAIO Action Setup」ソフトウェアを使います。詳しくは、「メモリースティックランチャーの設定を変更する」(112ページ) をご覧ください。

カメラ設定ユーティリティ

内蔵カメラ（MOTION EYE）の画質やモードに関する設定をするためのソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
　　　　ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［ユーティリティ］→［カメラ設定ユーティリティ］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「内蔵カメラ（MOTION EYE）の画質などを設定する」（151ページ）をご覧いただくか、カメラ設定ユーティリティのヘルプを開きます。

ジョグダイヤルウィンドウ

本機のジョグダイヤルを使ってできる操作のガイドを表示します。「VAIO Action Setup」ソフトウェアを起動して、ジョグダイヤルの働きを設定することもできます。
また、ジョグダイヤルを使ってさまざまなソフトウェアも操作できます。詳しくは、「ジョグダイヤルを使う」（66ページ）をご覧ください。

これらのソフトウェアに関するお問い合わせ先：
　　　　ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

操作がわからなくなったときは	「ジョグダイヤルを使う」（66ページ）をご覧ください。また、「VAIO Action Setup」のヘルプもあわせてご覧ください。

できるWindows for VAIO

インプレス「できるシリーズ」のデジタル版です。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
　　　　　インプレスカスタマーセンター

電話番号：(03) 5213-9295

起動するときは	デスクトップの をダブルクリックして起動します。

メモリースティックフォーマッタ

Sony Original

“メモリースティック”をフォーマットするための専用ソフトウェアです。Windows上で再フォーマットするときには、必ずこのソフトウェアを使用してください。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
　　　　　ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	[スタート] → [VAIOソフトウェアはこちら] → [ユーティリティ] → [メモリースティックをフォーマット] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	[スタート] → [プログラム] → [Memory Stick Utility] → [Memory Stick Formatter Help] をクリックしてヘルプを開きます。

その他

VAIOオンラインカスタマー登録



ソニーはバイオをご所有のお客様へ必要な情報をお知らせし、充実したサポート・サービスをご提供するために、「VAIOカスタマーご登録」を行っていただくことをおすすめしています。このソフトウェアを使うと画面の指示に従って必要事項を記入する手順で電話回線またはインターネットを介して登録手続きを行えます。
登録情報を更新したい場合もこのソフトウェアで変更できます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニーマーケティング株式会社
VAIOカスタマー専用デスク

電話番号：（03）5977-7255

起動するときは	デスクトップ画面上の［Welcome!］ボタンをクリックするか、［スタート］→［VAIOソフトウェアはこちら］→［VAIOオンラインカスタマー登録］をクリックして登録を行います。手順について詳しくは、「カスタマー登録する」（42ページ）をご覧ください。

リカバリ CD-ROM

本機の操作中に誤ってハードディスクを初期化してしまったり、システムファイルを消してしまった場合に、ハードディスクの内容を工場出荷時の状態に戻すためのCD-ROMです。
詳しくは、「リカバリ CDで本機を再セットアップする」（331ページ）をご覧ください。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

ご注意

このリカバリ CD-ROMを使って、ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。

その他

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、下記の「コンピュータウイルスに侵入されると…」に見られるような被害が起きてしまいます。
コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

コンピュータウイルスに侵入されると…

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルがかってに消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないものに書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスクの空き容量が急に少なくなる。

本機には、コンピュータウイルス検査・ウイルス除去用ソフトウェアとして「Norton AntiVirus」ソフトウェアがインストールされています。
コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。
本機の工場出荷時の設定では、インターネット経由で届く電子メールの添付ファイルをスキャンする「電子メールスキャン」機能が働かないよう設定されています。この機能をご利用になるには、下記手順に従って操作してください。
「Norton AntiVirus」の操作方法について詳しくは、「Norton AntiVirus」のヘルプをご覧になるか、下記にお問い合わせください。

シマンテック テクニカルサポートセンター
電話番号：(03) 3476-1118　　ファックス：(03) 3477-1118
電話受付時間：月～金 10時～12時、13時～17時（土・日・祝日・年末年始を除く）
なお、シマンテック テクニカルサポートセンターをご利用いただくためには以下のシマンテックホームページにて、カスタマーIDの取得が必要です。
http://www.symantec.com/region/jp/oem/sony/

カスタマーID取得については、下記にお問い合わせください。

シマンテック　カスタマーサービスセンター

電話番号：（03）3476-1156　　ファックス：（03）3476-1159

電話受付時間：月〜金 10時〜12時、13時〜17時（土・日・祝日・年末年始を除く）

「Norton AntiVirus」は、本機初回起動時より180日間無償でウイルス定義ファイル（ワクチンファイル）のアップデートができます。それ以降は、ウイルス定義ファイルのアップデートは有償になります。新種のウイルスに対応するため、ウイルス定義ファイルは常に更新することをおすすめします。

また、テクニカルサポート提供期間は、ウイルス定義ファイル無償更新期間と同じく、180日間となります。ただし、有償アップデートのお申し込みを頂くとテクニカルサポートの提供期間も延長されます。

ウイルス定義ファイルの有償アップデートについて詳しくは、以下のシマンテックホームページをご覧になり、お申し込みください。

http://www.symantec.com/region/jp/oem/sony/

ウイルス定義ファイルの有償アップデートのお申し込みについては、下記にお問い合わせください。

ショップシマンテック

電話番号：（03）3476-1192　　ファックス：（03）3780-9988

電話受付時間：月〜金 10時〜12時、13時〜17時（土・日・祝日・年末年始を除く）

次のページにつづく

電子メールスキャン機能を有効にする

ご注意

以下の手順を行うには、管理者権限（Administrators）のユーザーでログインしている必要があります。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、［Norton AntiVirus］から［Norton AntiVirus 2001］をクリックする。**

「Norton AntiVirus」画面が表示されます。

初めて起動するときは使用許諾契約画面 *などが表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

2 **画面上部の ［オプション］をクリックする。**

「Norton AntiVirusのオプション」画面が表示されます。

3 **画面左側の［電子メール保護］をクリックする。**

画面右側に電子メールスキャン機能の設定画面が表示されます。

4 **使用する電子メールクライアントのチェックボックスをクリックしてチェックし、［OK］をクリックする。**

使用したい電子メールクライアントが表示されていない場合は、「Norton AntiVirus」のヘルプをご覧ください。

* 使用許諾契約画面は、本機の2回目の起動時か「Norton AntiVirus」を初めて起動したときに表示されます。

リカバリ CDで本機を再セットアップする

リカバリ CDとは

付属のリカバリ CDには「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の2種類があり、出荷時のハードディスク内のすべてのファイルが保存されています。誤ってハードディスクを初期化してしまったり、あらかじめインストールされているソフトウェアを消してしまった場合には、「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の両方のリカバリ CDを使って本機を再セットアップすることで、ハードディスクの内容を出荷時の状態に戻すことができます。

リカバリ CDでできること

- ハードディスクを初期化したうえで、すべてのファイルを復元する。
- ハードディスクのパーティションサイズを変更する。（336ページ）

ご注意

- 付属のリカバリ CDは本機でのみ使用できます。他の製品では動作しません。
- リカバリ CDで再セットアップできるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです。ご自分でインストールしたソフトウェアや、作成したデータを復元することはできません。またWindows 2000だけを復元することもできません。
- ご自分で変更された設定は、再セットアップ後はすべて初期値に戻ります。
  再セットアップ後に、もう1度設定し直してください。
- 再セットアップする際は、必ず「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の両方のリカバリ CDを使って行ってください。
  「アプリケーション リカバリ CD-ROM」を使わずに再セットアップを完了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。

再セットアップする前に

本機を再セットアップする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。

バックアップをとるには、次の方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- CD-RW、CD-Rにコピーする。
- D：ドライブにデータを残して、再セットアップする。
  本機のハードディスクは、C:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。「本機を再セットアップするには」の手順6で「フォーマットしてリカバリ」を選んだ場合、C:ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D:ドライブにあるファイルは残ります。

ご注意

「本機を再セットアップするには」の手順6で「パーティションサイズを変更してリカバリ」または「出荷時の状態へリカバリ」を選んだ場合は、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。

本機を再セットアップするには

すべての周辺機器をはずし、ACアダプタと本機専用ドライブのみを接続してから、作業を行ってください。

Windowsが完全に起動できない場合などに本機を再セットアップするときは、「Windowsが完全に起動しない状態で本機を再セットアップするには」（335ページ）をご覧ください。

本機を再セットアップするには、下記の専用ドライブが必要です。ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series
- CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Series
- DVD-ROMドライブ PCGA-DVD51 Series

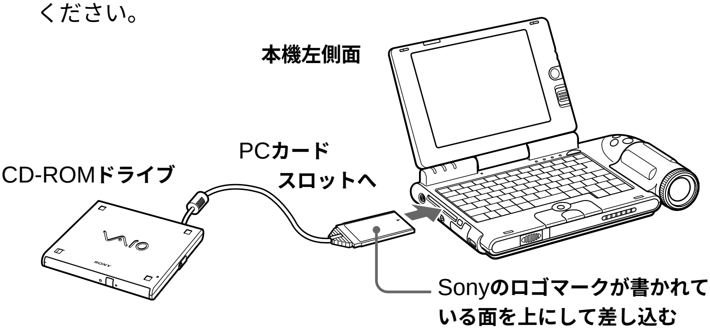
パーティションサイズを変更するときは、「パーティションサイズを変更する」（336ページ）をご覧ください。

ご注意

再セットアップした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。再セットアップを行う前に、大切なデータはCD-RW、CD-Rに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

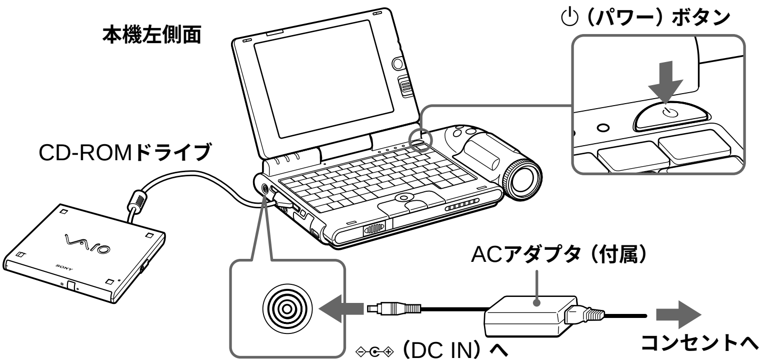
1 **ドライブを本機に取り付ける。**

詳しくは、「CD-ROMドライブなどを取り付ける」（95ページ）をご覧ください。



- PCGA-CDRW5_ Seriesをお使いのときは
  ドライブ底面にある切り替えスイッチを「Recovery」に合わせ、PCGA-CDRW5_ Seriesに付属のACアダプタを取り付けてください。
- PCGA-DVD51 Seriesをお使いのときは
  PCGA-DVD51 Seriesに付属のACアダプタは取り付けないでください。

2 **本機をACアダプタにつなぎ、電源を入れる。**



3 **付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.1 of 2」をドライブに入れる。**

自動的に「VAIO System Recovery Utility」が起動し、ドライブに関するご注意が表示され、続いて「はじめに」画面が表示されます。

次のページにつづく

4. **内容をよく読み、[次へ] をクリックする。**

5. **引きつづき内容をよく読んでから [同意する] をクリックし、[次へ] をクリックする。**

   「メニュー選択」画面が表示されます。

   [同意しない] をクリックすると、再セットアップ作業を続けることはできません。

6. **再セットアップの方法を選んでクリックし、[次へ] をクリックする。**

   通常は「フォーマットしてリカバリ」を選ぶことをおすすめします。

7. **画面の指示に従って操作し、「リカバリを開始します」画面が表示されたら、「リカバリを開始する」のチェックボックスをクリックして、[完了] をクリックする。**

   自動的に本機の電源が切れます。そのままリカバリ CDを取り出さずに、本機の電源を入れてください。本機が起動し、再セットアップが始まります。

8. **「2枚目のディスクをいれてください。」というメッセージが表示されたら、付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol. 2 of 2」をドライブに入れ、いずれかのキーを押す。**

   再セットアップの続きが始まります。

9. **「システム リカバリ CD-ROM」のセットアップが終わると、「再起動時に、BIOSの設定値を初期化してもよろしいですか(Yes/No)?」とメッセージが表示されるので、Yキーを押してからEnterキーを押す。**

10. **画面の指示に従って、「システム リカバリ CD-ROM」を取り出してから何かキーを押し、本機を再起動する。**

11. **「Windowsを準備する」(35ページ)の手順に従って、Windows 2000のセットアップを行う。**

12. **Windowsのセットアップが終了し、「Windows 2000の紹介」画面が表示されたら、画面右上の  をクリックして画面を閉じる。**

13 付属の「アプリケーション リカバリ CD-ROM」をドライブに入れる。

自動的にアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。アプリケーションソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動してください。

ご注意

アプリケーション リカバリ CD-ROMでセットアップを行うには、管理者権限(Administrators)でログオンしてください。

Windowsが完全に起動しない状態で本機を再セットアップするには

1 「本機を再セットアップするには」(332ページ)の手順1〜2を行う。

2 付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.1 of 2」をドライブに入れる。

3 ⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して本機の電源を切る。

4 本機の電源を入れる。

「システム リカバリ CD-ROM リストアユーティリティ」画面が表示されます。

5 画面の指示に従って操作する。

操作を続けるかどうか表示されたときは、Yキーを押してからEnterキーを押してください。

画面の指示に従って操作をしていくと、メニュー画面が表示されます。再セットアップの方法を選び、引き続き画面の指示に従って操作してください。通常は「フォーマットしてリカバリ」を選ぶことをおすすめします。

再セットアップを中止するときは「4」を選び、Enterキーを押します。

6 「本機を再セットアップするには」(332ページ)の手順8〜13を行う。

パーティションサイズを変更する

本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれており、D:ドライブは、「DVgate」ソフトウェアなどで取り込んだ動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域（データスペース）として使えるように設定されています（工場出荷時）。
付属のリカバリ CDを使ってパーティションサイズを変更できます。
動画の取り込みや書き出しを行う場合は大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こることがあります。ハードディスクの断片化はフレーム落ちの原因となるため、データスペースとしてお使いになるパーティションはハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化（デフラグ）またはフォーマットを行ってください。
パーティションを区切ると、Windows 2000はC:ドライブにインストールされます。C:ドライブを最適化するには非常に時間がかかる場合がありますので、D:ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

ご注意

ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけではなく、D:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCD-RW、CD-Rに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1 **「本機を再セットアップするには」（332ページ）の手順1〜5を行う。**

2 **「メニュー選択」画面が表示されたら、「パーティションサイズを変更してリカバリ」を選び、［次へ］をクリックする。**

3 **リストからパーティションサイズを選んでクリックし、［次へ］をクリックする。**

［詳細情報］をクリックすると、現在のパーティション情報が表示されます。

4 **画面の指示に従って操作し、「リカバリを開始します」画面が表示されたら、「リカバリを開始する」のチェックボックスをクリックして、［完了］をクリックする。**

自動的に本機の電源が切れます。そのままリカバリ CDを取り出さずに、本機の電源を入れてください。本機が起動し、再セットアップが始まります。

5 **「2枚目のディスクをいれてください。」というメッセージが表示されたら、付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol. 2 of 2」をドライブに入れ、いずれかのキーを押す。**

再セットアップの続きが始まります。

6 **「システム リカバリ CD-ROM」のセットアップが終わると、「再起動時に、BIOSの設定値を初期化してもよろしいですか（Yes/No）？」とメッセージが表示されるので、Yキーを押してからEnterキーを押す。**

7 **画面の指示に従って、「システム リカバリ CD-ROM」を取り出してから何かキーを押し、本機を再起動する。**

8 **「Windowsを準備する」（35ページ）の手順に従って、Windows 2000のセットアップを行う。**

9 **Windowsのセットアップが終了し、「Windows 2000の紹介」画面が表示されたら、画面右上の ☒ をクリックして画面を閉じる。**

10 **付属の「アプリケーション リカバリ CD-ROM」をドライブに入れる。**

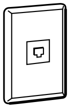
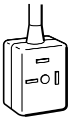
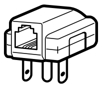
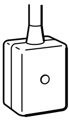
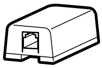
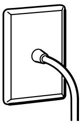
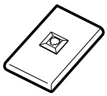
自動的にアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。アプリケーションソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、［OK］をクリックして本機を再起動してください。

ご注意

アプリケーション リカバリ CD-ROMでセットアップを行うには、管理者権限（Administrators）でログオンしてください。

電話回線のコンセントの種類

電話回線のコンセントは以下の4種類があります。ご自宅、外出先のコンセントに合った方法で接続してください。

コンセントの型	接続に必要なソニーの別売りアクセサリ
モジュラ型 	不要（そのままつなぐことができます）
3ピンジャック型 	テレホンモジュラーアダプターTL-30 
直付け型ローゼット[1] 	モジュラーローゼットTL-32CRなど 
埋め込み型[2] 	テレホンモジュラージャックコンセントTL-31 

1) 直付けタイプからモジュラジャックへの交換工事が必要です。NTT（局番なしの116番）へご依頼ください。

2) 電話工事担任者による取り付け工事が必要です。NTT（局番なしの116番）へご依頼ください。

ご注意

ビジネスホン、ホームテレホンなどの電話機やドアホン付きの電話機をお使いのときは、工事が必要となる場合があります。電話機を取り付けた業者にご相談ください。

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 本体に手やひじをつくなどして力を加えないでください。本機の液晶ディスプレイはガラスでできています。力を加えると、ガラスが割れてしまいます。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所には置かないでください。本機が変形し、故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 内蔵カメラ（MOTION EYE）のレンズに触らないでください。
- 電源の入／切にかかわらず、内蔵カメラ（MOTION EYE）を太陽に向けないでください。内蔵カメラ（MOTION EYE）の故障の原因となります。
- カメラ部分を持って、本機を移動させないでください。本機の故障の原因となります。
- ディスプレイ部分を持って、本機を移動させないでください。本機の故障の原因となります。

結露について

結露とは本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときなどに、本機の表面や内部に水滴がつくことで、そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が起きたときは、電源を入れずに約1時間放置してください。

液晶ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイの表面をぬれたもので拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- 液晶ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。
また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- 本機を戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、液晶ディスプレイに結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよく拭き取ってからご使用ください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。液晶面が室温に暖まるまでお待ちください。

次のページにつづく

- 画面上に常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られておりますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
- キーボードの上にボールペンなどを置いたまま、液晶ディスプレイを閉じないでください。また、閉じた液晶ディスプレイの上に重いものを載せたり、強く押したりしないでください。本機の破損の原因となります。

ハードディスクの取り扱いについて

ハードディスクは、フロッピーディスクに比べて記憶密度が高く、データの書き込みや読み出しに要する時間も短いという特長があります。その一方、衝撃や振動、ほこりに弱い装置でもあります。また、フロッピーディスク同様に磁気を帯びた物に近い場所での使用は避けなければなりません。
ハードディスクには衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時10 ℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんのでご注意ください。

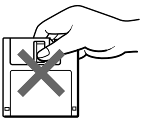
ハードディスクのバックアップをとる

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクの内容は定期的にバックアップを取ることをおすすめします。ソフトウェアはオリジナルがCD-ROMやフロッピーディスクにありますので、バックアップが必要なのはデータなどです。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。
データの損失については、一切責任を負いかねます。

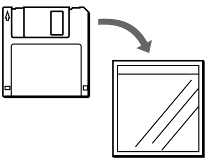
フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。フロッピーディスクの表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

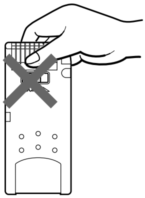


- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクはフロッピーディスクドライブから取り出して、必ずケースなどに入れて保管してください。



“メモリースティック”の取り扱いについて

- 端子部には手や金属で触れないでください。



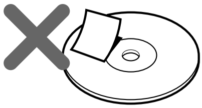
- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“ メモリースティック ”に付属の収納ケースに入れてください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  －高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  －直射日光のあたる場所
  －湿気の多い場所や腐食性のある場所

次のページにつづく

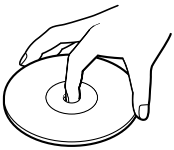
ディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



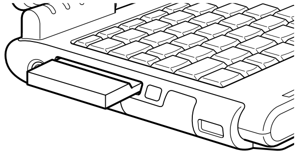
- 文字の書かれていない面（再生面）に触れないようにして持ちます。



- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。

PCカード使用時のご注意

PCカードスロットからはみ出すPCカード（ワイヤレスLANカードなど）を挿入してお使いの場合は、以下の点にご注意ください。



- PCカードを挿入した状態で、本機を移動しないでください。
  移動時にPCカードに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。
- PCカード部分も持って本機を持ち上げるなど、PCカードに力を加えると、本機が破損するおそれがあります。

ACアダプタについて

- ACアダプタをつながない状態で本機の電源を入れたままバッテリを取りはずすと、作業中のデータが失われます。
- 本機には、付属のACアダプタをご使用ください。指定以外のACアダプタを使用すると、故障の原因になることがあります。
- ACアダプタを海外旅行者用の電子式変圧器などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

内蔵カメラ（MOTION EYE）について

- 内蔵カメラ（MOTION EYE）のレンズに触らないでください。
- レンズが汚れている場合は、やわらかい布などで汚れを拭き取ってください。汚れたままだと、取り込む画像が劣化します。
- 電源の入／切にかかわらず、内蔵カメラ（MOTION EYE）を太陽に向けないでください。カメラの故障の原因となります。
- 内蔵カメラ（MOTION EYE）は取りはずせません。
- 「URecSight」ソフトウェアは、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使う他のソフトウェア（Smart Capture、CyberCode Finderなど）と同時に使用することはできません。「URecSight」を使うときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用する他のソフトウェアを終了してください。
- i S400（i.LINK）コネクタにi.LINK対応機器をつなぎ、動画や静止画を取り込むときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）から取り込むことはできません。
- 内蔵カメラ（MOTION EYE）を使わないときは、レンズキャップを取り付けてください。
- 内蔵カメラ（MOTION EYE）にコンバージョンレンズを取り付けないでください。取り付けた状態でカメラ部分に力が加わると、本機が破損するおそれがあります。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows 2000用、DOS/V用などを表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。
市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

お手入れ

本機のお手入れ

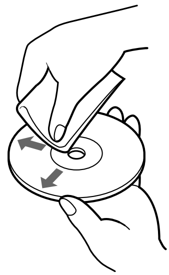
- 本機についたゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 液晶ディスプレイは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れてきたと思ったら、こまめに拭くように心がけてください。

ご注意

- 濡れたもので液晶ディスプレイを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
  化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。

ディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読みとりエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

レンズのお手入れ

内蔵カメラ（MOTION EYE）のレンズ表面のほこりは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛でとります。汚れがひどいときは、市販のレンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より3か月間です。ユーザー登録していただいたお客様は1年間になります。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはVAIOカスタマーリンクへご連絡ください

VAIOカスタマーリンクについては、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではノートブックコンピュータの修理は引取修理を行っています。
当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

データのバックアップのお願い

修理に出すまえに、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様にてバックアップされますようお願いいたします。当社の修理により、ハードディスク内のプログラムおよびデータが万一消去あるいは変更された場合に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、ハードディスクなどの記録媒体そのものの故障の場合には、プログラムおよびデータの修復はできません。

次のページにつづく

部品の保有期間について

当社ではノートブック コンピュータの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。
この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- **型名：IDラベル（25ページ）または保証書に記載されています**
- **製造番号：本体底面または保証書に記載されています**
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **購入年月日：**

部品の交換について

この製品は修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。
その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

プロセッサ

Transmeta Crusoe™ プロセッサ
TM5600 600 MHz

キャッシュ（プロセッサに内蔵）
1次：128 Kバイト
2次：512 Kバイト

メインメモリ

128 Mバイト（SDRAM）[1]
最大192 Mバイトまで拡張可能
[1] 16 Mバイトはシステムで使用

メモリバス
100 MHz
（CPUクロック600 MHz動作時）

メモリスロット

専用メモリスロット（1）

グラフィックアクセラレータ

3D グラフィックスアクセラレーション対応
ATI Technologies社製 RAGE™ Mobility-M1 PCI接続

ビデオメモリ

8.0 Mバイト（ビデオチップ内蔵）

液晶ディスプレイ

6.4 型、XGA対応、TFTカラー液晶

液晶ディスプレイ表示モード

1024 × 768 ドット（約1,677万色[2]）
800 × 600 ドット（約1,677万色[2]）
640 × 480 ドット（約1,677万色[2]）
[2] グラフィックアクセラレータのディザリングにより実現

外部ディスプレイ表示モード[3]

1,600 × 1,200 ドット（約1,677万色）
1,280 × 1,024 ドット（約1,677万色）
1024 × 768 ドット（約1,677万色）
800 × 600 ドット（約1,677万色）
640 × 480 ドット（約1,677万色）
[3] 外部ディスプレイによっては、使えない表示モードがあります。

ハードディスクドライブ

約30.0 Gバイト[4]
[4] C：ドライブ　約15.0 Gバイト
D：ドライブ　約15.0 Gバイト
（工場出荷時）
（1 Gバイト=10億 バイトで算出）

外部接続端子

i.LINK（IEEE1394）コネクタ
S400 4ピン（1）　S400=400 Mbps

USBコネクタ
USB 4ピン（1）

マイク／ライン入力コネクタ
モノラル／ステレオ兼用ミニジャック（1）
プラグインパワー対応

ヘッドホン出力コネクタ
ステレオミニジャック（1）

モデムコネクタ
モジュラジャック（1）

AV OUTコネクタ
NTSC／PAL対応、ミニジャック（1）

外部モニタ
専用コネクタ

インジケータ

⏻（パワー）ランプ
（バッテリ）ランプ
（ハードディスク）ランプ
（メモリースティック）ランプ
（Num Lock）ランプ
（Caps Lock）ランプ
（Scroll Lock）ランプ
録画ランプ

次のページにつづく

PCカードスロット

Type I／II ×1、16 bit/Cardbus対応

メモリースティックスロット

メモリースティックスロット（1）

オーディオ機能

ハードウェアMIDI音源（XG/GM互換、YAMAHA YMF754）、内蔵ステレオスピーカー、内蔵ステレオマイク
ステレオマイク入力（プラグインパワー方式）
ステレオライン入力
メガベース（低音増幅機能）対応ヘッドホン出力

内蔵モデム

V.90およびk56flex対応
データ受信時最大　56 Kbps
データ送信時最大　33.6 Kbps
ファックス送信時最大　14.4 Kbps

入力デバイス

スクロール機能対応スティック式ポインティング・デバイス、ジョグダイヤル、キーボード

内蔵カメラ（MOTION EYE）／ビデオキャプチャ

撮像素子
1/4 型68万画素CCD

レンズ
10倍（光学）、40倍（デジタル）
焦点距離 f=3.3〜33 mm
（35 mm カメラ換算では42〜420mm）
F=1.7〜2.2

ホワイトバランス
オート／屋内／屋外／ホールド

ビデオキャプチャ形式／サイズ
YUY2／RGB 24 ビット
80 × 60、160 × 120、320 × 240、640 × 480
モーション JPEG
320 × 240、640 × 480

表示フレーム数
最大30フレーム／秒（オーバーレイ表示）

キャプチャフレーム数
最大30フレーム／秒
（320 × 240 モーション JPEG）
最大15フレーム／秒
（640 × 480 モーション JPEG）

電源・その他

電源
ACアダプタまたはバッテリ

DC端子入力
DC16V、4A

バッテリ駆動時間
標準タイプ（PCGA-BP51A）　：約2〜5時間[5)]
大容量タイプ（PCGA-BP52A）：約4〜10時間[5)]
大容量タイプ（PCGA-BP54）　：約7〜17時間[5)]
5)「スーパースタミナ」プロファイル使用時、および内蔵カメラ（MOTION EYE）を使うソフトウェア未使用時。

外形寸法
約241 × 44.8 × 155.5 mm
（幅／高さ／奥行き）

質量
約1.1 kg（標準タイプバッテリ装着時）

ACアダプタ

電源
AC 100〜240 V、50/60 Hz
（付属電源コードはAC 100 V用）
その他の仕様については、ACアダプタのラベルをご覧ください。

バッテリ

出力電圧
11.1 V

付属品

「付属品を確かめる」（16ページ）をご覧ください。

別売り品

ACアダプター
PCGA-AC16V1

リチャージャブルバッテリーパック
PCGA-BP51A（標準タイプ）
PCGA-BP52A、PCGA-BP54（大容量タイプ）

USBフロッピーディスクドライブ
PCGA-UFD5

CD-ROMドライブ
PCGA-CD51/A

CD-RWドライブ
PCGA-CDRW52

DVD-ROMドライブ
PCGA-DVD51/A

増設メモリーモジュール
PCGA-MM164（64 Mバイト）

USBマウス
PCGA-UMS1/A

バッテリーチャージャー
PCGA-BC5

ディスプレイアダプター
PCGA-DA1S

キャリングバック
PCGA-MBGT1

動作・保存環境

動作温度
5 ℃～35 ℃（温度勾配10 ℃／時以下）

動作湿度
20 %～80 %（結露のないこと）
ただし35 ℃における湿度は65 %以下
（湿球温度29 ℃以下）

保存温度
–20 ℃～60 ℃（温度勾配10 ℃／時以下）

保存湿度
10 %～90 %（結露のないこと）
ただし60 ℃における湿度は20 %以下（湿球温度35 ℃以下）

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

五十音順

その他

次のページにつづく

マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット順

その他

商標について

- はソニー株式会社の商標です。
- “MemoryStick”（“メモリースティック”）および 、OpenMG、 は ソニー株式会社の商標です。
- CyberCode、CyberCodeロゴおよびCyberCodeマークはソニー株式会社の商標です。
- So-net、ソネットおよびSo-netロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ “ ”は商標です。
- 「CastaDrive」、および はソニー株式会社の商標です。
- 「PercasTV」、および はソニー株式会社の商標です。
- Transmeta, the Transmeta logo, Crusoe™ Processor, the Crusoe logo, Code Morphing™ Software, LongRun™ Power Management and combinations thereof are trademarks of Transmeta Corporation in the USA and other countries. Other product names and brands used in this document are for identification purposes only, and are the property of their respective owners.
- Microsoft、MS-DOS、Windows Media、WindowsおよびOutlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。
- DigiOn、DigiOnSoundは、株式会社デジオンの登録商標です。
- Beatnik PlayerはBeatnik, Inc.の登録商標です。
- QuickTime and the QuickTime logo are trademarks used under license. QuickTime is registered in the U.S. and other countries.
- 「RealPlayer」、「RealJukebox」は、米国また諸各国において、米国RealNetwork,Inc.社の登録商標あるいは登録申請中の商標です。
- 2000 AMERICA ONLINE. INC. All Rights Reserved.
- BIGLOBEは日本電気株式会社の登録商標です。
- DIONはKDDI株式会社の登録商標です。
- 2001 Dream Train Internet Inc. All rights reserved.
- eBay及びeBayロゴは、米国eBay, Inc.の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Copyright © 1991-2001 QUALCOMM, Incorporated.
  Copyright © 1995-2001 株式会社クニリサーチインターナショナル
- K56flexはConexant Systems, Inc.とLucent Technologies社の商標です。
- @niftyはニフティ株式会社の商標です。
- ODNは日本テレコム株式会社の商標です。
- PostPetはソニーコミュニケーションネットワーク株式会社の登録商標です。
- 「ぷらら」は株式会社ぷららネットワークスの登録商標です。
- ハイパーダイヤは（株）日立情報システムズの登録商標です。
- PowerPanelは米国フェニックス テクノロジーズ社の商標です。
- 「できる」は株式会社インプレスの登録商標です。

- Symantec、Symantec ロゴ、Norton AntiVirusはSymantec Corporatonの登録商標です。

- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのパソコンに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許上の方法クレームおよびその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。リバースエンジニアリングまたは分解は禁止されています。

充電式電池の収集・リサイクルについて

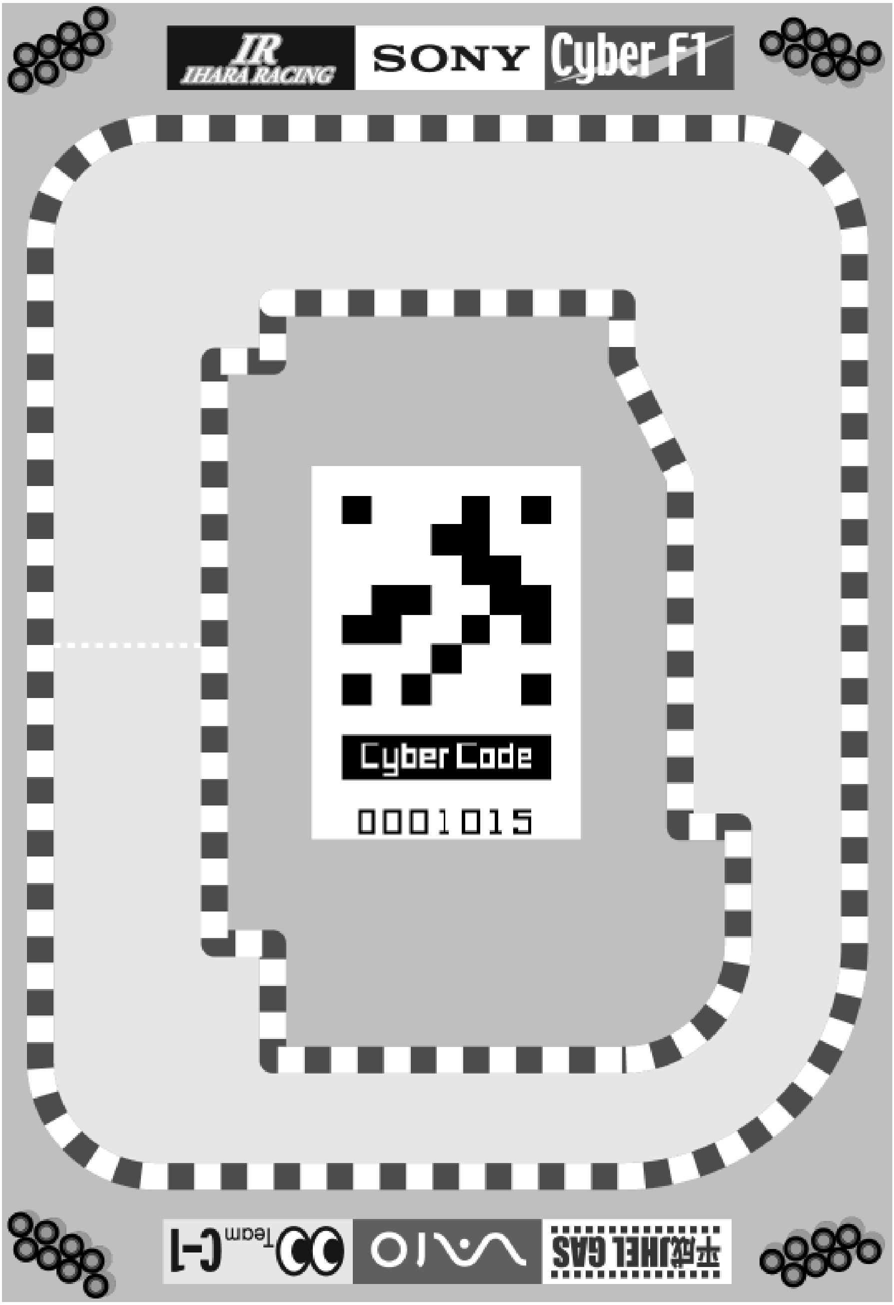
リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：

社団法人電池工業会　ホームページ：http://www.baj.or.jp

この説明書は再生紙を使用しています。


IR
IHARA RACING
SONY
Cyber F1
CyberCode
0001015

CyberCode**カード**

ご注意

- カードが斜めになったり、ぶれたりしないように、カードをしっかりと固定して持ち、まっすぐカメラに向けて映してください。
- 逆光や反射でCyberCodeがファインダに正しく映らない場合は、起動しにくいことがあります。







VAIOホームページ

VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。

● http://www.vaio.sony.co.jp/

VAIOカスタマーリンク ホームページ

VAIOの最新サポート情報をご案内します。

● http://vcl.vaio.sony.co.jp/

http://www.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

Printed in Japan